LAN DISK Home HYBRID S

# HDL2-S シリーズ

# 画面で見るマニュアル



# もくじ

# 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

| ● 警告および注意表示 | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。 |
| ⚠警告 | この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。 |
| ⚠注意 | この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。 |

| ● 絵記号の意味 | |
|---|---|
| ⃠ | 禁止 |
| ❗ | 指示を守る |

## ⚠危険

**本製品を修理・改造・分解しない**

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

## ⚠警告

**接触禁止**

雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

**ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない**

火災・感電の原因となります。

- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。

**本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って飲み込み、窒息するおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

**本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**

火災の原因となります。

**故障や異常のまま、接続しない**

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

**本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行う**

電源コードを抜かずに行うと、感電の原因になります。

**煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使用を中止する**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**決められた電源・ケーブルで使用する**

所定以外の電源およびケーブルで、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

**給電されているLANケーブルは絶対に接続しない**

給電されているケーブルを接続すると、発煙や火災の原因になります。

●電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

**AC アダプターや接続ケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使用しない**

ケーブルから発煙したり火災の原因になります。

**AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しない**

発熱、火災の恐れがあります。

**ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わない**

火災。感電の原因になります。

**ゆるいコンセントに接続しない**

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

**電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない**

電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

**添付の AC アダプターや接続ケーブルは、他の機器に接続しない**

添付の電源ケーブルおよび AC アダプターは本機専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因となることがあります。

**煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜く**

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

**じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない**

火災の原因になります。

## 注意

**本製品を踏まない**

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

**取り付け、取り外しの際は手袋をつける**

ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

●電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

**人が通行するような場所に配線しない**

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

**熱器具のそばに配線しない**

ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

# 使用上のご注意

## 大切なデータを守るために

■定期的にバックアップする。
本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの補償は一切いたしかねます。
■動作中にケーブルを抜いたり、激しく動かしたりしない。
接触不良によりデータ破壊などの原因になります。
■本製品のコネクター部分には直接手を触れない。
静電気が流れ、データが破壊されるおそれがあります。
■パソコンから本製品にアクセス中に電源を切ったり、パソコンをリセットしない。
故障の原因になり、データを消失するおそれがあります。

## 本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

■ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
■本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

## 修理を依頼される際のご注意

本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。
修理センターでは、送付された本製品のハードディスク内のデータをすべて消去します。
必ず、データをバックアップしてから送付してください。

## VCCI について

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

# 本製品全般のご注意

■操作中（設定の変更やファイルのコピー中など）に本製品の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

■本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

■本製品は、USB 接続・LAN 接続に対応しています。USB 接続モードと LAN 接続モードを同時に使うことはできません。

■ USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードでフォルダーを作成してください。USB 接続モードで作成したフォルダーは、LAN 接続モードでは使用できません。

■本製品内蔵ハードディスクは、NTFS でフォーマットされています。LAN 接続モードでは、NTFS の各種属性（暗号ファイル・圧縮ファイル等）には対応しておりません。

■ LAN 接続モードで、NTFS フォーマットの USB ハードディスクを USB[HOST] ポートに接続し、FAT/NTFS 共有モードで使用する場合、NTFS の各種属性（暗号ファイル、圧縮ファイルなど）には、対応しておりません。

■ USB 接続モード時に、本製品のパーティションを変更したり、フォーマットしないでください。
誤って USB 接続モードでパーティションを変更やフォーマットを行った場合は、LAN 接続モードで設定画面よりフォーマットしてご使用ください。

■設定画面で表示されるハードディスク使用領域と Windows からネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。

■本製品に対してチェックディスクを行う場合は、対応 OS の Windows パソコンへ USB 接続モードで接続して行ってください。

■ Windows と Mac OS で共有する場合、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイルやフォルダーが見える場合があります。これは、Mac OSで、フォルダーを作成したりファイルをコピーした際に、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されるためです。このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

■本製品は、RAID対応LAN接続ハードディスクです。本製品出荷時には、スパンニングで構成されております。ミラーリング(RAID1)でご利用になる場合は、LAN 接続モードにて RAID モードの変更が必要となります。

■ RAID モードを変更する場合、本製品内に保存されているデータはすべて消去されます。RAID 変更前に、必要なデータは必ずバックアップしてください。

■ USB 接続モードでは、ファイルの読み書きはできますが、RAID の異常を修復したり、アクティブリペアを実行することができません。使用中に異常があった場合は、LAN 接続モードで起動し、本製品のステータスやログ表示をご確認の上、アクティブリペアを実行してください。

■ USB 接続モードでご使用になる場合は、内蔵ハードディスクが 2 台で正常に RAID を構成できている必要があります。ディスクにエラーが起こっていたり、再構築（リビルド）中や、ハードディスクが 2 台認識できなかった場合などは、USB 接続モードでご使用になれません。（USB 接続モード起動時にブザーが「ピピピ・・・」と鳴り続け、HDD として認識されません。） 正常に USB 接続モードで認識されない場合は、LAN 接続モードで起動し、本製品のステータスやログ表示をご確認ください。

■ Mac OS の TimeMachine 機能でのご利用は保証外となります。

■本製品に AC アダプターと AC ケーブルを接続してから、電源を入れる際は５秒以上お待ちください。

# LAN 接続モード時のご注意

■本製品は、DHCP サーバーがある環境では、自動的に DHCP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCP サーバーのない環境(パソコンにそれぞれ固定の IP アドレスを設定している環境)では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。

■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、リモートアクセス、マイウェブサーバー、ホームメディアリンク機能のみの動作保証となります。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保を行ってください。

■同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の [IP アドレス ] を別のものに変更する必要があります。

■複数のパソコンを接続する場合は、ハブ ( ルーターなど ) が必要となります。

■無線 LAN で接続する場合は、無線アクセスポイントと無線 LAN アダプターを搭載したパソコンが必要となります。

■ LAN 接続モードでご使用の場合は、本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にタイムサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。

■本製品の内蔵ハードディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、本製品の起動時間が通常より数分長くかかる場合があります。

## ●ネットワークで共有する場合の注意

■ファイアウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイアウォールソフト側で、137 ～ 139 番、445 番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。

■接続可能端末数について

本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

| | |
|---|---|
| Windows パソコン | 推奨する同時接続台数は 5 台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。） |
| Mac OS パソコン | 推奨する同時接続台数は 5 台まで（最大 16 台まで） |

■本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、以下の文字数までとなっています。

| | |
|---|---|
| Windows パソコン | 半角 255 文字（全角 85 文字）まで<br>※使用する文字によっては、使用可能な文字数が少なくなる場合があります。 |
| Mac OS パソコン | 半角 255 文字（全角 85 文字）まで |

■リモートアクセス機能

同時接続クライアント数は、3 クライアントまでです。

■ホームメディアリンク機能

・1 台の LAN DISK Home とホームメディアリンククライアントは、2 クライアントまで接続できます。

・同時再生は 2 台まで対応しています。複数のホームメディアリンククライアントで接続する場合、トータルで 2 台まで再生できます。

## ●共有、ユーザーの設定時の注意

■本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる［disk]、[dlna]、[itunes] という共有フォルダーがあります。 新規に共有フォルダーを作成することもできます。

■本製品の LAN 接続モードでは、管理者はすべての共有フォルダーにアクセスする権限をもっています。（Windows パソコンからアクセスする場合のみ）

セキュリティのため、共有フォルダーにアクセス時のパスワードを定期的に変更することをおすすめします。

また、USB 接続モードでは全ての共有フォルダーにアクセスできますのでご注意ください。

■本製品に作成する共有フォルダーには、［全てのユーザー］［指定ユーザー］でアクセス制限を設定することができます。

■本製品に登録可能なユーザー数は最大8個まで、共有フォルダー数は最大 16 個までとなります。

■ユーザー名には数字のみの名称は設定できません。

■コンピュータ名に、数字やハイフン (-) で始まる名称は使用できません。

■共有名に、スペースは使用できません。

■共有名、ユーザー名 ( 小文字のみ )、パスワードはすべて、半角英数字 (ASCII 文字 ) のみが有効となります。

※設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）

## ● USB[HOST] ポートへ USB 機器を接続する際の注意

■ USB[HOST] ポートに接続できる機器については、【接続できる USB 機器】（19-115 ページ）をご覧ください。

■ USB[HOST] ポートには、対応機器以外の機器は接続しないでください。
※ USB ハブも接続できません。最新の対応 USB 機器は、弊社ホームページ http://www.iodata.jp/ をご覧ください。

■デジカメコピー機能や USB クイックコピー機能使用時の注意

・コピー開始、終了、エラーはブザーや [STATUS] ランプで確認してください。
　コピー正常時：　ピッピッピッというブザー音とともに [STATUS] ランプが青点灯
　コピー失敗時：　ピーピーピーというブザー音とともに [STATUS] ランプが赤点滅

・必ず、転送が完了した後、転送内容をパソコンなどによりご確認ください。写真などのデータが消失した場合でも、弊社では補償は一切いたしかねます。

■ファイルコピー中に、USB[HOST] ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。本製品の [STATUS] ランプを確認の上、電源を切ってください。

■デジカメコピーやクイックコピーでは、マスストレージもしくは PTP 転送に対応し、FAT または NTFS 形式のデジカメ、USB メモリーが使用可能です。

■ PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。

■マスストレージモードと PTP モードを切り替えできるデジカメは、マスストレージモードでご利用ください。

■増設用 USB ハードディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、認識時間が通常より数分長くかかる場合があります。

## ●アクティブリペアについて

本製品は、アクティブリペアのスケジュール実行を有効に設定しており、毎月第 1 土曜日午前 0 時 00 分よりアクティブリペアが自動的に開始されます。

アクティブリペアとは、ミラーリング (RAID1) を構成している RAID のディスクの一部に不良セクタが発見された場合、ほかの正常なディスクからデータを読み込んで、異常のあるディスクに書き込むことによって、ディスク不良によるデータ損失を未然に防止する機能です。定期的にアクティブリペアを実行することをおすすめします。

また、アクティブリペアのスケジュールの実行は、本製品の設定画面より、開始日時を変更したり、無効に設定することができます。

・本製品の容量や状態によりますが、ミラーリング (RAID1) 構成の HDL2-S2.0 の場合、アクティブリペア完了までに最大約 9 時間がかかる場合があります。正常動作ですので、安心してご利用ください。
・アクティブリペアの実行される範囲は、スパンニングの場合、システム領域のみになります。ミラーリング (RAID1) の場合、システム領域とデータ領域となります。
・アクティブリペア実行中は、設定画面やその他の動作が遅くなる場合があります。
・アクティブリペア実行中に電源ボタンを押すと、アクティブリペアが中断され、電源は OFF になります。
・アクティブリペア実行中に、スケジュールバックアップ開始時間になった場合、スケジュールバックアップは開始されますが、アクティブリペアとバックアップの所要時間が長くなります。アクティブリペア時間とスケジュールバックアップ時間が同時実行されないように設定することをおすすめします。
・アクティブリペアのスケジュール実行時刻に本製品の電源が OFF の場合、アクティブリペアのスケジュール実行は行われませんので、スケジュール実行時刻には本製品を起動しておいてください。

# USB 接続モード時のご注意

■「Windows XP」、「Mac OS X 10.4」では、USB 接続モードでご利用いただけません。LAN 接続モードでのみご利用いただけます。

■ Mac OS でご使用の場合、USB 接続モード時は読み取り専用となります。Mac OS で USB 接続する際は、OS 標準 NTFS ドライバの仕様で動作します。

■ USB 2.0 インターフェイスでの動作は、弊社製 USB 2.0 インターフェイスにおいて確認を行っております。
その他のインターフェイスとの動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。

■ USB 2.0 でご使用いただくには、USB ポートおよび OS が USB 2.0 に対応している必要があります。
対応していない場合は、USB 1.1 として動作します。

■本製品を添付の USB ケーブルでパソコンに接続する場合、以下のフォルダーおよびファイルが表示されますが、消去しないでください。また、本製品を USB 接続モード時にフォーマットしないでください。
[Autorun]、[disk]、[dlna]、[itunes]、[Autorun.inf]、[EasySetup.ini」、[Program Files]

■ USB 接続モードで保存したデータを、LAN 接続モードでも使用したい場合は、[disk]、[dlna]、[itunes] フォルダーにデータを保存してください。
[dlna] フォルダーは DLNA クライアント公開用の共有フォルダーです。DLNA で公開するコンテンツのみ保存してください。
ネットワーク接続時に、他の DLNA 対応機器から中のデータを参照できます。
[itunes] フォルダーは iTunes サービス公開用の共有フォルダーです。iTunes で公開するコンテンツのみ保存してください。
ネットワーク接続時に他のパソコンの iTunes からデータを参照できます。

■ USB 接続モード時は、USB[HOST] ポートに USB 機器を接続しても使用できません。

# セットアップする

本製品の使い方を選択してください。

## ● USB 接続モードで使用する場合

【USB 接続をする場合】（2-26 ページ）をご覧ください。

**ご注意**

次の制限があります。

- ● Windows XP、Mac OS X（10.4）では、USB 接続モードでご利用いただけません。
- ● Mac OS X(10.5 以降 ) で使用する場合、読み取り専用になります。

## ● LAN 接続モードで使用する場合

ご使用の OS により設定方法が異なります。該当する OS のページをご覧になり、セットアップしてください。

| | |
|---|---|
| Windows 7、Vista の場合 | 【Windows から設定する（EasySetup)】（2-12 ページ）をご覧ください。<br>※ EasySetup にて設定する方法です。（初心者向け） |
| | 【Windows から設定する（Magical Finder)】（2-15 ページ）をご覧ください。<br>※ Magical Finder にて設定する方法です。（上級者向け） |
| Windows XP の場合 | 【Windows から設定する（Magical Finder)】（2-15 ページ）をご覧ください。 |
| Mac OS の場合 | 【Mac OS から設定する】（2-22 ページ）をご覧ください。 |

**ご注意**

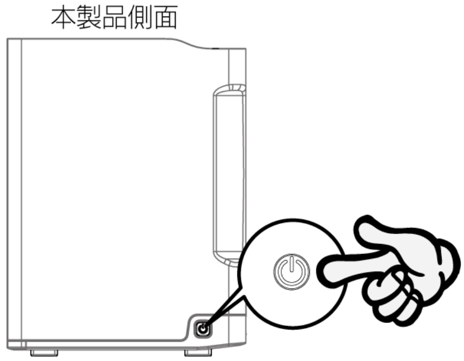
設定は一度のみ行ってください。

- ●本製品をいったんネットワークに導入すると、他の OS からも利用できます。
- ● Windows 7、Visra の場合は、「EasySetup による設定」と「Magical Finder による設定」がありますが、どちらか一方のみ行ってください。

## 重要　電源を切るときは…（LAN 接続時のみ )

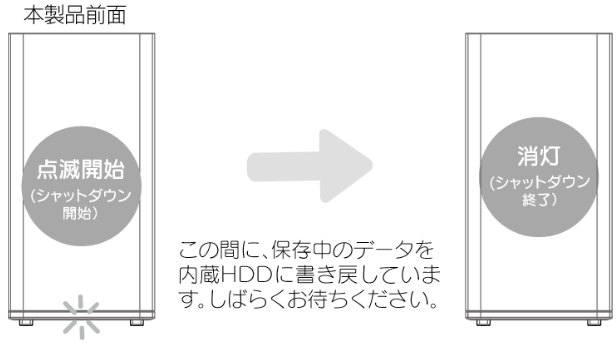
**1** [STATUS］ランプが点滅していないことを確認し、本製品側面の電源ボタンを押します。

本製品側面



**2** [STATUS] ランプが消灯し、自動的に電源が切れます。

本製品前面




**ご注意**

●長期間使用しない場合

AC ケーブルをコンセントから外しておくことをおすすめします。

# Windows から設定する（EasySetup）

**ご注意**

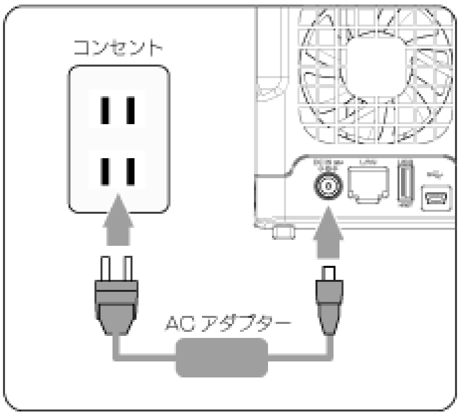
以下は、Windows 7、Windows Vista でのみ設定できます。
Windows XP をお使いの場合は、【Windows から設定する（Magical Finder)】(2-15 ページ）をご覧ください。

## ①ネットワークに導入する

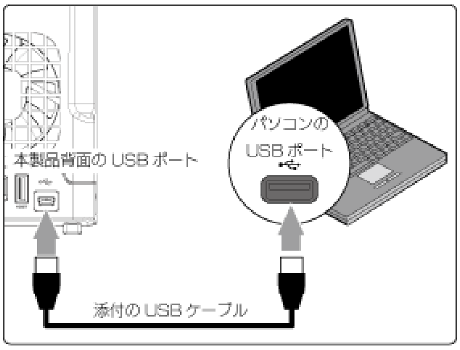
USB でつないでわずか 1 クリックでネットワークの初期設定が完了します。USB で接続せず、はじめから LAN で接続して設定する場合は、【Windows から設定する（Magical Finder)】(2-15 ページ）をご覧ください。

**1** ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認し、パソコンを起動します。

**2** AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品とコンセントに接続します。



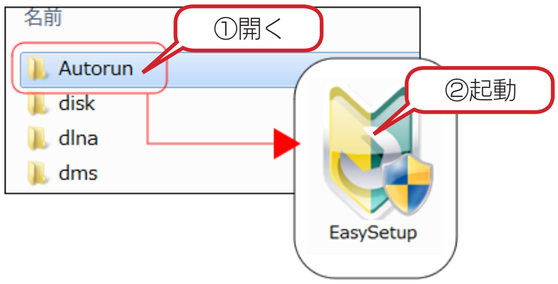

**3** パソコンと本製品を USB 接続し、本製品側面の電源ボタンを押します。







**4** 本製品にアクセスし、[Autorun] → [EasySetup] をダブルクリックなどして起動します。



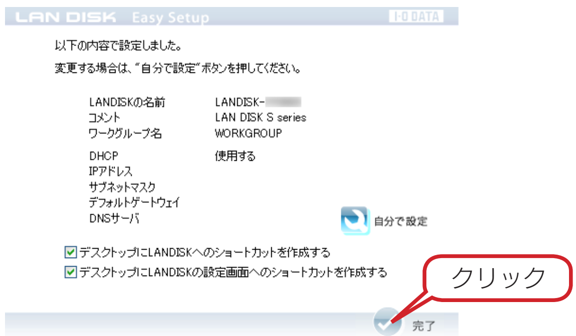

**ご注意**

●アクセス方法
　コンピューター（マイコンピュータなど）から、本製品を開きます。

**5** [ セットアップ開始 ] ボタンをクリックします。
パソコンが接続されているネットワーク構成に合わせて最適な設定がされます。




**6** 設定が完了すると次の画面が開きますので、設定内容を確認し、[ 完了 ] をクリックします。
※設定内容を変更する場合は、[ 自分で設定 ] ボタンをクリックし変更してください。

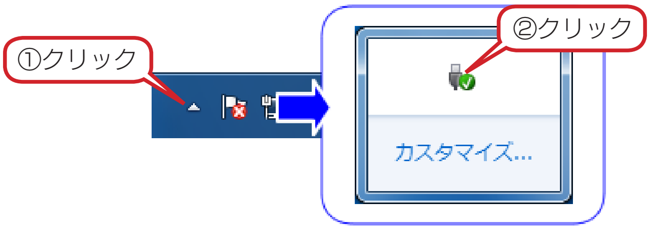


**7** しばらく（約 15 秒）お待ちになり、デスクトップに、以下の 2 つのアイコンが作成されたことを確認します。




**8** 本製品をパソコンから取り外します。
①画面右下のアイコンをクリックします。
② Windows 7の場合は、表示された取り外しアイコンをクリックします。
Windows Vista の場合は、表示された「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。
※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

▼ Windows 7 の場合




▼ Windows Vista の場合




**ご注意**

取り外しができない場合は、起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

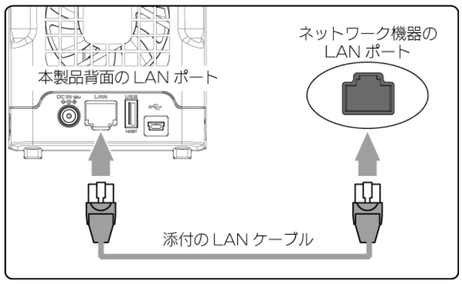
**9** 電源を切ります。
[STATUS] ランプが点滅していないことを確認し、本製品側面の電源ボタンを押します。

**ご注意**

電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

**10** パソコンと本製品背面の USB ポートから、USB ケーブルを取り外します。

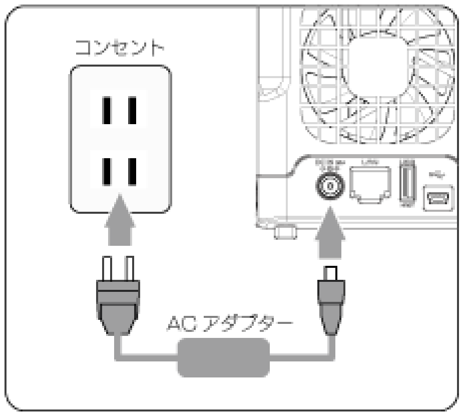
**11** 本製品添付の LAN ケーブルを本製品背面の LAN ポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。




**ご注意**

●必ず、LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。
●本製品に USB ケーブルを挿さないでください。
LAN 接続時は、USB ケーブルを本製品に挿さないでください。

**12** AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品とコンセントに接続します。




**13** 本製品側面の電源ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴り [STATUS] ランプが青色に約 3 分ほど点滅します。完全に起動するまでお待ちください。
※起動が完了すると、「ピー」と音が鳴り ［STATUS］ランプが青色に点灯します。




これで設定は完了です。
次に、本製品にアクセスしてみましょう。

**ご注意**

●以下のような画面が表示された場合




【EasySetupを実行したら選択画面が表示された】(21-138 ページ)をご確認ください。

## ②ネットワークから本製品にアクセスする

| | |
|---|---|
| 1 | デスクトップ上のショートカットをクリックなどで起動すると、本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。 |




| | |
|---|---|
| 2 | 表示された [disk] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。 |

**ご注意**

上記手順でアクセスできない

【③Windowsから本製品にアクセスする】(2-19 ページ)をご覧ください。

**ご注意**

● USB 接続でも使用する場合のご注意

LAN 接続モードで保存したデータを、USB 接続モードでも使用したい場合は、[disk]、[dlna]、[itunes] フォルダーにデータを保存してください。

[dlna] フォルダーは DLNA クライアント公開用の共有フォルダーです。DLNA で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に、他の DLNA 対応機器から中のデータを参照できます。

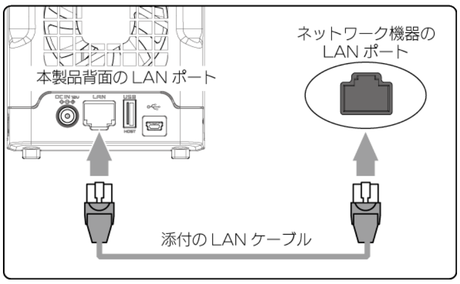
[itunes] フォルダーは iTunes サービス公開用の共有フォルダーです。iTunes で公開するコンテンツのみ保存してください。ネットワーク接続時に他のパソコンの iTunes からデータを参照できます。

# Windows から設定する（Magical Finder）

## ①ネットワークに導入する（Windows）

**1** ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認し、パソコンを起動します。

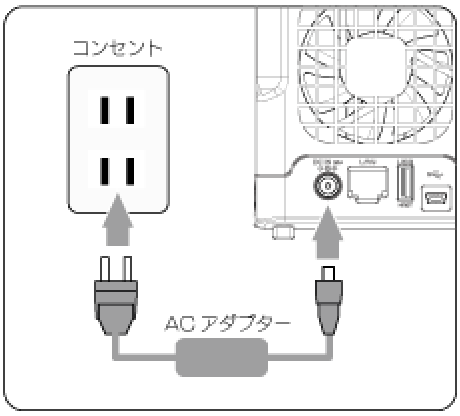
**2** 本製品添付の LAN ケーブルを本製品背面の LAN ポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。




**ご注意**

●必ず、LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

**3** AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品とコンセントに接続します。




**ご注意**

●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
【重要　電源を切るときは…(LAN 接続時のみ)】(2-11 ページ) をご覧ください。

**4** 本製品側面の電源ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴り [STATUS] ランプが青色に約 3 分ほど点滅します。完全に起動するまでお待ちください。
※起動が完了すると、「ピー」と音が鳴り［STATUS］ランプが青色に点灯します。



## ②本製品を設定する（Windows）

| | |
|---|---|
| 1 | パソコンに添付の CD-ROM をセットします。 |

| | |
|---|---|
| 2 | 自動で画面が表示されますので、[Magical Finder 起動 ] ボタンをクリックします。 |

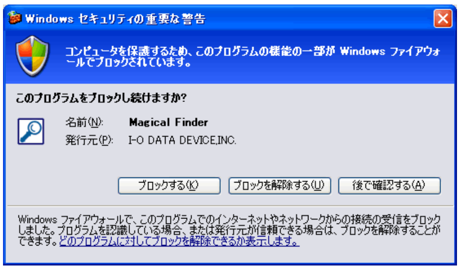



### ご注意

自動で画面が表示されない場合は、[ スタート ] → [ マイコンピューター ] をクリックし、CD-ROM をダブルクリックしてください。

### ご注意

●以下の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。




●以下の画面が表示された場合、[ ブロックを解除する ] をクリックしてください。その後 [ ユーザーアカウント制御 ] の表示がされた場合は、[ 続行する ] をクリックしてください。




| | |
|---|---|
| 3 | 自動で本製品が検索されます。本製品の [STATUS] ランプの色を確認してください。 |

#### 青色で点灯している場合

次に、4 へお進みください。

#### 赤色で点滅している場合

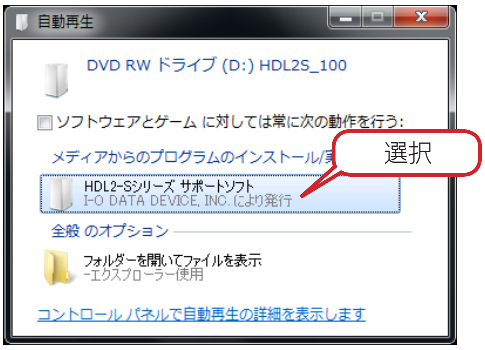
次ページの【IP 設定】を行ってください。
その後、4へお進みください。

### サポートソフトのインストールについて

必要に応じて各種ソフトウェアをインストールしてください。

①パソコンを起動し、添付 CD-ROM をセットします。

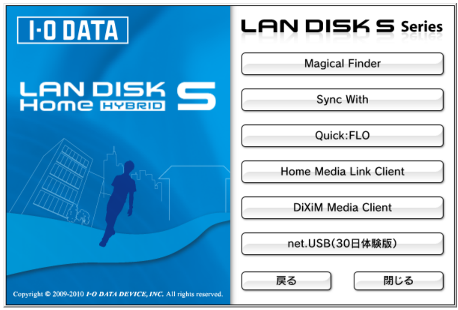
※以下の画面が表示された場合、[HDL2-S シリーズ サポートソフト ] を選択します。([OK] ボタンがある場合はクリックします。)




②[ サポートソフトインストール ] ボタンをクリックします。




③表示された画面から、必要に応じて各種ソフトウェアをインストールしてください。




| | |
|---|---|
| Magical Finder | 本製品を検索したり、IP アドレスの設定を行うことができるソフトウェアです。 |
| Sync With | 指定された 2 つのフォルダーの内容を更新したり、一致させることができるソフトウェアです。【Sync with】(6-63 ページ) を参照してください。 |
| Quick:FLO | 10 コマのサムネイルを表示し、目的の動画を探しやすくする簡単動画管理ソフトです。 |
| Home Media Link Client | DiXiM Media Client などを使って、遠い場所にある本製品のコンテンツをインターネット越しに再生できるようにするソフトウェアです。 |
| DiXiM Media Client | 本製品の DLNA サービスにコピーしたビデオ、ミュージック、フォトコンテンツをパソコンから再生できるソフトウェアです。 |
| net.USB (30 日体験版) | USB 機器を LAN で利用できるようにすることができるソフトウェアです。 |

## ご注意

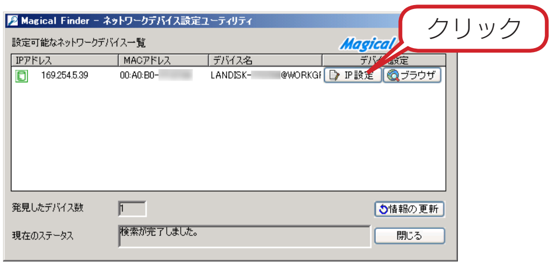
●本製品が検索されない！

対処１　30 秒ほど待ってから［情報の更新］ボタンをクリックしてください。

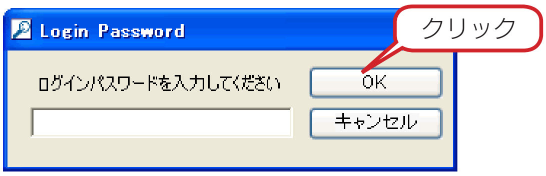
対処２　【[Magical Finder]で本製品が検索されない】(21-140 ページ)をご覧ください。

## IP 設定

①［IP 設定］ボタンをクリックします。

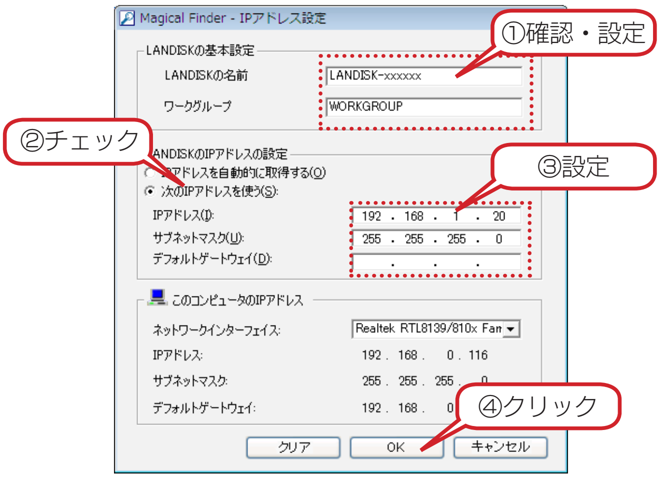



②パスワード入力を求められますが、何も入力せずに［OK］ボタンをクリックします。




③［LAN DISK の名前］［ワークグループ］を確認後、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、［OK］ボタンをクリックします。

※画面の詳細は【●［IP アドレス設定］画面（Windows の場合）】(2-18 ページ)を参照してください。




## ご注意

ネットワーク内に DHCP サーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。

①いったん､本製品の［電源］ボタンを押して本製品の電源を切ります。

② DHCP サーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器がLANケーブルで正しく接続されていることを確認します。

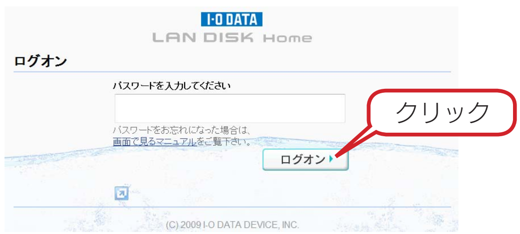
③［電源］ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

※ DHCP サーバーがあるかどうかの確認方法については、別紙【必ずお読みください】の【パソコンの IP アドレス】の項をご覧ください。

**4**　［ブラウザ］ボタンをクリックします。

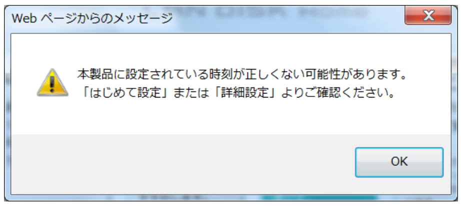



**5**　何も入力せずに、［ログオン］ボタンをクリックします。

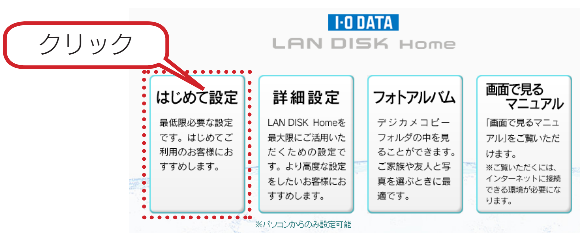



## ご注意

以下の画面が表示された場合は、本製品に設定されている時刻とパソコンの時刻にズレがあります。パソコンの時刻を正確に合わせたうえで、設定画面から時刻設定を行ってください。




**6**　しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。［はじめて設定］をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。



## ●[IP アドレス設定] 画面（Windows の場合）

<table>
<tr><th colspan="3">LAN DISK の基本設定</th></tr>
<tr><td>LAN DISK の名前</td><td colspan="2">ネットワーク上（[マイネットワーク] あるいは［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名称です。<br>下の【注意：[LAN DISK] の名前について】を参照してください。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。<br>※変更する場合は、必ずメモしてください。</td></tr>
<tr><td>ワークグループ</td><td colspan="2">" ワークグループ " はパソコンの " ワークグループ名 " と一致しなければなりません。（パソコンのワークグループ名を確認してください。）<br>ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。<br>※使用できる文字には制限があります。<br>【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><th colspan="3">LAN DISK の IP アドレス設定</th></tr>
<tr><td>IP アドレスを自動的に取得する</td><td colspan="2">ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">次の IP アドレスを使う</td><td colspan="2">固定の IP アドレスを使う場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>本製品に設定する IP アドレスを入力します。<br>※使用しているネットワークのセグメント (IP アドレスのグループ ) をご確認の上、他のネットワーク機器やパソコンの IP アドレスと重複しないように設定してください。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>パソコンと同じサブネットマスクを入力します。<br>画面の［このコンピュータの IP アドレス］欄の［サブネットマスク］と同じ値を入力します。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>パソコンと同じデフォルトゲートウェイを入力します。<br>画面の［このコンピュータの IP アドレス］欄の［デフォルトゲートウェイ］と同じ値を入力します。表示されていない場合、入力する必要はありません。</td></tr>
<tr><th colspan="3">このコンピュータの IP アドレス</th></tr>
<tr><td>ネットワークインターフェイス</td><td colspan="2">パソコンのネットワークインターフェイス（LAN アダプター名など）を表示します。</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td colspan="2">パソコンの IP アドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td colspan="2">パソコンのサブネットマスクを表示します。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td colspan="2">パソコンのデフォルトゲートウェイを表示します。通常、ルーターの IP アドレスが設定されています。設定されていない場合、表示されません。</td></tr>
</table>

**ご注意**

● [LAN DISK] の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに [LANDISK-xxxxxx] の名前が設定されてます。

（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）

MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。

※ MAC アドレスは、0 ～ 9 の数字と A ～ F までのアルファベットで構成されています。

## ③ Windows から本製品にアクセスする

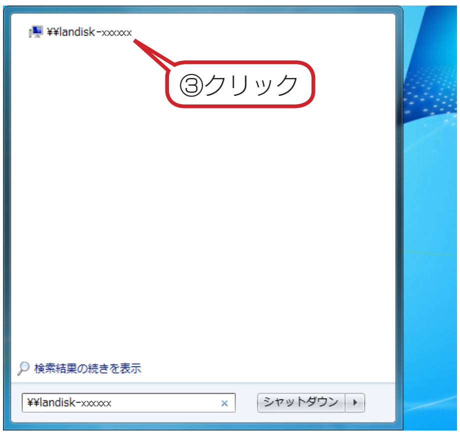
アクセス方法は OS により異なりますので、下記のご使用の OS を参照してください。

【● Windows 7 からアクセスする】(2-19 ページ)
【● Windows Vista からアクセスする】(2-20 ページ)
【● Windows XP からアクセスする】(2-21 ページ)

### ● Windows 7 からアクセスする

| | |
|---|---|
| 1 | [ スタート ] をクリックし、[ プログラムとファイルの検索 ] をクリック後、「¥¥landisk-xxxxxx」と入力します。<br>検索された「landisk-xxxxxx」を選択します。<br>※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。<br>【● [LAN DISK] の名前について】(2-18 ページ)を参照してください。<br>※本製品の「LAN DISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。 |

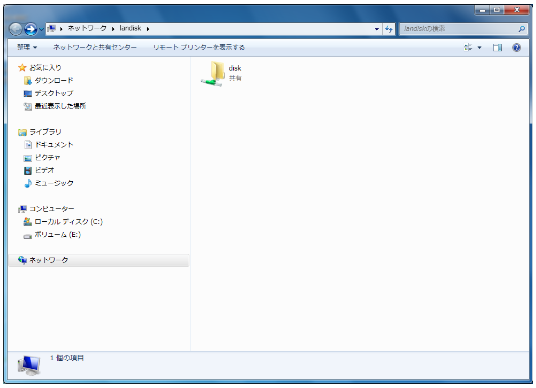



**ご注意**

LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒【[ コンピューターの検索 ] で [landisk-xxxxxx] が見つからない】(21-145 ページ)をご覧ください。

| | |
|---|---|
| 2 | →本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。<br>表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。<br>このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。 |

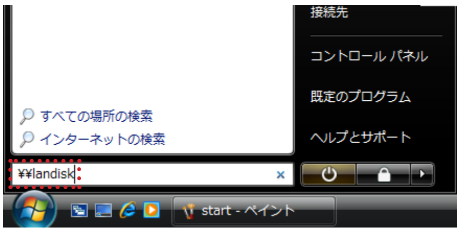


正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

## ● Windows Vista からアクセスする

| 1 | ［スタート］をクリックし、［検索の開始］をクリック後、「¥¥landisk-xxxxxx」と入力し [Enter] キーを押します。<br>※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。<br>【● [LAN DISK] の名前について】（2-18 ページ）を参照してください。<br>※本製品の「LAN DISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。 |
|---|---|

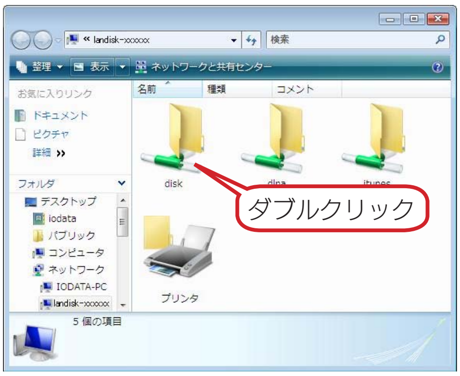


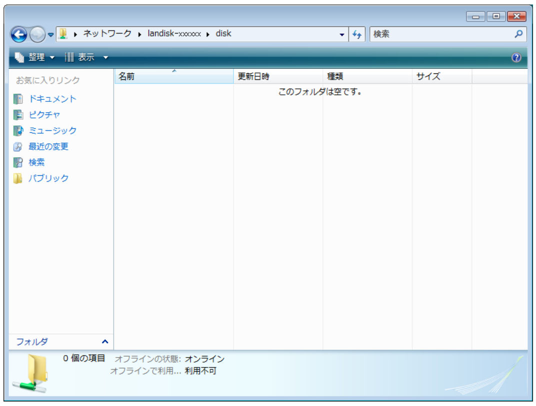
**ご注意**

LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒【[ コンピューターの検索 ] で [landisk-xxxxxx] が見つからない】（21-145 ページ）をご覧ください。

| 2 | 本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。<br>[disk] フォルダーをダブルクリックします。 |
|---|---|



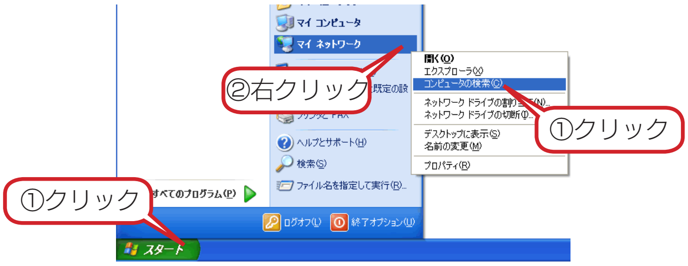

| 3 | 表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。<br>このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。 |
|---|---|



正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

## ● Windows XP からアクセスする

**1** ［スタート］→［マイネットワーク］→［コンピュータの検索］をクリックします。



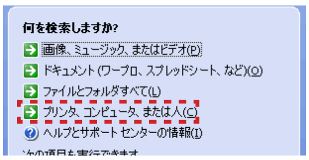

表示に［マイネットワーク］がない場合は、以下の手順を行います。

① ［スタート］→［検索］をクリックします。

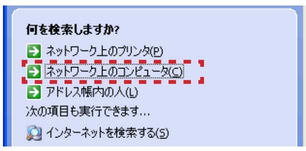
※ Windows Search 画面が起動した場合、[ ここをクリックして検索コンパニオンを使用します。] を選択してください。




②”何を検索しますか?”で［プリンタ、コンピュータ、または人］をクリックします。



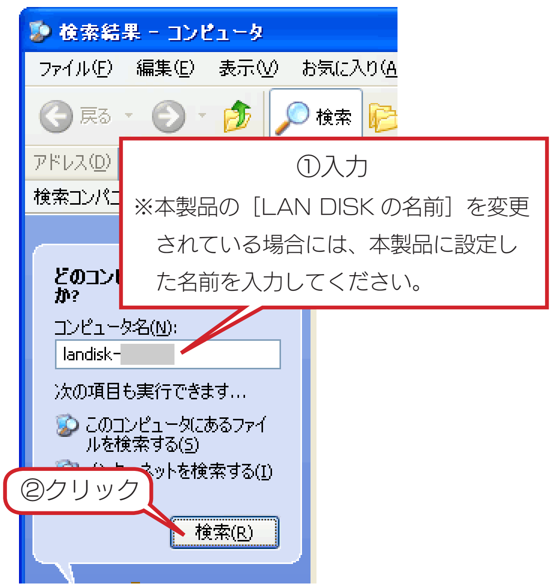

③”何を検索しますか?”で［ネットワーク上のコンピュータ］をクリックします。




**2** [ コンピュータ名 ] に「landisk-xxxxxx」と入力し、[ 検索 ] ボタンをクリックします。

※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。

【● [LAN DISK] の名前について】（2-18 ページ）を参照してください。




**3** 「LAN DISK S Series」が検索されますので、ダブルクリックします。

※表示のされ方は Windows の設定により異なります。

２つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。

Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2 つの LAN DISK が発見されることがあります。

2 つのうちどちらかをダブルクリックしてください。

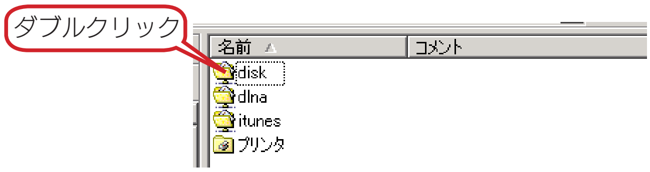
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

**ご注意**

LANDISK-xxxxxx が検索されない！

⇒【[ コンピューターの検索 ] で [landisk-xxxxxx] が見つからない】（21-145 ページ）をご覧ください。

**4** [disk] フォルダーをダブルクリックします。




**5** 表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。

このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

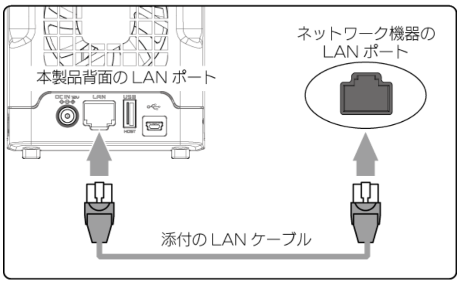
正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

# Mac OS から設定する

## ①ネットワークに導入する (Mac OS)

| | |
|---|---|
| **1** | ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認し、パソコンを起動します。 |

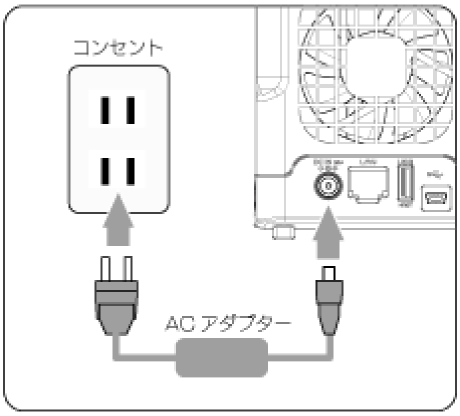
| | |
|---|---|
| **2** | 本製品添付の LAN ケーブルを本製品背面の LAN ポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。 |




**ご注意**

●必ず、LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

| | |
|---|---|
| **3** | AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品とコンセントに接続します。 |




**ご注意**

●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
【重要　電源を切るときは…(LAN 接続時のみ)】(2-11 ページ)をご覧ください。

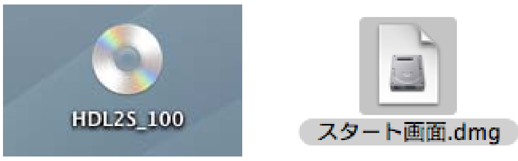
| | |
|---|---|
| **4** | 本製品側面の電源ボタンを押します。<br>「ピッ」と音が鳴り [STATUS] ランプが青色に約 3 分ほど点滅します。完全に起動するまでお待ちください。<br>※起動が完了すると、「ピー」と音がなります。 |



## ②本製品の設定をする（Mac OS）

| 1 | パソコンに添付の CD-ROM をセットします。 |
|---|---|

| 2 | 表示されたアイコンを開き、[ スタート画面 .dmg] をダブルクリックします。 |
|---|---|

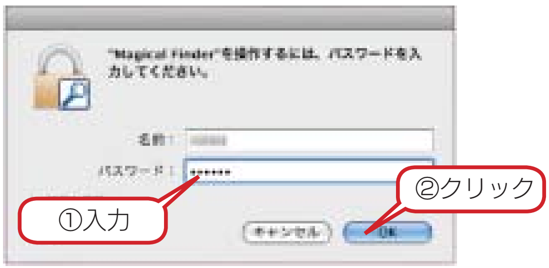



| 3 | 表示された画面内の [Magical Finder] アイコンをダブルクリックします。 |
|---|---|




### ご注意

認証画面が表示された場合、お使いのパソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。




| 4 | 自動で本製品が検索されます。<br>本製品の [STATUS] ランプの色を確認してください。 |
|---|---|

### 青色で点灯している場合

次に、5 へお進みください。

### 赤色で点滅している場合

右の【IP 設定】を行ってください。
その後、5 へお進みください。

### ご注意

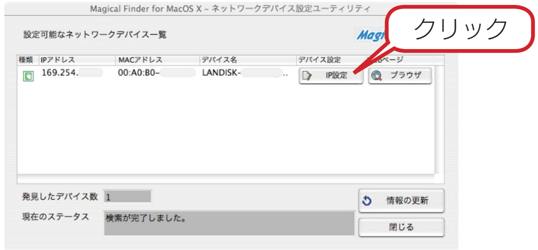
●本製品が検索されない！

対処 1　30 秒ほど待ってから [ 情報の更新 ] ボタンをクリックしてください。

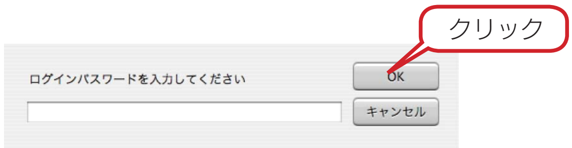
対処 2　【[Magical Finder] で本製品が検索されない】(21-140 ページ)をご覧ください。

### IP 設定

① [IP 設定 ] ボタンをクリックします。




②パスワード入力を求められますが、何も入力せずに [OK] ボタンをクリックします。

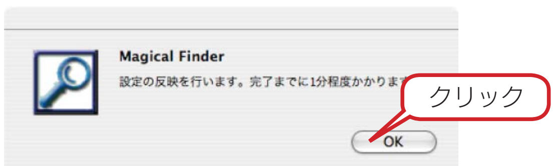



③ [LAN DISK の名前] [ワークグループ] を確認後、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、[OK] ボタンをクリックします。

※画面の詳細は【● [IP アドレス設定] 画面（Mac OS の場合)】(2-24 ページ)を参照してください。




④ [OK] ボタンをクリックします。



## ご注意

ネットワーク内に DHCP サーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。

①いったん、本製品の [電源] ボタンを押して本製品の電源を切ります。

② DHCP サーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器がLANケーブルで正しく接続されていることを確認します。

③［電源］ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

※ DHCP サーバーがあるかどうかの確認方法については、別紙【必ずお読みください】裏面の【パソコンの IP アドレス】の項をご覧ください。

**5** [ ブラウザ ] ボタンをクリックします。




**6** 何も入力せずに、[ ログオン ] ボタンをクリックします。




## ご注意

以下の画面が表示された場合は、本製品に設定されている時刻とパソコンの時刻にズレがあります。パソコンの時刻を正確に合わせたうえで、設定画面から時刻設定を行ってください。




**7** しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。［はじめて設定］をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。




## ● ［IP アドレス設定］画面（Mac OS の場合）

| LAN DISK の基本設定 | |
|---|---|
| LAN DISK の名前 | ネットワーク上（［マイネットワーク］あるいは［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名称です。<br>下の【注意：[LAN DISK] の名前について】を参照してください。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。<br>※変更する場合は、必ずメモしてください。 |
| ワークグループ | " ワークグループ " はパソコンの " ワークグループ名 " と一致しなければなりません。（パソコンのワークグループ名を確認してください。）<br>ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。<br>※使用できる文字には制限があります。<br>【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。 |
| IP アドレス | 画面下の「■このコンピュータの IP アドレス」内の「IP アドレス」を参考に、末尾の値がパソコンや他のネットワーク機器と重複しない値に設定します。 |
| サブネットマスク | 画面下の「■このコンピュータの IP アドレス」内の「サブネットマスク」と同じ値を設定します。 |
| デフォルトゲートウェイ | 画面下の「■このコンピュータの IP アドレス」内の「デフォルトゲートウェイ」と同じ値を設定します。<br>※値が表示されていない場合は設定を空欄にします。 |

## ご注意

● [LAN DISK] の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに [LANDISK-xxxxxx] の名前が設定されてます。

（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）

MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。※ MAC アドレスは、0 ～ 9 の数字と A ～ F までのアルファベットで構 成されています。

## ③ Mac OS から本製品にアクセスする

### [ ステップ1]
### 本製品の IP アドレスを確認します

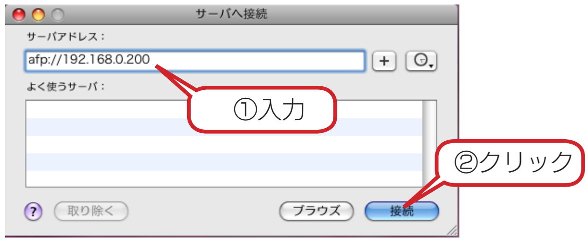
本製品の IP アドレスをメモしてください。
[Magical Finder] の [IP アドレス ] の項目に表示されている内容が、本製品の IP アドレスです。




### [ ステップ 2]
### IP アドレスを指定してアクセスします

**1** [ 移動 ] メニュー→ [ サーバへ接続 ] をクリックします。

**2** [ サーバへ接続 ] 画面が表示されますので、以下を [ サーバーアドレス ] へ入力後、[ 接続 ] ボタンをクリックします。
afp:// 本製品の IP アドレス /
※画面は、本製品の IP アドレスが [192.168.0.200] での例です。




**3** [ ゲスト ] を選択し、[ 接続 ] をクリックします。




**4** [disk] を選択し、[OK] をクリックします。




**5** 本製品の共有フォルダー（[disk]）が表示されます。



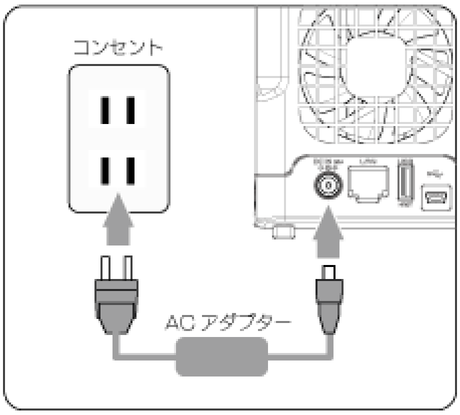
# USB 接続をする場合

**ご注意**

- USB 接続モード時に、本製品のパーティションを変更したり、フォーマットしないでください。フォーマットを行う場合は必ず LAN 接続モードで行ってください。データを消失するおそれがあります。
- Windows XP、Mac OS X（10.4）では、USB 接続モードでご利用いただけません。
- Mac OS X(10.5 以降 ) で使用する場合、読み取り専用になります。

## パソコンに接続する

**1** AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品とコンセントに接続します。

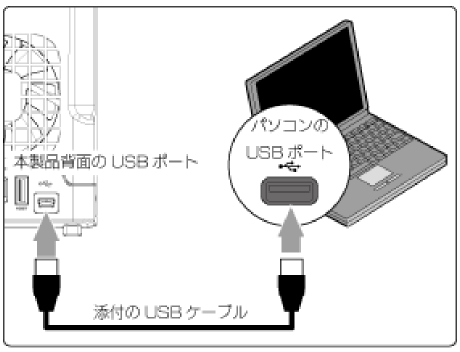



**ご注意**

●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
【パソコンから取り外す場合】（2-27 ページ）をご覧ください。

**2** 設定に使用するパソコンを起動します。

**3** パソコンと本製品を USB 接続し、本製品側面の電源ボタンを押します。







**4** 外付けハードディスクとして認識されます。

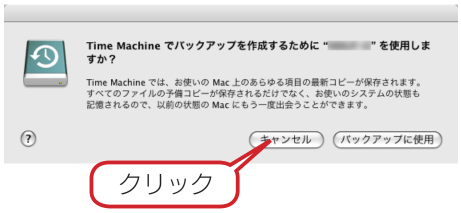
- Windows の場合
  [ コンピューター ]( マイコンピュータ ) などからアクセスできます。

- Mac OS の場合
  デスクトップ上に表示された [LAN_DISK_S] を開きます。




**ご注意**

● Time Machine 機能の画面が表示された場合
本製品を Mac OS パソコンに接続した際に TimeMachine 機能の画面が表示された場合は、[ キャンセル ] ボタンをクリックしてください。
※ TimeMachine 機能でのご利用は保証外となります。
有効にした場合は、【TimeMachine 機能を有効にしてしまった】（21-143 ページ）をご覧ください。

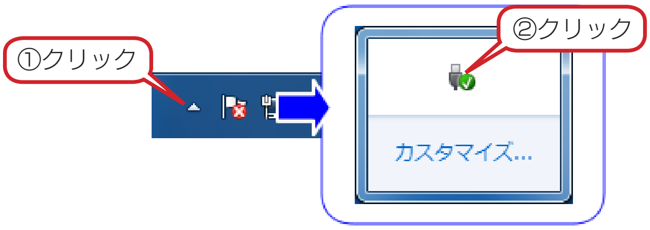


## パソコンから取り外す場合

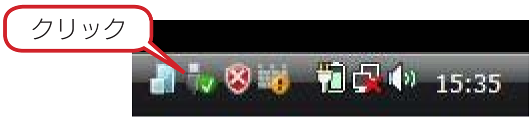
### ● Windows の場合

**1** 本製品の [STATUS] ランプが点滅していないことを確認します。
①画面右下のアイコンをクリックします。
② Windows 7の場合は、表示された取り外しアイコンをクリックします。
Windows Vista の場合は、表示された「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。
※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

▼ Windows 7 の場合




▼ Windows Vista の場合




**ご注意**

●取り外しができない場合
起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

**2** [STATUS] ランプが点滅していないことを確認し、側面の電源ボタンを押します。
→ [STATUS] ランプが消灯します。

**ご注意**

●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

**3** パソコンと本製品背面の USB ポートから、USB ケーブルを取り外します。

### ● Mac OS の場合

**1** 本製品の [STATUS] ランプが点滅していないことを確認し、[LAN_DISK_S] アイコンをゴミ箱へドラック＆ドロップします。




**2** [STATUS] ランプが点滅していないことを確認し、側面の電源ボタンを押します。
→ [STATUS] ランプが消灯します。

**ご注意**

●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

**3** パソコンと本製品背面の USB ポートから、USB ケーブルを取り外します。

# 設定メニューを開く

本製品の設定メニューの開き方を説明します。

ご使用の OS により方法が異なります。該当するページをご覧ください。

| | |
|---|---|
| Windows 7、Vista の場合 | ● EasySetup にて設定した場合<br>【Windows から開く（EasySetup)】（2-28 ページ）をご覧ください。 |
| | ● Magical Finder にて設定した場合<br>【Windows から開く（Magical Finder)】（2-29 ページ）をご覧ください。 |
| Windows XP の場合 | 【Windows から開く（Magical Finder)】（2-29 ページ）をご覧ください。 |
| Mac OS の場合 | 【Mac OS から開く】（2-30 ページ）をご覧ください。 |

## Windows から開く（EasySetup）

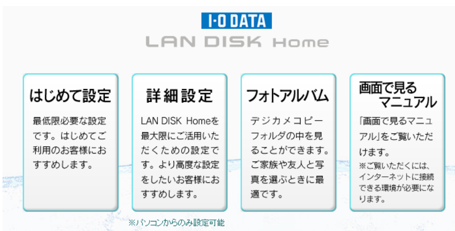
| | |
|---|---|
| 1 | デスクトップ上に作成された [LANDISK-xxxxxxWEB 設定画面 ] アイコンを起動します。 |




| | |
|---|---|
| 2 | ［ログオン］画面が表示されます。<br>管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません)、［OK］ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| 3 | しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。 |



# Windows から開く（Magical Finder）

**1** パソコンを起動し、添付の CD-ROM をセットします。

**2** 自動で画面が表示されますので、[Magical Finder 起動 ] ボタンをクリックします。

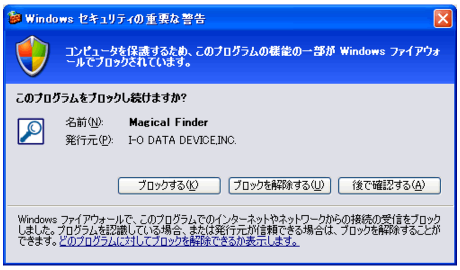



## ご注意

自動で画面が表示されない場合は、[ スタート ] → [ マイコンピューター ] をクリックし、CD-ROM をダブルクリックしてください。

## ご注意

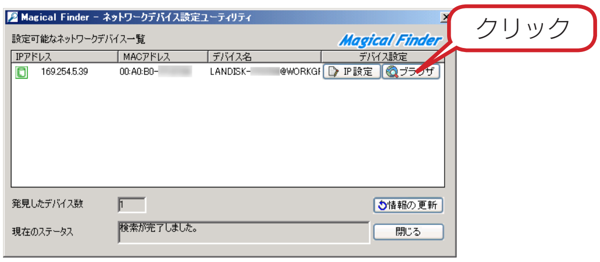
●以下の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する］をクリックしてください。




●以下の画面が表示された場合、[ ブロックを解除する ] をクリックしてください。その後 [ ユーザーアカウント制御 ] の表示がされた場合は、[ 続行する ] をクリックしてください。




**3** 自動で本製品が検索されますので、[ ブラウザ ] ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 〜 2 分かかる場合があります。




## ご注意

●本製品が検索されない！
対処 1　30 秒ほど待ってから [ 情報の更新 ] ボタンをクリックしてください。
対処 2　【[Magical Finder] で本製品が検索されない】(21-140 ページ) をご覧ください。

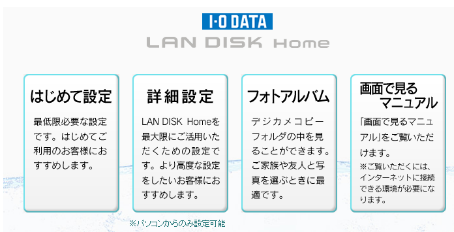
**4** [ログオン］画面が表示されます。
管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK］ボタンをクリックします。




## ご注意

「管理者パスワードが違います」と表示された！
対処:【パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない】(21-150 ページ) をご覧ください。

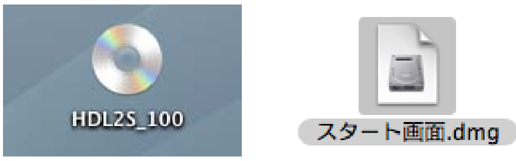
**5** しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。



## Mac OS から開く

**1** パソコンを起動し、添付の CD-ROM をセットします。

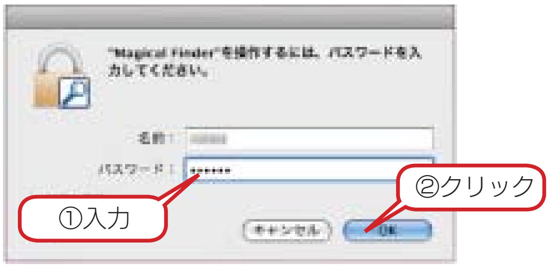
**2** 表示されたアイコンを開き、[ スタート画面 .dmg] をダブルクリックします。




**3** 表示された画面内の [Magical Finder] アイコンをダブルクリックします。




**4** お使いの Mac OS に設定してあるパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。




**5** 自動で本製品が検索されますので、[ ブラウザ ] ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 ～ 2 分かかる場合があります。




**ご注意**

●本製品が検索されない！

対処１　30 秒ほど待ってから [ 情報の更新 ] ボタンをクリックしてください。

対処２　【[Magical Finder] で本製品が検索されない】(21-140 ページ)をご覧ください。

**6** ［管理者パスワードの入力］画面が表示されます。管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、［OK］ボタンをクリックします。




**ご注意**

「管理者パスワードが違います」と表示された！

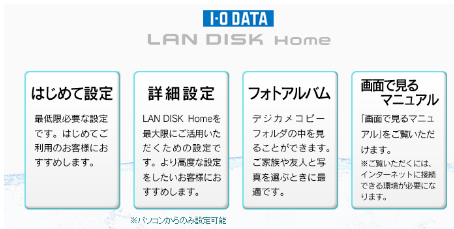
対処:【パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない】(21-150 ページ)をご覧ください。

**ご注意**

以下の画面が表示された場合は、本製品に設定されている時刻と実際の時刻にズレがあります。設定画面から時刻設定を行ってください。




**7** しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。



# はじめて設定

[ はじめて設定 ] では、本製品をご利用いただく際に最低限必要な設定を簡単に行うことができます。

**1** ［はじめて設定］をクリックします。




**2** 本製品の名前を変えることができます。
「LANDISK」などお好きな名前に変更します。
設定したら、［次へ］をクリックします。




**3** 本製品の IP アドレスを設定できます。
初期設定値では自動的に IP アドレスを取得する設定になっていますが、IP アドレスが取得できない場合は、手動にて設定することもできます。




**4** 時刻設定と省電力モードの設定ができます。
時刻設定は同期するにチェックをつけます。
省電力モードを使用する場合は、[ 有効 ] にチェックを付け、省電力モードに入るまでの時間を選択します。
※省電力モードとは、一定時間アクセスがない場合にハードディスクのモーターを停止させ、電力消費を抑えるモードです。液晶テレビなどに直結させる場合は省電力モードを無効にしてください。




**5** 設定した内容の確認をして、［設定する］ボタンをクリックします。
設定中は電源を切らないでください。




次の画面が表示されたら、設定完了です。



# 詳細設定

［詳細設定］では、本製品の各種設定ができます。詳細設定画面はパソコンからのアクセスのみサポートしています。

| 1 | ［詳細設定］をクリックします。 |
|---|---|




| 2 | 本製品の設定画面が表示されます。<br>詳しくは、【設定画面のリファレンス】(20-125 ページ)をご覧ください。 |
|---|---|




| | |
|---|---|
| ネットワーク | 本製品のネットワーク設定をします。 |
| 共有フォルダ | 共有フォルダーを表示します。 |
| ユーザー管理 | 新しいユーザーを登録します。 |
| DLNA 設定 | DLNA に関する設定をします。 |
| iTunes 設定 | iTunes に関する設定をします。 |
| iTunes 更新 | iTunes サーバーを自動的に更新するための設定をします。 |
| USB ポート設定 | USB ポートに関する設定をします。 |
| デジカメバックアップ | デジカメバックアップ、リストア（復元）に関する設定をします。 |
| スケジュールバックアップ | 内蔵ディスクのファイルすべてを USB[HOST] ポートに接続した増設ハードディスクへバックアップするための設定をします。 |
| iobb.net 設定 | ダイナミック DNS サービス「iobb.net」についての設定をします。 |
| リモートリンク | リモートリンクの設定をします。 |
| マイウェブサーバー | マイウェブサーバーの設定をします。 |
| BitTorrent 設定 | BitTorrent に関する設定をします。 |
| 時刻設定 | 時刻の設定をします。 |
| ディスク | ディスクに関する設定をします。 |
| システム初期化 | システムの初期化を行います。 |
| ファームウェアの更新 | ファームウェアの更新をします。 |
| システムシャットダウン | システムのシャットダウンや再起動をします。 |
| UPS 設定 | UPS に関する設定を行います。 |
| ログ表示 | ログを表示します。 |
| メール基本設定 | 本製品のログなどを送信するメールの設定を行います。 |
| イベント設定 | システムログ、お知らせ通知などのメール送信先を設定します。 |
| 管理者パスワード | 管理者パスワードを設定します。 |

# フォトアルバム

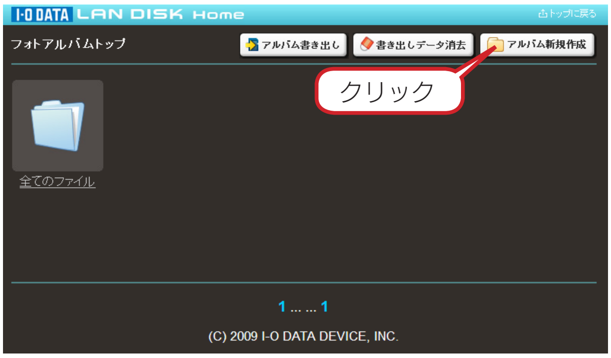
［フォトアルバム］では、デジカメコピー機能で取り込んだ写真データをアルバムに登録したり、見ることができます。

## アルバムを登録する

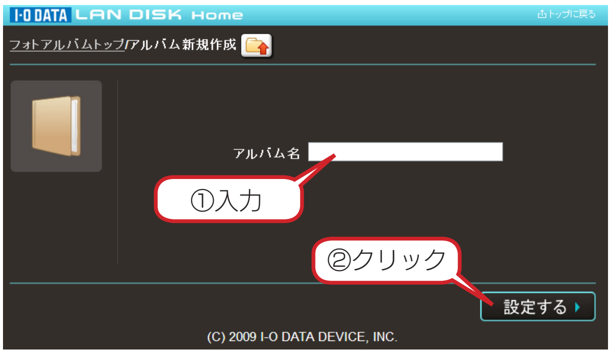
**1** ［フォトアルバム］をクリックします。



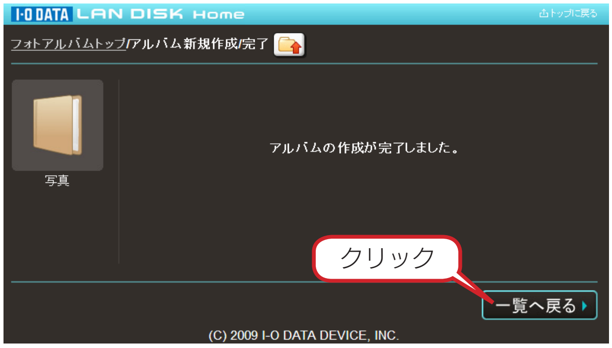

**2** ［アルバム新規作成］ボタンをクリックします。
※デジカメコピー機能を実行後、フォトアルバムに写真が追加できるようになります。




**3** ［アルバム名］を入力し、［設定する］ボタンをクリックします。




**4** 「アルバムの作成が完了しました。」と表示されたら、［一覧へ戻る］ボタンをクリックします。




**5** 作成したアルバムへ写真を登録します。
①［全てのファイル］をクリックします。
②アルバムに登録したい写真にチェックをつけます。




▼

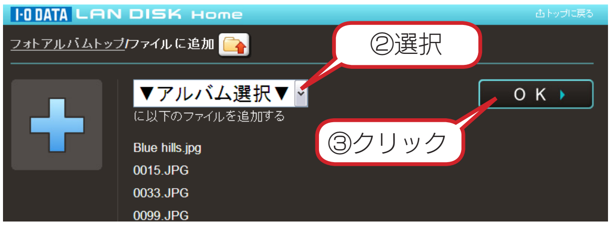



**●各ボタンについて**

| | |
|---|---|
| [+ アルバムに追加 ] | 選択した写真をアルバ ムに追加 |
| [ 全て選択 / 全て削除 ] | 全ての写真にチェックをつける / つけない |
| [ 削除 ] | 選択した写真を削除 |

| 6 | [ ＋アルバムに追加 ] ボタンをクリックし、表示された画面で作成したアルバムを選択して、[OK] ボタンをクリックします。 |
|---|---|




**ご注意**

1つのアルバムにつき、写真の登録枚数は、1000 枚以下となるようにご利用ください。

これでアルバムへの登録は完了です。

# アルバムをメモリーカードに書き出す

「フォトアルバム」機能で整理・作成したアルバムをリーダーライターにセットしたメモリーカードに書き出すことができます。

自宅の大画面テレビでじっくり見ながら選んだ写真をメモリーカードに書き出して、プリント店に持っていくと、スピーディーに希望の写真をプリント・現像してもらえます。

※使用可能なリーダーライターについては、弊社ホームページでご確認ください。(http://www.iodata.jp/)

[ アルバム書き出し ] で書き出されたメモリーカード内のデータは、次回 [ アルバム書き出し ] 実行時には自動的に前回書き出したデータを消去して、新たに書き出しを行います。

**1** アルバムを作成し書き出したい写真をアルバムに登録します。

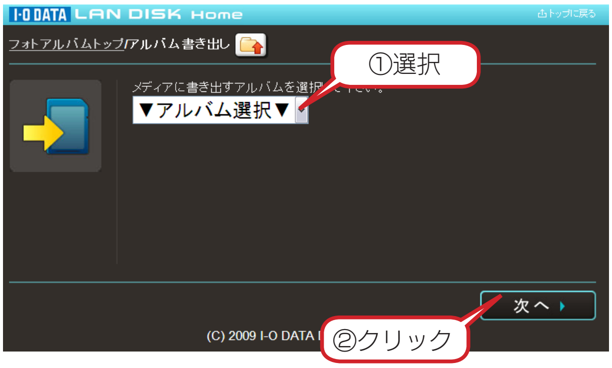
【フォトアルバム】(3-33 ページ)

**2** 書き出し先となるメモリーカードをリーダーライターにセットし、本製品の USB[HOST] ポートに接続します。

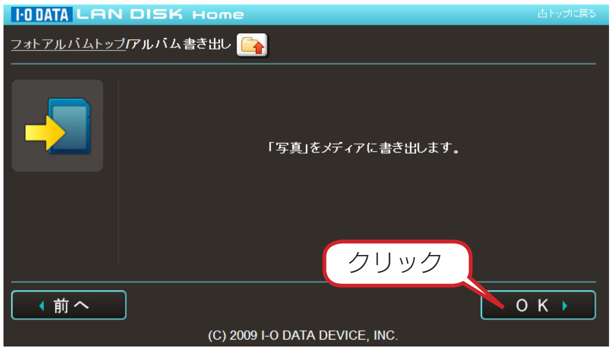
**3** [ フォトアルバムトップ ] ページの [ アルバム書き出し ] ボタンをクリックします。



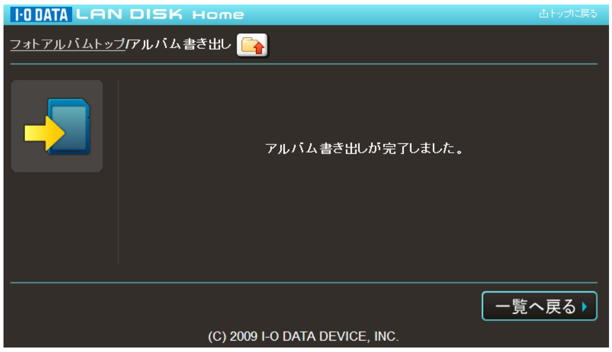

**4** アルバム選択画面で作成したアルバムを選び [ 次へ ] ボタンをクリックします。




**5** 確認画面が表示されるので、選んだアルバムに間違いがないことを確認し [OK] ボタンをクリックします。




**6** 書き出しが完了すると以下の画面が表示されますので、USB[HOST] ポートからリーダーライターを取り外します。




これでアルバム書き出しは完了です。

> [アルバム書き出し] で書き出したメモリーカード内のデータは、次回 [アルバム書き出し] 実行時に、自動的に前回書き出したデータを消去して、新たに書き出しを行います。

# 書き出したデータを消去する

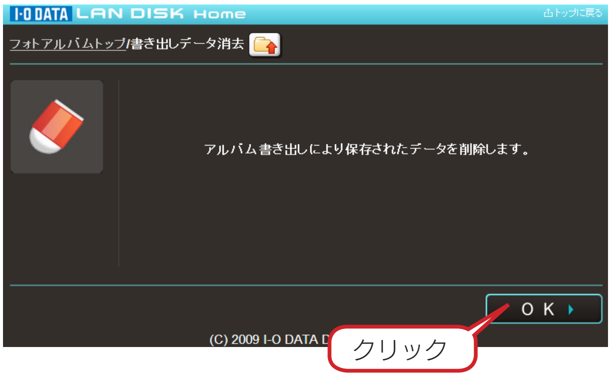
書き出したデータを消去したい場合は、以下の操作で消去することもできます。

**1** 書き出したデータを消去したいメモリーカードをリーダーライターにセットし、本製品の USB[HOST] ポートに接続します。

**2** [ フォトアルバムトップ ] ページの [ 書き出しデータ消去 ] ボタンをクリックします。




**3** [OK] ボタンをクリックします。




**4** 消去が完了すると以下の画面が表示されますので、USB[HOST] ポートからリーダーライターを取り外します。




これでアルバムへ書き出したデータの消去は完了です。

# フォトアルバム機能のリファレンス

## ●トップページ




| 項目 | 設定する内容 |
|---|---|
| アルバム書き出し | 選択したアルバムに登録してある写真をメモリーカードに書き出します。 |
| 書き出しデータ消去 | [ アルバム書き出し ] を行ったメモリーカード内の書き出しデータを消去します。 |
| アルバム新規作成 | アルバムを新規に作成します。フォトアルバム機能を利用するには、まずアルバムを新規に作成することから始まります。【フォトアルバム】（3-33 ページ）を参照してください。 |
| スライドショー | アルバム内の写真をスライドショー形式で閲覧します。 |
| 編集 | アルバムのタイトルを編集します。 |
| 削除 | 作成したアルバムを削除します。 |

## ●一覧ページ




| 項目 | 設定する内容 |
|---|---|
|  | ひとつ上の階層に戻ります。 |
| 全て選択 | 全ての写真（チェックボックス）にチェックをつけます。 |
| 全て解除 | 全ての写真（チェックボックス）にチェックを外します。 |
| アルバムに追加 | チェックボックスにチェックを入れ、選択した写真をアルバムに登録します。<br>写真の登録推奨枚数は、１つのアルバムにつき 1000 枚以下です。 |
| 削除 | チェックボックスにチェックを入れ、選択した写真を LAN DISK から削除します。 |

## ●詳細ページ







| 項目 | 設定する内容 |
|---|---|
| 表示方法の切り替え | 詳細情報の表示 / 非表示を切り替えます。 |

## ●スライドショー

[ スライドショー ] のボタンを押すと、スライドショーの設定画面になります。




| 項目 | 設定する内容 |
|---|---|
| 切り替え速度 | 画面の切り替わる速度を設定します。(5 段階) |
| ランダム再生 | スライドショーで表示する順番をランダムにしたい場合、ON にします。 |
| リピート再生 | スライドショーをリピートで再生したい場合、ON にします。 |
| 開始 | スライドショーを開始します。 |

# 共有フォルダーを使う

## 共有フォルダーのアクセス権

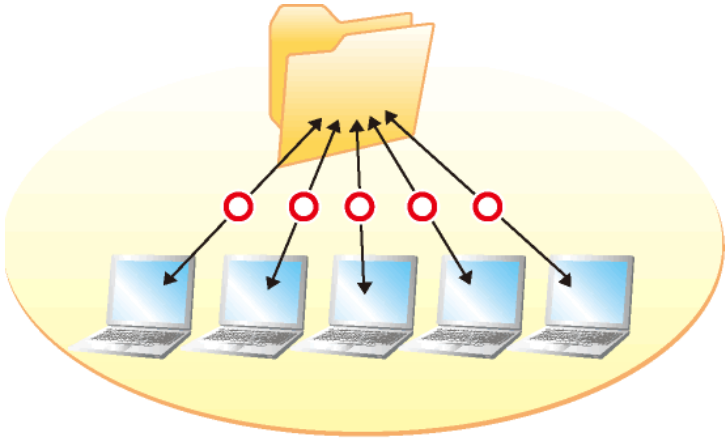
本製品の設定画面上で作成できる「共有」(アクセス権限)には以下の2つ(全共有、ユーザー共有)の種類があります。

### ●全共有(全てのユーザーを許可)

ネットワークに接続されている全てのパソコンから自由にファイルの読み書きができる共有です。

ネットワークにログオン時のユーザー名やパスワードに関係なく、そのままでアクセスできますので、ユーザー管理を行う必要がありません。

本製品に初期設定で登録されている「disk」、「dlna」、「itunes」の各フォルダーも全共有のフォルダーになります。



有効にできる共有サービス:

○ Microsoft ネットワークファイル共有
○ AppleShare ネットワークファイル共有
○ DLNA Server で公開
○ iTunes Server で公開
○リモートアクセス共有

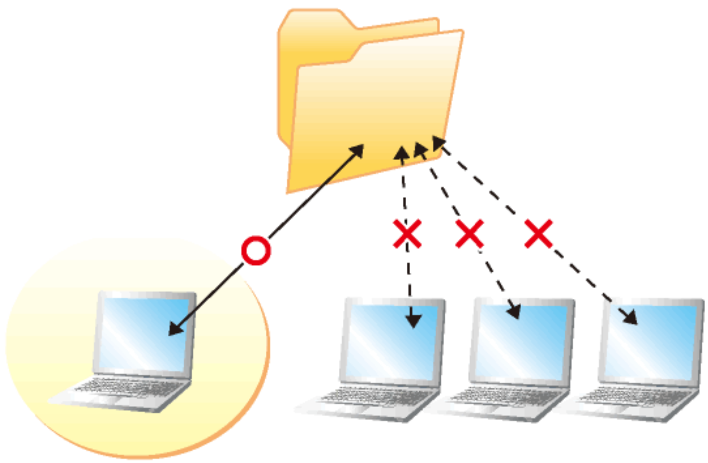
### ●ユーザー共有(指定したユーザーのみ許可)

特定の単一ユーザーのみが読み書きできる共有です。

この共有にアクセスするためには、ネットワークにログオン時に特定ユーザーのユーザー名、パスワードの入力が必要です。

特定のユーザー以外でも共有フォルダーの存在を知ることはできますが、中に入ってファイルを見たり、ファイルやフォルダーを作成することはできません。

本製品でこの共有を作成するためには、まず本製品にユーザー登録が必要です。



有効にできる共有サービス:

○ Microsoft ネットワークファイル共有
○ AppleShare ネットワークファイル共有
× DLNA Server で公開
× iTunes Server で公開
○リモートアクセス共有

**ご注意**

マイウェブサーバーを使用する場合は、公開する共有フォルダーを全共有にする必要があります。

# ネットワーク上での本製品の表示

ネットワーク上から本製品に作成した、あるいは作成されている共有フォルダーを通して、ネットワーク上の複数台のパソコンでファイルを共有することができます。
以下は、ネットワーク上から本製品にアクセスした場合に表示されている共有フォルダーの例です。

| 共有フォルダー名 | 説明 |
|---|---|
| disk | 本製品出荷時にすでに作成されている内蔵ハードディスクの共有フォルダーです。<br>アクセス権限は［全てのユーザーを許可］として作成されているため、すべてのユーザーからアクセスできます。 |
| dlna | 本製品出荷時にすでに作成されている DLNA クライアント公開用の共有フォルダーです。<br>DLNA で公開するコンテンツのみ入れてください。<br>アクセス権限は［全てのユーザーを許可］として作成されているため、すべてのユーザーからアクセスできます。 |
| itunes | 本製品出荷時にすでに作成されている iTunes サービス公開用の共有フォルダーです。<br>iTunes で公開するコンテンツのみ入れてください。<br>アクセス権限は［全てのユーザーを許可］として作成されているため、すべてのユーザーからアクセスできます。 |

# [ ごみ箱 ] フォルダーについて

ごみ箱機能が有効となっている共有フォルダーからファイルを削除しても、すぐにファイルがなくなるわけではなく、いったん［ごみ箱］フォルダーに保管されます。
ごみ箱機能は、初期設定で無効となっています。
（設定は、[共有管理] → [共有フォルダー一覧] 画面で行います。新しく [ごみ箱機能] を有効・無効にする共有フォルダーを作成したり、すでに作成済みの共有フォルダーに［ごみ箱機能］を有効・無効に設定することもできます。）

| | |
|---|---|
| 新規で［ごみ箱機能］を有効にする共有フォルダーを作成する場合 | 【共有フォルダーを作成する】（4-41 ページ） |
| すでに作成済みの共有フォルダーに［ごみ箱機能］を有効・無効にする場合 | 【共有フォルダーの設定を変更する】（4-44 ページ） |
| ［ごみ箱］フォルダーからファイルを戻す手順 | 【[ ごみ箱 ] フォルダーからファイルを戻す】（4-43 ページ） |

▼［disk］フォルダーの［ごみ箱機能］が有効にされている例
（［disk］フォルダー下のファイルを消去すると［ごみ箱］フォルダーが自動で作成されます。）




**ご注意**

- Windows（Microsoft ネットワーク ファイル共有）とリモートアクセス共有でのみ利用できます。
- ［ごみ箱］フォルダー内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダー内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダー内のファイルを削除されることをおすすめします。
- ［ごみ箱］フォルダー内のファイルを削除すると、該当ファイルはハードディスクから完全に消去されますのでご注意ください。
- ［ごみ箱］フォルダーは、ファイルを消去してはじめて表示されます。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。
  知らないうちに［ごみ箱］フォルダーにファイルが大量に存在している場合がありますので、定期的に［ごみ箱］フォルダー内を確認することをおすすめします。

# 共有フォルダーを作成する

特定のユーザーのみがアクセスできる共有フォルダーを作成します。あらかじめユーザーを登録する必要があります。(登録できるユーザー数は８人までです。)

## ●ユーザーを登録する

### ステップ1：アクセスユーザーを確認する

登録するユーザーのネットワークにログオン時の［ユーザー名］と［パスワード］を確認し、メモします。(確認した［ユーザー名］と［パスワード］を、後で設定画面に登録します。)

**ご注意**

［ユーザー名］［パスワード］を後で設定画面で登録しますが、設定できる文字には、以下の制限があります。
【文字制限一覧】(19-120 ページ)をご覧ください。

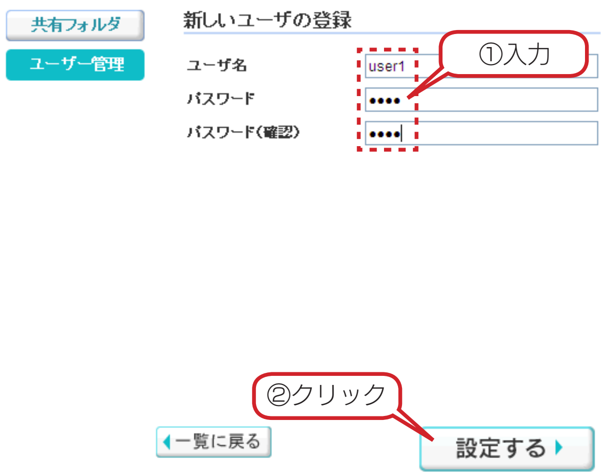
### ステップ2：本製品にユーザーを登録する

メモした［ユーザー名］と［パスワード］を、本製品の設定画面でユーザーとして登録します。

**1** 本製品の設定画面を開き、[ 新規ユーザー ] をクリックします。




**2** ステップ１でメモした［ユーザー名］を［ユーザー名］欄に入力します。
メモした［パスワード］を、［パスワード］、［確認パスワード］欄に入力後、［設定する］ボタンをクリックします。




**3** ユーザーが追加されていることをご確認ください。




これで、ユーザーが本製品に登録されました。
以上でユーザーの登録は終了です。

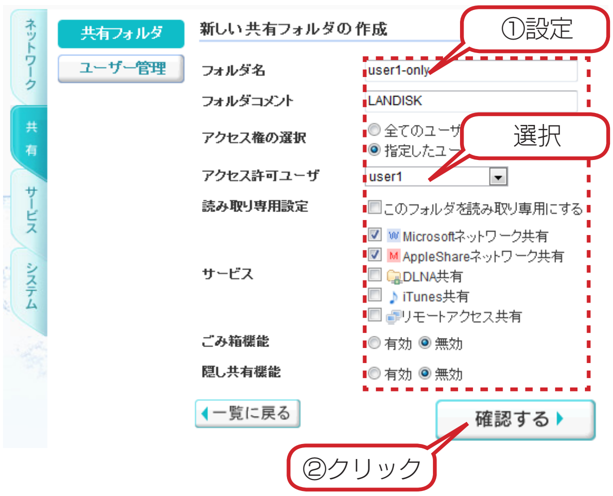
## ●共有フォルダーを作成する

共有フォルダーを作成します。以下の例は、「指定ユーザー」用の共有フォルダーを作成する例です。

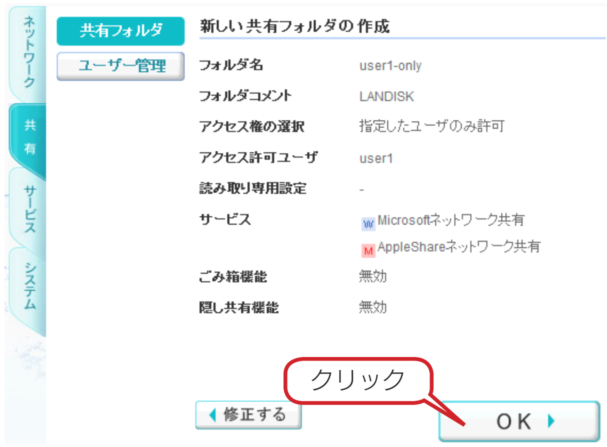
| 1 | 本製品の設定画面を開き、[ 新規共有 ] をクリックします。 |
|---|---|




| 2 | 作成する共有フォルダーを設定し、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |
|---|---|




| 3 | 確認の画面が表示されます。設定した内容をご確認ください。問題が無ければ、[OK] ボタンをクリックします。 |
|---|---|




これで、ユーザー：user1 専用の共有フォルダーが作成されました。

▼［新しい共有フォルダーの作成］画面での設定内容

| 項目 | 設定する内容 | |
|---|---|---|
| フォルダ名 | 共有フォルダーの名前を入力します。<br>この名前が、ネットワーク上（[マイネットワーク］や［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名前の下に表示されます。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。 | |
| フォルダコメント | Windows 用です。<br>ここに入力したコメントが、ネットワーク上の共有フォルダーのコメントとして表示されます。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。 | |
| アクセス権の選択 | この共有フォルダーにアクセスできるユーザーを選択します。 | |
| 読み取り専用設定 | 作成した共有フォルダーを読み取り専用にする場合に、チェックを付けます。 | |
| サービスの選択 | 共有フォルダーのサービスを選択します。<br>目的に応じて［Microsoft ネットワーク ファイル共有］と［AppleShare ネットワーク ファイル共有］のどちらかあるいは両方を選択します。 | |
| | Microsoft ネットワークファイル共有 | Windows からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。 |
| | AppleShare ネットワークファイル共有 | Mac OS からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。 |
| | DLNA Server で公開 | このアクセス権限では指定できません。 |
| | iTunes Server で公開 | このアクセス権限では指定できません。 |
| | リモートアクセス共有 | リモートアクセス機能でこのフォルダーを利用する場合にチェックをつけます。 |
| ごみ箱機能 | Windows（Microsoft ネットワーク ファイル共有）でのみ利用できます。<br>作成する共有フォルダーについて、ごみ箱機能を使用するかどうかを指定します。<br>ごみ箱機能を使用すると、その共有フォルダーからファイルを削除しても、すぐに ファイルがなくなるわけではなく、いったん［ごみ箱］フォルダーに保管されます。<br>［ごみ箱］フォルダー内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダー内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダー内のファイルを削除されることをおすすめします。<br>［ごみ箱］フォルダーの使い方については【[ ごみ箱 ] フォルダーからファイルを戻す】（4-43 ページ）をご覧ください。 | |
| 隠し共有機能 | Windows（Microsoft ネットワークファイル共有）でのみ利用できます。<br>隠し共有を設定した共有フォルダーは¥¥LANDISK 名で検索してもエクスプローラに表示されません。¥¥LANDISK 名¥共有フォルダー名で検索すると表示され、アクセス可能になります。 | |

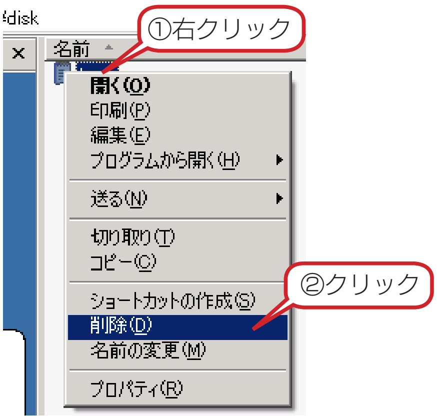
# [ ごみ箱 ] フォルダーからファイルを戻す

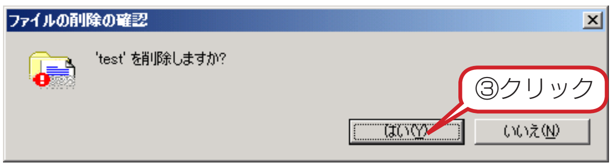
「ごみ箱機能」を設定した［disk］フォルダーからファイル（Test.txt）を削除後、［ごみ箱］フォルダーから［disk］フォルダーにファイル（Test.txt）を戻す手順について説明します。

**1** ネットワーク上から本製品の［disk］共有フォルダーにアクセスします。




**2** ファイルを削除します。

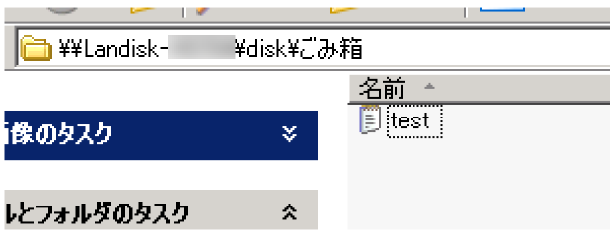



**3** ［disk］フォルダーからファイルが削除されると、［ごみ箱］フォルダーが作成されます。
（表示されていない場合は［F5］キーを押して更新してください。）
［ごみ箱］フォルダーをダブルクリックして、ファイルを移動（またはコピー）します。




**4** ［ごみ箱］フォルダー内の削除したファイルを［disk］フォルダーに移動（またはコピー）します。




**5** ［disk］フォルダーにファイルを戻すことができます。




以上で「ごみ箱機能」を設定した場合の［ごみ箱］フォルダーの使い方は終了です。

# 共有フォルダーの設定を変更する

作成した共有フォルダーの設定（[共有フォルダー名]、[コメント]、[アクセス権]、[サービス]）を変更することができます。
以下は、"user1-only" という共有フォルダーのアクセス権を " 全てのユーザーを許可 " から” 指定したユーザーのみ許可” に変更する例です。

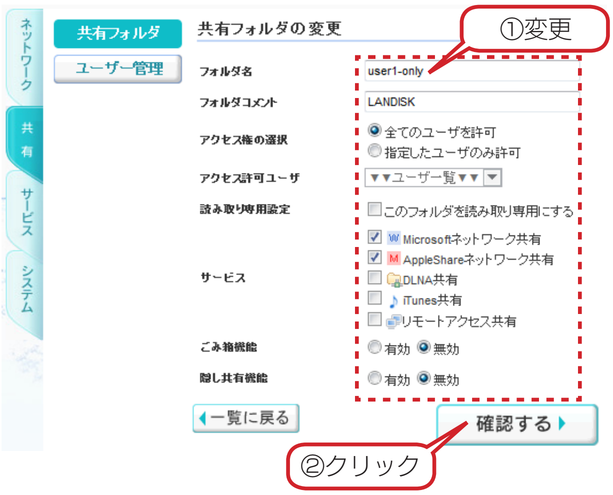
**ご注意**

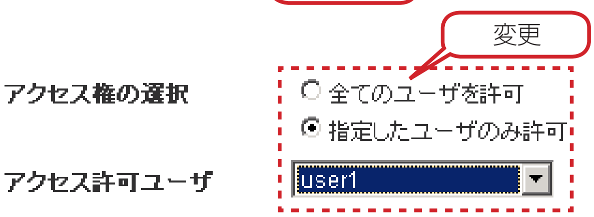
同時に［共有フォルダー名]、[コメント]、[アクセス権]、[サービス］を変更することはできません。
変更は、変更したい項目１つ１つ順に変更してください。

**1** 本製品の設定画面を開き、［共有］タブをクリックし、設定を変更したい共有フォルダーのフォルダー名横の［変更］をクリックします。



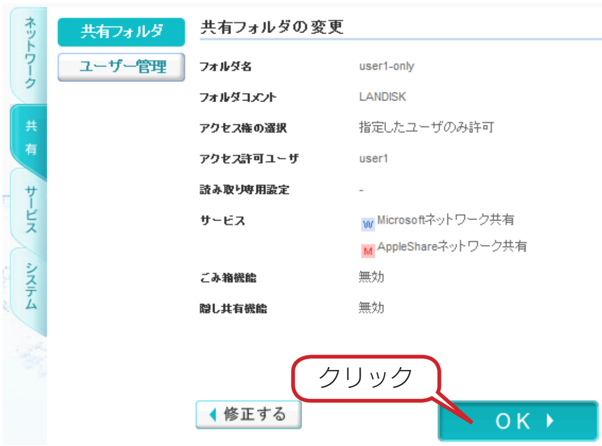

**2** 設定を変更後、[確認する]ボタンをクリックします。（設定項目の詳細な説明については、次ページを参照）




例えば、アクセス権の変更する場合は、現在、［全てのユーザーを許可］となっている設定を”user1”という［指定したユーザーのみ許可］する設定に変更します。
①［指定したユーザーのみ許可］にをチェックします。
②［user1］を選択します。
③［確認する］ボタンをクリックします。

**3** 確認の画面が表示されます。
変更内容に間違いが無ければ、[OK] ボタンをクリックします。




以上で、共有フォルダーの設定は変更されました。

▼［共有フォルダーの変更］画面での設定内容

| 項目 | 設定する内容 | |
|---|---|---|
| フォルダ名 | 共有フォルダーの名前を入力します。<br>この名前が、ネットワーク上（［マイネットワーク］や［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名前の下に表示されます。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。 | |
| フォルダコメント | Windows 用です。<br>ここに入力したコメントが、ネットワーク上の共有フォルダーのコメントとして表示されます。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。 | |
| アクセス権の選択 | この共有フォルダーにアクセスできるユーザーを選択します。 | |
| | 全てのユーザーを許可 | 本製品にアクセスできるすべてのユーザーがアクセスできる設定です。 |
| | 指定したユーザーのみ許可 | 本製品にユーザー登録したユーザーの内、特定のユーザーのみがアクセスできる設定です。 |
| 読み取り専用設定 | 作成した共有フォルダーを読み取り専用にする場合に、チェックを付けます。 | |
| サービス | 共有フォルダーのサービスを変更できます。 | |
| | Microsoft ネットワークファイル共有 | Windows からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。 |
| | AppleShare ネットワークファイル共有 | Mac OS からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。 |
| | DLNA Server で公開 | DLNA 準拠機器からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。 |
| | iTunes Server で公開 | iTunes アプリケーションからこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。 |
| | リモートアクセス共有 | リモートアクセス機能でこのフォルダーを利用する場合にチェックをつけます。 |
| ごみ箱機能 | Windows（Microsoft ネットワーク ファイル共有）でのみ利用できます。<br>作成する共有フォルダーについて、ごみ箱機能を使用するかどうかを指定します。<br>ごみ箱機能を使用すると、その共有フォルダーからファイルを削除しても、すぐに ファイルがなくなるわけではなく、いったん［ごみ箱］フォルダーに保管されます。<br>［ごみ箱］フォルダー内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダー内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダー内のファイルを削除されることをおすすめします。<br>［ごみ箱］フォルダーの使い方については【[ ごみ箱 ] フォルダーからファイルを戻す】（4-43 ページ）をご覧ください。 | |
| 隠し共有機能 | Windows（Microsoft ネットワークファイル共有）でのみ利用できます。<br>隠し共有を設定した共有フォルダーは¥¥LANDISK 名で検索してもエクスプローラに表示されません。¥¥LANDISK 名¥共有フォルダー名で検索すると表示され、アクセス可能になります。 | |

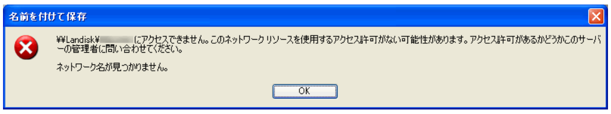
# 共有フォルダーを削除する

作成した共有フォルダーを削除することができます。

## ご注意

●共有フォルダーを削除すると、共有フォルダーの中のデータも同時に削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップしてください。
管理者からのアクセス方法については、【管理者からの共有フォルダーへのアクセス方法】（次ページ）をご覧ください。

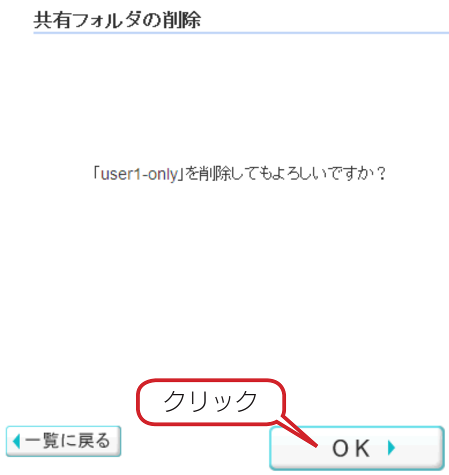
●削除しようとしている共有フォルダー内のファイルを編集などに使用している場合、削除後、以下のような保存先が見つからないなどのエラーとなります。
削除前に、削除する共有フォルダーにアクセスしているユーザーがいないかご確認ください。



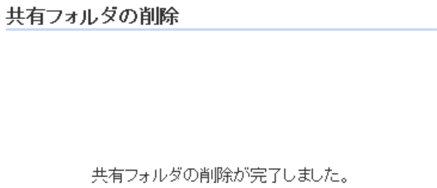

**1** 本製品の設定画面を開き、［共有］タブをクリックし、削除したい共有フォルダーのフォルダー名横の［削除］をクリックします。




**2** 削除する共有フォルダーを確認後、［OK］ボタンをクリックします。




**3** 完了画面が表示されます。




以上で、共有フォルダーが削除されました。

# 管理者からの共有フォルダーへのアクセス方法

本製品の管理者は、すべての共有フォルダー（アクセス制限を設定した共有フォルダーにも）にアクセスすることができます。
※ Windows からアクセスする場合のみ

ネットワークにログオンする際に、ユーザー名（admin）、本製品の管理者パスワード（出荷時は未設定）のユーザーでログオンすれば、すべての共有フォルダーにアクセスできます。

※管理者は、管理者以外の他のユーザー専用として作成した共有フォルダーにもアクセスできます。

**ご注意**

- ［管理者以外の場合も管理者用のユーザー名 (admin)・パスワードが分かれば､すべての共有フォルダーにアクセスできることになります。必ず、設定画面を開く際のパスワードは変更してください。（ユーザー名［admin］は変更することはできません。）
  【管理者パスワードを変更する】（15-103 ページ）
- Mac OS パソコンから管理者権限で、すべての共有フォルダーにアクセスすることはできません。
- リモートアクセス機能では、admin ユーザーは使用できません。

## ステップ1：パスワードを設定する

設定画面を開く際のパスワードを設定します。（ユーザー名［admin］は変更することはできません。）

【管理者パスワードを変更する】（15-103 ページ）をご覧ください。

※すでに設定済みの場合は設定の必要はありません。

## ステップ2：ユーザーアカウントを作成する（Windows のみ）

Windows の場合、ステップ 1 でメモした［ユーザー名］と［パスワード］を、本製品の設定画面でユーザーとして登録します。

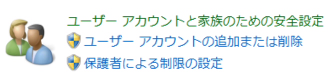
Windows XP の場合は、Windows XP に以下の［ユーザー名］［パスワード］のログオンユーザーを作成します。

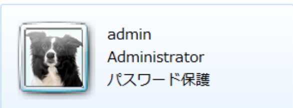
ユーザー名：　admin

パスワード：　ステップ 1 の手順で設定したパスワード

● Windows 7 の場合

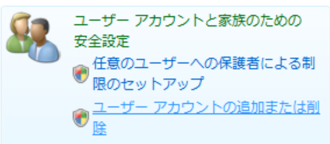
［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザーアカウントと家族のための安全設定］→［ユーザーアカウントの追加または削除］で上記ユーザーアカウントを作成します。




● Windows Vista の場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザーアカウントと家族のための安全設定］→［ユーザーアカウントの追加または削除］で上記ユーザーアカウントを作成します。







● Windows XP の場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ユーザーアカウント］で上記ユーザーアカウントを作成します。







## ステップ 3：共有フォルダーにアクセスする

それでは実際に管理者から共有フォルダーにアクセスしてみましょう。

※ Mac OS からすべての共有フォルダーにアクセスすることはできません。

| | |
|---|---|
| **1** | 以下の admin ユーザーでネットワークにログオンします。<br>ユーザー名：admin<br>パスワード：ステップ 1 の手順で設定したパスワード |
| **2** | 共有フォルダーにアクセスします。<br>アクセス方法は、管理者がご利用の OS により異なりますので、下記へお進みください。<br>【③Windows から本製品にアクセスする】（2-19 ページ） |

以上で、管理者からの共有フォルダーへのアクセスは終了です。

# ハードディスクを増設する

## 増設できるハードディスク

### ● USB[HOST] ポートに増設できるハードディスクについて

本製品の USB[HOST] ポートに増設できるハードディスクは、【接続できる USB 機器】（19-115 ページ）をご覧ください。

### ●増設ハードディスクのフォーマット形式と使い方

増設するハードディスクのフォーマット形式によって使い方に制限があります。【接続できるUSB機器】(19-115 ページ)をご覧ください。

## 増設ハードディスクの接続と取り外しに関する注意

### ●接続時の注意

- 本製品の USB[HOST] ポートには、対応の機器以外の機器は接続しないでください。
  （USB ハブも接続できません。最新の対応 USB 機器は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。）
  本製品の USB[HOST] ポートに増設できる USB 機器については、【接続できる USB 機器】（19-115 ページ）もご覧ください。
- バスパワーモードのハードディスクは接続できません。ハードディスクを接続する場合は、セルフパワーモードでご利用ください。
- USB[HOST] ポートの出荷時の動作モードは、［デジカメコピー］用となっています。
- 省電力設定の対応機器は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。（省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。）
- iSPIS 対応ハードディスクを本製品でご利用いただく場合、iSPIS 機能は使用できません。
- USB[HOST] ポートにパソコンを接続して使用することはできません。
- FAT/NTFS 以外の増設ハードディスク（未フォーマット、あるいは、Mac OS でフォーマットしたハードディスクなど）を本製品に接続すると、［STATUS］ランプが赤く点滅し、ブザーが鳴ります。本製品対応フォーマットにフォーマットしてください。ただし、増設ハードディスク内のデータはすべて消去されます。

### ●取り外し時の注意

- ファイルコピー中に、USB[HOST] ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
  コピーの処理が正常に行われません。
- USB[HOST] ポートに接続した USB 機器の取り外し時は、必ず［USB 取り外し］操作を行ってください。
  【●増設ハードディスクを取り外す】（5-51 ページ）をご覧ください。

# ハードディスクを増設する

**ご注意**

●本製品の USB[HOST] ポートに増設できるハードディスクは、FAT/NTFS 形式のハードディスクのみです。

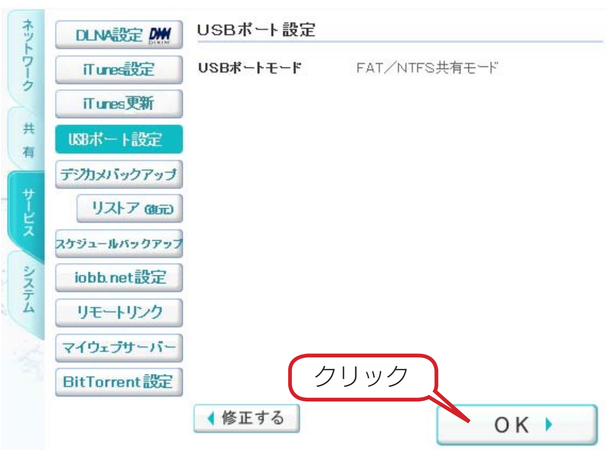
## ●モードを変更する

出荷時 USB[HOST] ポートの動作モードは、[ デジカメコピー ] に設定されています。
ハードディスクを増設する場合は、[FAT/NTFS 共有モード ] に変更する必要があります。

| | |
|---|---|
| 1 | 設定画面の [ サービス ] タブをから [USB ポート設定 ] ボタンをクリックします。<br>[USB ポートモード] で [FAT/NTFS 共有モード ] を選択し、[確認する] ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| 2 | 設定した内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。 |




これで完了です。

## ●ハードディスクを接続する

| | |
|---|---|
| 1 | 本製品の電源が入っていることを確認します。<br>※本製品の電源が入っている状態でハードディスクを接続できます。 |

| | |
|---|---|
| 2 | 増設ハードディスクの電源を ON にします。<br>増設ハードディスクの電源の入れ方については、増設ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。<br><br>電源連動機能ハードディスクの場合は、電源ボタン（スイッチ）を [AUTO] または [ON] にします。本製品に接続するまで増設ハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。<br>※電源連動機能については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。 |

**ご注意**

●増設ハードディスクの電源を入れてから、本製品に接続してください。

| | |
|---|---|
| 3 | 本製品の USB[HOST] ポートに増設用ハードディスクを接続します。 |

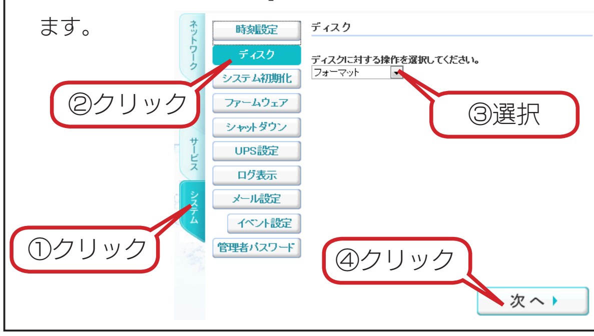
**ご注意**

●本製品の [STATUS] ランプが点滅中は、増設ハードディスクを接続しないでください。
本製品の電源が入っている状態で接続できますが、[STATUS] ランプが点滅中（設定画面操作中や本製品にアクセス中）に増設ハードディスクを接続しないでください。

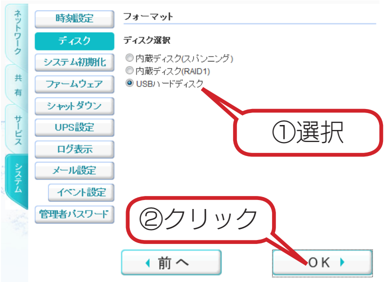
●ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、[STATUS] ランプが赤く点滅した場合は、ハードディスクが FAT/NTFS 形式ではありません。以下の方法で設定画面にてフォーマットしてください。

フォーマット方法

①設定画面の [ システム ] タブをから [ ディスク ] ボタンをクリックします。[フォーマット ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

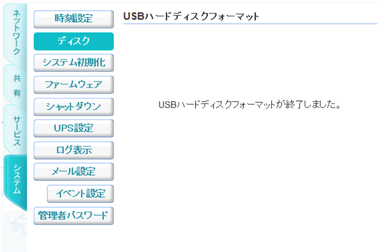


② [USB ハードディスク ] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

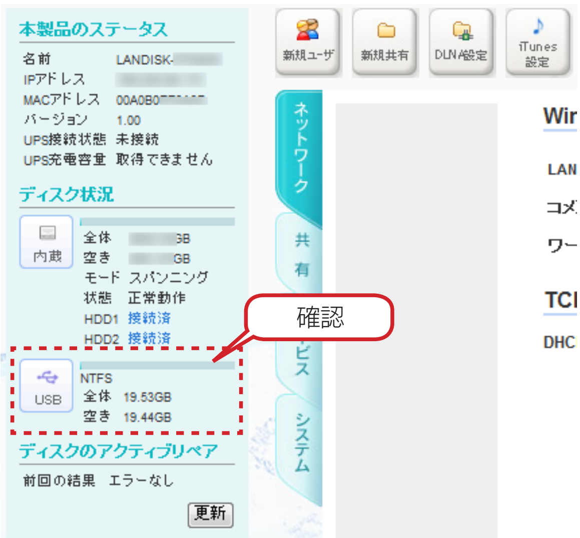



③ [OK] ボタンをクリックします。

→数分後、結果の画面が表示されます。




| 4 | 正しく増設ハードディスクが接続されている場合、本製品の詳細設定画面左側 [ ディスク状況 ] にUSB[HOST] ポートが表示されます。 |
|---|---|




これで接続は完了です。

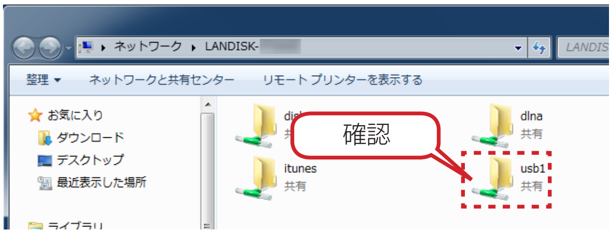
## ●増設ハードディスクにアクセスする

増設したハードディスクにアクセスする手順について説明します。

※以下は、Windows 7での確認例です。

| 1 | ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。 |
|---|---|

| 2 | USB 接続ハードディスクの場合は、一覧に共有フォルダー［usb1］が表示されます。<br>これが増設ハードディスクです。<br>［usb1］をダブルクリックします。 |
|---|---|




### ネットワーク上での各ハードディスクの表示

| ハードディスクの接続先 | ネットワーク上での表示 |
|---|---|
| 内蔵ハードディスク | disk |
| USB[HOST] ポート | [usb1] |

| 3 | ウィンドウが正常に表示されたら、増設ハードディスクのデータを使用できます。 |
|---|---|

### ご注意

- ●ハードディスクを複数パーティションに分割していた場合は、先頭のパーティションのみしか表示されません。
- ●増設ハードディスクが読み取り専用の場合は Mac OS から共有にアクセスすることはできません。
- ● Mac OS でお使いになる場合、本製品では、AFP over TCP/IP による接続のみをサポート対象とします。

## ●増設ハードディスクを取り外す

FAT/NTFS 形式の増設ハードディスクを取り外す場合は、本製品の設定画面で［USB の取り外し］操作を行う必要があります。

取り外し時は、本製品の電源が入っている状態で取り外すことができます。

取り外し後、バックアップ用として保管したり、パソコンの USB ポートに接続してそのまま使用することができます。

下記の手順にしたがって取り外しを行ってください。

**ご注意**

- 本製品動作中に以下の手順を行わずに、USB ケーブルを取り外すと、データの破損や本製品や増設ハードディスクの故障の原因になります。何らかの理由で、増設ハードディスクにアクセスが行われている最中に、USB ケーブルを取り外すとデータが破損するばかりか、本製品や増設ハードディスクの故障の原因になります。必ず以下の手順を行ってください。
- 本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。

**1** 本製品の設定画面の [USB 取り外し ] をクリックします。




**2** 結果の画面が表示されます。
取り外し手順を行った増設ハードディスクの USB ケーブルを本製品から取り外します。




**ご注意**

- 本製品の電源が入っている状態で本製品から取り外すことができます。

**3** 増設ハードディスクの電源を切ります。
電源連動機能ハードディスクの場合は、USB ケーブルを取り外した時点で、電源が切れます。
※増設ハードディスクの電源の切り方については、増設ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
※電源連動機能については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

以上で作業は完了です。

# バックアップする

## データのバックアップについて

万一に備えて定期的にデータはバックアップすることをおすすめします。本製品では、以下のバックアップを行うことができます。

| | |
|---|---|
| デジカメコピー | デジカメコピー機能は、デジカメや USB メモリーを USB[HOST] ポートに接続することで、USB[HOST] ポートに接続したデジカメや USB メモリーのデータを、あらかじめ指定されている本製品の共有フォルダー内のデータと比較し、異なる（更新されている）ファイルのみにコピーすることができます。デジカメコピー機能は、本製品の USB[HOST] ポートの動作モードが［デジカメコピー］となっている場合のみ動作します。 |
| クイックコピー | クイックコピー機能は、デジカメや USB メモリーを USB[HOST] ポートに接続することで、USB[HOST] ポートに接続したデジカメや USB メモリーのデータを、あらかじめ指定されている本製品の共有フォルダーにコピーすることができます。<br>クイックコピー機能は、本製品の USB[HOST] ポートの動作モードが［クイックコピー］となっている場合のみ動作します。 |
| デジカメバックアップ | USB 接続の外付ハードディスクを USB[HOST] ポートにつないでバックアップをとることが可能です。<br>デジカメコピーフォルダーを含む共有フォルダーのみバックアップ対象となります。<br>フォトアルバム機能で作成したアルバム情報ごと保存しますので、万が一、本製品が故障し、新しい本製品を購入してきた場合でも、アルバム情報をそのまま新しい本製品にリストア（復元）可能です。 |
| Sync with | Sync with は、パソコンのフォルダーと本製品上のフォルダーの内容を比較し、更新されたファイルを自動的にコピーします。簡単な操作でパソコンのフォルダーと本製品上のフォルダーの内容を同一に保つことができるソフトウェアです。パソコンにインストールして使用します。 |
| EasySaverLE | EasySaver は、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップすることができるソフトウェアです。パソコンにインストールして使用します。 |
| 外付けバックアップ | USB 接続の外付ハードディスクを背面の USB[HOST] ポートにつないでバックアップをとることが可能です。内蔵ハードディスクの全ファイルがバックアップ対象となります。 |

**ご注意**

バックアップ中は、ファイル共有などが遅くなる場合があります。

●使用できるデジカメや USB メモリーについて

動作確認済みデジカメや USB メモリーについては、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）の製品情報をご覧ください。

使用できるデジカメや USB メモリーは以下のものです。

・USB マスストレージクラスまたは PTP の転送に対応し、かつ、そのモードに設定されているデジカメ

・FAT または NTFS 形式のデジカメ、または USB メモリー

●デジカメコピー機能、クイックコピー機能利用時の注意事項

・デジカメによっては、PTP 転送時に制限事項のあるものがあります。詳しくはお使いのデジカメの取扱説明書をご参照ください。
また、なかには PTP ではなく、MTP と表記されているデジカメもあります。

・PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。

・マスストレージモードと PTP モードを切り替えられる機種は、マスストレージモードでご使用ください。

・利用時には正しくコピーできていることをご確認ください。

・PTP 転送時、デジカメの節電モードが ON の場合、容量が大きいファイルがコピーできないことがあるため、節電モードを OFF にしてください。

●本製品でご利用になる場合の注意

本製品でご利用になる場合は、以下にご注意ください。

・デジカメや USB メモリーは本製品の USB[HOST] ポートでのみご利用になれます。

・転送先のディスクに空き容量が十分あることをご確認ください。

・バックアップ先が FAT32 形式の場合、ファイルシステムの制限のため、ファイルサイズが 4G バイト以上のファイルはバックアップできません。

・USB 接続モード時は USB[HOST] ポートは使用できません。

# デジカメコピー

## ●デジカメコピー機能を設定する

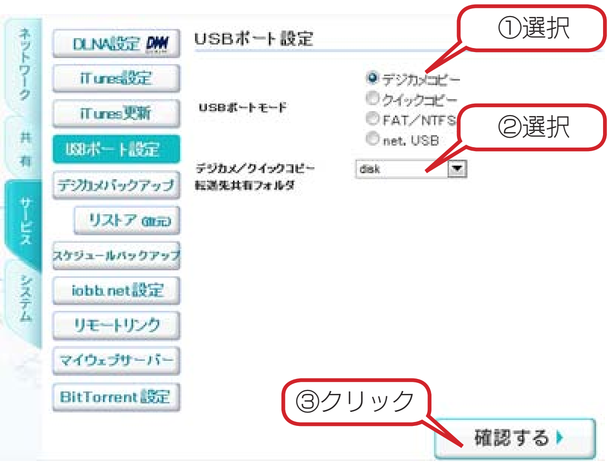
出荷時 USB[HOST] ポートの動作モードは、[デジカメコピー] に設定されています。

[ クイックコピー ] に変更した場合は、[デジカメコピー] に戻す必要があります。

**1** 設定画面の [USB ポート設定 ] ボタンをクリックします。




**2** [USB ポートモード] で [デジカメコピー] を選択し、[デジカメ / クイックコピー転送先共有フォルダ] でコピー先を選択後、[確認する] ボタンをクリックします。




### ご注意

コピー先共有の選択は、内蔵 HDD 上の共有のみ選択できます。

**3** 設定した内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。
→完了画面が表示されます。




これで、USB[HOST] ポートをデジカメコピー用に使用できるようになりました。

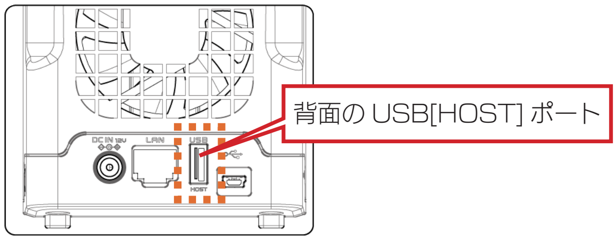
## ●デジカメコピー機能を使う

USB[HOST] ポートに挿すだけで、本製品にデジカメや USB メモリーのデータをコピーすることができます。

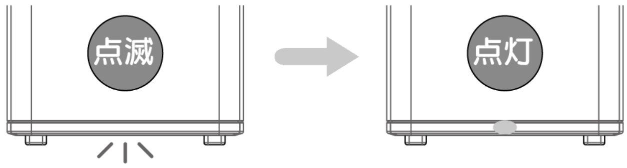
### ご注意

●必ず、USB[HOST] ポートに接続してください。

**1** 本製品の USB[HOST] ポートにデジカメや USB メモリーを接続します。[STATUS] ランプが点滅し、しばらくすると点灯します。




**2** 自動的にコピーを開始します。コピー中は、[STATUS] ランプが点滅します。
“ピッピッピッ” と音が鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。




**3** [STATUS] ランプが点灯すれば、そのまま、デジカメや USB メモリーを取り外すことができます。

以上でコピーは完了です。

ネットワーク上からコピーしたデータを確認する場合は、次ページをご覧ください。

●データコピー先について

データは、コピー先（出荷時は内蔵ハードディスクの［disk］）の共有フォルダーの下に、自動で作成される［デジカメコピー］フォルダー内に接続したデジカメや USB メモリーのデータがコピーされます。

[指定したディスク共有フォルダー] - [デジカメコピー] フォルダー

デジカメコピーでは、コピー先共有にすでに同一ファイル名で、サイズまたは更新時刻が異なるファイルが存在している場合、新規にコピーするファイル名は、3 桁数字をファイル名に追加して新規ファイルをコピーします。（例：AAA.jpg → AAA(001).jpg）

複数のデジカメ・USB メモリーをコピーする場合、「クイックコピー」をご利用ください。

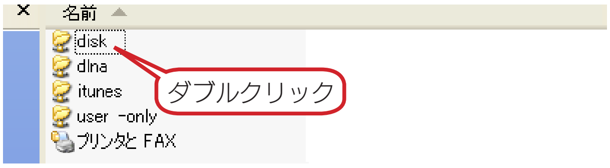
## ●コピーしたデータを確認する

デジカメや USB メモリーのデータが正しくコピーされているかを確認します。
データを本製品内蔵ハードディスクの［disk］共有フォルダーにコピーした場合での確認例を説明します。

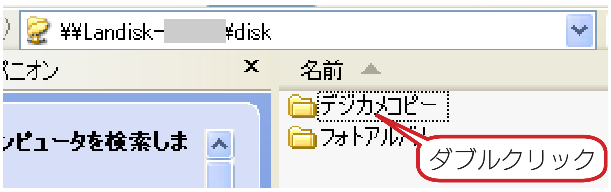
**1** ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。手順については、以下をご覧ください。

・Windows から本製品にアクセスする場合
【③Windows から本製品にアクセスする】(2-19 ページ)
・Mac OS から本製品にアクセスする場合
【③Mac OS から本製品にアクセスする】(2-25 ページ)

**2** [disk] フォルダーをダブルクリックします。




**3** [デジカメコピー ] フォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。
→コピーしたファイルやフォルダーが日付フォルダーに振り分けて表示されます。




●[ デジカメコピー ] フォルダーについて
デジカメコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

●ログファイルについて
デジカメコピーは、[ コピー先共有フォルダー ]-[ デジカメコピー ] に [ コピーした日付時刻.log] と言うファイルを自動的に作成します。ログファイルを確認することで、コピー結果を確認することができます。
・出力形式（UTF-8、CRLF 改行）
[1 行目：(ファイル名 or フォルダー名)　　　　追加情報 ]
追加情報一覧

| | |
|---|---|
| COPY | 新規ファイルをコピー |
| COPY（RENAME：新しいファイル名） | 新規ファイルをリネームコピー |
| COPYERROR | 新規ファイルをコピー失敗 |
| COPYERROR（RENAME） | 新規ファイルをリネーム失敗 |
| COPYERROR（RENAME： 新 しいファイル名） | 新規ファイルをリネームコピー失敗 |
| MKDIR | 新規フォルダーを作成 |
| SKIP | 新規ファイルをスキップ |

実行結果一覧

| | |
|---|---|
| SUCCESS.（xxx files copied.） | コピー成功。xxx 個のファイルをコピー。 |
| ERROR.（xxx files copied.） | コピー失敗。xxx 個のファイルをコピー。 |

xxx の数値には、MKDIR、SKIP、COPYERROR の数は含まれません。

# クイックコピー

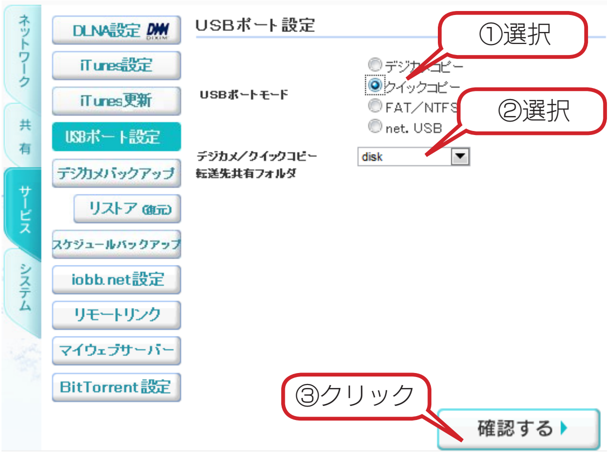
## ●クイックコピー機能を設定する

出荷時 USB[HOST] ポートの動作モードは、[デジカメコピー] に設定されています。
クイックコピー機能を使うには、[クイックコピー] に変更する必要があります。

**1** 設定画面の [USB ポート設定 ] ボタンをクリックします。



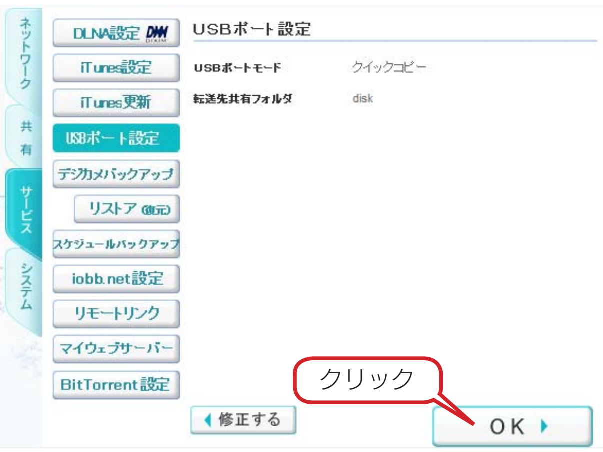

**2** [USB ポートモード] で [クイックコピー] を選択し、[デジカメ / クイックコピー転送先共有フォルダ] でコピー先を選択後、[確認する] ボタンをクリックします。




**ご注意**

コピー先共有の選択は、内蔵 HDD 上の共有のみ選択できます。

**3** 設定した内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。
→完了画面が表示されます。




これで、USB[HOST] ポートをクイックコピー用に使用できるようになりました。

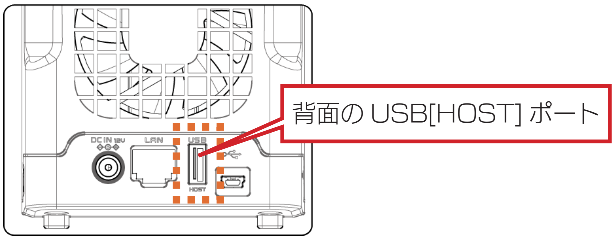
## ●クイックコピー機能を使う

USB[HOST] ポートに挿すだけで、本製品にデジカメや USB メモリーのデータをコピーすることができます。

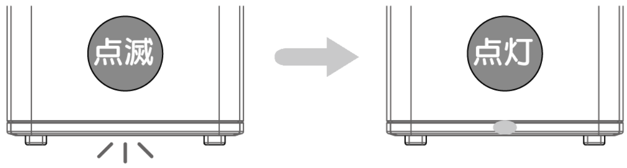
**ご注意**

●必ず、USB[HOST] ポートに接続してください。

**1** 本製品の USB[HOST] ポートにデジカメや USB メモリーを接続します。[STATUS] ランプが点滅し、しばらくすると点灯します。




**2** 自動的にコピーを開始します。コピー中は、[STATUS] ランプが点滅します。
“ピッピッピッ” と音が鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。




**3** [STATUS] ランプが点灯すれば、そのまま、デジカメや USB メモリーを取り外すことができます。

以上でコピーは完了です。
ネットワーク上からコピーしたデータを確認する場合は、次ページをご覧ください。

●データコピー先について
データは、コピー先（出荷時は内蔵ハードディスクの［disk］）の共有フォルダーの下に、自動で作成される［クイックコピー］フォルダー内にコピーされます。
さらにその下に順に「コピー時点の［年月日 - 時刻］を元にしたフォルダー」フォルダーを作成し、そのフォルダー内に接続したデジカメや USB メモリーのデータがコピーされます。

［指定したディスク共有フォルダー］ - ［クイックコピー］ -
［年月日 - 時刻］

複数のデジカメ･USB メモリーをコピーする場合にも、データは［年月日 - 時刻］フォルダーで区別されますので、上書きされることはありません。

## ●コピーしたデータを確認する

デジカメや USB メモリーのデータが正しくコピーされているかを確認します。

※以下は、Windows XP での確認例です。

データを本製品内蔵ハードディスクの［disk］共有フォルダーにコピーした場合での確認例を説明します。

**1** ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。手順については、以下をご覧ください。

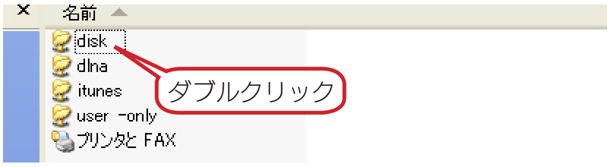
- Windows から本製品にアクセスする場合

【③Windows から本製品にアクセスする】(2-19 ページ)

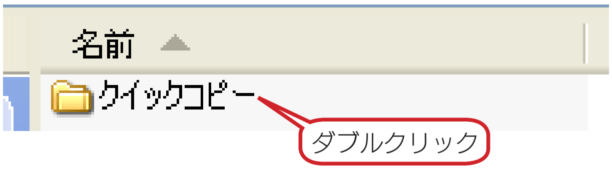
- Mac OS から本製品にアクセスする場合

【③Mac OS から本製品にアクセスする】(2-25 ページ)

**2** [disk] フォルダーをダブルクリックします。



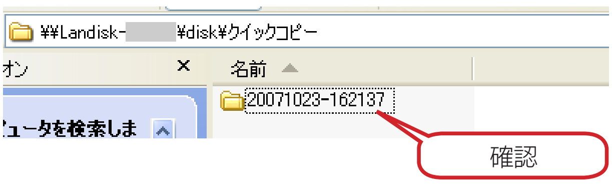

**3** [クイックコピー ] フォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。




●[ クイックコピー ] フォルダーについて
クイックコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

**4** 年月日 - 時刻のフォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックし、ファイルがコピーされているかご確認ください。

→コピーしたファイルやフォルダーが表示されます。




●年月日 - 時刻フォルダーについて
クイックコピーを行った場合に、[クイックコピー] フォルダーの下に、デジカメ・USB メモリーのデータコピーを開始した年月日・時刻をもとにして、自動で作成されるフォルダーです。
上記画面例（[20070413-150145]）は、2007 年 04 月 13 日 15 時 01 分 45 秒にコピーを開始したときに作成した例です。

# デジカメバックアップ

## ●バックアップディスクを登録する

デジカメバックアップ機能を使うには、バックアップ先となるハードディスクを登録する必要があります。

| | |
|---|---|
| **1** | 設定画面の [ サービス ] タブをクリックし、[ デジカメバックアップ ] ボタンをクリックします。 |



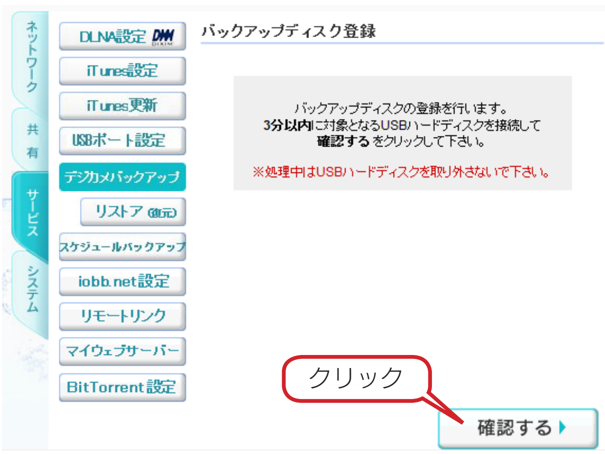

| | |
|---|---|
| **2** | バックアップデータを保存する外付ハードディスクの電源を ON にします。<br>外付ハードディスクの電源の入れ方については、外付ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。 |

**ご注意**

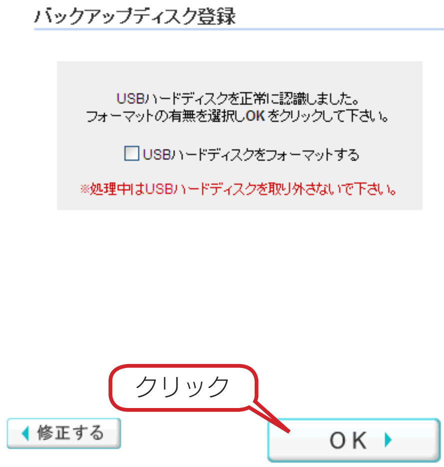
電源連動機能ハードディスクの場合は、電源ボタン（スイッチ）を [AUTO] または [ON] にします。

本製品に接続するまでハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。

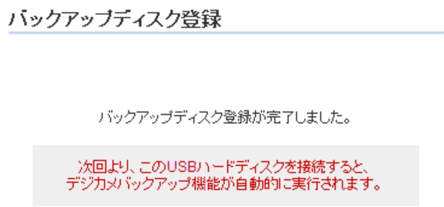
| | |
|---|---|
| **3** | 本製品の USB[HOST] ポートに外付ハードディスクを接続し、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| **4** | ハードディスクが認識されると以下の画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。<br>FAT/NTFS フォーマットのハードディスクであれば、[USB ハードディスクをフォーマットする ] を選択しなくても登録できます。 |




| | |
|---|---|
| **5** | 次の画面が表示されたら、登録したバックアップディスクを USB[HOST] ポートから取り外します。 |




以上で、デジカメバックアップ用ハードディスクの登録を完了しました。

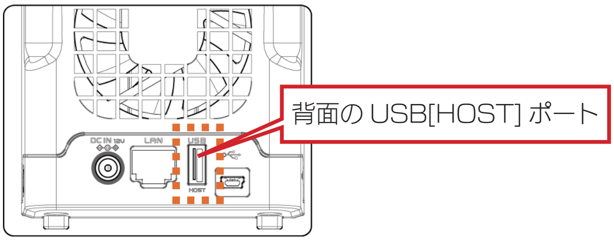
## ●デジカメバックアップ機能を使う

登録したハードディスクを USB[HOST] ポートに挿すだけで自動でデータをバックアップすることができます。

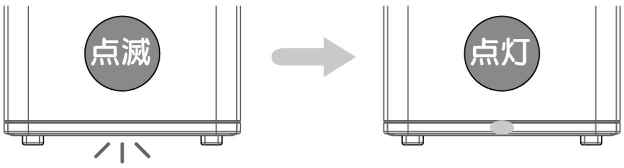
**ご注意**

●必ず、USB[HOST] ポートに接続してください。

| | |
|---|---|
| **1** | 【バックアップディスクを登録する】の手順で登録した外付ハードディスクの電源を入れ、本製品の USB[HOST] ポートに接続します。<br>※外付ハードディスクの電源の入れ方については、外付ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。<br>※本製品が処理を行っている間（[STATUS] ランプが点滅中）は、バックアップディスクを接続しないでください。 |




| | |
|---|---|
| **2** | 自動でデジカメバックアップ機能が実行されます。<br>デジカメバックアップ実行中は本製品の [STATUS] ランプが点滅します。<br>”ピッピッピッ”と鳴り、点滅が点灯に変わったらバックアップ完了です。 |




| | |
|---|---|
| **3** | [STATUS] ランプが点灯すれば、そのまま、バックアップディスクを取り外すことができます。 |

●データのバックアップ先について

バックアップデータはバックアップを実行した日時とともにバックアップディスクに記録されます。リストア（復元）する際には日時を元にバックアップデータを指定します。

以上で完了です。

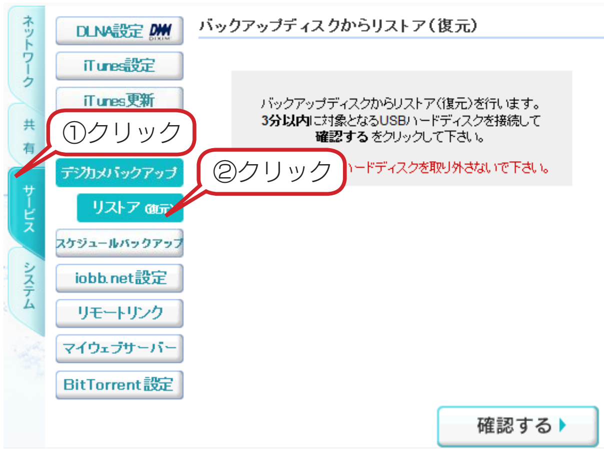
## ●バックアップディスクの内容を書き戻す

新しく購入した本製品に、以前使用していた本製品のバックアップディスクからデータを書き戻すことができます。

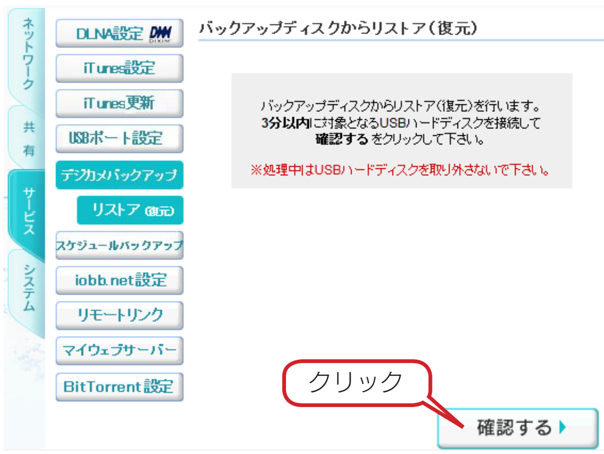
デジカメコピー機能を一度も実行していない状態で、[ フォトアルバム ] をクリックした場合、右のような画面が表示されます。



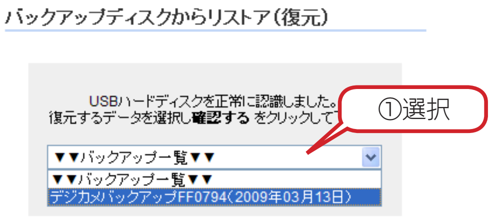

| | |
|---|---|
| **1** | 設定画面の [ サービス ] タブをクリックし、[ リストア ( 復元 )] ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| **2** | バックアップディスクの電源を ON にして、本製品の USB[HOST] ポートに接続し、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |



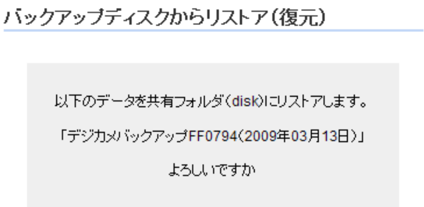
| 3 | ハードディスクが認識されると以下の画面が表示されますので、[ バックアップ一覧 ] からリストア（復元）するデータ（バックアップを実行した日時が表示されます）を確認し、[ 確認 ] ボタンをクリックします。 |
|---|---|







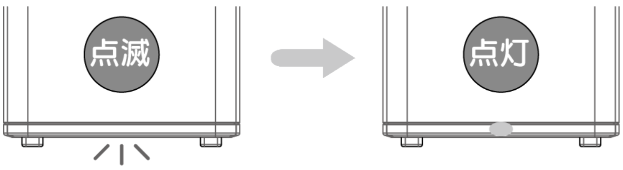
| 4 | 確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。 |
|---|---|







| 5 | リストア（復元）が実行されます。リストア（復元）実行中は本製品の [STATUS] ランプが点滅します。<br>”ピッピッピッ”と鳴り、点滅が点灯に変わったらリストア（復元）完了です。 |
|---|---|




| 6 | 以上でリストア（復元）の作業は完了です。<br>バックアップディスクを USB[HOST] ポートから取り外すことができます。<br>設定画面右上の [ トップに戻る ] で Top ページに戻り、[ フォトアルバム ] をクリックするとアルバム情報そのままリストア（復元）できたことがわかります。 |
|---|---|

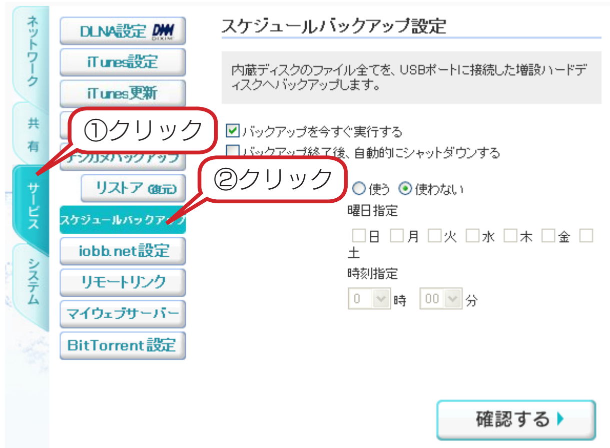
これで、バックアップディスクの書き戻しは、完了しました。
以上で確認は終了です。

# 本製品のバックアップ機能を利用する

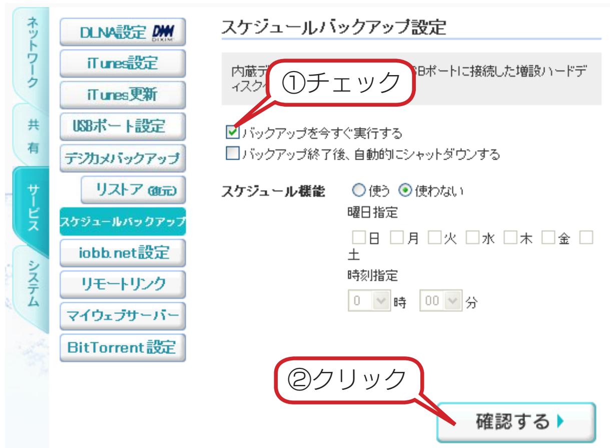
## ●今すぐバックアップする

スケジュールバックアップ機能は、内蔵ディスクのファイルすべてを、本製品背面の USB[HOST] ポート に接続した増設ハードディスクへバックアップします。スケジュールバックアップ機能は、USB ポート設定を［FAT/NTFS 共有モード］に設定時のみ使用できます。

| 1 | 本製品の設定画面の [ サービス ] タブから [ スケジュールバックアップ ] ボタンをクリックします。 |
|---|---|

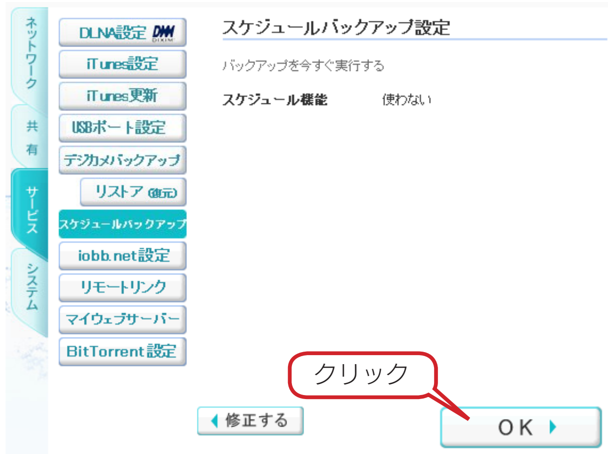



| 2 | [ バックアップを今すぐ実行する ] にチェックをつけ、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |
|---|---|




「バックアップ終了後、自動的にシャットダウンする」にチェックをつけておくと、バックアップ完了後、シャットダウン処理を行います。
※電源連動機能については、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

| 3 | 確認画面が表示されますので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。<br>→バックアップを開始します。本製品のブザーが「ピッ」と鳴り、[STATUS] ランプが青点滅します。 |
|---|---|



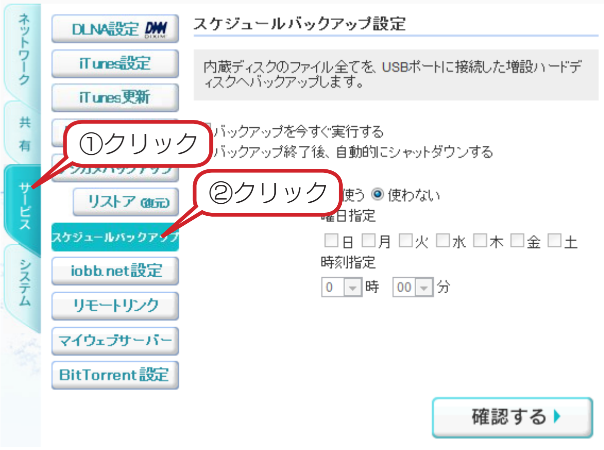

| 4 | バックアップ完了画面が表示されます。<br>バックアップが完了すると本製品のブザーが「ピッピッピッ」と鳴ります。 |
|---|---|

以上でバックアップは完了です。
実際にバックアップしたデータは、【●バックアップしたデータを確認する】（6-62 ページ）にてご覧ください。

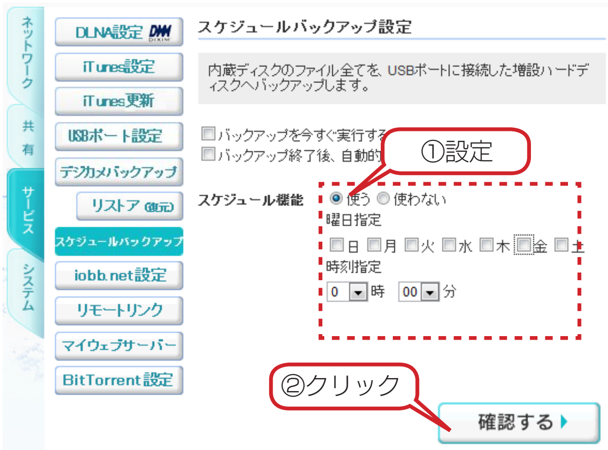
## ●バックアップをスケジュール設定する

以下の例は、スケジュールの設定のみを行う例です。（今すぐバックアップは行いません。）

| | |
|---|---|
| 1 | 本製品の設定画面の [ サービス ] タブから [ スケジュールバックアップ ] ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| 2 | [ スケジュール機能 ] の [ 使う ] を選択し、バックアップする曜日と時刻を設定し、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |




●スケジュールバックアップ機能
設定したスケジュールでバックアップを行う場合に [ 使う ] をチェックします。

| | |
|---|---|
| 曜日指定 | バックアップする曜日を指定します。※複数の指定が可能です。 |
| 時刻指定 | バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。<br>例）午後 9 時の場合は、[21] 時 [00] 分 |

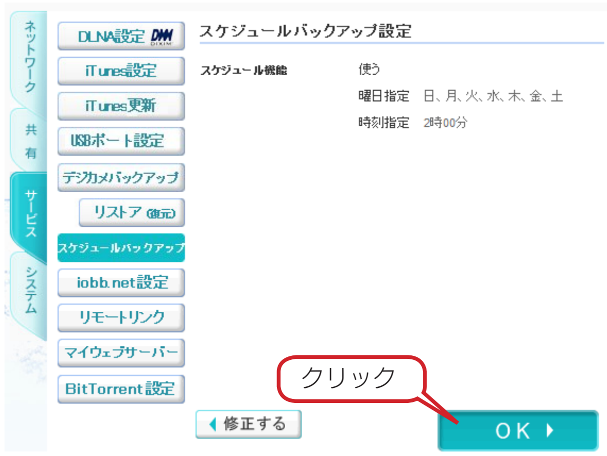
**ご注意**

●スケジュール設定を行う場合は、必ず本製品の時刻設定を行ってください。

●他のスケジュールと重ならないようご注意ください。

●スケジュール設定は、1 日に 1 回のタイミングに限られます。1 日の間に複数回のバックアップを設定することはできません。

| | |
|---|---|
| 3 | 確認画面が表示されますので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。 |




以上で完了です。

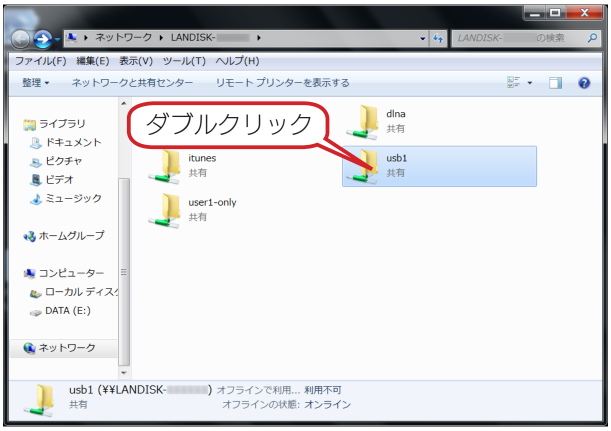
## ●バックアップしたデータを確認する

※以下は、Windows 7 での確認例です。

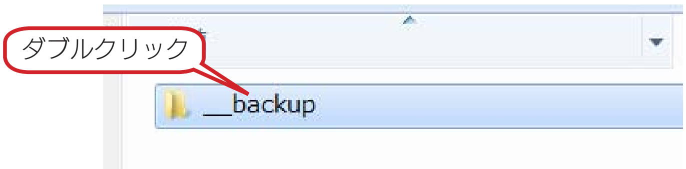
ここでは、内蔵ハードディスクの [disk] 共有のデータを増設ハードディスクにバックアップした場合の確認例を説明します。

| | |
|---|---|
| **1** | ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示させます。 |

| | |
|---|---|
| **2** | [usb1] フォルダーをダブルクリックします。 |

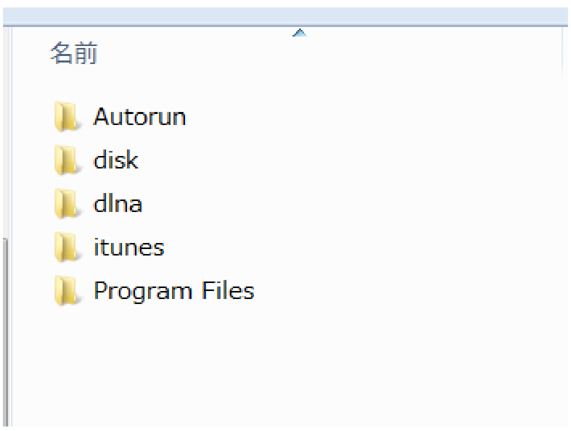



| | |
|---|---|
| **3** | [_backup] フォルダーが作成されていることを確認後ダブルクリックします。 |




●[_backup] フォルダーについて
バックアップを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

| | |
|---|---|
| **4** | バックアップしたファイルやフォルダーが表示されます。 |




以上で完了です。

内蔵ディスクはすべてのファイルがバックアップ対象です。
2 回目以降は差分を確認し、内蔵ディスクと同じになるように差分が反映されます。内蔵ディスクから消去したファイルは消去します。
(2 回目以降のバックアップ対象、変更したファイル、増えたファイル)

# Sync with

Sync with は2つのフォルダー内容を比較し、更新されたファイルを自動的にコピーします。
簡単な操作でフォルダー内容を更新したり一致させることのできるソフトウェアです。
インストール方法については、【サポートソフトのインストールについて】（2-16 ページ）をご覧ください。

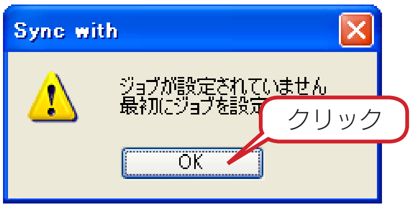
## ご注意

●同期するドライブに十分な容量の空きが必要です。
●同一のフォルダーは指定できません。
●下位のフォルダーとの同期はできません。
● OS が使用しているフォルダーは、同期できないものもあります。
●アクセス権がないものや、ロックやライトプロテクトされているフォルダー・CD-ROM・MO などは同期できません。
●実行中・使用中のファイルの同期はできません。
●隠しファイル ( 隠しフォルダー ) はフォルダーの設定にて「隠しファイルを表示する」となっていた時のみ同期できます。
●W indows 標準の文字コードを使用していないフォルダーやファイルは、設定・同期できません。

## ●ジョブの設定方法

**1** [スタート] →「すべてのプログラム」（または [ プログラム ]）→ [I-O DATA] → [Sync with] → [Sync with] を順にクリックします。

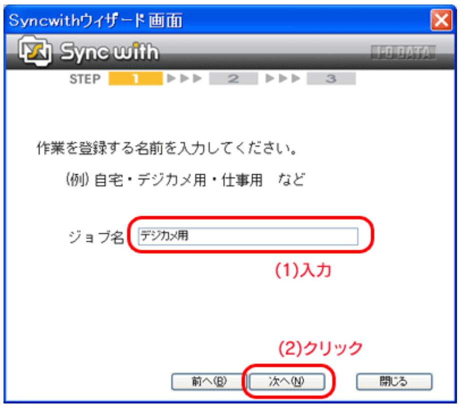
**2** はじめて起動したときなど、まだ同期のジョブが何も設定されていないときは、以下が表示されますので [OK] をクリックします。



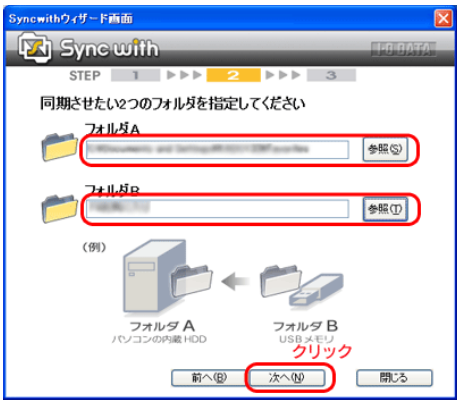

**3** [ジョブを作成する] をクリックします。




**4** ジョブ名を入力します。




**5** 同期させたいフォルダーを指定し、[ 次へ ] をクリックします。

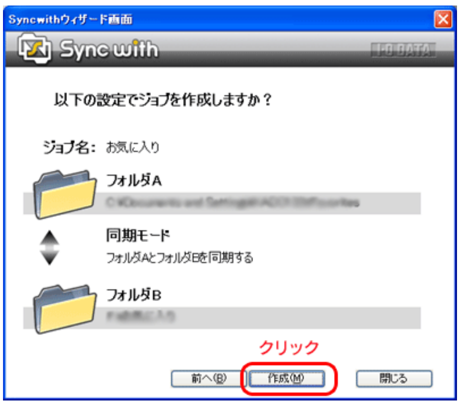


## 6　同期の方法を選択して、[ 次へ］ をクリックします。

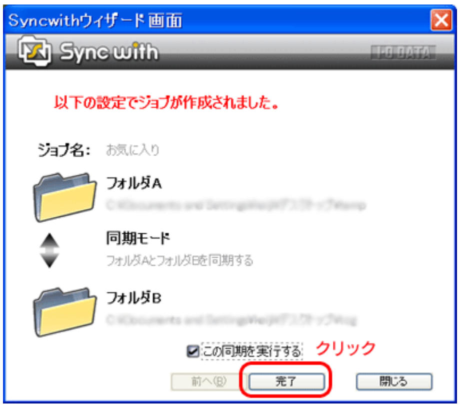



| | |
|---|---|
| 双方向更新 | フォルダー A とフォルダー B を比較し、双方の新しいファイルを相手にコピーします。同期完了後はフォルダー A フォルダー B ともに最新のファイルとなります。<br><用途例><br>双方に同じデータを持ちたい際に、この更新方法をお勧めします。 |
| フォルダＢを更新 | フォルダーＡとフォルダーＢを比較し、フォルダーＡにある新しいファイルのみフォルダーＢにコピーします。<br>デジカメの写真データをパソコンの画像編集用フォルダーにコピーするといった元データを変えたくない際に、この更新方法をお勧めします。<br><用途例><br>デジカメの写真データのフォルダーを A に指定し、パソコンの編集用フォルダーを B に指定します。<br>同期を実行すると、デジカメの新しいデータが編集用フォルダーにコピーされ、編集用フォルダーで編集したファイルは元データにコピーされません。<br>元データ（デジカメの写真データ）を残しつつ新たなデータを編集用フォルダーにコピーできます。<br>また、編集用フォルダーで編集されたファイルの方が新しいファイルなので、元データに上書きされることもありません。 |
| ファルダＡを更新 | フォルダーＡとフォルダーＢを比較し、フォルダーＢにある新しいファイルのみフォルダー A にコピーします。 |

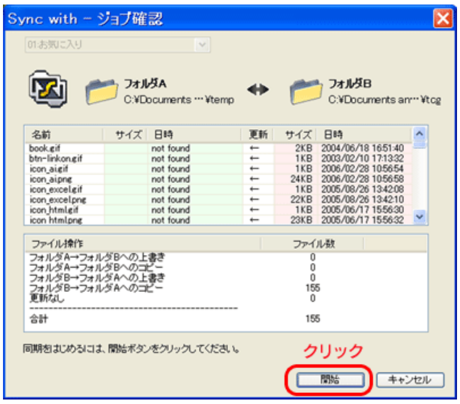
## 7　表示内容を確認して、[ 作成 ] をクリックします。



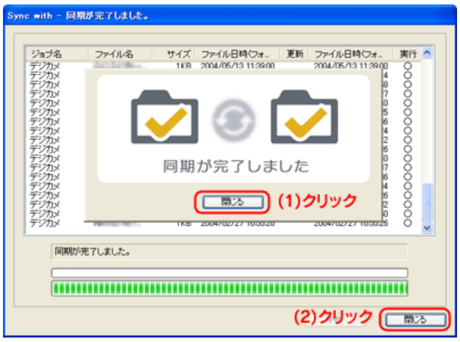

## 8　[完了］ をクリックします。




## 9　[開始］ をクリックします。
→同期処理が開始します。




## 10　[閉じる］ → 「閉じる」 を順にクリックします。




以上で設定は完了です。

## ●新規ジョブの作成方法

［新規作成］をクリック→ジョブ名を入力→フォルダーA、同期モード、フォルダーBを指定→表示アイコンを選択→[ 決定 ]をクリックします。

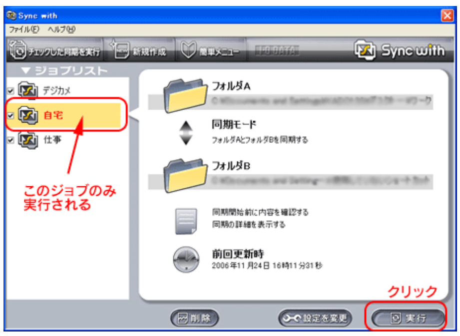



## ●ジョブの実行

ジョブ（同期）を実行するには、[ 実行 ] または [ チェックした同期を実行 ] をクリックします。

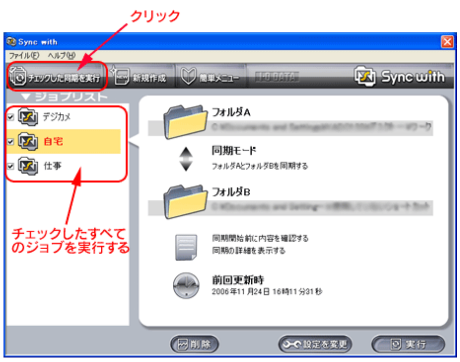
→ [ 実行 ] をクリックする場合

ジョブリストから選択して、[ 実行 ] をクリックします。




→ [ 実行 ] をクリックする場合

ジョブリストの同期を実行したいジョブにチェックして、[ チェックした同期を実行 ] をクリックします。




→ジョブ実行時のエラーについて

| エラー内容 | 説明 |
|---|---|
| チェックがつけられていません。同期したいジョブにチェックをつけてから実行してください | チェックされたジョブが無かった時 |
| Sync with の設定を確認してください<br>フォルダー xx エラー<br>ディレクトリ名が無効です | フォルダー A、フォルダー B が存在しなかった ( または書き込み不可だった ) 場合 |
| フォルダー XXXX のフォルダー名が正しくありません | フォルダー A、フォルダー B が同一フォルダー・サブフォルダーなど設定できないフォルダーだった場合 |
| エラーが発生したため同期を中止しました | コンペア中にエラーが発生した場合 |
| 空き容量がありません。<br>処理を中止します | ハードディスクの容量が足りなくなった場合 |
| xxxxxx（ファイル名）エラーが発生しました。<br>処理を続けますか?<br>[ はい ] [ いいえ ] | ここで [ はい ] を選択すると、次のファイルから再度コピーを開始します。<br>[ いいえ ] を選択した際には、以降のファイルはコピーされなくなります。<br>コピーに失敗したファイルの結果欄に「×」( 赤字 ) がつきます。 |

# EasySaver LE

本製品は、オートバックアップソフト「EasySaverLE」の無料ダウンロード対象製品です。
EasySaverLE は弊社ホームページ「サポートライブラリ」からダウンロードできます。

＜サポートライブラリ＞

http://www.iodata.jp/lib/

弊社製 EasySaver LE を使用して、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップしたりすることができます。
詳細は、EasySaver LE の取扱説明書を参照してください。

**ご注意**

EasySaverLE を使用してバックアップする場合、バックアップ元（先）に使用する本製品を事前にネットワークドライブに割り当てておく必要があります。

【(Windows）ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】（21-162 ページ）

# ハードディスクをチェックする

## ハードディスクのチェック方法

ここでは、本製品のハードディスクの状態をチェックする方法について説明します。

### ●アクティブリペア

**ご注意**

●本製品は、アクティブリペアのスケジュール実行を有効に設定しており、毎月第 1 土曜日午前 0 時 00 分よりアクティブリペアが自動的に開始されます。

[ アクティブリペア ] では、内蔵ハードディスクの一部に不良セクタが発見された場合、他の正常なディスクからデータを読み込んで、異常のあるディスクに書き込むことにより、ディスク不良によるデータ損失を未然に防止する機能です。［アクティブリペア］でのチェックには、以下の特徴があります。

・内蔵ハードディスクに何らかのエラーが発生している場合、検出あるいは修復を行うことができます。
・アクティブリペアの実行される範囲は、スパンニングの場合、システム領域のみになります。ミラーリング (RAID1) の場合、システム領域とデータ領域になります。
・アクティブリペア実行中は、設定画面その他の動作が遅くなる場合があります。
・アクティブリペア結果（正常終了やディスクエラーの状況）をメール送信できます。
・アクティブリペアは、バックグラウンドで処理を行うため、アクティブリペア中に本製品の他の操作を行うことができます。ただし、アクティブリペア実行中に電源ボタンで本製品の電源を切った場合、処理が中断されます。
・アクティブリペア実行中に、スケジュールバックアップ開始時間になった場合、スケジュールバックアップは開始されますが、アクティブリペアとバックアップの所要時間が長くなります。アクティブリペア時間とスケジュールバックアップが同時実行されないように設定することをおすすめします。
・本製品の容量や状態によりますが、ミラーリング (RAID1) 構成構成の HDL2-S2.0 の場合、アクティブリペア完了までに最大約 9 時間がかかる場合があります。正常動作ですので、安心してご利用ください。
・スケジュールを設定して指定した時間にアクティブリペアを実行することができます。
・本製品は、アクティブリペアのスケジュール実行を有効に設定しており、毎月第 1 土曜日午前 0 時 00 分よりアクティブリペアが自動的に開始されます。
・アクティブリペアのスケジュール実行時刻に本製品の電源が OFF の場合、アクティブリペアのスケジュール実行は行われませんので、スケジュール実行時刻には本製品を起動しておいてください。

### ●チェックディスク

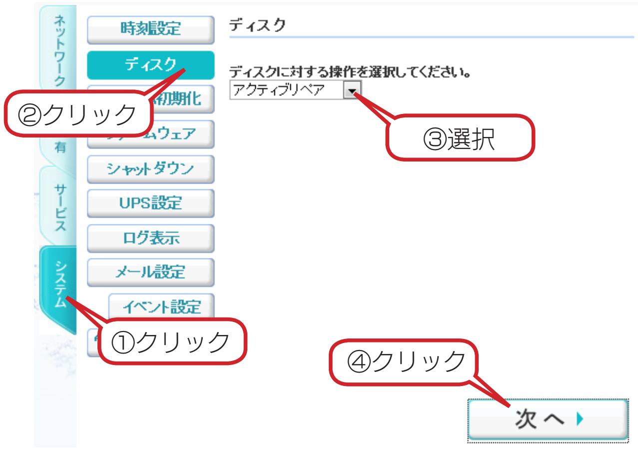
本製品のチェックディスクは USB 接続モード時のみ行えます。
本製品のチェックディスクは Windows のチェックディスク機能を使用してチェックします。
チェックディスクは、ファイルシステムに論理的な障害が発生していないか検査し、修復を行います。

**ご注意**

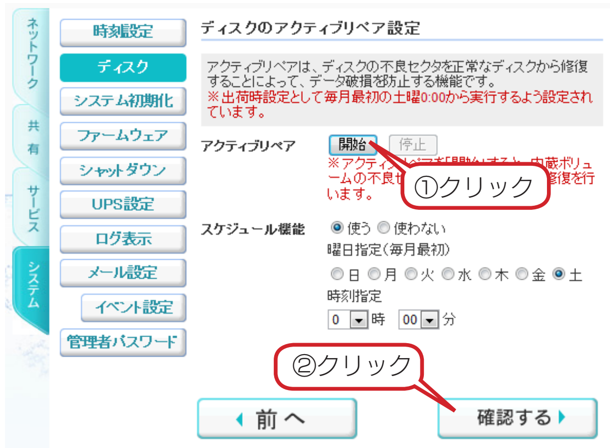
● Windows XP は、USB 接続モードではご利用いただけませんので、チェックディスクは行えません。

# アクティブリペアでチェックする

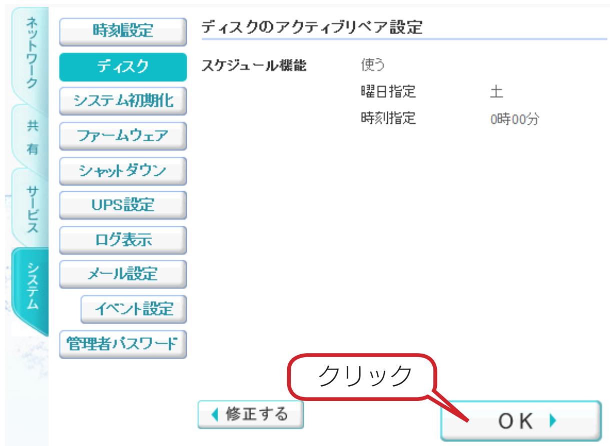
| 1 | 本製品の設定画面の [ システム ] タブから [ ディスク ] ボタンをクリックして、[ 操作一覧 ] にて [ アクティブリペア ] を選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。 |
|---|---|




| 2 | [ アクティブリペア ] の [ 開始 ] ボタンをクリックし、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |
|---|---|




| 3 | アクティブリペアを開始します。<br>[OK] ボタンをクリックしすると、設定画面左の [ ディスクのアクティブリペア ] に「実行中」と表示され、現在の進捗状態がパーセント表示されます。 |
|---|---|




| 4 | [アクティブリペア] 終了後、アクティブリペアが正常終了すると、「エラーなし」と表示されます。 |
|---|---|

## ご注意

- アクティブリペア中にも本製品の他の操作を行うことができます。
  アクティブリペアは、バックグラウンドで処理を行うため、アクティブリペア中に本製品の他の操作を行うことができますが、設定画面その他の動作が遅くなる場合があります。
  また、アクティブリペア中に電源ボタンで本製品の電源を切った場合、処理が中断されます。
- 本製品の容量や状態によりますが、ミラーリング (RAID1) 構成構成の HDL2-S2.0 の場合、アクティブリペア完了までに最大約 9 時間がかかる場合があります。正常動作ですので、安心してご利用ください。
- 異常があった場合は、システムログやログメールを参照してください。

# チェックディスクでチェックする

**ご注意**

●チェックディスク中は本製品をパソコンから取り外さないでください。
● Windows XP は、USB 接続モードではご利用いただけませんので、チェックディスクは行えません。

| | |
|---|---|
| 1 | 本製品を USB 接続モードで Windows パソコンに接続します。 |

| | |
|---|---|
| 2 | [ スタート ] → [ コンピューター ] （または [ コンピュータ ]）をクリックします。 |

| | |
|---|---|
| 3 | 本製品のアイコンを右クリックし、[ プロパティ ] をクリックします。 |

| | |
|---|---|
| 4 | [ ツール ] タブの [ チェックする ] をクリックします。チェックディスク画面が表示されます。 |

| | |
|---|---|
| 5 | 必要に応じてオプションにチェックを入れ、[ 開始 ] をクリックします。 |

**ご注意**

●チェックディスクを中断することはできません。
●オプションにチェックを入れなくてもチェックディスクは実行できます。

以上でハードディスクのチェックは終了です。

# UPS 装置を接続する

## UPS 装置の接続を確認する

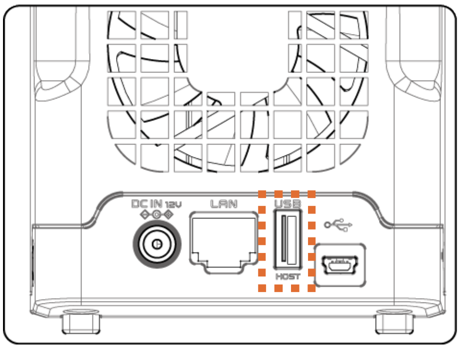
UPS 装置を本製品の USB[HOST] ポートに接続し、UPS 装置の接続を確認します。

**ご注意**

- ●本製品の電源が入っていても入っていなくても接続できます。
- ●本製品に接続できる UPS 装置については、弊社ホームページをご覧ください。

**1** UPS の電源を入れ、UPS が起動することを確認します。

**2** 本製品背面の USB[HOST] ポートに UPS を接続します。




**3** UPS の接続状態を詳細設定画面左側 [ 本製品のステータス ] で確認します。

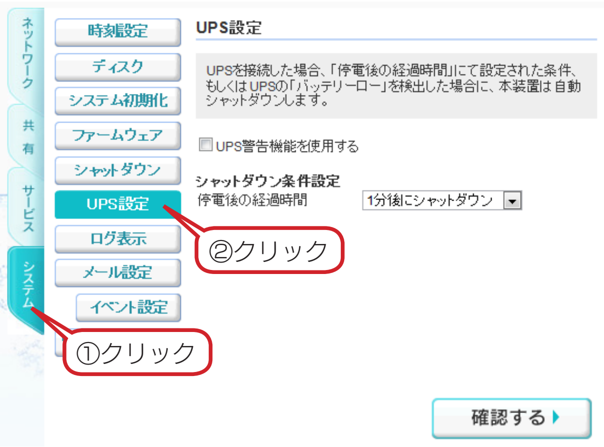



以上で完了です。

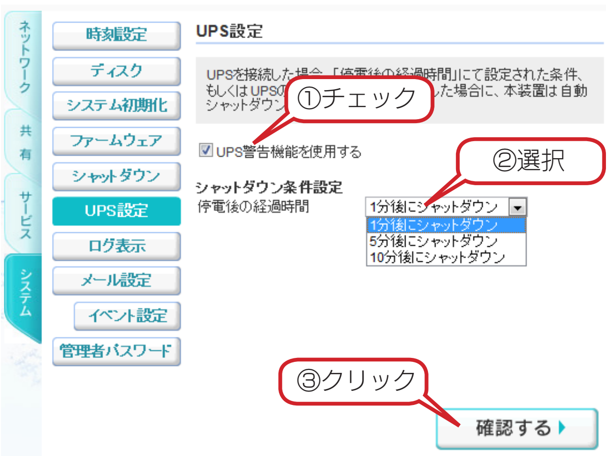
# UPS 警告機能を有効にする

本製品の起動時や運用時に、UPS の接続が確認できない場合に、ブザーとランプで警告するようにします。

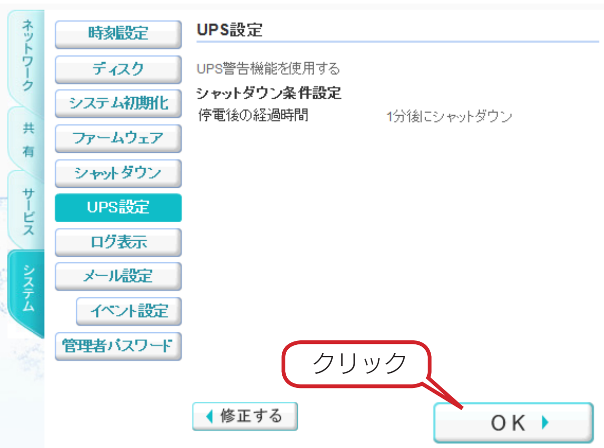
| | |
|---|---|
| **1** | 本製品の設定画面の [ システム ] タブの [UPS 設定 ] をクリックします。 |




| | |
|---|---|
| **2** | [UPS 警告機能を使用する ] にチェックを付け、[ シャットダウン条件 ] を選択してから、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| **3** | 確認画面が表示されますので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。 |




以上で完了です。

# DLNA サーバー機能を利用する

## DLNA サーバー

### ●本製品を DLNA サーバーとして使用する場合の注意

「DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤー」などの DLNA クライアント※1 なら、ネットワーク経由で本製品内のコンテンツをテレビなどで楽しむことができます※2。

※1　DLNA 対応版の弊社製 AveL Link Player や各家電メーカー製の DLNA ガイドライン準拠「ネットワークメディアプレーヤー」

※2　本製品は DLNA の策定するデジタル機器の相互接続性の標準設計ガイドライン「DLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.5」に対応しています。

ご利用になる前に、以下をご確認ください。

**ご注意**

●ライブラリとして公開できる共有フォルダーは、共有フォルダーのアクセス権が［全てのユーザーを許可］となっている共有フォルダーのみです。

●本製品で再生できるファイルフォーマットは次ページをご覧ください。

●公開しているフォルダー内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。

●公開しているフォルダー内のファイルに変化があると、データベースの構築が行われます。この間、クライアントから再生できない場合があります。また、DLNA サーバーで公開している共有フォルダーへのファイルコピーは、公開していないものより遅くなります。

●パスワード機能はありません。

●本製品の設定中は、ネットワークメディアプレーヤーから接続しないでください。

●ネットワークメディアプレーヤーで再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダーを削除したり移動させたりしないでください。

●同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。

●公開する共有に含まれるファイル数が多い場合には、DLNA クライアントからの接続に時間がかかります。また、公開中の共有にファイルをコピーしたり削除した場合にも、データベース構築が行われるため、時間がかかる場合があります。ファイル数によっては、数時間かかることもあります。

●本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にデータをバックアップしてください。

● Windows Vista のネットワークに表示されるアイコンについて
本製品の DLNA Server 機能を有効に設定している場合、Windows Vista の [ スタート ] → [ ネットワーク ] で開いた画面に追加アイコンが表示されます。ダブルクリックするとメディアプレイヤーが起動する場合がありますが、お使いのパソコンのメディアプレイヤーが DLNA に準拠していない場合は、本製品の共有フォルダー内のコンテンツの再生はできません。

●弊社修理センターでは、本製品が故障した場合のデータ復旧は行っておりません。

## ●メディアプレーヤーで再生できるファイルフォーマット

DLNA クライアントで再生できるファイルのファイルサイズによる制限はありませんが、本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。

※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。

| 種類 | ファイル拡張子 |
|---|---|
| 動画 | 3gp　avi　divx　mp4　m4v　mov　mpg　m2p　mpe　mpeg　vob　tts　mts　m2ts　ts　asf　dvr-ms　wmv |
| 写真 | bmp　gif　jpg　jpeg　png　tiff　tif |
| 音楽 | ogg　lpcm　pcm　flac　m4a　m4b　mp3　m3u　wav　wma |

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

**ご注意**

ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で本製品内のファイルを再生する場合、本製品およびネットワークメディアプレーヤーの両方が対応しているファイルフォーマットである必要があります。

お使いのネットワークメディアプレーヤーが対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書などで確認してください。

## ●メディアプレーヤーから参照できるようにする

ここでは、DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤーから本製品内のデータを参照できるようにする手順について説明します。

参照できるようにするには、参照させる共有フォルダーに［DLNA Server で公開］設定する必要があります。

※本製品には、出荷時すでに［DLNA Server で公開］設定されている［dlna］フォルダーがあります。

### ステップ 1　公開する共有フォルダーを確認する

ネットワークメディアプレーヤーから参照できる共有フォルダーを確認します。

**1** 設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックします。




**2** 現在ネットワークメディアプレーヤーに公開されている共有フォルダーが表示されます。




**ご注意**

●一覧に表示されている共有フォルダー以外は、ネットワークメディアプレーヤーで見ることができません。
【●参照できる共有フォルダーを追加･削除する】(9-74 ページ)をご覧になり、参照できる共有フォルダーを追加してください。

### ステップ2　ネットワークメディアプレーヤーからアクセスする

ネットワークメディアプレーヤーからのアクセス方法については、お持ちの「ネットワークメディアプレーヤー」の取扱説明書を参照してください。

**ご注意**

●ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない

●ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

→【ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある】(21-154 ページ)をご覧ください。

## ●参照できる共有フォルダーを追加・削除する

ネットワークメディアプレーヤーからの本製品内のデータの参照は、共有フォルダー単位での設定で行います。
ここでは、参照できる共有フォルダーを追加したり、逆に参照できなくする手順について説明します。

### 共有フォルダーを追加する

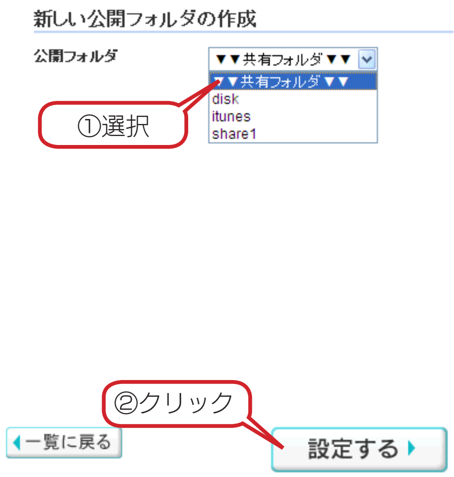
**1** 設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックします。




**2** ［公開フォルダーを追加する］ボタンをクリックします。




**3** 公開したいフォルダーを選択し、[ 設定する ] ボタンをクリックします。




**4** 新しい公開フォルダーの作成が完了したら、[ 一覧に戻る ] ボタンをクリックし、公開フォルダー一覧で確認します。以下は、share1 を公開フォルダーに追加した例です。




### 共有フォルダーを削除する

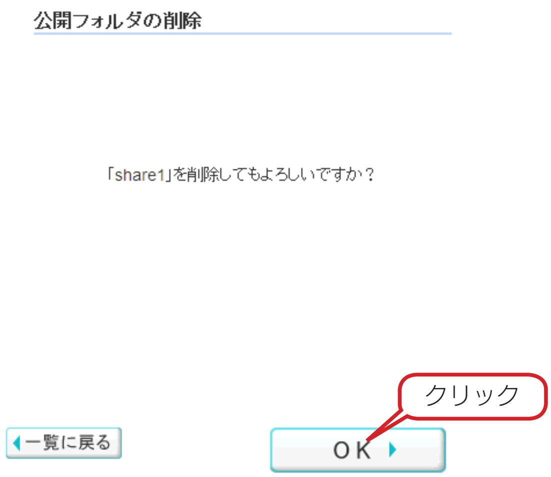
**1** 設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックします。




**2** 削除したいフォルダーの［削除］をクリックします。




**3** 確認画面が表示されますので、間違いが無ければ、[OK] ボタンをクリックします。



## ●アクセスできるメディアプレーヤーを制限する

一部の「ネットワークメディアプレーヤー」で再生できなくする（アクセスできなくする）手順について説明します。

本製品の「DLNA Server」設定を有効にした場合、同一ネットワーク内のすべての「ネットワークメディアプレーヤー」からデータを再生できるように設定されます。一部の「ネットワークメディアプレーヤー」で再生できなくする（アクセスできなくする）には以下の手順を行います。

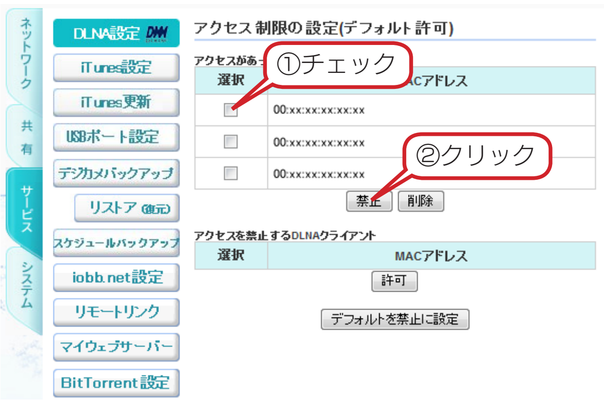
**ご注意**

アクセス制限を行うには、「ネットワークメディアプレーヤー」から事前に一度本製品にアクセスしておく必要があります。

**1** 設定画面の［サービス］ボタンをクリックし、［DLNA 設定］→［アクセス制限を設定する］をクリックします。




**2** ［公開フォルダーを追加する］ボタンをクリックします。




**3** 選択した DLNA クライアントが、［アクセスを禁止する DLNA クライアント］一覧に移動したことを確認します。

**ご注意**

上記設定変更後は、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）を起動しなおしてください。

これで、選択したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）からは本製品にアクセスできなくなります。

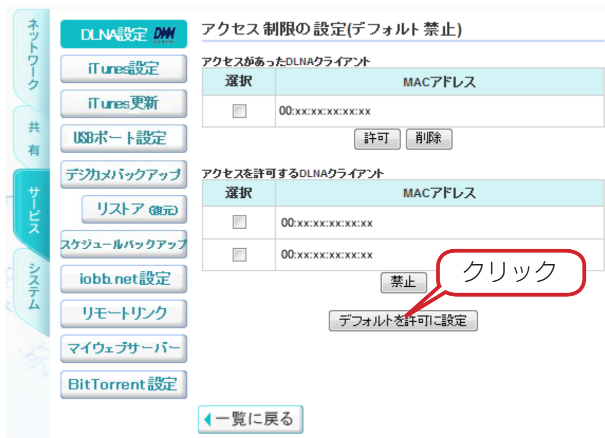
※アクセスを禁止したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）を元に戻す（アクセスを許可させる）場合は、画面の禁止したネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）横の［選択］ボタンをチェック後、［許可］ボタンをクリックすると戻ります。

初期設定をアクセス禁止にする設定にしたい場合は、次ページをご覧ください。

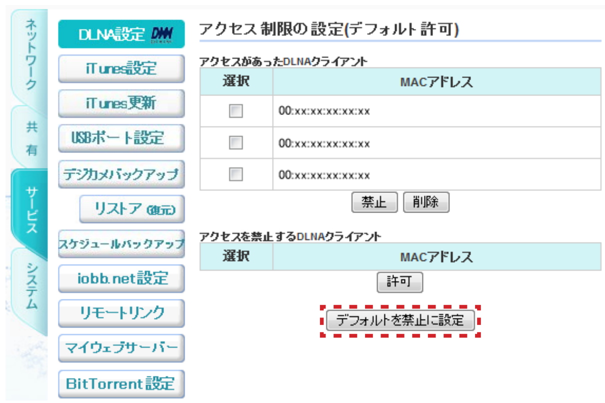
### 初期設定をアクセスを禁止する設定にする場合

複数のネットワークメディアプレーヤーの内、アクセス禁止よりも、アクセス許可のネットワークメディアプレーヤーの方が少ない場合には、初期設定をアクセス禁止（デフォルトを禁止）にし、許可するネットワークメディアプレーヤーのみを選択することもできます。

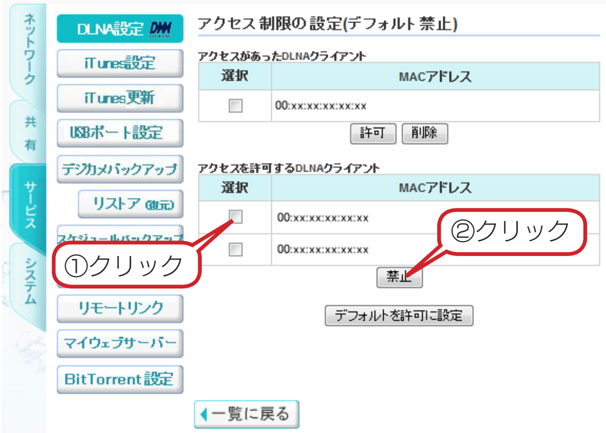
**1** アクセス設定画面の［デフォルトを許可に設定］ボタンをクリックします。ボタンが［デフォルトを禁止に設定］になります。
これで、今後本製品にアクセスする新規のネットワークメディアプレーヤーはすべてアクセス禁止になります。
※以前にアクセスを許可したネットワークメディアプレーヤーは、［アクセスを許可する DLNA クライアント］欄に表示され、許可した設定のままとなります。




▼



| | |
|---|---|
| **2** | 以前にアクセス許可をしたネットワークメディアプレーヤーを禁止に変更する場合は、［アクセスを許可するDLNAクライアント］一覧から禁止するDNLAクライアント横の［選択］をチェック後、［禁止］ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| **3** | アクセス禁止しているネットワークメディアプレーヤーを許可に変更する場合は、［アクセスがあったDLNAクライアント］一覧から許可するDNLAクライアント横の［選択］をチェック後、［許可］ボタンをクリックします。 |




上記設定変更後は、ネットワークメディアプレーヤーを起動しなおしてください。

# iTunes サーバー機能を利用する

## iTunes サーバー

### ●本製品を iTunes サーバーとして使用する場合の注意

本製品の iTunes サーバー機能で公開した音楽ファイルは、iTunes をインストール済みのネットワーク接続されたパソコン上で再生することができます。本製品の iTunes サーバー機能を利用するには、以下の iTunes が必要です。

Windows の場合　　　iTunes7 以降
Mac OS X の場合　　　iTunes7 以降または 6.0.5
iTunes は apple 社のホームページ（http://www.apple.com/jp/itunes/download/）より入手することができます。

ご利用になる前に、以下をご確認ください。

**ご注意**

●ライブラリとして公開できる共有フォルダーは、共有フォルダーのアクセス権が［全てのユーザーを許可］となっている共有フォルダーのみです。

●本製品で公開できるファイルフォーマットは次ページをご覧ください。

●本製品は工場出荷時状態で、iTunes サーバー機能が有効となっています。本機能を利用しない場合は、共有フォルダーの［iTunes Server］機能は無効に設定してください。

●公開しているフォルダー内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。

●公開しているフォルダー内にファイルの追加・削除を行った場合、最新状態を iTunes に反映するには、データベースの更新操作が必要です。データベースの更新中は、iTunes から再生できません。

●公開する共有に含まれるファイル数が多い場合には、iTunes からの接続に時間がかかる場合があります。

● iTunes 再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダーを削除したり移動させたりしないでください。

●同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。

● MP3 の ID3 タグ情報の文字は、UTF-16 のエンコーディングに対応しています。
UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。

● iTunes Store で購入した著作権保護されたファイルを共有する場合、iTunes にて再生しようとすると、「コンピュータ認証」画面が表示される場合があります。これは、iTunes の著作権管理機能により、著作権保護されたファイルを再生する場合の手続きになります。「コンピュータ認証」画面で認証を行うことで、最大 5 台まで著作権保護されたファイルを再生することができます。

●本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にデータをバックアップしてください。

●弊社修理センターでは、本製品が故障した場合のデータ復旧は行っておりません。

## ● iTunes Server で公開できるファイルフォーマット

本製品は以下のファイル拡張子のファイルのみ可能です。

| 種類 | ファイル拡張子 |
|---|---|
| 音楽 | mp3　m4a　m4p |

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

## ● iTunes から再生できるようにする

ここでは、iTunes から本製品内の音楽ファイルを再生できるようにする手順について説明します。

再生できるようにするには、iTunes に公開する共有フォルダーに［iTunes Server で公開］設定する必要があります。

※本製品には、出荷時すでに［iTunes Server で公開］設定されている［itunes］フォルダーがあります。

### ステップ 1　公開する共有フォルダーを確認する

iTunes から参照できる共有フォルダーを確認します。

1 設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックします。




2 現在 iTunes に公開されている共有フォルダーが表示されます。

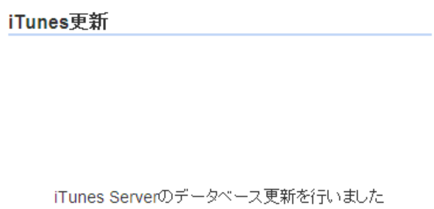



### ステップ2　データベースを更新する

1 設定画面の［iTunes 更新］ボタンをクリックします。




2 iTunes Server のデータベース更新が行われます。




以上で iTunes で再生することができる共有フォルダーの設定は完了です。

次に実際に iTunes からアクセスできるかを確認します。

### ステップ 3　iTunes からアクセスする

以下は、アクセス手順の例です。

**ご注意**

- iTunes で本製品が表示されない
- iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

→【iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある】（21-156 ページ）をご覧ください。

1 本製品と同じネットワークに接続されたパソコンの iTunes を起動します。

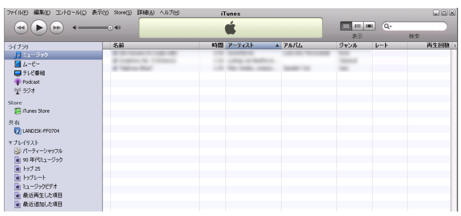
2 iTunes が起動すると、自動的に本製品の LANDISK の名前が iTunes の共有に表示されます。




**ご注意**

LANDISK の名前を変更している場合は、変更した名前が表示されます。

3 iTunes に表示された LANDISK の名前をクリックすると、本製品の iTunes サーバー機能で公開されている音楽ファイルが表示されます。



曲名をダブルクリックするとパソコンで音楽ファイルを再生します。

## ●公開する共有フォルダーを追加・削除する

iTunes からの本製品内のデータの参照は、共有フォルダー単位での設定で行います。
ここでは、参照できる共有フォルダーを追加したり、逆に参照できなくする手順について説明します。

### 共有フォルダーを追加する

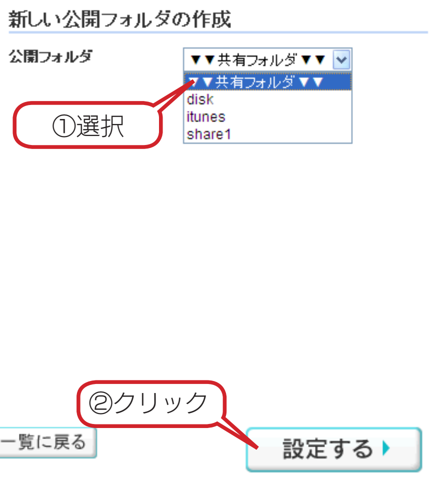
**1** 設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックします。




**2** ［公開フォルダーを追加する］ボタンをクリックします。




**3** 公開したいフォルダーを選択し、[ 設定する ] ボタンをクリックします。




**4** 新しい公開フォルダーの作成が完了したら、[ 一覧に戻る ] ボタンをクリックし、公開フォルダー一覧で確認します。以下は、share1 を公開フォルダーに追加した例です。




### 共有フォルダーを削除する

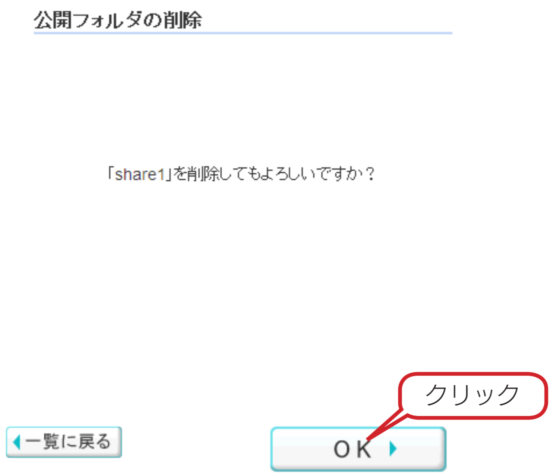
**1** 設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックします。




**2** 削除したいフォルダーの［削除］をクリックします。




**3** 確認画面が表示されますので、間違いが無ければ、[OK] ボタンをクリックします。



## ● iTunes サーバーを更新する

スケジュール設定をしておくことで、iTunes サーバーを自動的に更新します。
以下の例は、スケジュールの設定のみを行う例です。（今すぐ更新は行いません。）

**1** 本製品の設定画面の[サービス]タブから[iTunes 更新]ボタンをクリックします。




**2** [ スケジュール機能 ] の [ 使う ] を選択し、更新する曜日と時刻を設定し、[ 確認する ] ボタンをクリックします。




**3** 確認画面が表示されるので、問題がなければ [OK] ボタンをクリックします。




以上で設定は完了です。

**ご注意**

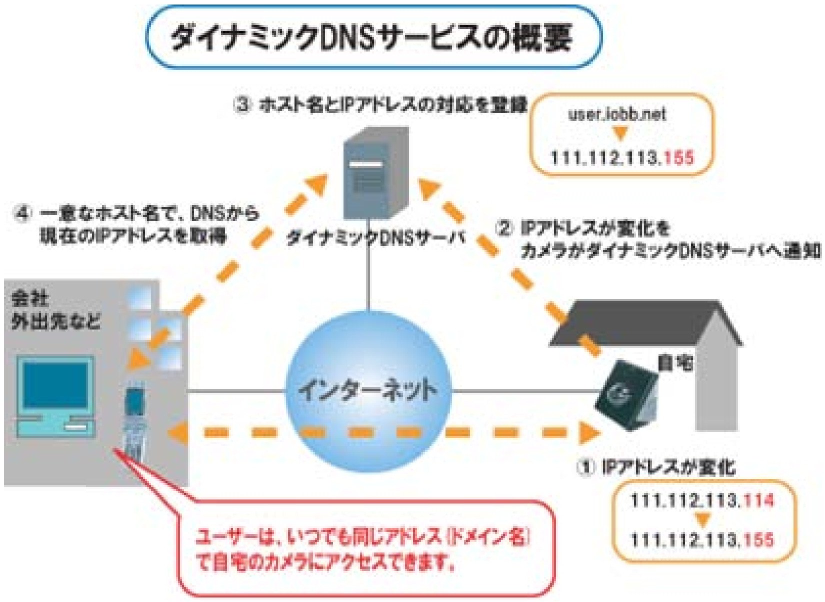
- ●スケジュール設定を行う場合は、必ず本製品の時刻設定を行ってください。
- ●他のスケジュールと重ならないようご注意ください。
- ●スケジュール設定は 1 日に 1 回のタイミングに限られます。
  1 日の間に複数回のバックアップを設定することはできません。

# リモートトリンク機能を利用する

## iobb.net

### ●本製品のリモートリンク機能を使用する場合の注意

弊社（I-O DATA）が提供するダイナミック DNS サービス「iobb.net」について説明します。
リモートリンク機能を使用するには、弊社が提供するダイナミック DNS サービスである「iobb.net」を使用します。
ダイナミック DNS とは、仮想サーバーなどを公開する場合に、IP アドレスを指定せずにドメイン名で指定できるようにする機能です。接続するたびに IP アドレスが変わってしまう場合でも、ダイナミック DNS サービスを利用すれば、常にドメイン名でアクセスできます。




**ご注意**

●ご利用にはプロバイダよりグローバル IP が配布される環境が必要です。

●複数のルーターが存在している環境ではご利用いただけない場合があります。

●本製品は「iobb.net」以外のダイナミック DNS サービスには対応しておりません。

●アクセスしようとしているサーバーと同じ LAN 内でのパソコンからはドメイン名ではアクセスできません。外部の別のネットワークからドメイン名でアクセスできる事をご確認ください。
サーバーと同じ LAN 内から接続する場合には、ローカル IP アドレスでアクセスしてください。

●リモートリンク機能をご利用になる場合は、FTTH( 光 )、ADSL、CATV 等のブロードバンド回線をご用意ください。

●ホームメディアリンク機能を利用して外出先から自宅の本製品のコンテンツの再生を行う場合、本製品およびホームメディアリンククライアントを動作させるインターネット環境は FTTH( 光 ) などの高速回線 ( 実効速度 10Mbps 程度の回線速度を想定 ) を推奨します。

●高ビットレートの動画コンテンツ (8Mbps 以上 ) は正常に再生できない場合があります。

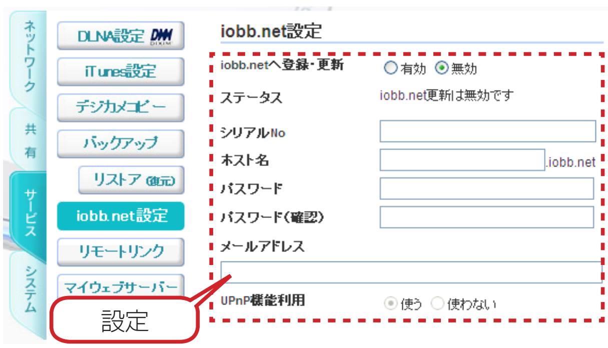
●ホームメディアリンク機能は、お客様のご利用環境、通信環境、接続回線の混雑状況により映像が乱れる、途切れる、見えない等の品質劣化が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

## ● iobb.net に登録する

### ステップ 1　仮登録する

| | |
|---|---|
| 1 | 設定画面の [ サービス ] タブをクリックし、[iobb.net 設定 ] をクリックします。 |

| | |
|---|---|
| 2 | 現以下の順に設定します。<br>① [iobb.net へ登録・更新 ] を [ 有効 ] にチェックをつけます。<br>② [ シリアル No] に本製品のシリアル番号（12 桁の英数字）を入力します。<br>※本製品貼付のシールに記載されています。<br>③ [ ホスト名 ] に iobb.net に登録するホスト名を入力します。<br>※ここで登録するホスト名が iobb.net で登録するドメイン名「http://( ホスト名 ).iobb.net/」となります。<br>④ [ パスワード ]、[ パスワード ( 確認 )] に iobb.net に登録するパスワードを入力します。<br>※ iobb.net の登録情報の確認、変更の為に必要です。パスワードは確認のため、2 回入力してください。<br>⑤ [ メールアドレス ] に iobb.net から送信される登録通知メールを受信するメールアドレスを入力します。<br>※ Iobb.net は仮登録と本登録があり、それぞれ入力したメールアドレス宛に通知メールが送られます。<br>⑥ [UPnP 機能利用 ] の [ 使う ] にチェックをつけます。<br>※ UPnP 機能はリモートリンクを利用する上で必要な機能です。<br>⑦必要な項目を入力したら、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |

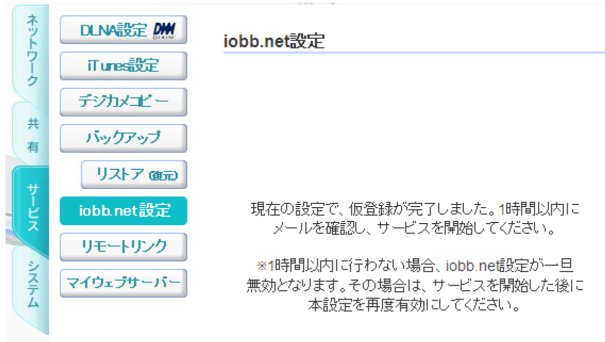



**ご注意**

使用できる文字については、【文字制限一覧】(19-120 ページ)をご覧ください。

| | |
|---|---|
| 3 | 入力内容が表示されますので、確認の上、[OK] ボタンをクリックします。<br>→ iobb.net の登録処理が始まります。 |

| | |
|---|---|
| 4 | しばらくすると、以下のような画面が表示されます。 |




これで仮登録は完了です。

**ご注意**

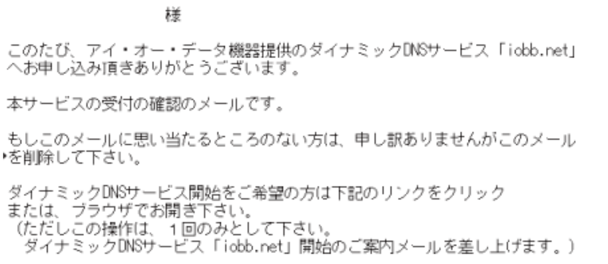
●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがって、入力し直し、再度 [ 確認する ] ボタンをクリックしてください。

●一部の環境では、LAN DISK の設定画面から UPnP 機能を使用してポート設定ができないことがあります。
この場合は、設定画面から UPnP 機能を使わないを選び、お使いのルーターの設定画面より手動でポートを開放の設定をしてください。
ポートの開放方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

※「ポートの開放」はお使いのルーターによって、「ポートフォワーディング」や「仮想サーバー」などと表記される場合があります。

## ステップ2　本登録する

**1**　iobb.net より仮登録の通知メール（件名：ダイナミック DNS サービス「iobb.net」申込みのご案内 (xxx.iobb.net)）が送信されますので、通知メールの内容にしたがい、本登録のための登録フォームにアクセスします。


様

このたび、アイ・オー・データ機器提供のダイナミックDNSサービス「iobb.net」へお申し込み頂きありがとうございます。

本サービスの受付の確認のメールです。

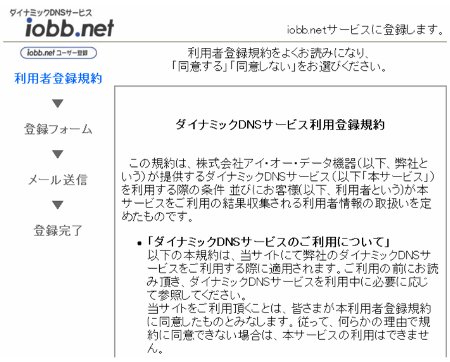
もしこのメールに思い当たるところのない方は、申し訳ありませんがこのメールを削除して下さい。

ダイナミックDNSサービス開始をご希望の方は下記のリンクをクリックまたは、ブラウザでお開き下さい。
（ただしこの操作は、１回のみとして下さい。
ダイナミックDNSサービス「iobb.net」開始のご案内メールを差し上げます。）

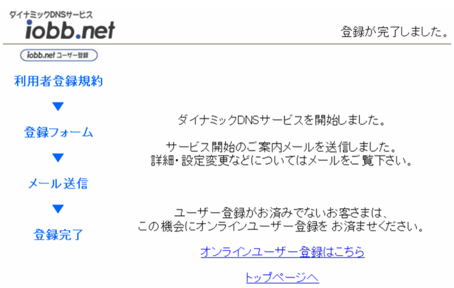
### ご注意

仮登録後 1 時間経つと、iobb.net 設定が無効となります。この場合は本登録を行った後、再度設定を有効にしてください。

**2**　登録フォームの指示にしたがって、iobb.net の本登録を行います。

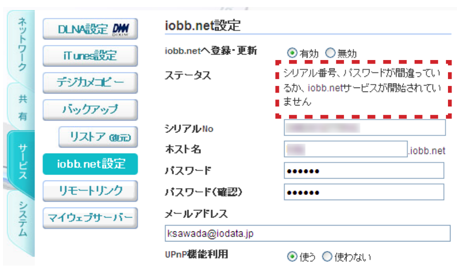



▼次のように表示されたら、iobb.net の登録は完了です。




### ご注意

仮登録完了後、改めて設定画面（iobb.net 設定）を開き直すと、以下のように表示されますが、本登録が済んでいないためです。本ページの本登録を完了してください。
「シリアル番号、パスワードが間違っているか、ダイナミック DNS サービスが開始されていません」




**3**　iobb.net の本登録完了のメールが送信されます。
本登録後、設定画面に戻ると、以下のように表示されます。




iobb.net のサイトから登録情報の確認と変更が行えます。
Web ブラウザーで次の URL を入力すると画面が表示されます。

　http://www.iobb.net/ddns/xxx.iobb.net/

　※ xxx は登録したホスト名になります。

( サイトにアクセスする際、登録した製品シリアル番号とパスワードの入力が必要です。)




これで、iobb.net の登録は完了しました。
次に【リモートアクセス】(次ページ) の設定を行ってください。

# リモートアクセス

## ご注意

リモートアクセスにログオンできるのは、同時に３ユーザーまでです。

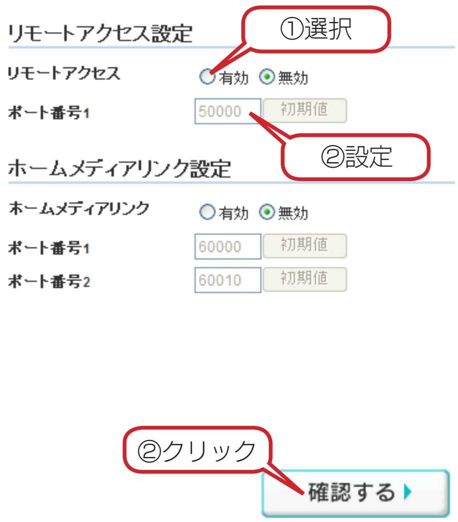
### ●リモートアクセスの設定を行う

本製品の共有フォルダーを「公開フォルダー」として設定することで、インターネット経由で外部からファイルにアクセスできる「リモートアクセス機能」を以下の方法で設定します。

**1** 設定画面の［サービス］タブをクリック、［リモートリンク］をクリックします。




**2** 以下の順に設定します。
①［リモートアクセス］を［有効］にします。
②［ポート番号 1］にリモートアクセスに使用するポート番号を入力します。
③必要な項目を入力したら､「確認する」ボタンをクリックします。



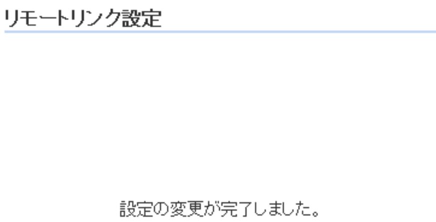

## ご注意

●ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。ただし、同一ネットワーク上で複数の LAN DISK Home でリモートアクセスを使用する場合は、それぞれ異なるポート番号を設定する必要があります。
●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがって、入力し直し、再度［確認する］ボタンをクリックしてください。

**3** 入力内容が表示されますので、確認の上、[OK] ボタンをクリックします。
→リモートアクセスの設定処理が始まります。




次のような画面が表示されたら、設定完了です。

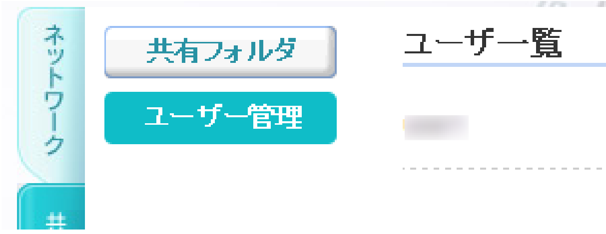



これで、リモートアクセスの設定は完了しました。
次ページ以降で、リモートアクセスでの操作を説明していますのでご確認ください。

## ●インターネット経由で共有フォルダーにアクセスする

インターネットから、リモートアクセス機能にて LANDISK 内のファイルにアクセスする手順について説明します。

### リモートアクセスにログインするユーザーを確認 / 登録する



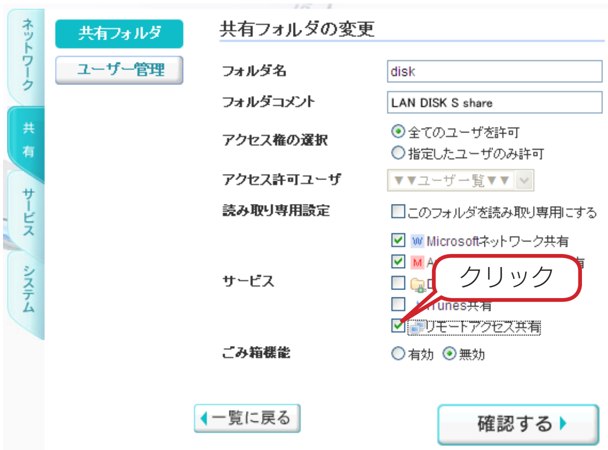

リモートアクセスは、リモートアクセスクライアントをリモートリンクスタートページから実行します。このとき LAN DISK に登録されているユーザーでリモートアクセスクライアントにログインします。

LAN DISK に登録されているユーザーを確認するには、設定画面の [ 共有 ] タブから、[ ユーザー管理 ] ボタンをクリックし、表示されるユーザー一覧を確認してください。

また、ユーザーが登録されていない場合は、新規ユーザーボタンよりユーザーを新規登録してください。

【●ユーザーを登録する】(4-41 ページ)

### リモートアクセスで公開する共有フォルダーを設定する




| | |
|---|---|
| 1 | 設定画面の [ 共有 ] タブから、[ 共有フォルダー ] ボタンをクリックします。 |

| | |
|---|---|
| 2 | 各共有フォルダーの設定にて、リモートアクセスで公開するフォルダーの [ リモートアクセス共有 ] にチェックをつけます。 |

### リモートアクセスを開始する

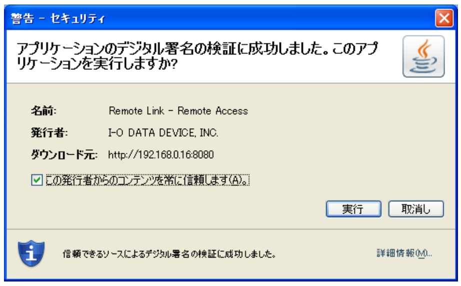
| | |
|---|---|
| 1 | Web ブラウザーで次のリモートリンクスタートページを開きます。<br>http://rm.iobb.net/ |

| | |
|---|---|
| 2 | リモートリンクスタートページの [ リモートアクセス ] ボタンをクリックします。<br>しばらく待つとリモートアクセスクライアントが起動します。 |




#### ご注意

●次のような画面が表示された場合は、「この発行社からのコンテンツを常に信頼します」にチェックをつけて「実行」ボタンをクリックしてください。

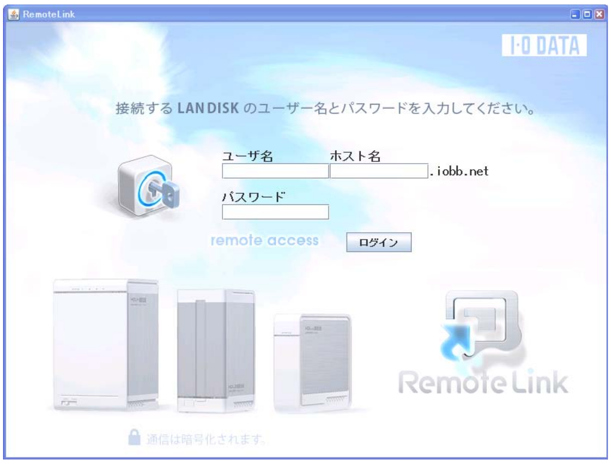



●次のような画面が表示された場合は、お使いのパソコンに Java Runtime Environment がインストールされていません。【Java Runtime Environment をインストールする】(11-87 ページ) の手順にしたがって、Java Runtime Environment をインストールしてください。



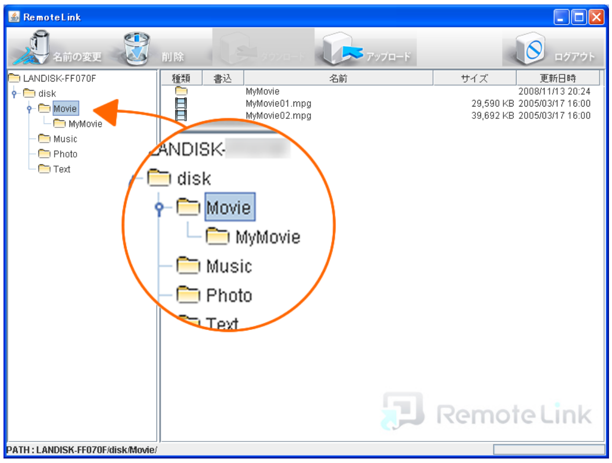
**3**

リモートアクセスクライアントにログインします。
①［ユーザー名］に、LAN DISK に登録したユーザー名を入力します。
②［ホスト名］に、LAN DISK の iobb.net 設定で登録したホスト名を入力します。
③［パスワード］に、LAN DISK に登録したユーザーのパスワードを入力します。
※ iobb.net 登録時のパスワードではありません。
④［ログイン］ボタンをクリックします。




## 公開するフォルダーを参照する

公開するフォルダーがツリー構造で表示されます。



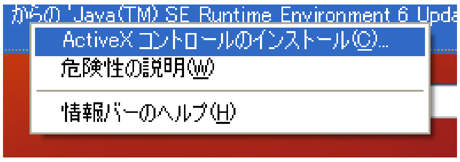
## 【参考】
## Java Runtime Environmentをインストールする

**1** 次のサイトで、Java Runtime をダウンロードします。
http://www.java.com/ja/download




### ご注意

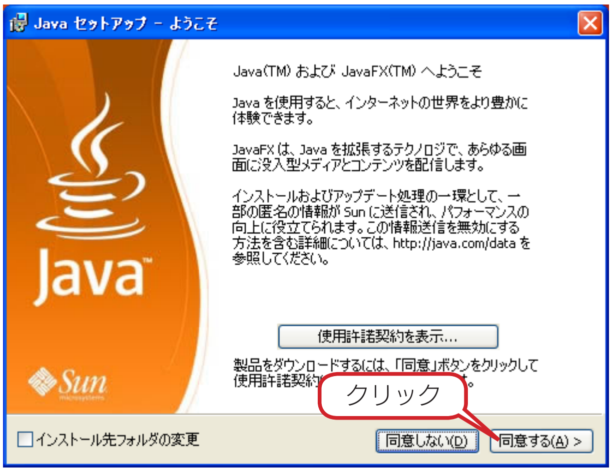
自動的にダウンロードが開始されずに、エラーが発生した場合は、Web ブラウザーのアドレス表示部下の帯部分を右クリックして、「ActiveX コントロールのインストール」をクリックします。



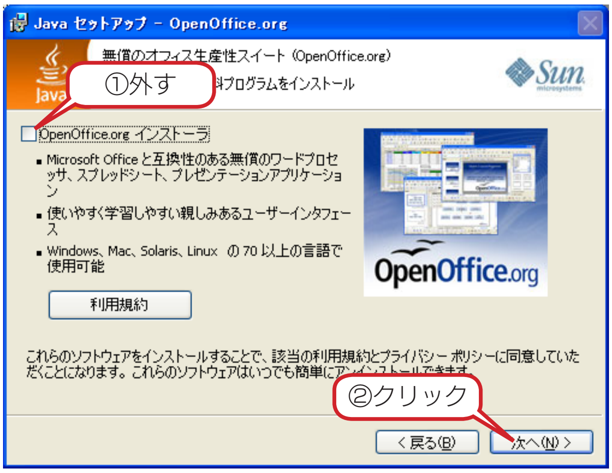

**2** 以下のような画面が表示された場合は、[ インストールする ] ボタンをクリックします。



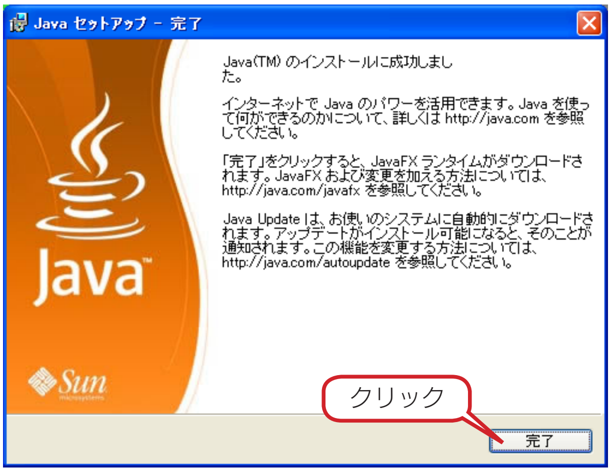

**3** 使用許諾契約を確認の上、[ 同意する ] をクリックします。




**4** オプションソフトウェアのインストールが選択できます。
リモートリンク機能を使用する上で、このソフトウェアは必要ないので、チェックボックスのチェックを外して、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



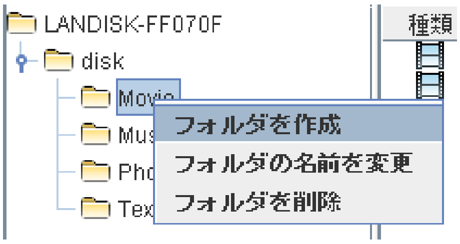

**5** 以下の画面で [ 完了 ] ボタンをクリックしたら、Java Runtime のインストールが完了です。



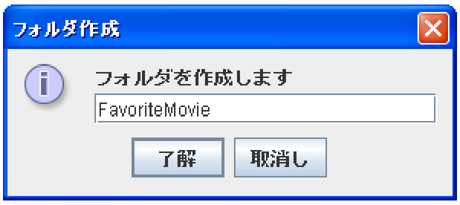
## ●使用方法

### フォルダーを作成する

**1** フォルダーを右クリックし、表示されたメニューから［フォルダーを作成］をクリックします。




**2** 名前を入力し、［了解］ボタンをクリックします。

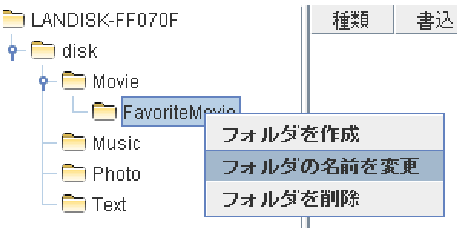



### ファイルやフォルダーの名前を変更する

**1** ［名前の変更］ボタンをクリックします。




ファイル / フォルダーを選択して、右クリックメニューでも実行できます。




**2** 名前を入力し、［了解］ボタンをクリックします。




#### ご注意

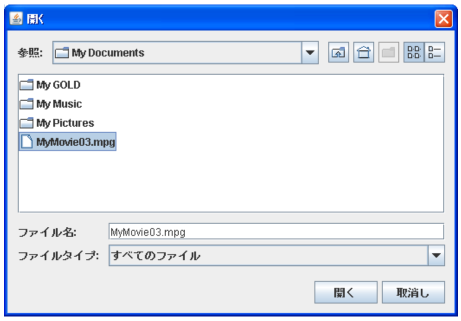
使用できる文字については、【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。

### ファイルをアップロードする

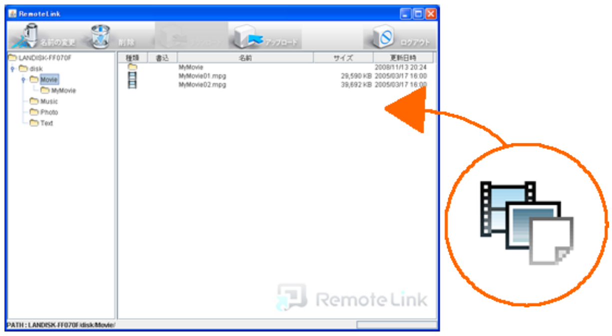
**1** ［アップロード］ボタンをクリックします。




**2** 表示されるファイルダイアログからアップロードするファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。ファイルが LAN DISK 内にアップロードされます。




ファイルのアップロードはドラッグ＆ドロップでもできます。



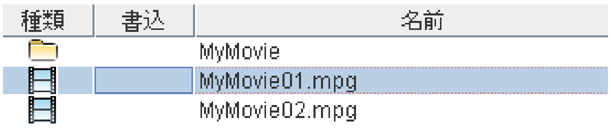

#### ご注意

●フォルダーごとにアップロードすることはできません。
　フォルダーを作成後、作成したフォルダー内にファイルをアップロードしてください。

●すでにアップロードされているファイルを再度アップロードして上書きすることはできません。すでにアップロードされているファイルを削除して、再度アップロードしてください。

## ファイルをダウンロードする

**1** ダウンロードするファイルを選択します。



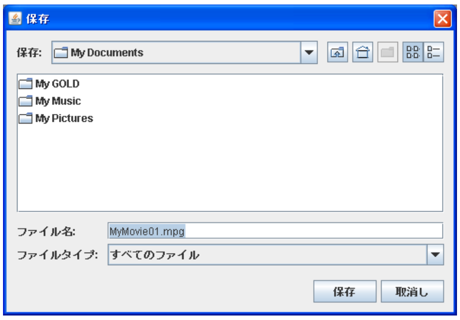

**2** [ ダウンロード ] ボタンをクリックします。




ファイルを選択して右クリックメニューでも実行できます。




**3** 表示されるファイルダイアログからファイルのダウンロード先を選択し、[ 保存 ] ボタンをクリックします。



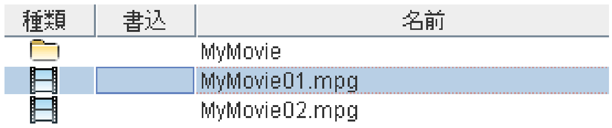

**ご注意**

●フォルダーごとにダウンロードすることはできません。
フォルダーを作成後、作成したフォルダー内にファイルをダウンロードしてください。

●ファイルのダウンロードはドラッグ＆ドロップで行えません。

## ファイル / フォルダーを削除する

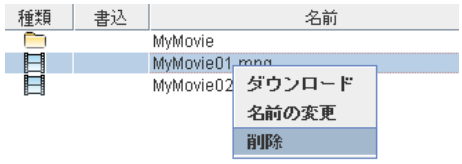
**1** 削除するファイル / フォルダーを選択します。




**2** 表示されるファイルダイアログからアップロードするファイルを選択し、[ 開く ] ボタンをクリックします。ファイルが LAN DISK 内にアップロードされます。




ファイル / フォルダーを選択して、右クリックメニューでも実行できます。




**3** [ はい ] ボタンをクリックすると、削除されます。



# ホームメディアリンク

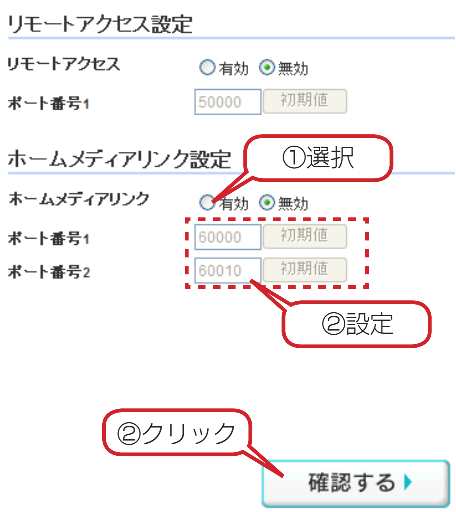
異なるネットワーク上にある PC にて、ホームメディアリンククライアントからログインすることで、インターネットを経由して、LAN DISK 上に保存されているコンテンツを再生することが可能になります。

## ●ホームメディアリンクの設定を行う

| 1 | 設定画面の [ サービス ] タブをクリック、[ リモートリンク ] をクリックします。 |
|---|---|




| 2 | 以下の順に設定します。<br>① [ ホームメディアリンク ] を [ 有効 ] にします。<br>② [ ポート番号 1][ ポート番号 2] にホームメディアリンクに使用するポート番号を入力します。<br>③ [ 確認する ] ボタンをクリックします。 |
|---|---|



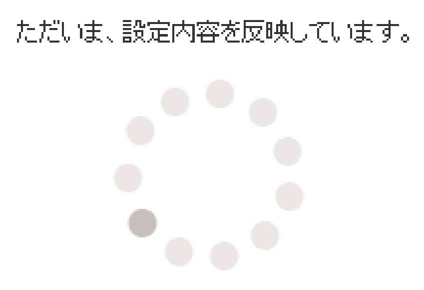

**ご注意**

●ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。

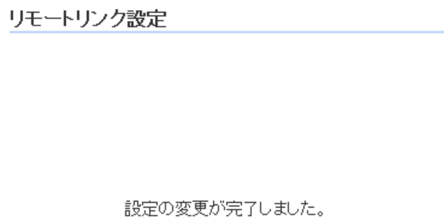
●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがい、入力しなおしてから、再度「確認する」ボタンをクリックしてください。

●同一ネットワーク上で複数の LAN DISK Home がホームディアリンクを使用する場合は、それぞれの LAN DISK home に異なるポート番号を設定してください。

| 3 | 入力内容が表示されますので、確認の上、「OK」ボタンをクリックします。<br>→リモートアクセスの設定処理が始まります。 |
|---|---|




次のような画面が表示されたら、設定完了です。



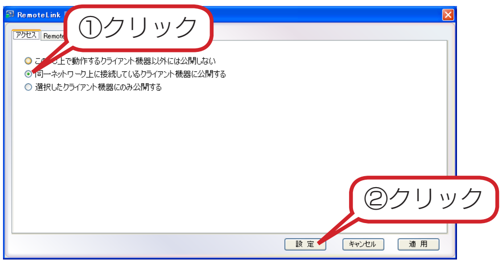

これで、ホームメディアリンクの設定は完了しました。
次ページで、インターネット経由で LAN DISK 内のコンテンツを再生する方法を説明していますのでご確認ください。

## ●インターネット経由で LAN DISK 内のコンテンツを再生する

### Home Media Link Client を起動する

| | |
|---|---|
| 1 | インストールした Home Media Link Client を起動します。サポートソフトのインストール方法は、【サポートソフトのインストールについて】(2-16 ページ)をご確認ください。 |

| | |
|---|---|
| 2 | 接続する機器を設定します。<br>①ネットワーク上のクライアント機器で再生できるようにするため、[ 同一ネットワーク上に接続しているクライアント機器に公開する ] をクリックします。<br>②[ 設定 ] ボタンをクリックします。 |



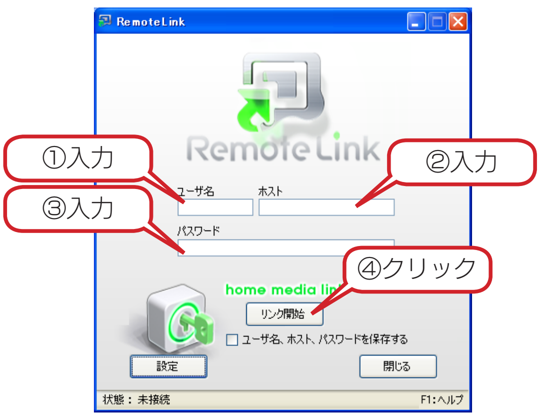

**ご注意**

再生できる機器を限定したい場合は、[ 選択したクライアント機器にのみ公開する ] をクリックします。

機器のリストが表示されますので、再生できる機器を選択して、[ 公開 ] ボタンをクリックします。




| | |
|---|---|
| 3 | ログインします。<br>①[ ユーザー名 ] に、LAN DISK に登録されたユーザー名を入力します。<br>②「ホスト」に iobb.net に登録したホスト名を入力します。<br>③パスワードに、LAN DISK ユーザーのパスワードを入力します。<br>④[ リンク開始 ] ボタンをクリックします。 |




### DiXiM Media Client を起動する

| | |
|---|---|
| 1 | DiXiM Media Client を起動し、コンテンツを再生します。使用方法については、[ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [DigiOn] → [DiXiM ヘルプ」をご確認ください。<br>サポートソフトのインストール方法は、【サポートソフトのインストールについて】(2-16 ページ)をご確認ください。 |




**ご注意**

- ●1 台の LAN DISK Home に対して、ホームメディアリンククライアントは、2 クライアントまで接続できます。
- ●同時再生は 2 台まで対応しています。複数のホームメディアリンククライアントで接続する場合、トータルで 2 台まで再生できます。
- ●ホームメディアリンククライアントを実行するパソコンはスタンバイ機能を無効に設定してください。

# マイウェブサーバー

マイウェブサーバー機能とは、自分で作成したお好みの Web ページを本製品内に保存し、自分専用の Web サーバーとしてインターネット経由で Web ページを参照することができます。マイウェブサーバー機能の設定は以下の手順で行います。

## ●マイウェブサーバーの設定を行う

**1** 設定画面の [ サービス ] タブをクリック、[ マイウェブサーバー ] をクリックします。




**2** 以下の順に設定します。

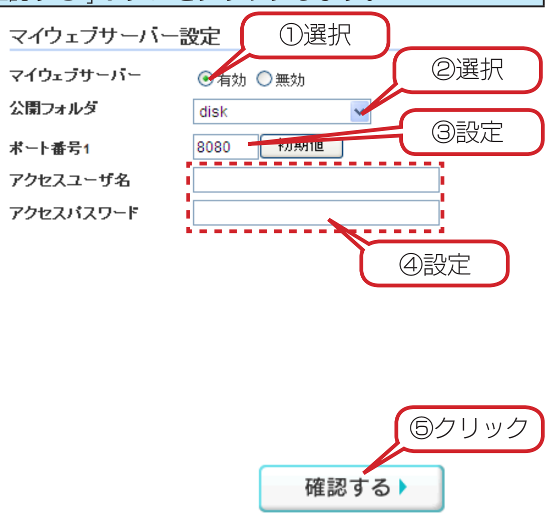
①[ マイウェブサーバー ] を [ 有効 ] にします。

②[ 公開フォルダ ] から、公開する Web ページが保存されている共有フォルダーを選択します。

③[ ポート番号 1] にポート番号を設定します。ポート番号は通常変更する必要がありません。

④[アクセスユーザー名]と[パスワード]を設定します。自分専用の Web ページを公開するとき、特定のユーザーのみ参照できるように、認証機能を設定するためのものです。何も入力しない場合は、Web ページへのユーザー制限を行いません。

⑤[ 確認する ] ボタンをクリックします。




### ご注意

●ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。

●画面にエラーが表示される場合は、エラー内容にしたがい、入力しなおしてから、再度「確認する」ボタンをクリックしてください。

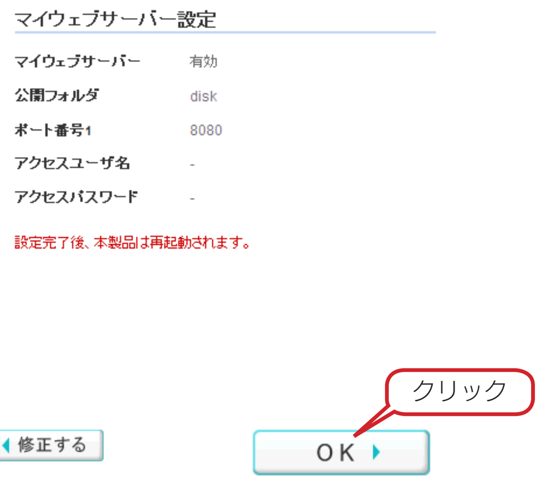
### ご注意

●同一ネットワーク上で複数の LAN DISK Home がマイウェブサーバー設定する場合は、それぞれの LAN DISK Home に異なるポート番号を設定してください。

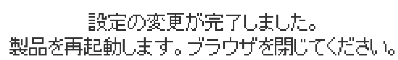
●公開フォルダーは、すべてのユーザーがアクセス可能な全共有のみ指定できます。

●ここで指定するアクセスユーザーは、マイウェブサーバー専用です。【●ユーザーを登録する】(4-41 ページ)で作成したユーザーとは関係ありません。

**3** 入力内容が表示されますので、確認の上、「OK」ボタンをクリックします。設定完了後、本製品は再起動します。




次のように表示されたら、マイウェブサーバーの設定は完了です。




これで、マイウェブサーバーの設定は完了しました。

次ページで、インターネット経由で自分専用のウェブページを閲覧する方法を説明していますのでご確認ください。

### ご注意

●マイウェブサーバー設定を有効に設定したタイミングで、選択した公開用共有フォルダーのルートに「robot.txt」というファイルが存在しなければ生成します。

「robot.txt」はマイウェブサーバー機能で公開する Web コンテンツを、検索エンジンのサーチ対象になりにくくする効果があります。特に問題なければ削除することもできます。

●設定によっては、アクセス制限なしで共有フォルダー内の WEB コンテンツをインターネット上に公開することになりますのでご注意ください。

## ●インターネット経由で自分専用のウェブページを閲覧する

マイウェブサーバーにアクセスするには、Web ブラウザーに以下のアドレスを入力します。

http://[ ホスト名 ].iobb.net:[ ポート番号 ]/[HTML ファイル ]
※ホスト名は、iobb.net に登録したホスト名、［ポート番号］はマイウェブサーバーを有効にした際に設定したポート番号、[HTML ファイル ] は公開フォルダー内に保存された、閲覧したいウェブページファイルを入力します。

マイウェブサーバーへアクセスした時、以下のような画面が表示された場合は、マイウェブサーバー設定で登録した「アクセスユーザー名」と「アクセスパスワード」を入力します。




以上で自分専用の Web ページが参照できます。

**ご注意**

●マイウェブサーバー機能では、CGI 機能は使用できません。
●マイウェブサーバー機能で公開する共有フォルダーのディレクトリインデックスは、共有フォルダーのルートの「index.html」または、「index.htm」となります。

# BitTorrent クライアント機能を利用する

## BitTorrent クライアント機能について

### ● BitTorrent について

BitTorrent は、ファイルの断片のダウンロードおよびアップロードを同時に行うことにより、高速にダウンロードができるプロトコルです。BitTorrent を利用すると、通常のダウンロードよりも高速かつ低コストでファイルを配信することができるため、大容量で人気のあるファイルを効率よく入手できます。

### ●本製品の BitTorrent クライアント機能について

通常、BitTorrent を利用したファイルのダウンロードおよびアップロードは、パソコンに BitTorrent クライアントソフトウェアをインストールして行います。
本製品の BitTorrent クライアント機能を利用すると、パソコンにソフトウェアをインストールすることなく BitTorrent を利用したファイルのダウンロードおよびアップロードを行うことができます。

ファイルのダウンロードは、入手した Torrent ファイルを本製品のダウンロードマネージャに登録すると、本製品が自動的にファイルのダウンロードを行います。
ダウンロードしたファイルは本製品のダウンロード先に指定された共有フォルダーに保存されます。
Torrent ファイルは、BitTorrent 社のホームページ（http://www.bittorrent.com/）などからダウンロードできます。
Torrent ファイルの利用規約、著作権等は各ホームページにしたがってください。

**ご注意**

●著作権で保護されたファイルを、無断でダウンロードし、使用することはできません。

● BitTorrent 再生中に、本製品上の再生中のファイルやファイルのある共有フォルダーの削除 / 移動はしないでください。

● BitTorrent クライアント機能が動作中は、本製品の Web 設定画面に対する操作や、共有フォルダーに対するアクセスに時間がかかる場合があります。

● BitTorrent クライアント機能が動作中は、DLNA サーバー機能、iTunes サーバー機能によるコンテンツの再生でコマ落ちしたり、音飛びが発生することがあります。

●空き容量以上のファイルのダウンロードは行わないでください。

●弊社修理センターでは、本製品が故障した場合のデータ復旧は行っておりません。

# BitTorrent 機能を設定する

| 1 | 設定画面の［サービス］タブをクリックし、[BitTorrent 設定］をクリックします。 |
|---|---|




| 2 | 以下の順に設定します。<br>①［BitTorrent 機能］を［有効］を選択します。<br>②［保存先共有フォルダ］で、ダウンロードしたファイルを保存する共有フォルダを指定します。<br>③［受信ポート番号］で、BitTorrent 機能で使用するポート番号を指定します。<br>④［UPnP 機能利用］で、ルーターに対するポート設定を UPnP を利用して行う場合は、［使う］を選択します。ルーターに対するポート設定を手動で設定する場合は、［使わない］を選択します。<br>⑤［確認する］ボタンをクリックします。 |
|---|---|




## ご注意

●受信ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。

●同一ネットワーク上で複数の LAN DISK が BitTorrent 機能を使用する場合は、それぞれの LAN DISK に異なる受信ポート番号を設定してください。

| 3 | 確認画面が表示されますので内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。 |
|---|---|

以上で BitTorrent 機能の設定は終了です。

# BitTorrent クライアント機能でダウンロードする

| | |
|---|---|
| 1 | あらかじめ、ダウンロードするファイルを示す、Torrent ファイルを準備する必要があります。<br>Torrent ファイルは、BitTorrent 社のホームページ（http://www.bittorrent.com/）などより入手します。 |

| | |
|---|---|
| 2 | 設定画面の [ サービス ] をクリックし、[BitTorrent 設定 ] をクリックします。<br>現在の BitTorrent 設定が表示されます。 |




| | |
|---|---|
| 3 | [ ダウンロード画面を開く ] をクリックします。<br>別ウィンドウでダウンロード画面が開きます。 |







| | |
|---|---|
| 4 | Torrent ファイルの登録を行います。<br>以下の 2 つの方法があります。 |

## ●方法 1

### Torrent ファイルの URL を指定してダウンロードする場合

①「URL から Torrent ファイルを追加」をクリックします。
② URL を入力します。
③ ADD ボタンをクリックします。




以上で Torrent ファイルの登録は完了です。
ダウンロードが開始されます。進捗が 100% になるとダウンロードは完了です。

ダウンロードしたファイルは「ダウンロード先共有フォルダ」に指定した共有フォルダーに保存されています。

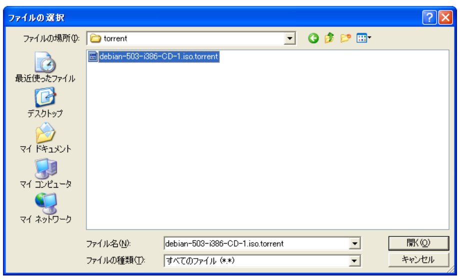
## ●方法 2

### Torrent ファイルを指定してダウンロードする場合

①「ファイルから Torrent 情報を追加」をクリックします。
② Browse ボタンをクリックします。




③あらかじめダウンロードした Torrent ファイルを選択します。



④ ADD ボタンをクリックします。

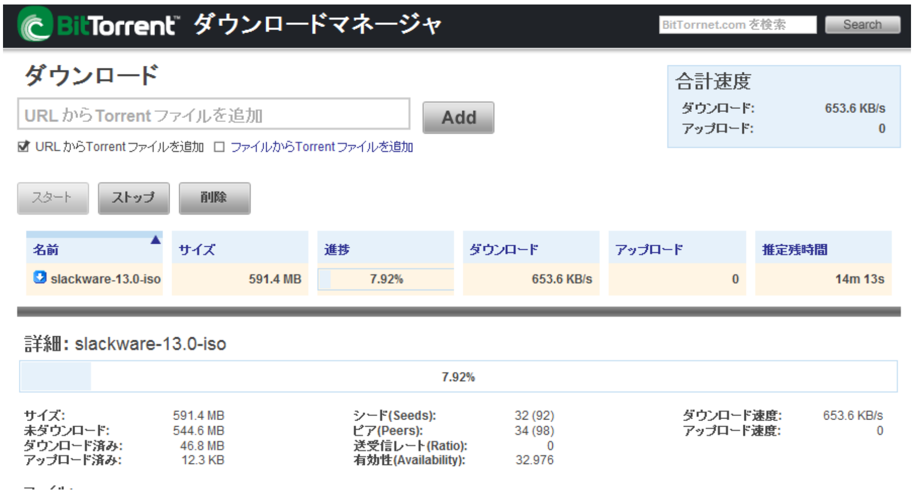



以上で Torrent ファイルの登録は完了です。
ダウンロードが開始されます。進捗が 100% になるとダウンロードは完了です。

ダウンロードしたファイルは「ダウンロード先共有フォルダ」に指定した共有フォルダーに保存されています。

## ●ダウンロードマネージャについて

ダウンロードマネージャでは以下の操作が行うことができます。




| | |
|---|---|
| [Add] ボタン | URL、またはファイルから Torrent ファイルを指定し、[Add] ボタンをクリックすると、ダウンロードリストに追加することができます。 |
| ダウンロードリスト | 現在追加された Torrent 情報の一覧が表示されます。<br>現在のダウンロード、アップロードの状態が表示されています。 |
| [ スタート ] ボタン | ダウンロードリストの操作対象とするファイルをクリックし、[ スタート ] ボタンをクリックすると、停止していたダウンロードを再開することができます。 |
| [ ストップ ] ボタン | ダウンロードリストの操作対象とするファイルをクリックし、[ ストップ ] ボタンをクリックすると、ダウンロードを停止することができます。 |
| [ 削除 ] ボタン | ダウンロードリストの操作対象とするファイルをクリックし、[ 削除 ] ボタンをクリックすると、ダウンロードリストより削除することができます。<br>削除をクリックすると、[ ダウンロード先共有フォルダ ] に保存したダウンロード中またはダウンロード済みファイルもあわせて削除されますので、必要なファイルはあらかじめコピーしておいてください。 |
| [Search] ボタン | キーワードを入力して BitTorrent.com 内の情報を検索します。 |

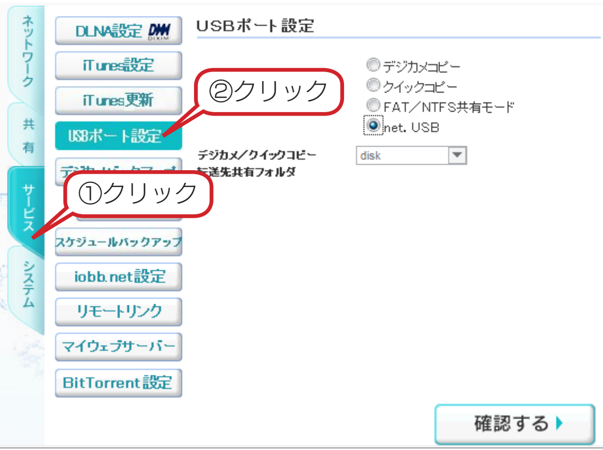
# net.USB を利用する

## net.USB について

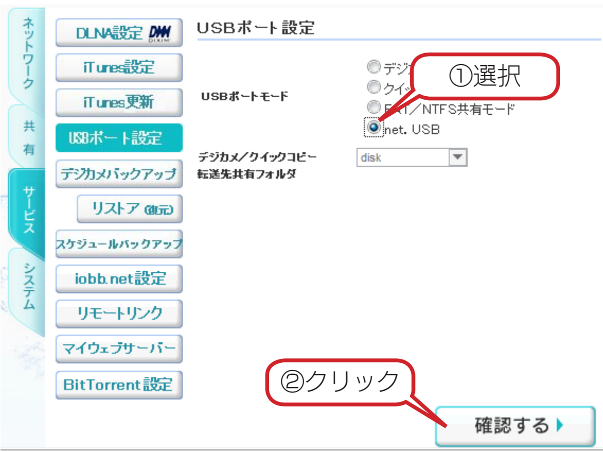
「net.USB」は本製品に接続したプリンターやスキャナーなどのUSB 機器をネットワークで共有することができるソフトウェアです。本製品では 30 日体験版を添付しており、使用開始から 30 日間すべての機能をお試しいただけます。使用期限を経過すると net.USB 機能は利用いただけなくなりますが、アクティベーションキーを購入することで、引き続きご利用いたくことができます。
アクティベーションキーは、アイオープラザ（http://www.ioplaza.jp/）よりご購入いただけます。

### ● net.USB を有効にする

**1** 設定画面の [ サービス ] をクリックし、[USB ポート設定 ] をクリックします。




**2** [USB ポートモード ] で [net.USB] を選択し、[ 確認する ] をクリックします。




**3** [USB ポートモード ] が [net.USB] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。

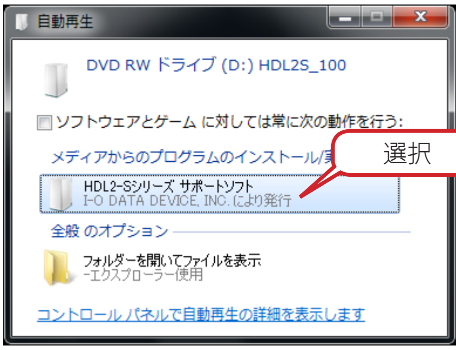
以上で設定は完了です。

### ● net.USB をインストールする

**1** パソコンを起動し、添付 CD-ROM をセットします。

**ご注意**

以下の画面が表示された場合、[HDL2-S シリーズ サポートソフト ] を選択します。([OK] ボタンがある場合はクリックします。)




**2** [ サポートソフトインストール ] ボタンをクリックします。




**ご注意**

自動で画面が表示されない場合は、[ スタート ]→[ マイコンピューター ] をクリックし、CD-ROM をダブルクリックしてください。

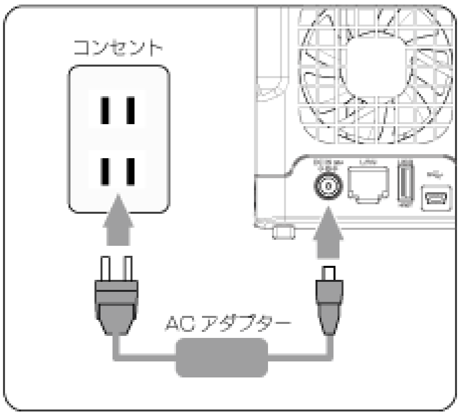
**3** [net.USB（30 日体験版）] をクリックします。
画面の指示にしたがってインストールをしてください。




## ● net.USB を利用する

**1** ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認し、パソコンを起動します。

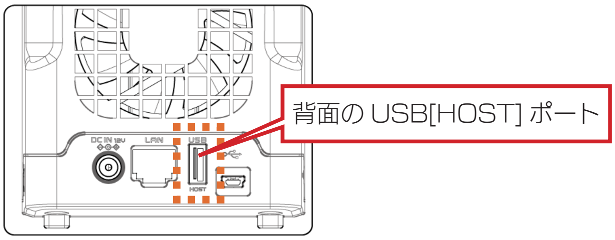
**2** AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品とコンセントに接続します。




**3** 本製品側面の電源ボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴り [STATUS] ランプが青色に約 3 分ほど点滅します。完全に起動するまでお待ちください。
※起動が完了すると、「ピー」と音がなります。




**4** 本製品背面の USB[HOST] ポートに USB 機器を接続します。
ご利用になる USB 機器によっては、ドライバーのインストールが必要な場合があります。
USB 機器の取扱説明書をご確認の上、接続してください。




**5** インストールした [net.USB] を起動します。
[ スタート ] → [ すべてのプログラム ]（または [ プログラム ]）→ [I-O DATA] → [net.USB] を順にクリックします。
※「net.USB」の使い方については、サポートソフトの「net.USB 画面で見るマニュアル」をご覧ください。



# RAID モードを変更する

## 本製品で設定できる RAID モード

本製品内蔵ハードディスクは、出荷時スパンニングで構成されています。RAID モードは、設定画面で別の RAID モードに変更することもできます。本製品では、以下の2つの RAID モードに設定することができます。

※ 2 つのハードディスクを別々のハードディスクとして使用することはできません。

**ご注意**

●本製品で RAID 設定を変更すると、それまで RAID ボリュームに保存されていたデータはすべて失われます。
あらかじめ、データをバックアップしてから RAID 構成を変更するか、初期状態からすぐに構成変更してください。

| | |
|---|---|
| スパンニング | 内蔵ディスク 1、2 を結合させ、1 つのハードディスクとして認識します。大容量で使いたい場合に最適です。 |
| ミラーリング (RAID1) | 内蔵ディスク 1、2 に同じデータを書き込むことにより、一方のハードディスクが故障した場合でも、もう一方からデータを復旧できるようにします。使用容量は、ハードディスクの 1 台分となってしまいますが、データの保護に優れたモードです。 |

### ●各 RAID モードの比較

| RAID モード | | スパンニング | ミラーリング (RAID1) |
|---|---|---|---|
| ディスクの使用効率 | | 高<br>(すべてデータ領域として使用) | 中<br>(1/2 をデータ領域として使用) |
| システムパフォーマンス | | 高 | 中 |
| データの保護機能 | | なし | あり |
| 利用可能なディスク容量 | 例）HDL2-S2.0 の場合※ | 約 2.0TB | 約 1.0TB |

※ HDL2-S シリーズの内蔵ハードディスク 2 台分の容量に応じてスパンニング モードはその約 1 倍、RAID 1 モードは約 1/2 倍の容量となります。

## RAID モードを変更する際の注意

### ●変更する前に

・内蔵ハードディスク（2 台）はすべてフォーマットされます。

・RAID の設定を変更すると、本製品内に保存されているデータが消去されます。RAID モード変更前に必ず必要なデータはバックアップしてください。

### ●変更時

・RAID モードをスパンニングからミラーリング (RAID1) に変更すると、RAID 構築に移ります。

・RAID モードの切り替え処理自体は数分で終わりますが、RAID モードを切り替えた場合は、自動的に再構築（リビルド）が実行されます。

・再構築（リビルド）中も通常通り本製品をご利用いただけます。

※再構築 ( リビルド ) 中は、USB 接続モードではご利用いただけません。RAID 構築が完了するまでお待ちください。

▼ RAID モード変更後の構築までの所要時間

| 変更する RAID モード | スパンニング | ミラーリング (RAID1) |
|---|---|---|
| RAID 構築までの時間※ | 約 1 分 | 約 16 時間 |

※表示されている時間は、ネットワークに HDL2-S2.0 を接続し、ファイル共有などの操作をしない状態で測定した値です。
構築中に設定変更やファイル操作を行うと、上記以上の時間を要します。

・再構築中（リビルド）中は USB 接続では使用できません。

# 現在の RAID モードを確認する

現在の RAID モードとハードディスクの状態を詳細設定画面で確認することができます。

| 1 | 本製品の設定画面を開き、左側の [ ディスク状況 ] を確認します。 |
| --- | --- |



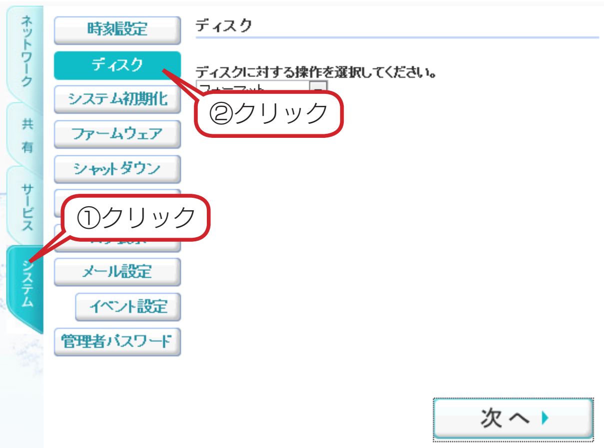
# RAID モードを変更する

現在の RAID モードを他の RAID モードに変更することができます。以下は、スパンニングモードに変更する場合の例です。

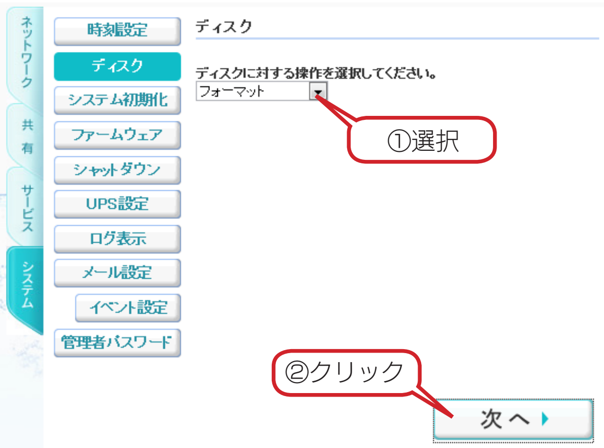
**ご注意**

RAID モードを切り替えると、内蔵ボリュームすべてのデータが消去されます。ご注意ください。

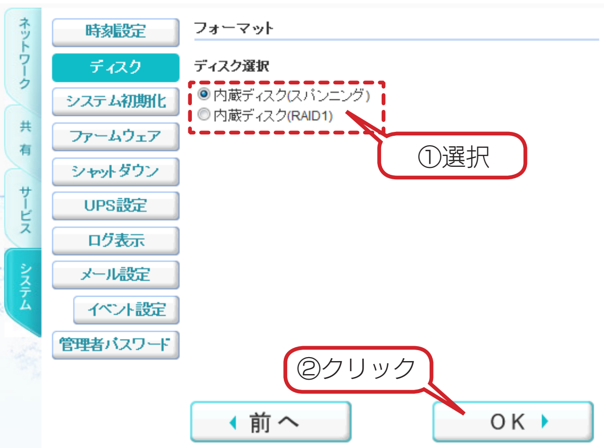
**1** 本製品の設定画面の [ システム] タブから ［ディスク］ボタンをクリックします。



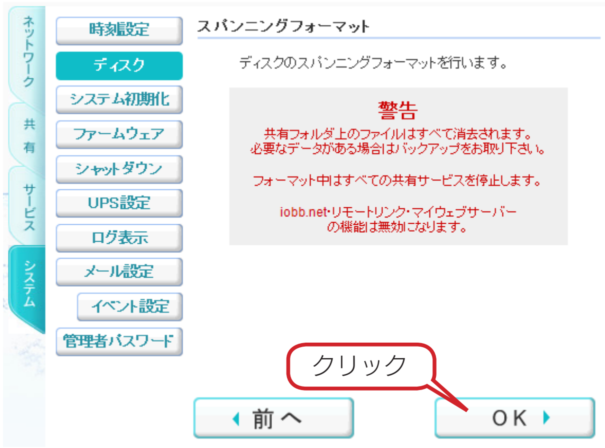

**2** [ フォーマット ] を選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。




**3** 「内蔵ディスク（スパニング）」または「内蔵ディスク (RAID1)」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。




**4** ［OK］ボタンをクリックします。
→ RAID モード変更処理が始まります。
変更処理には数分かかります。しばらくお待ちください。




次のような画面が表示されたら、変更完了です。




ミラーリング (RAID1) モードに変更した場合は、自動的に再構築（リビルド）が実行されるため、完了するまでパフォーマンスが多少低下する場合がありますが、そのままお使いいただけます。

現在の構築状態は、設定画面上から確認することができます。
［状態］が「正常動作」となれば構築完了です。
※再度状態を確認するには、［更新］ボタンをクリックしてください。

# システムを管理する

## 管理者パスワードを変更する

管理者は本製品の設定すべてや、すべての共有（全共有、ユーザー共有）にアクセスできる権限を持っています。
ここでは、管理者用の本製品設定時のパスワードの設定手順について説明します。
※すべての共有にアクセスできるのは Windows からのみです。
　他の人にパスワードが漏れないようしっかり管理し、定期的にパスワードを変更するようにしましょう。

**ご注意**

●パスワードは忘れないようしっかり管理しましょう。設定したパスワードを忘れた場合、確認する方法はありません。
　設定したパスワードを忘れてしまった場合には、本製品側面の［RESET］ボタンでリセットしないと使用できなくなります。
【●方法 1 :IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（16-109 ページ）参照
●出荷時は、パスワード設定されていません。

管理者パスワードは以下の場合に使用します。

・本製品の設定画面を開く場合

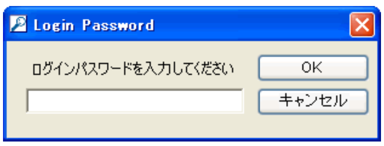



・管理者として共有フォルダーにアクセスする際のパスワード
　※すべての共有にアクセスできるのは Windows からのみです。

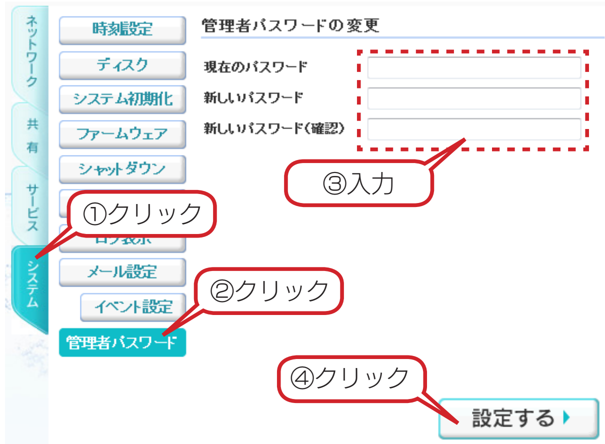



・「Magical Finder」から「IP 設定」画面を開く場合




**1** 本製品の設定画面の［システム］タブをクリックし、［管理者パスワード］をクリックします。
「現在のパスワード」と「新しいパスワード」「新しいパスワード（確認）」を設定後、［設定する］ボタンをクリックします。




| | |
|---|---|
| 現在のパスワード | 管理者の現在のパスワードを入力します。<br>※出荷時の場合は、設定されていません。（空欄のままにします。） |
| 新しいパスワード | 管理者の新しいパスワードを入力します。 |
| 新しいパスワード（確認） | 確認のため管理者の新しいパスワードをもう一度入力します。 |

**ご注意**

●パスワードで使用できる文字には、以下の制限があります。
　【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。
●入力するパスワードは、「●●●●●」と表示され、確認できませんので、お間違えないようご注意ください。

**2** ［結果］の画面が表示されます。

以上で管理者用パスワードの設定は終了です。

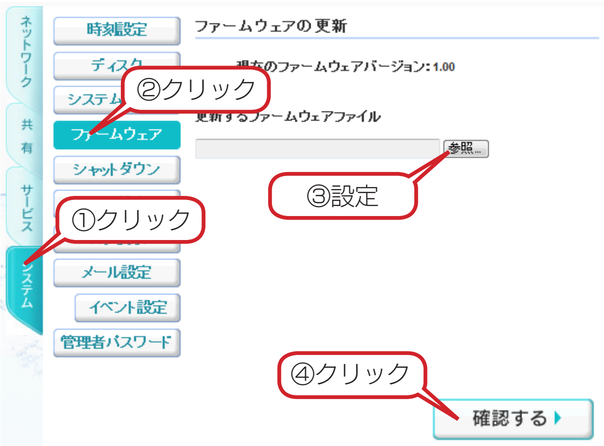
# ファームウェアを更新する

ファームウェアは弊社ホームページよりダウンロードできます。

http://www.iodata.jp/lib/

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも装置の修正など、重要な更新が含まれます。
定期的に弊社サポート・ライブラリ（http://www.iodata.jp/lib/）を確認し、最新のファームウェアで本製品をご利用ください。
ここでは、ファームウェアの更新手順について説明します。

| | |
|---|---|
| 1 | 本製品の設定画面の [ システム ] タブをクリックし、[ ファームウェア ] ボタンをクリックします。<br>[ 参照 ] ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェアのファイル名 (update.tgz) を設定し、［確認する］ ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| 2 | 本製品の [STATUS] ランプが点滅を開始します。<br>更新後、本製品が再起動します。<br>(再起動後に設定画面は自動で変わりません。)<br>※ファームウェアのファイルサイズおよび本製品の状態により変化しますが、5 ～ 6 分程度かかります |

以上でファームウェアの更新（アップデート）は終了です。

## 更新後の確認方法

① [STATUS] ランプが点灯状態に戻ったことを確認後、設定画面を開き直します。
② [ システム ] タブ→ [ ファームウェア ] をクリックします。
③現在のファームウェアのバージョン表示が新しいバージョンであることを確認します。

**ご注意**

●ファームウェアを更新する際は、パソコンのファイアウォールの設定を解除してください。
解除されていないと、正常に更新できない場合があります。

●ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。
更新中に電源を切ると、本製品を破損する恐れがあります。

●ファームウェアの更新後、本製品は自動的に再起動します。
再起動完了時、DHCP サーバーのあるネットワーク環境では、[STATUS] ランプ（青色）が点灯します。
DHCP サーバーのないネットワーク環境や、DHCP サーバーからの IP アドレス取得に失敗すると、[STATUS] ランプが赤く点滅します。
DHCP サーバーがあるのに、[STATUS] ランプが赤く点滅している場合には、【DHCP サーバーがあるのに、[STATUS] ランプが赤点滅している】（21-140 ページ）をご覧ください。

●完全にファームウェアを更新するために、本製品にアクセスしているユーザーがいないことを確認するか、パソコンと本製品を 1 対 1 で接続して実行してください。

●ファームウェアバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。

●ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、ブラウザーのキャッシュのクリアを行ってください。

# システムログを確認する

本製品の動作履歴がログ情報として記録されています。

| | |
|---|---|
| **1** | 本製品の設定画面の [ システム ] タブをクリックし、[ ログ表示 ] ボタンをクリックします。<br>システムログが表示されます。<br>※以下の画面は一例です。ご利用環境により、表示される内容は異なります。 |




**▼ログ**

| | |
|---|---|
| 日時 | ログを記録した日時を表示します。 |
| プログラム | イベント名を表示します。 |
| 内容 | ログ内容を表示します。<br>ログ内容の詳細については、【ログ一覧】(19-121 ページ)をご覧ください。 |

**ご注意**

ログ情報は、以下のような状況のときに削除されます。

・ログのサイズが一定のサイズを超えた場合

・メール通知の設定で [ 通知する ] にチェックしていて、ログメールが送信された後

※システムログをメール送信する設定については、【システムログをメール送信する】（15-106 ページ）をご覧ください。

# システムログをメール送信する

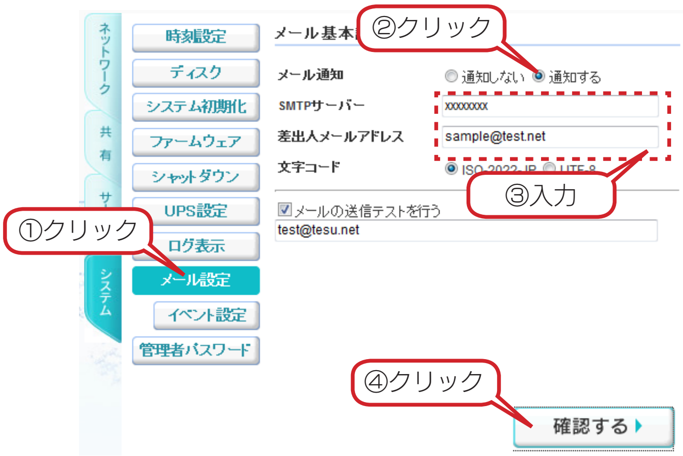
システムログ情報をメール送信することができます。
※システムログの一覧は、【ログ一覧】（19-121 ページ）をご覧ください。

**1** 本製品の設定画面の [ システム ] タブをクリックし、[ イベント設定 ] ボタンをクリックします。
送信先メールアドレスを入力後、［設定する］ボタンをクリックします。
メール送信先を変更したい場合は、入力し直して、[ 設定する ] ボタンをクリックしてください。




| | |
|---|---|
| システムログ送信先 | システムログを送信する送信先のメールアドレスを入力します。<br>※メール送信先は、３宛先までです。 |
| お知らせ通知先 | エラー通知、デジカメバックアップの正常終了 / 失敗、リビルド（復元）の成功 / 失敗を通知するメールアドレスを入力します。<br>※メール送信先は、３宛先までです。 |

**2** メール送信機能全般の設定をします。
[ メニュー ] の［メール設定］ボタンをクリックします。
［メール通知］の［通知する］をチェックし、[SMTP サーバー］［差出人メールアドレス］を入力します。
すべて設定後、［確認する］ボタンをクリックします。




▼メール基本設定

| | |
|---|---|
| メール通知 | ログ情報やバックアップ完了通知などをメールで送信するかどうかを設定します。 |
| SMTP サーバー | メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。 |
| 差出人メールアドレス | 送信するメールアドレスの差出人を設定します。 |
| 文字コード | メールの本文のエンコード方式を指定します。<br>※通常は、「ISO-2022-JP」を選択してください。 |
| メール送信テストを行う | テストメールの送信先を入力します。 |

**3** 確認画面が表示されますので、間違いがなければ、[OK] ボタンをクリックします。

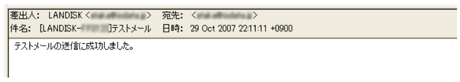
**4** 「設定が完了しました。」と表示されます。
メールの送信テストにチェックをつけていた場合、テストメールが送信されます。

**5** メール受信側のパソコンでは、以下のようなメールが届きます。
※表示はお使いのメーラーにより異なります。

▼件名



▼内容



これでシステムログ情報のメール送信設定は終了です。

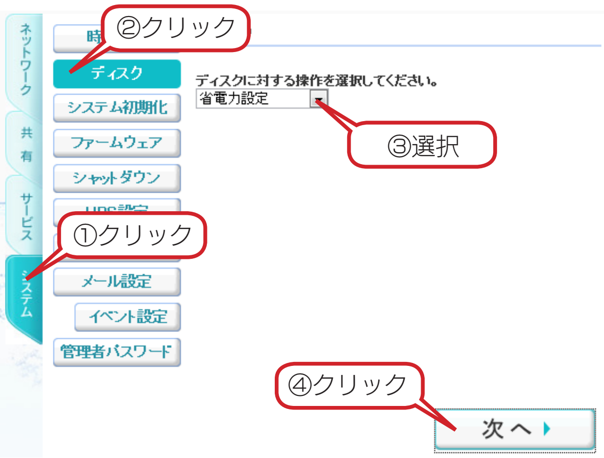
**ご注意**

システムログは、LAN DISK 内のログが一定の大きさを超えた場合に送信されます。

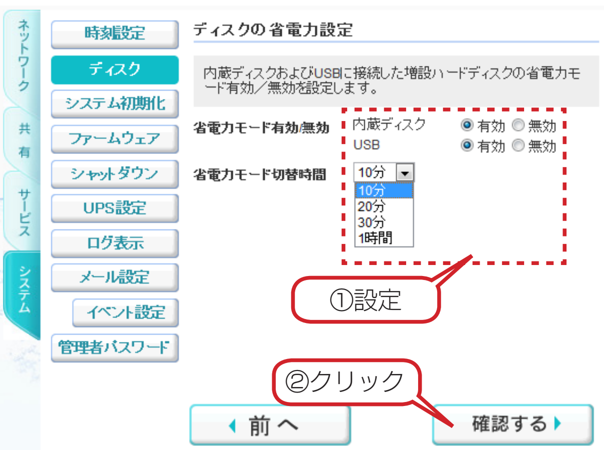
# 省電力機能を使う

ここでは、ハードディスクの省電力機能の設定について説明します。
ハードディスクを省電力設定にすることにより、一定時間アクセスがなければ内蔵ハードディスクの回転を停止します。
これにより電力消費を抑えることができます。
また、USB に接続した増設ハードディスクの省電力設定も行うことができます。
SSD 搭載モデルは消費電力が低いので設定しなくても消費電力を抑えられます。

| | |
|---|---|
| 1 | 本製品設定画面の [ システム ] タブをクリックし、[ ディスク ] ボタンをクリックします。[ 省電力設定 ] を選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。 |




| | |
|---|---|
| 2 | [ 省電力有効 ] をクリックし、設定したい時間を選択して、[ 確認する ] ボタンをクリックします。 |



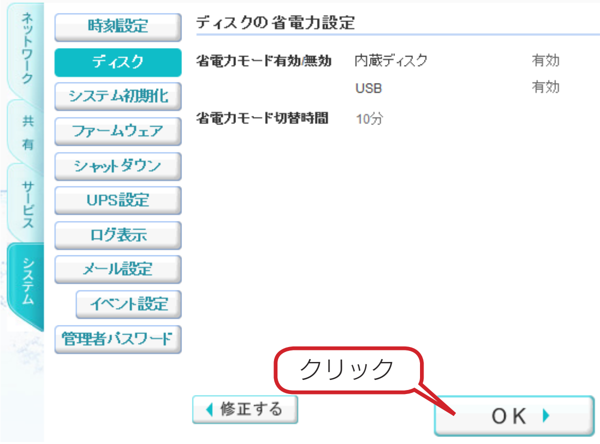

**▼ディスクの省電力設定**

| | |
|---|---|
| 時間選択 | 一定時間、本製品や外付ハードディスクにアクセスがない場合に、ハードディスクの動作を停止させる機能です。この停止までの時間を変更できます。（初期値は「なし」です。） |

**ご注意**

設定時間内にハードディスクにアクセスしなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクは停止しません。
また、ハードディスク停止中に本製品にアクセスしていなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクが回転する場合があります。

| | |
|---|---|
| 3 | 確認画面が表示されます。設定内容に間違いが無いか確認し、[OK] ボタンをクリックします。 |




以上でハードディスクの省電力機能の設定は終了です。

**ご注意**

本製品を DHCP クライアントモードでご使用の場合、アドレスを更新する際に、内蔵ディスクがスピンアップします。
また、ネットワークの通信中やシステム処理のためにディスクアクセスすることがあります。
DHCP サーバーのリース時間を長く設定すると、アドレス更新によるスピンアップ間隔も長くできます。

# 出荷時設定に戻す

## 出荷時設定への戻し方

次のような場合、設定を出荷時設定（初期設定）に戻してください。
・本製品の IP アドレスがわからなくなった場合
・管理者の情報（[管理者パスワード]）がわからなくなった場合

本製品の出荷時設定への戻し方には 2 通りの方法があります。

### ●方法1

IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す
→手順については【●方法 1 :IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（16-109 ページ）参照

本製品側面の［RESET］ボタンで初期化します。
万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。
初期化される項目は下記の2つのみです。

| | |
|---|---|
| IP アドレス | ［DHCP クライアント］設定を［on］にします。<br>IP アドレスを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。 |
| 管理者パスワード | 「なし」に設定します。<br>管理者パスワードを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。 |

**ご注意**

●上記以外のすべての設定情報は変更されません。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）

### ●方法2

本製品のすべての設定を出荷時状態に戻す
→手順については【●方法 2: 本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す】（16-110 ページ）参照

設定画面の [ システム初期化 ] で本製品のすべての設定の初期化、および、内蔵ハードディスクをフォーマットします。
※ HDL2-S2.0 の場合で約 7 分かかります。（時間は本製品の容量によって変化します。）

**ご注意**

[ 内蔵 HDD の完全消去を行う ] をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、すべてのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。
本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、以下の時間を要します。
・HDL2-S2.0：約 21 時間

初期化される項目は下記のとおりです。
・すべての装置設定
・内蔵ハードディスクの全データ

**ご注意**

事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。
※ USB 接続モード時に保存したデータも消去されます。( 外付ハードディスクのデータも事前にバックアップしてください。)

### ●方法1:IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

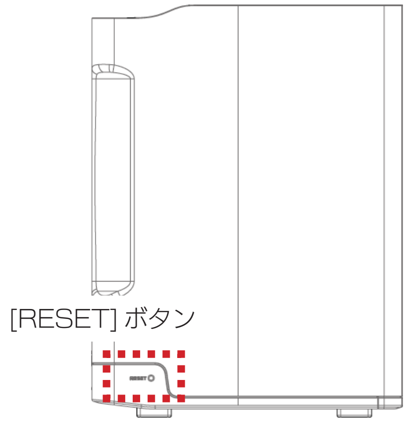
本製品背面の［RESET］ボタンで IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。
万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。

**ご注意**
- ●初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
- ●ネットワークに接続したまま行うことができます。

| | |
|---|---|
| 1 | 本製品の電源が入っていること（[STATUS］ランプが点灯していること）を確認します。<br>電源が入っていない場合は、電源を入れます。 |

**ご注意**
- ●初期化は、本製品の電源が入っている状態で行います。
- ● [STATUS] ランプ点滅中には、初期化しないでください。

| | |
|---|---|
| 2 | 本製品側面の [RESET] ボタンを先の細いもので約 5 秒以上、[STATUS] ランプが点滅し、「ピッ」と音が鳴るまで押します。 |




| | |
|---|---|
| 3 | [STATUS］ランプが青点灯（DHCP サーバーがある場合）、または、赤色点滅（DHCP サーバーがない場合）すれば、初期化完了です。 |

IP アドレスと管理者パスワードが初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

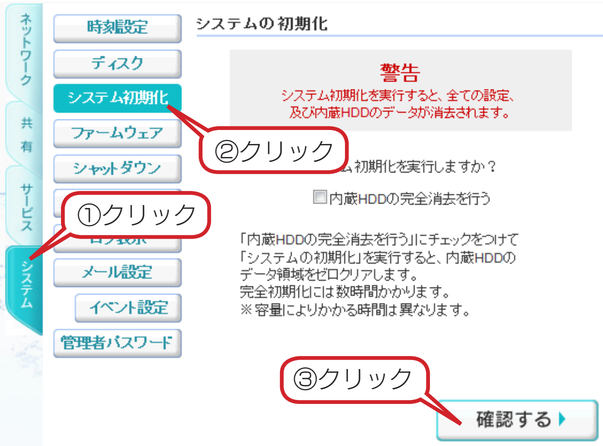
## ●方法 2: 本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す

設定画面の [ システム初期化 ] で本製品のすべての設定を出荷時設定にもどし（初期化）、さらに、内蔵ハードディスクをフォーマットします。

**ご注意**

事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。

**1** 本製品の設定画面の［システム］タブをクリックし、[システム初期化］ボタンをクリックします。
内容を確認し、[ 実行する ] ボタンをクリックします。

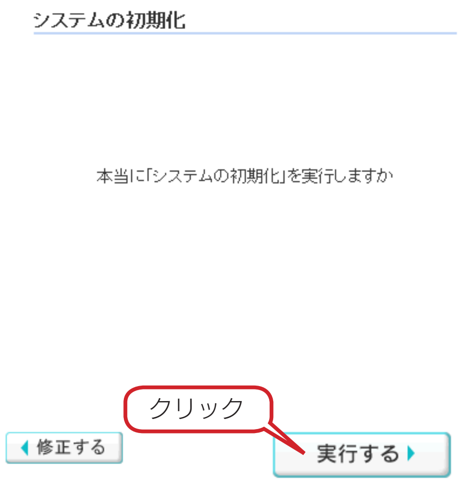



**ご注意**

[ 内蔵 HDD の完全消去を行う ] をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、すべてのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。
本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、以下の時間を要します。

・HDL2-S2.0：約 21 時間

**2** ［OK］ボタンをクリックします。




**3** システム初期化が開始されます。
自動的に本製品の再起動を行いますので、Web ブラウザーを閉じ、本製品の [STATUS] ランプの点滅が終わるまでお待ちください。

**ご注意**

● ［結果］画面が表示された後、自動的に本製品が再起動しますが、再起動後にもシステム初期化処理を続行しています。
［STATUS］ランプが青点灯または赤点滅状態になるまでそのまましばらくお待ちください。

●システム初期化処理中に電源を切ると、本製品が正常に起動しなくなります。
［STATUS］ランプが青点灯または赤点滅状態になるまで、何も操作しないでください。

すべての設定が初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

# RAID が崩壊したときには

本製品起動時、または使用中に内蔵ボリュームに異常が発生し、RAID が崩壊した状態（RAID 崩壊モード）となった場合、以下の状態になります。

いったん､強制的に内蔵ボリュームを再設定(RAIDを再構成)するしかありません｡手順については､【RAIDモードを変更する】(14-100ページ) をご覧ください。

**ご注意**

強制的に再設定を行うと、内蔵ボリュームを再度作成し直しますので、以前の内蔵ボリューム上の共有フォルダーの設定、および共有フォルダ内のデータは失われます。ただし、それ以外のネットワークやシステムなどの各種設定は引き継ぐことができます。

▼ RAID 崩壊モードの状態

| ランプやブザー | 状態 | 補足 |
|---|---|---|
| ［STATUS］ランプ | 赤点滅 | |
| ［HDD1 エラー］ランプ<br>［HDD2 エラー］ランプ | 赤点滅 | ランプが赤点滅します。 |
| ブザー | ピー (10 回 ) | 本製品起動時または、本製品使用中に RAID 崩壊モードになった場合。 |

# ランプ・ブザー別の対応

ランプやブザーによって、現在の状態や操作が正常か、あるいは、エラーが発生しているかを知ることができます。

▼ランプの表示

| | | |
|---|---|---|
| [STATUS] ランプ | 緑点灯 | USB 接続モードで接続していることを示します。 |
| | 緑点滅 | USB 接続モードで本製品にアクセスしていることを示します。 |
| | 青点灯 | LAN 接続モードで使用可能な状態を示します。 |
| | 青点滅 | LAN 接続モードでシステムが起動中、または LAN 接続モードでシステム設定処理を行っている状態を示します。 |
| | 赤点滅 | LAN 接続モード時にエラーが発生したことを示します。 |
| | 消灯 | 本製品の電源が入っていないことを示します。 |
| [HDD エラー] ランプ (1,2) | 赤点灯 | 番号に対応する内蔵ハードディスクが接続されていません。 |
| | 赤点滅 | 番号に対応する内蔵ハードディスクに問題が発生しています。 |
| | 消灯 | 番号に対応する内蔵ハードディスクが正常動作であることを示します。 |

▼状態別対処

| 状態・操作 | ブザー | [STATUS] ランプ | [HDD エ ラ ー ] ランプ (1,2) | 状態 |
|---|---|---|---|---|
| 電源コンセント接続時 | なし | 消灯 | 消灯 | 本製品の電源が入っていない状態です。 |
| 電源投入後 | ピッ | 青点滅 | 消灯 | システム起動中です。 |
| | 「ピピピ…」(繰り返し) | 赤点滅 | 消灯 | システム起動不能状態です。<br>内蔵ディスクのシステムが読み取れない場合に発生します。いったん電源を切り、再度同じ状態の場合は、修理を依頼してください。 |
| | | 緑点灯 | 赤点滅 | USB 接続モードで起動時、内蔵ハードディスク 2 台で正常に RAID が組めません。ディスクにエラーが起こっていたり、再構築中、ハードディスクが 2 台認識できなかった等が考えられます。NAS モードで起動し、本製品のステータスやログ表示を確認してください。 |
| システム起動直後 | ピー | 青点灯 | 消灯 | 正常起動完了 |
| | ピー (3 回 ) | 赤点滅 | 消灯 | IP アドレス取得エラーが発生しています。<br>【本製品の電源を入れると、[STATUS] ランプが赤点灯し、ブザーがピーピーピーと鳴った】(21-137 ページ) をご覧ください。<br>UPS 警告機能有効で UPS が未接続です。UPS の電源、監視用の USB ケーブルの接続を確認してください。 |
| システムシャットダウン時 | なし | 青点滅 | 消灯 | システムシャットダウン処理中です。 |
| システム運用中 | ピー (3 回 ) | 赤点滅 | 消灯 | インターネット接続障害などの理由で、iobb.net と通信できない状態です。<br>iobb.net 設定が無効になっています。ネットワーク環境が復旧後、再度有効にしてください。 |
| | ピー（10回） | 赤点滅 | 赤点滅 | 赤点滅した HDD に問題が発生し、RAID はデグレード状態になりました。<br>設定画面をご確認のうえ、別紙【内蔵 HDD の交換方法】をご覧になり、問題の HDD を交換してください。<br>RAID が崩壊しました。RAID の再構成が必要です。設定画面をご確認のうえ、【RAID が崩壊したときには】(17-111 ページ) をご覧ください。 |
| | ピッ（3 回） | 青点灯 | 消灯 | リビルドが完了しました。 |
| 設定操作を実行中 | なし | 青点滅 | 消灯 | 本製品の設定画面による設定操作を実行中です。[STATUS] ランプが点滅中は WEB 設定画面による操作はできません。 |
| ディスクに対する操作（フォーマット）を実行中 | なし | 青点滅 | 消灯 | ディスクに対する操作（フォーマット）を実行中は、共有サービスが停止しており、共有フォルダーのファイルにアクセスすることはできません。 |
| 設定完了時 | ピッ | 青点灯 | 消灯 | 実行中の設定が完了しました。 |
| システム起動直後、またはシステム運用中 | ピー（繰り返し） | ― | ― | 本製品の内蔵 FAN が故障しました。FAN の状態をご確認ください。<br>※安全の為、5 分程度で本製品の電源が自動的に切れます。<br>＜ USB 接続モードの場合＞<br>パソコンから本製品取り外し処理を行ってから、電源を切ってください。<br>＜ LAN 接続モードの場合＞<br>本製品の設定画面の [ ログ表示 ] をご確認のうえ、電源を切ってください。 |

▼ USB バックアップディスクを接続 / デジカメを接続 /USB ディスクを接続

| 状態・操作 | ブザー | [STATUS] ランプ | [HDD エラー ] ランプ (1,2) | 状態 |
|---|---|---|---|---|
| デジカメコピー実行中 | なし | 青点滅 | 消灯 | デジカメコピーを実行しています。 |
| デジカメバックアップ実行中 | なし | 青点滅 | 消灯 | デジカメバックアップを実行しています。 |
| デジカメコピー終了 | ピッ（3 回） | 青点灯 | 消灯 | デジカメコピーが正常終了しました。 |
| デジカメバックアップ終了 | ピッ（3 回） | 青点灯 | 消灯 | デジカメバックアップが正常終了しました。 |
| デジカメコピー異常終了 | ピー (3 回 ) | 赤点滅 | 消灯 | デジカメコピーに失敗しました。データを確認してください。 |
| デジカメバックアップ異常終了 | ピー (3 回 ) | 赤点滅 | 消灯 | デジカメバックアップに失敗しました。データを確認してください。 |
| USB 機器接続直後 | ピー (3 回 ) | 赤点滅 | 消灯 | 使用できない USB 機器を接続しました。 |
| スケジュールバックアップ終了 | ピッ（3 回） | 青点灯 | 消灯 | スケジュールバックアップが正常終了しました。 |
| スケジュールバックアップ異常終了 | ピー (3 回 ) | 赤点滅 | 消灯 | スケジュールバックアップに失敗しました。データを確認してください。 |

# 仕様

## ハードウェア仕様

| 商品名 | | LAN DISK Home |
|---|---|---|
| LAN | 転送規格 | IEEE802.3ab、IEEE802.3u、IEEE 802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) |
| | 最大転送速度 | 1000/100/10Mbps |
| | コネクター | RJ45 × 1 |
| | アクセス方法 | CSMA/CD |
| | MDI/MDI-X | 自動切換 |
| | 適合ケーブル | UTP カテゴリ6以上、100m 以下 |
| USB ホスト | 転送規格 | USB 2.0(1.1 含む ) |
| | 最大転送速度 | 480Mbps |
| | コネクター | USB A コネクター× 1 |
| USB ポート | 転送規格 | USB2.0(1.1 含む ) |
| | 最大転送速度 | 480Mbps |
| | コネクター | USB　miniB コネクター× 1 |
| 電力 | 定格 | DC12V　1.6A (TYP) |
| 動作環境 | 使用温湿度 | 5 ～ 35℃　10 ～ 85%( 結露無きこと ) |
| 物理仕様 | 外形寸法 | 約 90(W) x 135(D) x 176(H) mm( 突起部除く ) |
| | 質量 | 約 2.2kg( 本体のみ ) |

## 動作環境

### ●サポート対象機種・OS

本製品は、「LAN インターフェイス及び USB ポートを搭載し、TCP/IP が正常に動作するパソコン」に対応しています。
また、以下の OS でご使用の場合のみ、サポート対象とさせていただいております。

| 機種 | OS |
|---|---|
| DOS/V マシン | ・Windows® 7（32 ビット版 /64 ビット版）<br>・Windows Vista®（32 ビット版 /64 ビット版）<br>・Windows® XP（32 ビット版） |
| Apple Macintosh シリーズ | ・Mac OS X（10.4 以降） |

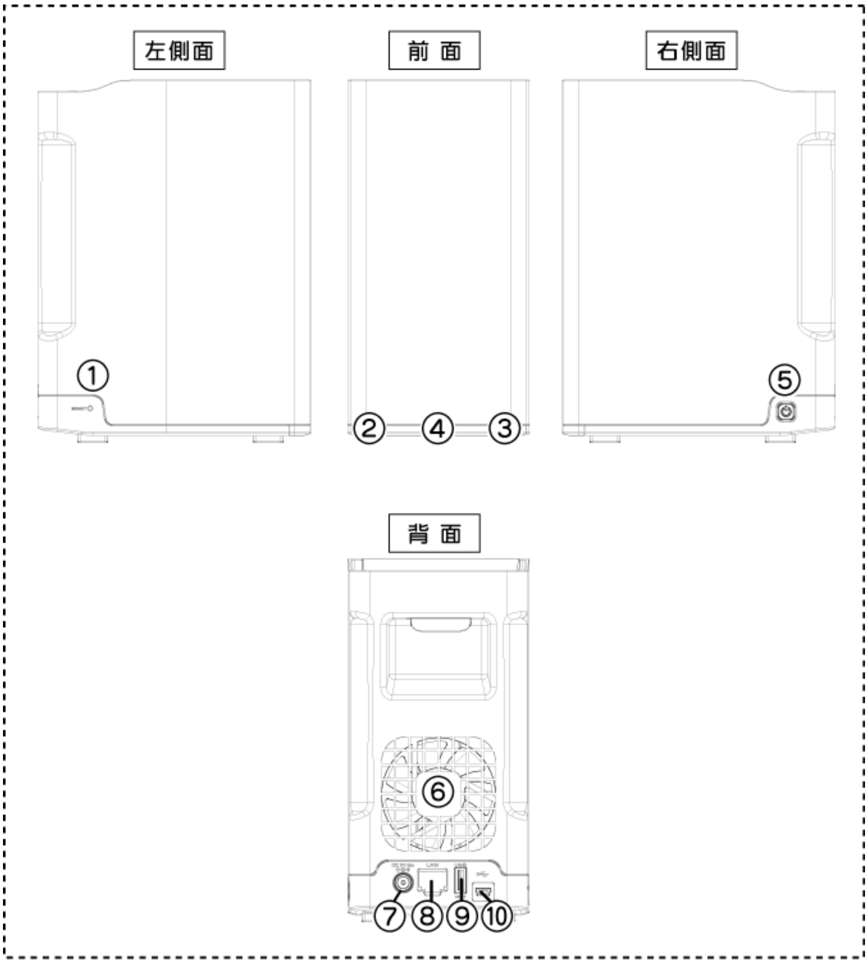
※ LAN 環境に関しての詳細は、【LAN 接続モード時のご注意】（1-8 ページ）をご覧ください。
※ USB ポートに関しての詳細は、【USB 接続モード時のご注意】（1-10 ページ）をご覧ください。
※ Windows 7、Vista、XP は、それぞれ Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP の略称として表記しています。

### ●設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のいずれかのバージョンの Web ブラウザーが必要です。

・Internet Explorer バージョン 6.0 以上
・Safari バージョン 3.0 以上

# 各部の名称・機能




| 名称 | 機能・状態 | |
|---|---|---|
| ① [RESET] ボタン | 本製品の IP アドレスと管理者パスワードのみを出荷時設定に戻します。<br>※ LAN 接続モード時のみ動作します。(USB 接続モード時は動作しません。) | |
| ② [HDD1 エラー ] ランプ<br>③ [HDD2 エラー ] ランプ | 赤点灯 | 対応する番号の HDD が接続されていません。 |
| | 赤点滅 | 対応する番号の HDD にエラーが発生しています。<br>※詳しくは、【ランプ・ブザー別の対応】（18-112 ページ）をご覧ください。 |
| ④ [STATUS] ランプ | 青点灯 | LAN 接続モードで動作中 |
| | 青点滅 | LAN 接続モードで処理中（起動 / 終了 / 設定中など） |
| | 赤点滅 | LAN 接続モードでエラー |
| | 緑点灯 | USB 接続モードで動作中 |
| | 緑点滅 | USB 接続モードでアクセス中 |
| | 消灯 | 電源が切れている状態 |
| ⑤電源ボタン | 本製品の電源を入 / 切します。 | |
| ⑥ FAN | 本製品全体を冷却します。ふさがないでください。 | |
| ⑦ DC ジャック | 添付の AC アダプターを接続します。 | |
| ⑧ LAN ポート | 添付の LAN ケーブルを接続します。 | |
| ⑨ USB[HOST] ポート | USB 機器を接続します。<br>※接続できる USB 機器については、【接続できる USB 機器】（19-115 ページ）をご覧ください。 | |
| ⑩ USB ポート | 添付の USB ケーブルを接続します。<br>※本製品とパソコンを USB で接続し、USB ハードディスクとして使用できます。 | |

# 接続できる USB 機器

本製品背面の USB[HOST] ポートに USB 機器を接続して使用することができます。

**ご注意**

- USB 機器を接続する前に、以下の注意もご確認ください。
  【使用上のご注意】（1-6 ページ）
- 本製品の USB[HOST] ポートには、以下の対応機器以外の機器は接続しないでください。
  USB ハブも接続できません。
  最新の対応機器については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。
- バスパワーモードのハードディスクは接続できません。
  ハードディスクを接続する場合は、セルフパワーモードでご利用ください。
- デジカメは USB マスストレージクラスまたは PTP の転送に対応している必要があります。
- 省電力設定の対応機器は、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。（省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。）
- iSPIS 対応ハードディスクを本製品でご利用いただく場合、iSPIS 機能は使用できません。
- USB[HOST] ポートにパソコンを接続して使用することはできません。

## ●ハードディスク

本製品の USB[HOST] ポートで使用できる動作確認済みのハードディスク

- RHD-UX シリーズ
- RHD2-U シリーズ
- USB2-iVDR シリーズ
- HDH-USR2 シリーズ
- HDCN-U シリーズ
- HDC2-U シリーズ※1
- RHD 4-UXE シリーズ
- HDP-US シリーズ※2
- HDPG-SU シリーズ※2
- HDPG-SUX シリーズ※2

※ 1 ミラーリングモード、ストライピングモードのみ対応です。

※ 2 AC アダプターによる電源供給が必要です。

| | |
|---|---|
| 対応フォーマット | FAT※3/NTFS |
| 本製品での対応※4 | 読み書き可 |
| パソコンに接続した場合 | 読み書き可 |
| 主な用途 | 共有フォルダー、データバックアップ用 |
| 本製品からの取り外し | 取り外し可 |

※ 3 最大ファイルサイズは、4G-1Mbyte になります。

※ 4 2TB 以上のディスク容量の増設ハードディスクは使用することはできません。

## ● UPS、USB 対応デジカメ、USB メモリー、net.USB 対応機種

動作確認済み機種の最新情報については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。

# 共有フォルダー使用上の注意

## ● Windows 7、Vista での制限・注意事項

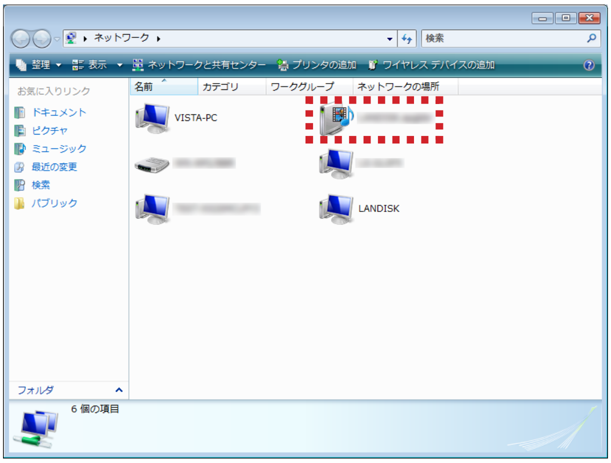
・Windows 7、Vista の「ファイルのバックアップ」機能について

Windows 付属の「ファイルのバックアップ」機能で、バックアップの保存先として本製品の共有フォルダーを指定することはできません。

・Windows 7、Vista のネットワークに表示されるアイコンについて

本製品の DLNA Server 機能を有効に設定している場合、Windows のネットワーク画面に右のようなアイコンが表示されます。

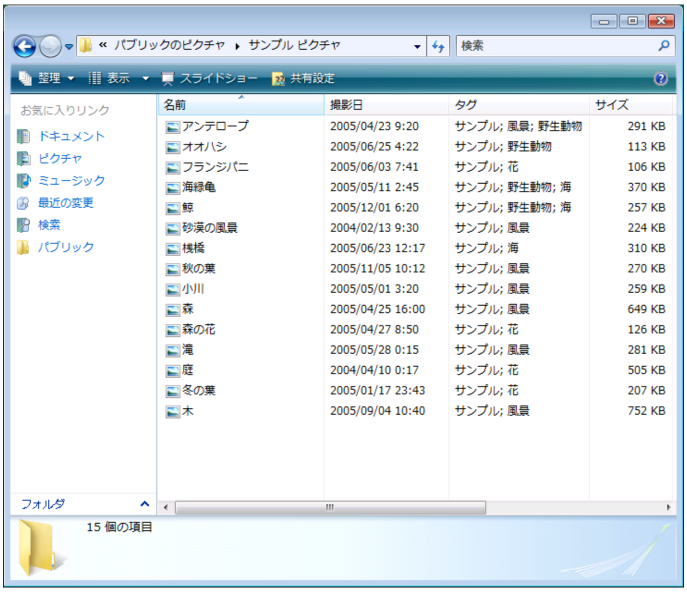
ダブルクリックするとメディアプレーヤーが起動する場合がありますが、お使いの PC のメディアプレーヤーが DLNA に準拠していない場合は、本製品の共有フォルダー内のコンテンツの再生はできません。

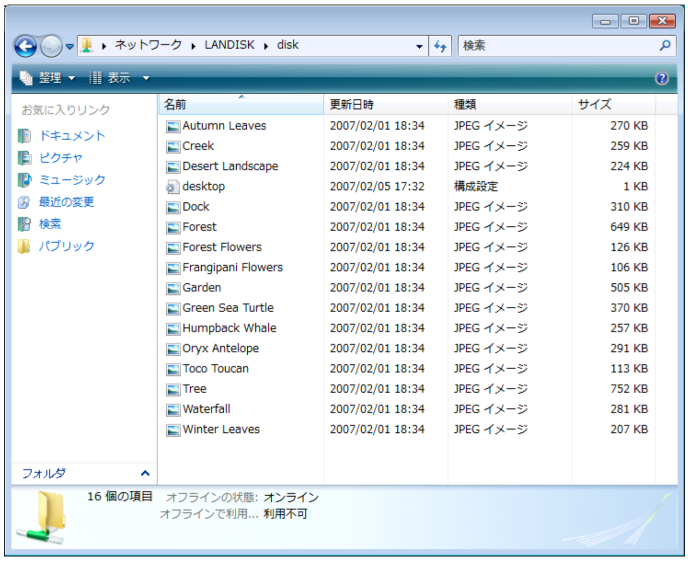



・Windows 7、Vista 上の表示と共有フォルダー上の表示の違いに関する注意

Windows に標準インストールされるサンプルピクチャフォルダーのファイルは、Windows 上では画面例 ( 左 ) のように表示されています。

画面例左のサンプルピクチャを共有フォルダー上にコピーすると、画面例（右）のように全く名前が異なって表示されます。




実際のファイル名は、LAN DISK 共有フォルダーで表示されるアルファベット文字のファイル名で正しいようですが、Windows 上のサンプルピクチャのフォルダーはファイルの表示設定が、実ファイル名表示しない設定がデフォルト設定になっています。

このように名前＝ファイル名ではないフォルダー表示設定が Windows では可能ですので、注意してください。

## ●ファイル名やフォルダー名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により以下の文字数までとなっています。

【Windows の場合】半角 255 文字（全角 85 文字）まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※ Windows 7、Vista では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。
よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。
Windows 7、Vista と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Micorosoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」に沿った対応をして頂く必要があります。

【Mac OS の場合】Mac OS Xでは半角 255 文字（全角 85 文字）まで

## ●使用できるファイルサイズについて

特に制限はありません。

## ● USB 接続モード、LAN 接続モードでお使いの際の注意

USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードで作成した「共有フォルダ」をご使用ください。

USB 接続モードで「共有フォルダ」外に作成したフォルダーは、LAN 接続モードでは使用できません。

# 出荷時設定一覧

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th colspan="3">初期値</th></tr>
<tr><td colspan="3">システムバージョン</td><td colspan="3">1.00（出荷時期による）</td></tr>
<tr><td colspan="3">MAC アドレス</td><td colspan="3">00:A0:B0:xx:xx:xx（製品ごとに異なる）</td></tr>
<tr><td colspan="6">▼ネットワーク</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Windows 共有</td><td colspan="2">LAN DISK の名前</td><td colspan="3">LANDISK-xxxxxx（xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）</td></tr>
<tr><td colspan="2">コメント</td><td colspan="3">LAN DISK S series</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワークグループ名</td><td colspan="3">WORKGROUP</td></tr>
<tr><td rowspan="5">TCP/IP 設定</td><td colspan="2">DHCP 有効 / 無効</td><td colspan="3">自動で取得する（DHCP 有効）</td></tr>
<tr><td colspan="2">IP アドレス</td><td rowspan="4">自動取得失敗時</td><td>IP アドレス</td><td>192.168.0.200<br>AutoIP 自動割当 169.254.xxx.xxx</td></tr>
<tr><td colspan="2">サブネットマスク</td><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0<br>AutoIP アドレスは 255.255.0.0</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゲートウェイ</td><td>ゲートウェイ</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">DNS サーバー</td><td>DNS サーバー</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="6">▼共有</td></tr>
<tr><td rowspan="10">共有フォルダー</td><td colspan="2" rowspan="10">共有フォルダー一覧<br>（作成済み共有）</td><td colspan="2" rowspan="2">disk</td><td>Microsoft ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">dlna</td><td>Microsoft ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>DLNA 共有</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">itunes</td><td>Microsoft ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>iTunes 共有</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">usb1</td><td>Microsoft ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク共有</td></tr>
<tr><td>ユーザー管理</td><td colspan="2">登録済みユーザー</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td colspan="6">▼サービス</td></tr>
<tr><td>DLNA 設定</td><td colspan="2">公開フォルダー一覧</td><td colspan="3">dlna</td></tr>
<tr><td>iTunes 設定</td><td colspan="2">公開フォルダー一覧</td><td colspan="3">itunes</td></tr>
<tr><td>iTunes 更新</td><td colspan="2">スケジュール機能</td><td colspan="3">使わない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">USB ポート設定</td><td colspan="2">USB ポートモード</td><td colspan="3">デジカメコピー</td></tr>
<tr><td colspan="2">デジカメ / クイックコピー転送先共有フォルダー</td><td colspan="3">disk</td></tr>
<tr><td>スケジュールバックアップ</td><td colspan="2">スケジュール機能</td><td colspan="3">使わない</td></tr>
<tr><td rowspan="8">iobb.net 設定</td><td colspan="2">iobb.net へ登録・更新</td><td colspan="3">無効</td></tr>
<tr><td colspan="2">ステータス</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">シリアル No.</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホスト名</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワード</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワード（確認）</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">メールアドレス</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">UPnP 機能利用</td><td colspan="3">使う</td></tr>
<tr><td rowspan="4">BitTorrent 設定</td><td colspan="2">BitTorrent 機能</td><td colspan="3">無効</td></tr>
<tr><td colspan="2">保存先共有フォルダー</td><td colspan="3">未選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信ポート番号</td><td colspan="3">6880</td></tr>
<tr><td colspan="2">UPnP 機能利用</td><td colspan="3">使う</td></tr>
<tr><td colspan="6">▼システム</td></tr>
<tr><td rowspan="3">時刻設定</td><td colspan="2">サーバー同期</td><td colspan="3">同期する</td></tr>
<tr><td colspan="2">利用するタイムサーバー</td><td colspan="3">ntp.nict.jp</td></tr>
<tr><td colspan="2">同期するタイミング</td><td colspan="3">起動時</td></tr>
<tr><td>ディスク</td><td colspan="2">ディスク</td><td colspan="3">未選択</td></tr>
<tr><td>UPS 設定</td><td>UPS 設定</td><td>シャットダウン条件設定</td><td colspan="3">停電後の経過時間：1 分後にシャットダウン</td></tr>
<tr><td rowspan="4">メール設定</td><td rowspan="4">メール基本設定</td><td>メール通知</td><td colspan="3">通知しない</td></tr>
<tr><td>SMTP サーバー</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>差出人メールアドレス</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>文字コード</td><td colspan="3">ISO-2022-JP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">イベント設定</td><td rowspan="2">メールイベント設定</td><td>システムログ送信先</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>お知らせ通知先</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td rowspan="3">管理者パスワード</td><td rowspan="3">管理者パスワードの変更</td><td>現在のパスワード</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>新しいパスワード</td><td colspan="3">なし</td></tr>
<tr><td>新しいパスワード（確認）</td><td colspan="3">なし</td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| ▼新規ユーザー | | |
| 新しいユーザの登録 | ユーザー名 | なし |
| | パスワード | なし |
| | パスワード（確認） | なし |
| ▼新規共有 | | |
| 新しい共有フォルダーの作成 | フォルダー名 | なし |
| | フォルダーコメント | LANDISK |
| | アクセス権の選択 | 全てのユーザーを許可 |
| | 読み取り専用設定 | チェックなし |
| | サービス | Microsoft ネットワーク共有 |
| | | AppleShare ネットワーク共有 |
| | ごみ箱機能 | 無効 |
| | 隠し共有 | 無効 |
| ▼ DLNA 設定 | | |
| DLNA 設定 | 公開フォルダー一覧 | dlna |
| ▼ iTunes 設定 | | |
| iTunes 設定 | 公開フォルダー一覧 | itunes |

# 文字制限一覧

## ●設定画面上で使用できる文字 / できない文字

本製品の設定画面で設定する下記項目は、半角英数字のみが有効となります。さらに各項目には、使用文字の制限があります。
次の文字はそれぞれの項目に対して使用できません。(パスワードに空白文字を使用しないでください。)

| 項目名 | 文字数 | 使用できる文字 | 使用できない文字 |
|---|---|---|---|
| ワークグループ | 15 文字以下 | [ 使用できない文字 ] 以外 | ¥ / ˜ $ : , ' ; * ? " < > ¦ ` [ ] = + . 空白<br>( ハイフン - で始まる文字列は不可 ) |
| コメント | 48 文字以下 | [ 使用できない文字 ] 以外 | ¥ ˜ $ : , " ¦ ' [ ]<br>( ハイフン - で始まる文字列は不可 ) |
| ユーザー名 | 20 文字以下 | [ 使用できない文字 ] 以外 | ¥ ˜ $ / : , ' ; * ? " < > ¦ ` [ ] = + . @ ( ) # % ^ ! & { }<br>空白<br>( アルファベットは大文字のみ不可 )<br>( ハイフン - で始まる文字列は不可 )<br>( 数字のみでの設定は不可 ) |
| パスワード | | [ 使用できない文字 ] 以外 | ¥ : , ; * < > ¦ ' [ ] = + . ` ( ) ˜ $ " / ? 空白<br>( ハイフン - で始まる文字列は不可 ) |
| LAN DISK の名前 | 14 文字以下 | 半角英数文字 0 ~ 9 A ~ Z a ~ z<br>(数字で始まる文字列は不可)<br>アンダーバー _<br>ハイフン -<br>( ハイフン - で始まる文字列は不可 ) | [使用できる文字] 以外の記号や空白などの文字列は不可 |
| 共有フォルダ名 | 12 文字以下 | 半角英数文字 0 ~ 9 A ~ Z a ~ z<br>アンダーバー _<br>ハイフン -<br>( ハイフン - で始まる文字列は不可 ) | |
| アルバム名 | 14 文字以下 | [ 使用できない文字 ] 以外 | ¥ : < > ¦ ? " / $<br>(ドット . で始まる文字列は不可) |

## ● iobb.net 設定で使用できる文字 / できない文字

| 項目名 | 文字数 | 使用できる文字 | 使用できない文字 |
|---|---|---|---|
| ホスト名 | 3 文字以上 16 文字以内 | 半角小文字英字 a ~ z　半角数字 0 ~ 9<br>ハイフン -<br>(ハイフン - で始まる文字列は不可)<br>(ハイフン - で終わる文字列は不可) | 「使用できる文字」以外不可 |
| パスワード | 6 文字以上 8 文字以内 | 半角小文字英字 a ~ z　半角数字 0 ~ 9<br>ハイフン -<br>(ハイフン - で始まる文字列は不可)<br>(ハイフン - で終わる文字列は不可) | 「使用できる文字」以外不可 |

## ●ファイル名やフォルダー名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により以下の文字数までとなっています。

【Windows の場合】半角 255 文字（全角 85 文字）まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※ Windows 7、Vista では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。
よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。
Windows 7、Vista と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Micorosoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」に沿った対応をして頂く必要があります。

【Mac OS の場合】Mac OS Xでは半角 255 文字（全角 85 文字）まで

# ログ一覧

| 分類 | 出力形式<br>(*** は追加メッセージ) | 追加メッセージ | 内容 |
|---|---|---|---|
| パスワード認証 | ログオン：*** | IP アドレス | ログオンに成功した時に出力されます。 |
| | ログオフ：*** | IP アドレス | ログオフした出力されます。 |
| | ログオン失敗：*** | IP アドレス | ログオンに失敗した時に出力されます。 |
| 管理者パスワード変更 | 管理者パスワード：変更 | - | 管理者パスワードの変更を行った時に出力されます。 |
| はじめて設定 | はじめて設定：変更 | - | はじめて設定の変更を行った時に出力されます。 |
| ネットワーク設定 | ネットワーク設定：変更 | - | ネットワーク設定の変更を行った時に出力されます。 |
| ユーザ設定 | ユーザ：登録：*** | ユーザ名 | ユーザの新規登録を行った時に出力されます。 |
| | ユーザ：パスワード変更：*** | ユーザ名 | ユーザのパスワード変更を行った時に出力されます。 |
| | ユーザ：削除：*** | ユーザ名 | ユーザの削除を行った時に出力されます。 |
| 共有フォルダ設定 | 共有フォルダ：作成：*** | 共有フォルダ名 | 共有フォルダの新規作成を行った時に出力されます。 |
| | 共有フォルダ：変更：*** | 共有フォルダ名 | 共有フォルダの設定変更を行った時に出力されます。 |
| | 共有フォルダ：削除：*** | 共有フォルダ名 | 共有フォルダの削除を行った時に出力されます。 |
| | 共有フォルダ：検出エラー：*** | 共有フォルダ名 | システム起動時、共有の実フォルダがなかった場合に出力されます。 |
| DLNA 設定 | DLNA：公開：*** | 共有フォルダ名 | DLNA 公開フォルダの追加を行った時に出力されます。 |
| | DLNA：公開終了：*** | 共有フォルダ名 | DLNA 公開フォルダの削除を行った時に出力されます。 |
| | DLNA：アクセス許可設定：変更 | 共有フォルダ名 | DLNA アクセス許可設定の変更を行った時に出力されます。 |
| iTunes 設定 | iTunes：公開：*** | 共有フォルダ名 | iTunes 公開フォルダの追加を行った時に出力されます。 |
| | iTunes：公開終了：*** | 共有フォルダ名 | iTunes 公開フォルダの削除を行った時に出力されます。 |
| | iTunes：データベース更新：開始 | - | iTunes データベースの更新を開始した時に出力されます。 |
| | iTunes：データベース更新：終了 | - | iTunes データベースの更新が終了した時に出力されます。 |
| 時刻設定 | 時刻設定：変更 | - | 時刻設定の変更を行った時に出力されます。 |
| | タイムサーバ：同期：*** | サーバアドレス | タイムサーバとの同期に成功した時に出力されます。 |
| | タイムサーバ：同期失敗：*** | サーバアドレス | タイムサーバとの同期に失敗した時に出力されます。 |
| 省電力設定 | 省電力設定：変更 | - | 省電力設定の変更を行った時に出力されます。 |
| メール基本設定 | メール基本設定：変更 | - | メール基本設定の変更を行った時に出力されます。 |
| メールイベント設定 | メールイベント設定：変更 | - | メールイベント設定の変更を行った時に出力されます。 |
| USB 処理 | USB デバイス：接続：*** | デバイスタイプ（STOR or PTP） | システム側で USB デバイスの接続処理を行った時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。 |
| | USB デバイス：切断：*** | デバイスタイプ（STOR or PTP） | システム側で USB デバイスの切断処理を行った時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。 |
| | USB デバイス：タイムアウト：*** | デバイスタイプ（STOR or PTP） | 設定処理中に USB デバイスの接続し WAIT 状態となり、その後処理されずタイムアウトとなった場合に出力されます。 |
| | USB デバイス：マウント失敗：*** | デバイスタイプ（STOR or PTP） | システム側で USB デバイスのマウントに失敗した時に出力されます。接続されたデバイスの形式が STOR（ハードディスク等）、PTP（デジカメ）の場合には末尾に出力されます。 |
| デジカメコピー処理 | デジカメコピー：開始 | - | デジカメコピーを開始した時に出力されます。 |
| | デジカメコピー：終了 | - | デジカメコピーが正常終了した時に出力されます。 |
| | デジカメコピー：異常終了 | - | デジカメコピーが異常終了した時に出力されます。 |
| クイックコピー処理 | クイックコピー：開始 | - | クイックコピーを開始した時に出力されます。 |
| | クイックコピー：終了 | - | クイックコピーが正常終了した時に出力されます。 |
| | クイックコピー：異常終了 | - | クイックコピーが異常終了した時に出力されます。 |
| バックアップディスク登録 | バックアップディスク：登録 | - | バックアップディスクの登録をに成功した時に出力されます。 |
| | バックアップディスク：登録失敗 | - | バックアップディスクの登録をに失敗した時に出力されます。 |
| デジカメバックアップ処理 | バックアップ：開始 | - | デジカメバックアップを開始したときに出力されます。 |
| | バックアップ：終了 | - | デジカメバックアップが正常終了した時に出力されます。 |
| | バックアップ：異常終了 | - | デジカメバックアップが異常終了した時に出力されます。 |
| リストア処理 | リストア：開始 | - | リストアを開始した時に出力されます。 |
| | リストア：終了 | - | リストアが正常終了した時に出力されます。 |
| | リストア：異常終了 | - | リストアが異常終了した時に出力されます。 |
| ファームウェア更新処理 | ファームウェア：更新：*** | バージョン | ファームウェアの更新を行った時に出力されます。 |
| USB フォーマット処理 | USB フォーマット：開始 | - | USB フォーマットを開始した時に出力されます。 |
| | USB フォーマット：終了 | - | USB フォーマットが正常終了した時に出力されます。 |
| | USB フォーマット：異常終了 | - | USB フォーマットが異常終了した時に出力されます。 |
| フォトアルバム処理（アルバム） | アルバム：作成：*** | アルバム名 | アルバムの新規作成を行った時に出力されます。 |
| | アルバム：作成失敗：*** | アルバム名 | アルバムの新規作成に失敗した時に出力されます。 |
| | アルバム：変更：*** | アルバム名 | アルバムの設定変更を行った時に出力されます。 |
| | アルバム：変更失敗：*** | アルバム名 | アルバムの設定変更に失敗した時に出力されます。 |
| | アルバム：削除：*** | アルバム名 | アルバムの削除を行った時に出力されます。 |
| | アルバム：削除失敗：*** | アルバム名 | アルバムの削除に失敗した時に出力されます。 |
| フォトアルバム処理（画像） | フォト：追加：*** | アルバム名 | アルバムに画像を追加した時に出力されます。 |
| | フォト：追加失敗：*** | アルバム名 | アルバムに画像を追加できなかった時に出力されます。 |
| | フォト：削除：*** | アルバム名 | アルバムから画像を削除した場合に出力されます。 |
| | フォト：削除失敗：*** | アルバム名 | アルバムから画像を削除できなかった時に出力されます。 |
| メディア書き出し | メディア：書き出し | - | アルバム書き出しが成功した時に出力されます。。 |
| | メディア：書き出し失敗 | - | アルバム書き出しが失敗した時に出力されます。 |
| | メディア：消去 | - | 書き出しデータ消去が成功した時に出力されます。 |
| | メディア：消去失敗 | - | 書き出しデータ消去が失敗した時に出力されます。 |
| リセット処理 | リセット：実行 | - | リセット処理を行った時に出力されます。 |
| テストメール | テストメール：送信：*** | 送信先メールアドレス | テストメールの送信に成功した時に出力されます。 |
| | テストメール：送信失敗：*** | 送信先メールアドレス | テストメールの送信に失敗した時に出力されます。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ログメール | ログメール：送信：*** | 送信先メールアドレス | ログメールの送信に成功した時に出力されます。 |
| | ログメール：送信失敗：*** | 送信先メールアドレス | ログメールの送信に失敗した時に出力されます。 |
| お知らせメール | お知らせメール：送信：*** | 送信先メールアドレス | お知らせメールの送信に成功した時に出力されます。 |
| | お知らせメール：送信失敗：*** | 送信先メールアドレス | お知らせメールの送信に失敗した時に出力されます。 |
| システム | システム：起動 | - | システムが起動した時に出力されます。 |
| | システム：終了 | - | システムの終了処理が開始された時に出力されます。 |
| | システム：マウント失敗 | - | システム起動時、内蔵ドライブがマウントされていない時に出力されます。 |
| | システム：FAN 停止 | - | FAN が停止した時に出力されます。 |
| DHCP 自動取得 | DHCP 自動取得：成功 | - | DHCP サーバから取得に成功した時に出力されます。 |
| | DHCP 自動取得：失敗 | - | DHCP サーバから取得に失敗した時に出力されます。 |
| iobb.net 設定 | iobb 設定：変更 | - | iobb.net 設定の変更を行った時に出力されます。 |
| | iobb 設定：仮登録 | - | iobb.net 設定の仮登録を行った時に出力されます。 |
| | iobb 設定：失敗:*** | エラーメッセージ | iobb.net 有効化コマンドに失敗した時に出力されます。 |
| | iobb 設定：無効 | - | iobb.net 設定がコマンドから無効にされた時に出力されます。 |
| iobb.net 更新通知 | iobb 更新：成功 | - | iobb.net 更新通知に成功した時に出力されます。 |
| | iobb 更新：失敗：*** | エラーメッセージ | iobb.net 更新通知に失敗した時に出力されます。 |
| リモートリンク設定 | リモートリンク設定：変更 | - | リモートリンク設定の変更を行った時に出力されます。 |
| マイウェブサーバー設定 | マイウェブサーバー設定：変更 | - | マイウェブサーバー設定の変更を行った時に出力されます。 |
| ポート通知 | ポート通知：成功 | - | ポート通知に成功した時に出力されます。 |
| | ポート通知：失敗:*** | エラーメッセージ | ポート通知に失敗した時に出力されます。 |
| ポートオープン | UPnP ポートオープン：失敗 | - | UPnP ポートオープンに失敗した時に出力されます。 |
| EasySetup | EasySetup：成功 | - | EasySetup に成功した時に出力されます。 |
| | EasySetup：失敗 | - | EasySetup に失敗した時に出力されます。 |
| | EasySetup：書込失敗 | - | EasySetup.ini の書込に失敗した時に出力されます。 |
| | EasySetup：読込失敗 | - | EasySetup.ini の読込に失敗した時に出力されます。 |
| iTunes 更新 | iTunes 更新設定：変更 | - | iTunes 更新の設定を行った時に出力されます。 |
| ＵＳＢポートモード設定 | USB ポートモード：設定：デジカメコピーモード | - | USB ポートモード設定でデジカメコピーモードに変更を行った時に出力されます。 |
| | USB ポートモード：設定：クイックコピーモード | - | USB ポートモード設定でクイックコピーモードに変更を行った時に出力されます。 |
| | USB ポートモード：設定：FAT/NTFS 共有モード | - | USB ポートモード設定で FAT/NTFS 共有モードに変更を行った時に出力されます。 |
| | USB ポートモード：設定：net.USB モード | - | USB ポートモード設定で net.USB モードに変更を行った時に出力されます。 |
| デジカメコピー設定 | デジカメコピー：設定変更 | - | デジカメコピー設定の変更を行った時に出力されます。 |
| クイックコピー設定 | クイックコピー：設定変更 | - | クイックコピー設定の変更を行った時に出力されます。 |
| スケジュールバックアップ設定 | スケジュールバックアップ設定：変更 | - | スケジュールバックアップ設定の変更を行った時に出力されます。 |
| | スケジュールバックアップ：開始 | - | スケジュールバックアップを開始した時に出力されます。 |
| | スケジュールバックアップ：終了 | - | スケジュールバックアップが正常終了した時に出力されます。 |
| | スケジュールバックアップ：失敗 | - | スケジュールバックアップが異常終了した時に出力されます。 |
| BitTorrent | Bittorrent 設定：変更 | - | BitTorrent の設定が変更されたときに出力されます。 |
| UPS | UPS 設定：変更 | - | UPS 設定を更新した時に出力されます。 |
| | UPS 監視：開始 | - | UPS 監視サービスが起動された時に出力されます。 |
| | UPS 監視：停止 | - | UPS 監視サービスが停止された時に出力されます。 |
| | UPS 監視：UPS 状態を確認してください | - | 起動時に UPS 機器が接続されていない場合、運用中に UPS の未接続が検出された場合に出力されます。<br>※「UPS 警告機能」が有効な場合に限ります。 |
| | UPS 監視：バッテリーでの運用を開始 | - | UPS 監視サービスがバッテリー運用への移行を検知した時に出力されます。 |
| | UPS 監視：商用電源での運用に復旧 | - | UPS 監視サービスが商用電源運用への移行を検知した時に出力されます。 |
| RAID 起動処理 | RAID 監視：起動時ディスクエラー：***1：***2 | ***1 HDD1 or HDD2<br>***2 システムパーティション or データパーティション | RAID 起動時に縮退モードで起動した時に出力されます。 |
| | RAID 監視：崩壊 | - | RAID 起動時に RAID 崩壊状態になった時に出力されます。 |
| | RAID 監視：***1：エラーが多発しています。データをバックアップしてディスクを交換してください | ***1 HDD1 or HDD2 | ディスクに既定回数のエラーが発生した状態です。 |
| | RAID 監視：***1：ディスクに故障があります。データをバックアップしてディスクを交換してください | ***1 HDD1 or HDD2 | ディスクに故障が発生した状態です。 |
| アクティブリペア処理 | アクティブリペア設定：変更 | - | アクティブリペアの設定変更を行った時に出力されます。 |
| | アクティブリペア設定：開始 | - | アクティブリペアを開始した時に出力されます。 |
| | アクティブリペア設定：終了 | - | アクティブリペアが終了した時に出力されます。 |
| | アクティブリペア設定：中断 | - | アクティブリペアが停止された時に出力されます。 |
| | アクティブリペア設定：欠陥修復失敗：***1：***2：***3 | ***1 HDD 名<br>***2 データパーティション or システムパーティション<br>***3 パーティション番号 | アクティブリペアで欠陥修復失敗した時に出力されます。 |
| | アクティブリペア設定：スキップ：***1：***2 | ***1 データパーティション or システムパーティション<br>***2 パーティション番号 | アクティブリペアで、あるパーティションがデグレード・再構築中・崩壊・スパンニングパーティションで検査できずスキップした時に出力されます。 |
| | アクティブリペア設定：実行失敗 | - | アクティブリペアの開始に失敗した時に出力されます。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| スパンニングフォーマット処理 | スパンニングフォーマット：開始 | - | スパンニングフォーマットを開始した時に出力されます。 |
| | スパンニングフォーマット：終了 | - | スパンニングフォーマットが正常終了した時に出力されます。 |
| | スパンニングフォーマット：異常終了 | - | スパンニングフォーマットが異常終了した時に出力されます。 |
| RAID1 フォーマット処理 | RAID1 フォーマット：開始 | - | RAID1 フォーマットを開始した時に出力されます。 |
| | RAID1 フォーマット：終了 | - | RAID1 フォーマットが正常終了した時に出力されます。 |
| | RAID1 フォーマット：異常終了 | - | RAID1 フォーマットが異常終了した時に出力されます。 |
| RAID イベント | RAID 監視：再構築：開始 | - | リビルドが開始した時に出力されます。 |
| | RAID 監視：再構築：進捗 20% 完了 | - | リビルドの進捗 20% になった時に出力されます。 |
| | RAID 監視：再構築：進捗 40% 完了 | - | リビルドの進捗 40% になった時に出力されます。 |
| | RAID 監視：再構築：進捗 60% 完了 | - | リビルドの進捗 60% になった時に出力されます。 |
| | RAID 監視：再構築：進捗 80% 完了 | - | リビルドの進捗 80% になった時に出力されます。 |
| | RAID 監視：再構築：終了 | - | リビルドの完了した時に出力されます。 |
| | RAID 監視：ディスクエラー：***1：***2 | "***1 HDD1 or HDD2 ***2 システムパーティション * or データパーティション " | Fail イベントが発生した時に出力されます。 |
| | RAID 監視：回復不能エラー：***1：***2 | "***1 HDD1 or HDD2 ***2 システムパーティション * or データパーティション " | FailSpare イベントが発生した時に出力されます。 |

# お知らせメール一覧

| 分類 | 送信条件 | 送信内容 |
|---|---|---|
| 起動処理 | マウント失敗 | データパーティションのマウントに失敗しました |
| フォーマット処理 | フォーマット失敗 | データパーティションのフォーマットに失敗しました |
| | マウント失敗 | データパーティションのマウントに失敗しました |
| | アンマウント失敗 | データパーティションのアンマウントに失敗しました |
| | RAID 再構成失敗 | データパーティションの RAID 再構成に失敗しました |
| デジカメバックアップ処理 | バックアップ成功 | デジカメバックアップが完了しました |
| | バックアップ失敗 | デジカメバックアップに失敗しました |
| バックアップディスクからリストア（復元） | リストア成功 | バックアップディスクからのリストアが完了しました |
| | リストア失敗 | バックアップディスクからのリストアに失敗しました。 |
| iobb.net 更新コマンド | iobb.net 設定無効 | iobb.net 設定が無効になりました |
| 共有 | 共有未検出 | 共有フォルダ「< 共有フォルダ名 >」が見つかりませんでした |
| スケジュールバックアップ | バックアップ成功 | バックアップが完了しました |
| | バックアップ失敗 | バックアップに失敗しました |
| | バックアップ実行失敗 | バックアップ 実行失敗 |
| RAID 処理 | RAID 崩壊時（起動時） | RAID が構成できませんでした |
| | デグレード（起動時＋運用時） | HDD*(HDD1 or HDD2)：パーティション（システム or データ）にディスクエラーが発生しました |
| | フェイルスペア（運用時） | HDD*(HDD1 or HDD2)：パーティション（システム or データ）に回復不能エラーが発生しました |
| | RAID 起動時に縮退モードで起動した時 | 起動時にディスクエラーが発生しました |
| | エラーカウントが 10 以上（ログ出力時と同じタイミング） | RAID 監視：***1：エラーが多発しています。データをバックアップしてディスクを交換してください |
| | S.M.A.R.T エラー（ログ出力時と同じタイミング） | RAID 監視：***1：ディスクに故障があります。データをバックアップしてディスクを交換してください |
| アクティブリペア処理 | アクティブリペア開始 | アクティブリペア開始 |
| | アクティブリペア終了 | アクティブリペア終了 異常なし |
| | アクティブリペア中断 | アクティブリペア中断 |
| | アクティブリペア欠陥修復失敗 | アクティブリペア終了 欠陥修復失敗 ログを確認してください |
| | アクティブリペア実行失敗 | アクティブリペア 実行失敗 |
| FAN 停止 | FAN 停止 | FAN が停止しました |

# 設定画面のリファレンス

## [ ネットワーク ] タブ

### ● [ネットワーク]




[Windows 共有 ]

| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| LAN DISK の名前 | ネットワーク上で表示される名前を入力します。<br>→ネットワーク上に同じ名前が存在しないよう設定します。<br>出荷時設定では、製品個々に LANDISK-xxxxxx（xxxxx は MAC アドレスの下 6 桁）が設定されています。 | LANDISK-<br>xxxxxx |
| コメント | Windows ネットワークから本製品を参照したときに表示されるコメントです。（入力しなくてもかまいません。） | LAN DISK S series |
| ワークグループ名 | ワークグループ名を入力します。 | WORKGROUP |

[TCP/IP 設定 ]

| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| DHCP 有効 / 無効 | 本製品の IP アドレスを、ルータなどの DHCP サーバーから自動取得する場合に選択します。<br>→ DHCP サーバーからの自動取得に失敗した場合、本製品は「169.254.xxx.xxx」の自動 IP アドレスと、「192.168.0.200」の固定アドレスの2つが自動的に設定されますので、設定変更などの際にはこれらのアドレスで通信してください。このとき、[STATUS］ランプは赤く点滅し、ブザー音が鳴ります。[ 手動で設定する（DHCP 無効）] にした場合は、以下を設定します。 | | 自動で取得する<br>（DHCP 有効） |
| | IP アドレス | 本製品に設定する IP アドレスを入力します。<br>(Auto IP 自動割当は、169.254.xxx.xxx) | – |
| | サブネットマスク | 本製品に設定するサブネットマスクを入力します。<br>(Auto IP アドレスは、255.255.0.0) | – |
| | ゲートウェイ | 本製品が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。一般にインターネットと接続しているルータのIPアドレスを入力します。 | – |
| | DNS サーバー | 本製品が所属しているネットワークの DNS サーバーアドレスを入力します。 | – |

## [ 共有 ] タブ

### ● [共有フォルダ一覧]



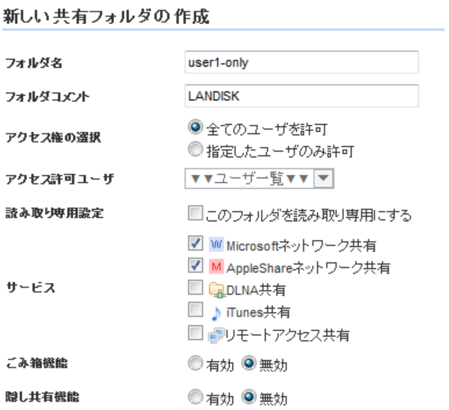

現在作成されている共有フォルダー名を表示します。

・出荷時に作成されている共有フォルダー：　disk、dlna、itunes、usb1

・アイコンの意味

| | |
|---|---|
|  | この共有は Windows ネットワークファイル共有サービスで利用可能です。 |
|  | この共有は Mac OS ネットワークファイル共有サービスで利用可能です。 |
|  | この共有は DLNA サービスとして公開されます。 |
|  | この共有は iTunes サービスとして公開されます。 |
|  | この共有はリモートアクセス共有サービスで利用可能です。 |

▼ [ 新しい共有フォルダの作成]




<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td>フォルダ名</td><td colspan="2">共有フォルダーの名前を入力します。<br>この名前が、ネットワーク上（[マイネットワーク] や [ネットワークコンピュータ] など）に表示される本製品の名前の下に表示されます。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>フォルダコメント</td><td colspan="2">Windows 用です。<br>ここに入力したコメントが、ネットワーク上の共有フォルダーのコメントとして表示されます。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。</td><td>LANDISK</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アクセス権の選択</td><td colspan="2">共有フォルダーにアクセスする権限（アクセス権）を設定できます。</td><td rowspan="3">全てのユーザを許可</td></tr>
<tr><td>全てのユーザを許可</td><td>本製品にアクセスできるすべてのユーザーがアクセスできる設定です。</td></tr>
<tr><td>指定したユーザのみ許可</td><td>本製品にユーザー登録したユーザーのうち、特定のユーザーと admin のみがアクセスできる設定です。</td></tr>
<tr><td>アクセス許可ユーザ</td><td colspan="2">「指定したユーザのみ許可」を選択した場合に、アクセスを許可するユーザーを選択します。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>読み取り専用設定</td><td colspan="2">本製品にアクセスできるすべてのユーザーから読み取りのみできるよう（書き込み禁止）にする設定です。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="6">サービス</td><td colspan="2">この共有で利用するネットワークサービスを選択します。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>Microsoft ネットワーク共有</td><td>Windows からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。</td><td>有効</td></tr>
<tr><td>AppleShare ネットワーク共有</td><td>Mac OS からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。</td><td>有効</td></tr>
<tr><td>DLNA 共有</td><td>DLNA 準拠機器からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。<br>上記［アクセス権の選択］設定が「全てのユーザーを許可」となっている場合のみ、選択できます。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>iTunes 共有</td><td>iTunes からこのフォルダーにアクセスしたい場合にチェックします。<br>上記［アクセス権の選択］設定が「全てのユーザーを許可」となっている場合のみ、選択できます。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>リモートアクセス共有</td><td>リモートアクセス機能でこのフォルダーを利用する場合にチェックをつけます。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>ごみ箱機能</td><td colspan="2">Windows（Microsoft ネットワーク共有）でのみ利用できます。<br>作成する共有フォルダーについて、ごみ箱機能を使用するかどうかを指定します。ごみ箱機能を使用すると、その共有フォルダーからファイルを削除しても、すぐに ファイルがなくなるわけではなく、いったん［ごみ箱］フォルダーに保管されます。<br>［ごみ箱］フォルダー内のファイルは自動的には消去されませんので、そのままにしておくと、ファイルを削除するたびに［ごみ箱］フォルダー内にファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていくことがあります。定期的に［ごみ箱］フォルダー内のファイルを削除されることをおすすめします。<br>［ごみ箱］フォルダーの使い方については、【［ごみ箱］フォルダーからファイルを戻す】（4-43 ページ）をご覧ください。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>隠し共有機能</td><td colspan="2">Windows（Microsoft ネットワークファイル共有）でのみ利用できます。<br>隠し共有を設定した共有フォルダーは¥¥LAN DISK 名で検索してもエクスプローラに表示されません。<br>¥¥LAN DISK 名¥共有フォルダー名で検索すると表示され、アクセス可能になります。</td><td>無効</td></tr>
</table>

▼［新しいユーザーの登録］




| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| ユーザ名 | ユーザー名を入力します。 | – |
| パスワード | パスワードを入力します。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。 | – |
| パスワード（確認） | 確認のため再度パスワードを入力します。 | – |

# [ サービス ] タブ

## ●［DLNA 設定］

DLNA に関する設定を行います。

詳しくは、【DLNA サーバー機能を利用する】（9-72 ページ）をご覧ください。

## ●［iTunes 設定］

iTunes に関する設定を行います。

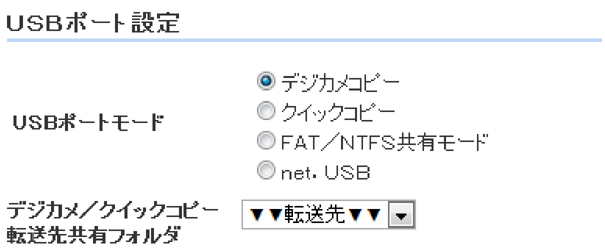
詳しくは、【iTunes サーバー機能を利用する】（10-77 ページ）をご覧ください。

## ●［iTunes 更新］

iTunes サーバーを自動的に更新するための設定をします。

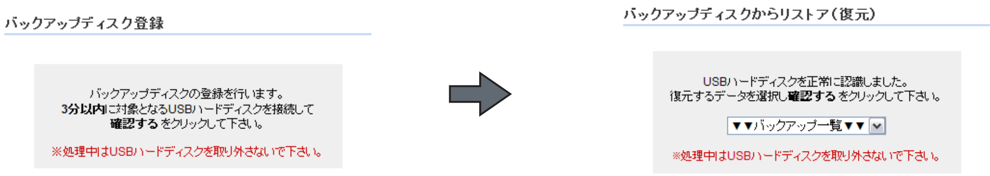
詳しくは、【● iTunes サーバーを更新する】（10-80 ページ）をご覧ください。

## ●［USB ポート設定］



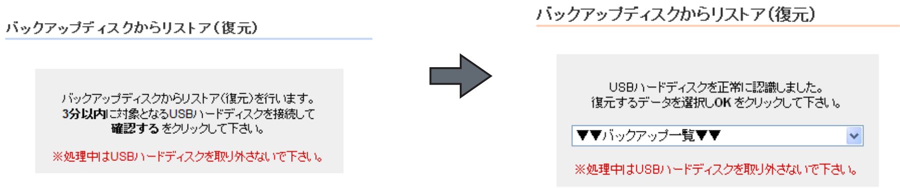

| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| USB ポートモード | コピー機能の種類を選択します。 | | デジカメコピー |
| | デジカメコピー | デジカメや USB メモリーを［USB[HOST] ポート］に接続すると、データをあらかじめ指定されている本製品の共有フォルダー内のデータと比較し、異なる（更新されている）ファイルのみにコピーすることができます。 | |
| | クイックコピー | デジカメや USB メモリーを［USB[HOST] ポート］に接続すると、データをあらかじめ指定されている本製品の共有フォルダーにコピーすることができます。 | |
| | FAT/NTFS 共有モード | USB ハードディスクを USB[HOST] ポートに接続すると、共有モードで使用することができます。また、スケジュールバックアップする場合にもあらかじめ設定が必要です。 | |
| | net.USB | net.USB を利用することができます。 | |
| デジカメ / クイックコピー転送先共有フォルダ | 「デジカメコピー」フォルダー、「クイックコピー」フォルダーの作成先を指定します。 | | disk |

## ●[デジカメバックアップ]



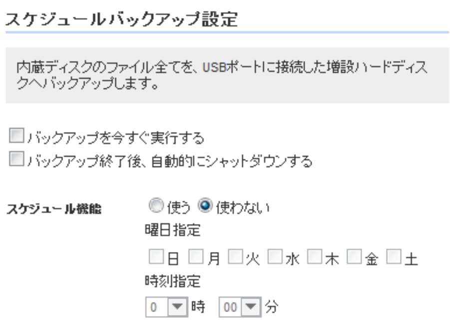

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| バックアップディスク登録 | バックアップを行う前にバックアップディスクの登録作業が必要です。<br>登録が完了した USB ハードディスクを次回、USB[HOST] ポートに接続すると自動的にバックアップがはじまります。 |
| USB ハードディスクをフォーマットする | チェックボックスにチェックをつけると、バックアップディスク登録する USB ハードディスクを FAT32 形式でフォーマットします。 |

▼リストア（復元）




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| バックアップディスクからリストア（復元） | バックアップディスクからデータを書き戻します。<br>[ ▼▼バックアップ一覧▼▼ ] から復元するデータを選択します。<br>復元するデータ名：デジカメバックアップ（LAN DISK の MAC アドレス下 6 桁）（バックアップを行った日付） |

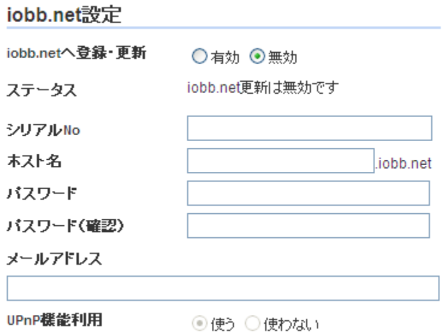
## ● [スケジュールバックアップ]




| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| バックアップを今すぐ実行する | 今すぐにバックアップを実行します。 | | 無効 |
| バックアップ終了後、自動的にシャットダウンする | バックアップ終了後に自動的にシャットダウンします。 | | 無効 |
| スケジュール機能 | スケジュールバックアップの設定をします。[ 使う ] を選択すると、以下の [ 曜日設定 ]、[ 時刻設定 ] ができます。 | | 使わない |
| | 曜日設定 | バックアップする曜日を指定します。※複数の指定ができます。 | |
| | 時刻設定 | バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。<br>例）午後 9 時の場合は、[21] 時 [00] 分 | |

## ●[iobb.net 設定]

弊社が提供するダイナミック DNS サービス「iobb.net」に関する設定を行います。




| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| iobb.net 設定 | iobb.net へ登録更新の有無を設定します。 | | 無効 |
| | 有効 | iobb.net への登録・更新を有効にします。 | |
| | 無効 | iobb.net への登録・更新を無効にします。 | |
| ステータス | 現在の状態を表示します。 | | − |
| シリアル No. | 本製品のシリアル番号（12 桁の英数字）を入力します。 | | − |
| ホスト名 | iobb.net に登録するホスト名を入力します。 | | − |
| パスワード | iobb.net に登録するパスワードを入力します。 | | − |
| パスワード（確認） | 確認のため再度パスワードを入力します。 | | − |
| メールアドレス | iobb.net から送信される、登録通知メールを受信するメールアドレスを入力します。 | | − |
| UPnP 機能利用 | 使う | UPnP 機能を使用してポート設定をします。 | 使う |
| | 使わない | UPnP 機能を使用してポート設定ができない場合、「使わない」に設定しお使いのルーターから手動でポートを開放の設定をしてください。 | |

## ● [リモートリンク]

リモートリンクに関する設定を行います。

詳しくは、【リモートアクセス】（11-84 ページ）をご覧ください。

## ● [マイウェブサーバー]

マイウェブサーバーに関する設定を行います。

詳しくは、【マイウェブサーバー】（11-92 ページ）をご覧ください。

## ● [BitTorrent 設定]

▼基本設定画面




| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| BitTorrent 機能 | BitTorrent 機能の有無を設定します。 | | 無効 |
| | 有効 | BitTorrent への登録・更新を有効にします。 | |
| | 無効 | BitTorrent への登録・更新を無効にします。 | |
| 保存先共有フォルダ | ダウンロードしたファイルを保存する共有フォルダを指定します。 | | 設定なし |
| 受信ポート番号 | BitTorrent 機能で使用するポート番号を指定します<br>受信ポート番号の設定は通常初期設定値からの変更は必要ありません。 | | 6880 |
| UPnP 機能利用 | ルーターに対するポート設定を UPnP を利用して行います。<br>ルーターに対するポート設定を手動で設定する場合は、「使わない」を選択します。 | | 使う |

▼詳細設定画面




| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| ダウンロード速度 | ダウンロード速度の制限値を入力します。<br>-1 を設定した場合は、制限なしです。 | – |
| アップロード速度 | アップロード速度の制限値を入力します。<br>-1 を設定した場合は、制限なしです。 | – |
| シードアップロード速度 | シードアップロード速度の制限値を入力します。<br>-1 を設定した場合は、制限なしです。 | – |
| シード（Seeds）設定 | ダウンロードしたファイルがアップロード可能な状態をシード (Seeds) と呼び、シード（Seeds）設定では、[ シード (Seeds)] の保持期間を設定します。 | – |
| 削除するまでシードする | ダウンロードリストからを削除するまでシードを続けます。 | – |
| 設定したアップロード比率でシードを中止する | ダウンロードしたバイト数に対するアップロードしたバイト数の比率が設定した比率に達したらシードを中止します。 | – |
| 設定時間経過後にシードを中止する | 設定した時間 ( 分 ) が経過したら自動的にシードを中止します。 | – |

# [ システム ] タブ

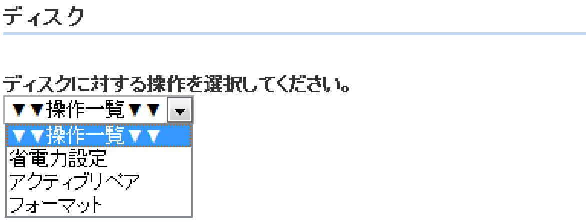
## ● ［時刻設定］



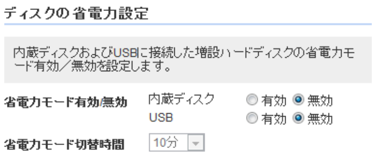

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">設定する内容</th><th>出荷時設定</th></tr>
<tr><td rowspan="2">設定時刻</td><td colspan="3">本製品に設定する時刻を入力できます。</td><td rowspan="2">手動設定</td></tr>
<tr><td>［PC の時刻を設定］ボタン</td><td colspan="2">パソコンと同じ時刻を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">サーバーと同期</td><td colspan="3">タイムサーバーを使用する場合に選択します。タイムサーバーの設定を実行すると、そのタイミングでいったんタイムサーバー時刻を本製品に設定します。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>利用するタイムサーバー</td><td colspan="2">タイムサーバー名かタイムサーバーの IP アドレスを入力します。通常は初期設定のタイムサーバーをお使いください。</td><td>ntp.nict.jp</td></tr>
<tr><td rowspan="3">同期するタイミング</td><td colspan="2">以下の赤文字どんな時に時刻同期を行なうかを設定します。どちらかにチェックを入れてください。(" 起動時 "/ " 毎日 " を両方同時に選択することもできます。)</td><td rowspan="3">起動時</td></tr>
<tr><td>起動時</td><td>本製品起動時にタイムサーバーとの時刻同期を行います。</td></tr>
<tr><td>毎日</td><td>指定した時間（24 時間表記で入力します）にタイムサーバーとの時刻同期を行ないます。本製品を 24 時間稼働させる場合はこちらを選択してください。</td></tr>
</table>

## ●[ディスク]

以下から内蔵ディスクに対して実行する操作を選択します。

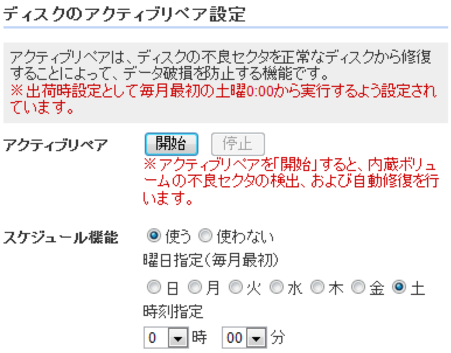



### ▼省電力設定




| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| 省電力モード有効 / 無効 | 一定時間、本製品にアクセスがない場合にハードディスクの動作を停止させる機能です。<br>内蔵ディスクと USB ハードディスクそれぞれの省電力モードを設定することができます。 | | 省電力モード無効 |
| | 有効 | 省電力機能を有効にします。 | |
| | 無効 | 省電力機能を無効にします。 | |
| 省電力モード切替時間 | 省電力モードを有効にした場合にのみ表示されます。<br>※設定した時間内にハードディスクにアクセスしなくても本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクの動作は停止しません。 | | 10 分 |

### ▼アクティブリペア



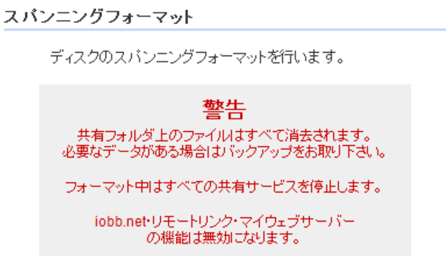

アクティブリペアとは、ミラーリングや分散パリティを行っている RAID のディスクの一部に不良セクタが発見された場合、他の正常なディスクからデータを読み込んで、異常のあるディスクに書き込むことによって、ディスク不良によるデータ破損を防止する機能です。

- スパンニング時…システム領域
- ミラーリング (RAID1) 時…システム領域 + データ領域

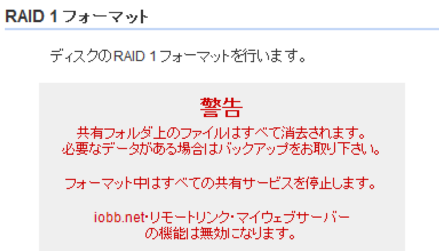
本製品はアクティブリペアのスケジュール実行を有効に設定しており、毎月第 1 土曜日午前 0 時 00 分よりアクティブリペアが自動的に開始されます。

| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| アクティブリペア機能 | アクティブリペア実行の開始、停止をします。 | | - |
| | 開始 | アクティブリペア実行します。 | |
| | 停止 | 実行中のアクティブリペアを停止します。 | |
| スケジュール機能 | 設定した日時にアクティブリペアを自動的に実行したい場合は [ 使う ] にチェックし、曜日、時刻を指定します。 | | 使う |
| | 曜日指定 (毎月最初) | アクティブリペアする曜日を指定します。複数指定できます。 | 土 |
| | 時刻設定 | アクティブリペアする時刻を指定します。24 時間制で指定します。<br>例) 午後 9 時ちょうどの場合は、[21] 時 [00] 分 | 0 時 00 分 |

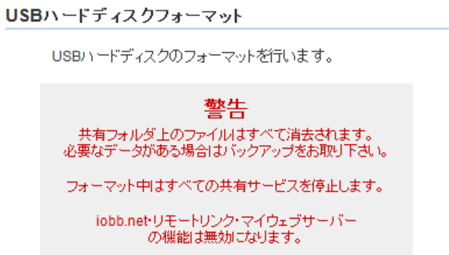
### ▼スパンニングフォーマット




### ▼ RAID1 フォーマット

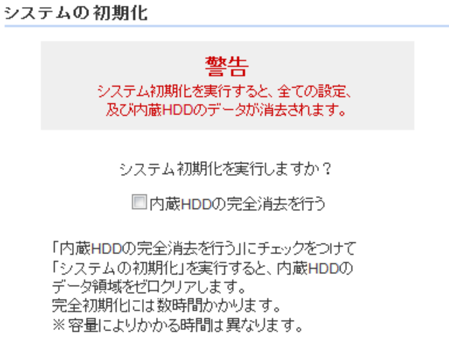



### ▼ USB ハードディスクフォーマット




| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| 内蔵ディスク（スパンニング） | 本製品の内蔵ハードディスクをスパニングフォーマットします。<br>※マイウェブサーバー機能が有効の場合、フォーマット後に本製品が再起動します。 | － |
| 内蔵ディスク（RAID1） | 本製品の内蔵ハードディスクをミラーリング（RAID1）フォーマットします。<br>※マイウェブサーバー機能が有効の場合、フォーマット後に本製品が再起動します。 | － |
| USB ハードディスク | 増設ハードディスクをフォーマットします。 | － |

## ●[システム初期化]



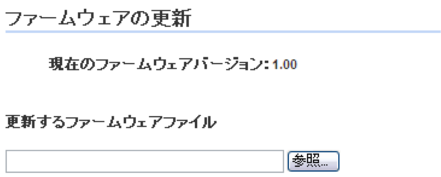

［OK］ボタンをクリックすると、すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻し、内蔵ハードディスクもフォーマットします。
ハードディスク内に必要なデータがある場合は、必ずシステム初期化前に、データをバックアップしてください。
出荷時設定については、【出荷時設定一覧】（19-118 ページ）をご覧ください。

| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| 内蔵 HDD の完全消去を行う | チェックすると、出荷時設定へ戻すと同時に内蔵ハードディスクのデータ領域を 0（ゼロ）クリアします。 | – |

**ご注意**

[ 内蔵 HDD の完全消去を行う ] をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、全てのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。
本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、以下の時間を要します。
・HDL2-S2.0：約 21 時間

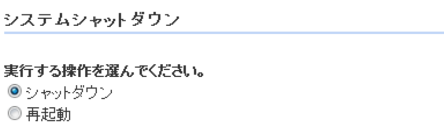
## ●[ファームウェアの更新]




ファームウェアの更新（アップデート）手順については、【ファームウェアを更新する】（15-104 ページ）をご覧ください。

| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| ファームウェアのファイル名 | [ 参照 ] ボタンをクリックして、ファームウェアのファイル名 (update.tgz) を選択し、［更新］ボタンをクリックします。ファームウェアのアップデートは画面にしたがって正しく行ってください。<br>また、あわせてダウンロードしたアップデートプログラム内の README.TXT ファイルもご覧ください。 | – |

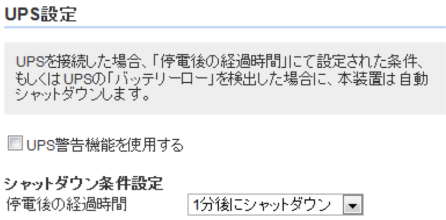
## ●[システムシャットダウン]




システムのシャットダウンまたは、再起動を行います。

| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| シャットダウン | 本製品をシャットダウンします。<br>シャットダウン処理ではシステムの電源を安全に切断できるよう、設定情報や管理情報の更新作業の他、一時記憶されているデータファイルの保存作業を行います。[STATUS] ランプが消灯するまでそのままお待ちください。［STATUS］ランプが消灯することを確認するまでは電源ケーブルを抜かないでください。 | – |
| 再起動 | 本製品を再起動します。 | – |

## ●[UPS 設定]




▼ UPS 警告設定

| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| UPS 警告機能を使用する | 有効に設定すると、UPS の接続が確認できない、または、停電状態を検出すると、ブザーと [STATUS] ランプ（赤点滅 ) でお知らせします。 | 無効 |

▼シャットダウン条件設定　（本設定は、本製品に対応した UPS 装置を USB 接続したときのみ有効です。）

| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| 停電後の経過時間 | 停電を検出後、指定時間が経過すると、本装置のシャットダウンを開始します。 | 1 分後にシャットダウン |

## ●[ログ表示]

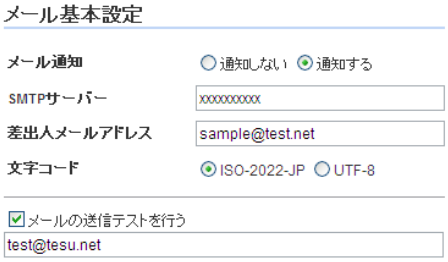

ログ一覧

| 日付 | 時間 | メッセージ |
|---|---|---|
| 3月12日 | 20:16:28 | ログオン：169.254.144.84 |
| 3月12日 | 20:05:19 | USBデバイス：切断：STOR |
| 3月12日 | 20:05:19 | メディア：消去 |
| 3月12日 | 20:04:42 | USBデバイス：接続：STOR |
| 3月12日 | 20:03:26 | USBデバイス：切断：STOR |
| 3月12日 | 20:03:26 | メディア：消去 |
| 3月12日 | 20:03:19 | USBデバイス：接続：STOR |
| 3月12日 | 19:53:16 | USBデバイス：切断：STOR |
| 3月12日 | 19:53:16 | メディア：書き出し |
| 3月12日 | 19:52:56 | USBデバイス：接続：STOR |

次へ

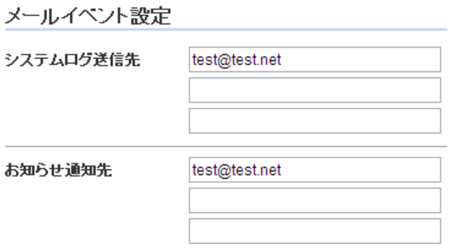
| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| 日付 | ログを記録した日付を表示します。 | － |
| 時間 | ログを記録した時刻を表示します。 | － |
| メッセージ | ログ内容を表示します。<br>ログ内容の詳細については、【ログ一覧】（19-121 ページ）をご覧ください。 | － |

## ●[メール基本設定]



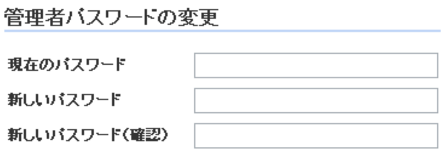

| 項目 | 設定する内容 | | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| メール通知 | ログ情報やバックアップ完了通知などをメールで送信するかどうかを設定します。 | | 通知しない |
| | 以下の項目は「通知する」を選択した場合にのみ入力可能となります。 | | – |
| | SMTP サーバー | メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。 | |
| | 差出人メールアドレス | 送信するメールアドレスの差出人を設定します。 | |
| | 文字コード | メール本文のエンコード方式を選択します。通常は、[ISO-2022-JP] で使用します。 | |
| メールの送信テストを行う | 上記の設定情報が正しく機能するか、実際にメールを送信してテストすることができます。<br>チェックボックスにチェックを入れ、テストメールの送信先アドレスを設定します。 | | – |

## ●[メールイベント設定]




| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| システムログ送信先 | ログや通知情報を送信するメールアドレスを指定します。 | – |
| お知らせ通知先 | エラー通知、デジカメバックアップの正常終了 / 失敗、リビルド（復元）の成功 / 失敗を通知するメールアドレスを指定します。 | – |

## ●[管理者パスワードの変更]




| 項目 | 設定する内容 | 出荷時設定 |
|---|---|---|
| 現在のパスワード | 管理者の現在のパスワードを入力します。 | – |
| 新しいパスワード | 管理者の新しいパスワードを入力します。<br>※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（19-120 ページ）を参照してください。 | – |
| 新しいパスワード（確認） | 管理者の確認パスワードを入力します。 | – |

# 困ったときには

## アイ・オー・データホームページをご覧ください

http://www.iodata.jp/support/

製品型番などで検索してください。

サポートページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

## 本製品起動時のトラブル



## セットアップ時のトラブル



## 本製品へアクセス時のトラブル



## 設定画面に関するトラブル

## 本製品の IP アドレスについて

| | |
|---|---|
| 本製品に設定した IP アドレスを忘れた<br>本製品に設定されている IP アドレスを調べたい | 21-151 ページ |

## ファイルの保存について

| | |
|---|---|
| 本製品に保存したファイルに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のような属性設定ができない | 21-152 ページ |
| ファイル名やフォルダー名の制限について | 21-152 ページ |
| ファイルを削除するとごみ箱にいったん入りますか? | 21-152 ページ |
| 共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか? | 21-152 ページ |
| USB 接続モードで作成したフォルダーは LAN 接続モード時に使用できますか? | 21-152 ページ |

## ランプやブザーについて

| | |
|---|---|
| [STATUS] ランプが赤く点滅している | 21-153 ページ |
| パソコンと本製品を直接接続すると、[STATUS] ランプが赤く点滅している | 21-153 ページ |
| ランプとブザーの動作について知りたい | 21-153 ページ |

## DLNA サーバー機能使用時のトラブル

| | |
|---|---|
| ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない | 21-154 ページ |
| ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある | 21-154 ページ |
| ネットワークメディアプレーヤーで再生できる本製品のファイルについて | 21-155 ページ |
| AveL Link Player から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない | 21-155 ページ |

## iTunes サーバー機能使用時のトラブル

| | |
|---|---|
| iTunes に本製品が表示されない | 21-156 ページ |
| iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある | 21-156 ページ |
| iTunes から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない | 21-156 ページ |
| iTunes サーバー機能で公開したファイルが iTunes に正しく表示されない、あるいは再生できないファイルがある | 21-157 ページ |

## リモートアクセス機能使用時のトラブル

| | |
|---|---|
| リモートアクセスが接続できなくなった | 21-158 ページ |
| リモートアクセスクライアント使用中に「通信エラーが発生しました。」と表示される | 21-158 ページ |
| コンテンツの再生ができない | 21-158 ページ |

## 内蔵・外付ハードディスクについて

| | |
|---|---|
| 外付ハードディスクを接続するとブザーが「ピーピーピー」と鳴り、[STATUS] ランプが赤く点滅したままとなる | 21-159 ページ |
| 外付ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について | 21-159 ページ |
| ハードディスクの不良で内蔵 HDD 交換が必要な場合は? | 21-159 ページ |
| 本製品に接続可能なハードディスクについて | 21-159 ページ |
| デフラグ機能はありますか? | 21-159 ページ |
| 省電力機能が働かない | 21-159 ページ |

## タイムサーバー使用時のトラブル

| | |
|---|---|
| タイムサーバーとの同期が行われない | 21-160 ページ |

## メール送信でのトラブル

| | |
|---|---|
| メール送信テストでエラーとなる | 21-161 ページ |

## パソコンのネットワーク設定について

| | |
|---|---|
| パソコンの IP アドレスがわからない | 21-162 ページ |
| Windows パソコンの [ワークグループ名] がわからない | 21-162 ページ |
| (Windows) ネットワークドライブの割り当て方法がわからない | 21-162 ページ |
| (Windows)[ ローカルエリア接続 ] アイコンに×マークが付いている | 21-162 ページ |
| パソコンに固定の IP アドレスを設定するには | 21-162 ページ |

# 本製品起動時のトラブル

## 本製品の電源を入れると、[STATUS］ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと鳴った

| | |
|---|---|
| 原因 | DHCP サーバーから本製品の IP アドレスを取得できていない。<br>※本製品の IP アドレスの設定が、自動取得 ( 出荷時設定 ) に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、[STATUS] ランプが赤点滅します。 |
| 対処 | 接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。<br>※ DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | DHCP サーバーのない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。 |
| 対処 | 本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。<br>【はじめて設定】（3-31 ページ） |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST] ポートに接続された。 |
| 対処 | 本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST] ポートに接続された場合、接続に失敗したことを [STATUS] ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると青点灯に変わります。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | LAN 接続モードで使用する共有フォルダーを、USB 接続モードから削除やリネームした。 |
| 対処 | 設定画面の [ 詳細設定 ] で、[ ログ表示 ] をクリックし、「共有フォルダー：検出エラー：***」が表示される場合、上記の可能性があります。<br>リネームした場合は USB 接続モードから元の名前に戻せば再び共有フォルダーとして使用可能になります。削除した場合は、設定画面の［共有］タブより、不要となった共有を削除してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | USB 接続モードで本製品をフォーマットした、パーティションを変更した。 |
| 対処 | LAN 接続モードでデータ領域を認識できなくなっている可能性があります。Magical Finder で本製品を検索し、設定画面の [ 詳細設定 ] で、[ ディスク状況 ] の [ 状態 ] が「マウント失敗」となっている場合は、本製品のフォーマットが必要です。フォーマットは、［システム］タブの [ ディスク ] から行ってください。 |

## 本製品の電源を入れると、[STATUS］ランプが緑点灯、[HDD1 エラー］[HDD2 エラー］ランプが赤点滅し、ブザーがピピピ…と鳴った

| | |
|---|---|
| 原因 | 内蔵ハードディスクが 2 台で正常に RAID を構成できていない。 |
| 対処 | ディスクにエラーが起こっていたり、再構築中や、ハードディスクが2台認識できなかった場合などは、USB 接続モードでご使用になれません。<br>正常に USB 接続モードで認識されない場合は、LAN 接続モードで起動し、本製品のステータスやログ表示をご確認ください。 |

## どうしても起動停止状態となるため、本製品を起動できない

| | |
|---|---|
| 対処 | 【RAID が崩壊したときには】（17-111 ページ）をご覧ください。 |

# セットアップ時のトラブル

## Mac と Windows が混在している環境の場合どのパソコンで設定したらよいですか？

| | |
|---|---|
| 対処 | 本製品は、本製品と同一ネットワーク内の１台のパソコンからすべての設定を行うことができます。<br>ご利用環境に、Windows と Mac OS のどちらもある場合は、一方のパソコンからすべての設定を行うことができますが、Windows パソコンから設定することをおすすめします。<br>Windows 環境では、「EasySetup」を使用できますので、本製品の IP アドレスの設定などを簡単に行うことができます。 |

## EasySetup を実行したら選択画面が表示された

| | |
|---|---|
| 原因 | 複数のネットワークを使用しているため、インターフェイスの設定画面が表示された。 |
| 対処 | 本製品を接続する予定のネットワークにつながっているインターフェイスを選択するか、本製品を接続予定のネットワークのみにパソコンをつなげてください。 |

## 現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

| | |
|---|---|
| 対処 | ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。<br>以下の【方法１】あるいは【方法２】などの手順で確認できます。 |

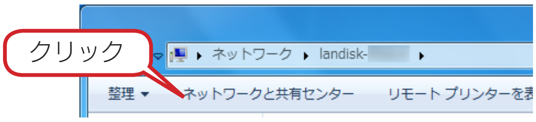
### 【方法1】パソコンの IP アドレスの設定で確認

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。
(IP アドレスの設定が" DHCP サーバーから取得する" 設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。)

● Windows 7、Vista の場合

**1** Windows 7 の場合は、[スタート] → [コンピューター] → ［ネットワーク］をクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] → ［ネットワーク］をクリックします。

**2** [ネットワークと共有センター］をクリックします。

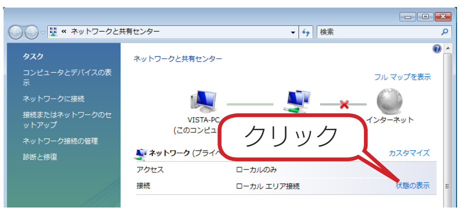



**3** Windows 7 の場合は、[ ローカル エリア接続 ] をクリックします。
Windows Vista の場合は、［状態の表示 ] をクリックします。

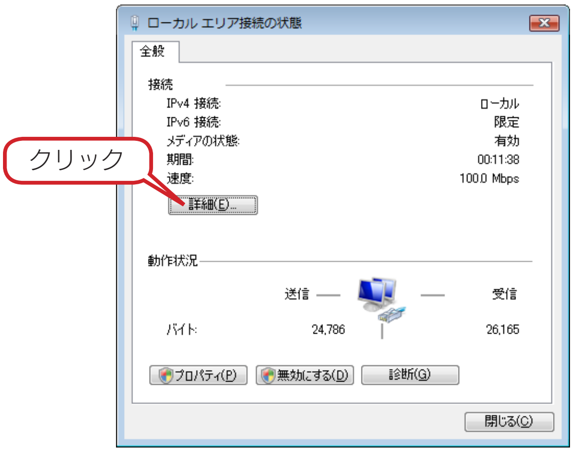
▼ Windows 7 の場合



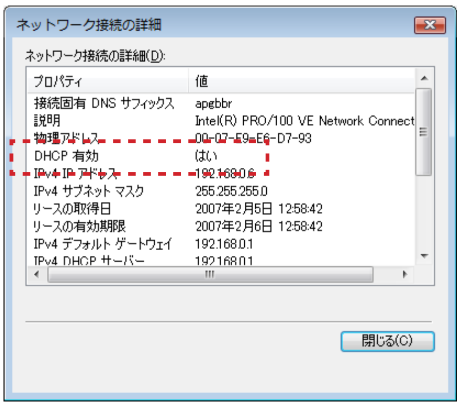

▼ Windows Vista の場合




**4** [詳細 ] をクリックします。




**5** [DHCP 有効 ] 欄に [ はい ] と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

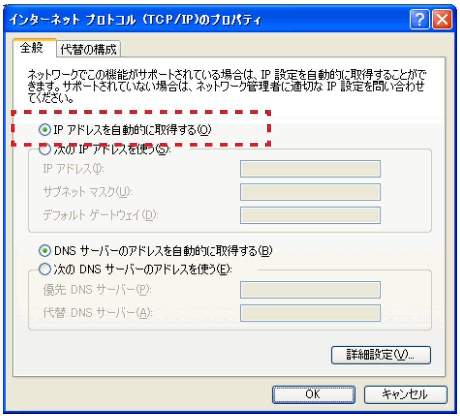


● Windows 7、Vista 以外の場合

| 1 | パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。 |
|---|---|

| 2 | パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得（する）] や［DHCP サーバーを参照］となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。 |
|---|---|

▼例）Windows XP で DHCP サーバーを使用している場合




## 【方法 2】Windows 標準添付のツールを使って確認する（Windows のみ）

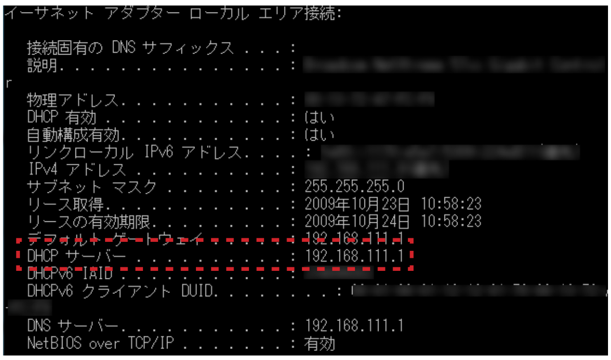
Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

● Windows 7、Vista の場合

| 1 | ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。 |
|---|---|

| 2 | ipconfig /all（g と / の間にスペースが入ります。）と入力して、[Enter］キーを押します。 |
|---|---|

| 3 | [DHCP サーバー ] 欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。 |
|---|---|

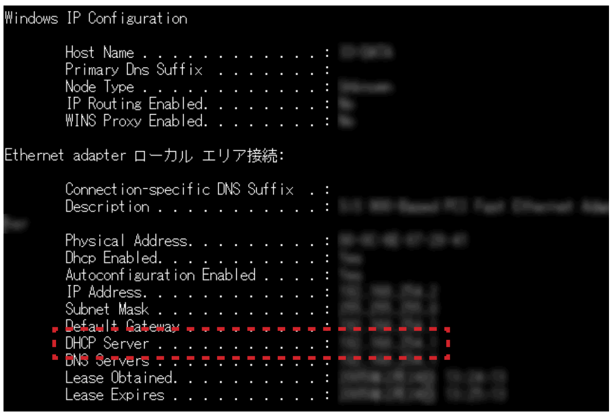



● Windows XP の場合

| 1 | ［スタート］→［(すべての) プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。 |
|---|---|

| 2 | ipconfig /all（g と / の間にスペースが入ります。）と入力して、[Enter］キーを押します。 |
|---|---|

| 3 | [DHCP Server] 欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。 |
|---|---|



## [Magical Finder] で本製品が検索されない

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続が正しく行われていない。 |
| 対処 | 本製品の電源が入っているか（[STATUS] ランプが青色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が再起動中である。 |
| 対処 | 本製品が起動するまで（[STATUS] ランプが青色に点灯※するまで）お待ちください。<br>※ DHCP サーバーの無いネットワークにはじめて接続した場合は、赤く点滅します。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。 |
| 対処 | セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。<br>また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、ファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。<br>(詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください)。<br><参考：Windows XP Service Pack 2 以降の Windows ファイアウォール機能の除外設定><br>①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。<br>1) 添付の CD-ROM をパソコンにセットすると、自動的にメニューが表示されます。<br>2)「サポートソフトインストール」→「Magical Finder」をクリックし、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。<br>②［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。<br>③一番下の「Windows ファイアウォール」をクリックします。<br>④［例外］タブをクリックし、[プログラムの追加］ボタンをクリックします。<br>⑤一覧から「MagicalFinder」を選択し、[OK］ボタンをクリックします。<br>⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に Magical Finder が追加されることを確認し、[OK］ボタンをクリックします。<br>以上で Windows XP Service Pack 2 以降のファイアウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。<br>[スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [I-O DATA]-[Magical Finder] をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。<br>設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。Magical Finder は本製品が LAN 接続モードの場合に使用可能です。 |

## DHCP サーバーがあるのに、[STATUS] ランプが赤点滅している

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続が正しく行われていない。 |
| 対処 | いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。<br>※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定) に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、[STATUS] ランプが赤く点滅します。 |
| 対処 | 接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。<br>※ DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200　に設定されます。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。 |
| 対処 | 本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。<br>【はじめて設定】(3-31 ページ) |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST] ポートに接続された。 |
| 対処 | 本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST] ポートに接続された場合、接続に失敗したことを［STATUS] ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると青点灯に変わります。 |

## （Mac OS）パソコンに直接接続した後、本製品の設定画面が表示されない

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続が正しく行われていない。 |
| 対処 | 本製品の電源が入っているか（[STATUS］ランプが青色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレスの設定があっていない。 |
| 対処 | パソコンと本製品を直接接続して設定画面を開くには、以下の設定にする必要があります。<br>①本製品の［STATUS］ランプを確認してください。<br>・赤く点灯している場合<br>本製品の LAN ポートの IP アドレスは 192.168.0.200 に設定されています。<br>本製品の LAN ポートに接続したネットワークにパソコンの LAN ポートが接続されていることを確認してください。次にパソコンの IP アドレスを 192.168.0.xxx に設定します。<br>設定方法は、次の②の手順をご覧ください。<br>・緑色に点灯している場合<br>本製品の IP アドレスは、設定画面で設定した値に設定されています。<br>本製品に設定した IP アドレスにあわせてパソコンの IP アドレスを設定します。<br>設定方法は、次の②の手順をご覧ください。<br>本製品の IP アドレスが分からない場合は、以下をご覧ください。<br>【本製品に設定した IP アドレスを忘れた】（21-151 ページ）<br>②パソコンの IP アドレスを設定します。<br>本製品の IP アドレスと同じセグメントのアドレスに設定します。<br>例）本製品の IP アドレスが 192.168.0.200 の場合…パソコンの IP アドレスは 192.168.0.123 などに設定します。<br>パソコンの IP アドレスの設定方法がわからない場合は、以下をご覧ください。<br>【パソコンに固定の IP アドレスを設定するには】（21-162 ページ）<br>③ IP アドレスを設定できましたら、Web ブラウザーを起動し、アドレス欄に以下を入力して開きます。<br>http://192.168.0.200/　　※本製品の IP アドレスが 192.168.0.200 の場合<br>本製品の IP アドレスを変更されている場合は、変更した IP アドレスを入力してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。 |
| 対処 | セキュリティー関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。<br>ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。<br>なお、ファイアウォール機能に関する設定については、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。 |
| 対処 | RESET ボタンで、本製品の LAN ポートの IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。<br>【●方法 1:IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（16-109 ページ）<br>出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。<br>【はじめて設定】（3-31 ページ） |

| | |
|---|---|
| 原因 | Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。 |
| 対処 | Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。<br>Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。<br>本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。<br>Mac OS をお使いの場合は次ページの【Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】をご覧ください。 |

## Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定

**1** [ アップルメニュー ] → [ システム環境設定 ] をクリックします。



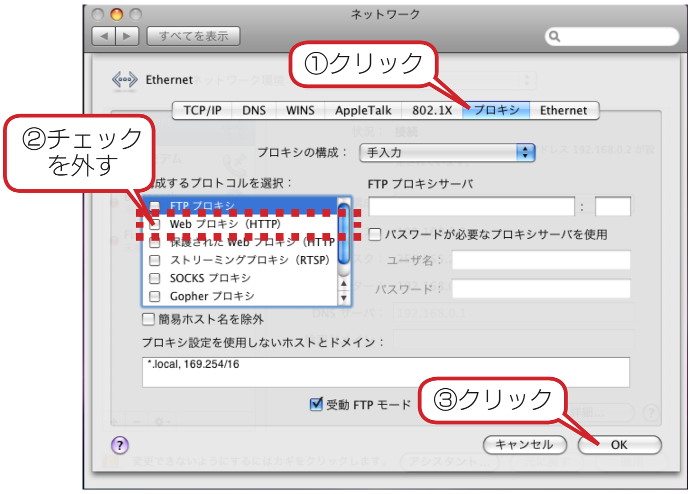

**2** [ ネットワーク ] を開きます。




**3** [ 詳細 ] をクリックします。




**4** [ プロキシ ] タブをクリックし、以下の設定を行います。




以上で設定は完了です。

### パソコンと本製品を直接接続すると、[STATUS] ランプが赤点滅する

| | |
|---|---|
| 原因 | はじめて本製品をパソコンに接続した。 |
| 対処 | パソコンにはじめて直接接続した場合、[STATUS] ランプが赤く点滅します。<br>設定画面で、本製品の IP アドレスを固定に設定し、電源ボタンで一度本製品の電源を切り ( シャットダウン ) 後、再度本製品の電源を入れれば、[STATUS] ランプが青色に点灯します。 |

### LAN DISK の名前を変更したい

| | |
|---|---|
| 対処 | 【はじめて設定】（3-31 ページ）を参照してください。 |

### ファイアウォールソフトで、LAN DISK に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかわからない

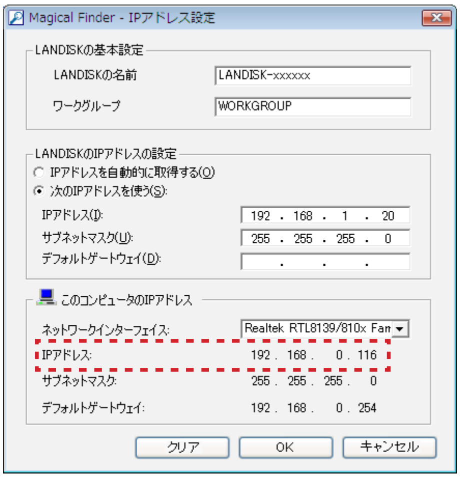
| | |
|---|---|
| 対処 | 137 ～ 139 番、445 番のポートに対してアクセスを許可する設定を行ってください。<br>詳しい設定方法については、アプリケーションメーカーにご確認ください。 |

## パソコンの IP アドレスがわからない

| 対処 | 添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。<br>以下をご覧ください。 |
|---|---|

## Magical Finder でパソコンの IP アドレスを確認する

| | |
|---|---|
| 1 | 「Magical Finder」を起動します。 |
| 2 | [IP 設定 ] ボタンをクリックします。 |
| 3 | 管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK] ボタンをクリックします。 |
| 4 | 表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピューターの IP アドレス］で確認できます。 |




## TimeMachine 機能を有効にしてしまった

| 対処 | USB 接続時にフォーマットしてしまった場合、あるいは Mac OS X に接続して TimeMachine 機能を有効にした場合、そのままでは LAN 接続で使用できなくなります。<br>LAN 接続で使用したい場合は、LAN 接続の上で設定画面を開き [ ディスク ] 項目からフォーマットを行ってください。<br>※フォーマットを行った場合記録されていたデータは失われます。必要なデータが含まれている場合は別の媒体等へデータの退避を行ってください。 |
|---|---|

# 本製品へのアクセス時のトラブル

## 「LANDISK」のアイコンを開いたり、共有フォルダーを開こうとすると、「アクセス権限が無い」とエラーが表示されたり、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される

| | |
|---|---|
| 原因 | 共有フォルダーにアクセス権限の設定を行っていて、本製品に登録したユーザー名、パスワードと、パソコンからログオンしたユーザー名とパスワードが一致していない。 |
| 対処 | ネットワークログオン時に入力する［ユーザー名］、［パスワード］と本製品に登録したユーザーの［ユーザー名］、［パスワード］が一致するように、本製品とパソコンの設定をご確認ください。<br>パソコンの設定については、次を確認してください。<br><br>▼ Windows の場合<br>OS 側にユーザー登録しなおします。<br>ユーザー登録されていない場合には、本製品に登録した［ユーザー名］［パスワード］と同じユーザーアカウントを作成してください。<br><br>▼ Mac OS の場合<br>［移動］→［サーバへ接続…］で本製品の IP アドレスを設定後、［接続］ボタンをクリックした際に表示される画面で、［登録ユーザー］を選択し、［名前］と［パスワード］に本製品に登録した［ユーザー名］と［パスワード］を入力してください。 |

## Mac OS から書き込んだファイルを Windows から削除すると、本製品の共有へ Mac OS からファイル保存ができなくなる

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品のシステムに採用されている Windows サービスと Macintosh サービス間のファイル保存情報に不整合が生じるため。 |
| 対処 | Mac OS のデスクトップ上にマウントした共有を一度、ゴミ箱へ捨て再度、Finder から本製品の共有へアクセスしてください。 |

## 本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか？

| | |
|---|---|
| 対処 | 本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。<br>・Windows パソコンの場合：推奨する同時接続台数は 5 台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）<br>・Mac OS パソコンの場合：推奨する同時接続台数は 5 台まで（最大１６台まで） |

## LAN DISK にアクセスできないパソコンがある（他のパソコンからはすでに LAN DISK にアクセスできている場合）

| | |
|---|---|
| 対処 | すでに別のパソコンが LAN DISK にアクセスできている場合、LAN DISK 自体の動作、設定には問題がないため、LAN DISK 自体の設定変更を行う必要はありません。<br>LAN DISK に接続できないパソコンで以下の点をご確認ください。<br><br>▼ Windows の場合<br>「コンピューターの検索」にて LAN DISK の名前ではなく、本製品に設定されている IP アドレスで検索を行ってみてください。<br>● IP アドレスの検索で見つかる場合<br>TCP/IP で正しく通信できていますので、IP アドレス設定は正常です。<br>また、検索の結果表示された共有フォルダーへのアクセスをお試しください。<br>● IP アドレスの検索で見つからない場合<br>検索した IP アドレスが LAN DISK に設定されたものではない、または IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。以下の点をご確認ください。<br>＜本製品の IP アドレスに PING を実行する＞<br>① [ スタート ] → [ プログラム（すべてのプログラム）] → [ アクセサリ ] → [ コマンドプロンプト ] をクリックします。<br>②「ping」と入力し、スペースを 1 文字あけてから、本製品の IP アドレスを入力し Enter キーを押します。<br>　入力例）　C:\xxxxx>ping　192.168.0.200　[Enter]<br>③応答メッセージが表示されますので、メッセージ内容によりそれぞれの対処をご確認ください。<br>＜「Reply from・・・」と応答があった場合＞<br>OS のファイル共有サービスが正しく動作していない可能性があります。<br>お使いの LAN アダプターのドライバーを再インストールしてみてどうかお試しください。<br>＜「Request time out」と応答があった場合＞<br>・本製品の IP アドレスが、パソコンの IP アドレスと同じセグメントの IP アドレスになっているかを確認してください。［MagicalFinder］より確認することができます。<br>・ファイアウォールソフトがインストールされている場合には、一時的に機能を無効にしてみてどうかご確認ください。<br><br>▼ Mac OS の場合<br>【[landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない】（21-147 ページ）をご確認ください。 |

## Windows の場合

### [ コンピューターの検索 ] で [landisk-xxxxxx] が見つからない

| | |
|---|---|
| 原因 | ネットワークの参照に時間がかかっている。 |
| 対処 | ［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品がネットワークに正しく接続されていない。 |
| 対処 | 本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。<br>( 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。) |

| | |
|---|---|
| 原因 | ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。 |
| 対処 | ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」※）や本製品の IP アドレス（DHCP から IP 自動取得）を使用できるように設定してください。<br>※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁<br>詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。 |
| 対処 | パソコンを一度再起動する必要があります。<br>Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。 |
| 対処 | ・設定画面が開けることをご確認ください。<br>・LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。） |

| | |
|---|---|
| 原因 | パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、[landisk-xxxxxx](LAN DISK の名前 ) の文字での検索では検索されない。 |
| 対処 | 本製品に設定されている IP アドレス（出荷時は、192.168.0.200）を入力して検索してみてください。<br>※本製品の IP アドレスは、「Magical Finder」で確認することができます。<br>表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。 |
| 対処 | ●ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合<br>いったん本製品の電源を入れ直して、再度検索できるかどうかお試しください。<br>● DHCP サーバーがない場合<br>本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。 |
| 対処 | 本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。<br>・本製品のワークグループ名<br>詳細設定画面の【●［ネットワーク］】（20-125 ページ）参照<br>・パソコンのワークグループ名<br>【Windows パソコンの［ワークグループ名］がわからない】（21-162 ページ）参照 |

## Windows 上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある

| | |
|---|---|
| 原因 | Mac OS で、フォルダーを作成したり、ファイルをコピーした。 |
| 対処 | Mac OS で、フォルダーを作成したり、ファイルをコピーした際は、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されます。（例:「.AppleDouble、「.AppleDB」など、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイル、フォルダーになります。）<br>このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | アプリケーションが作業中に作成・削除した。 |
| 対処 | アプリケーションによっては、作業ファイルを作成・削除するものがあります。<br>そのため、[ ごみ箱 ] フォルダーにファイルやフォルダーがある場合があります。 |

## ユーザー権限共有フォルダーにログオンしようとすると、エラーメッセージが出てきてログオンができない

| | |
|---|---|
| 原因 | LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードと、Windows に登録したユーザー名とパスワードが 一致していない可能性が考えられます。 |
| 対処 | LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードを、Windows でも作成し、OS ログオン時にそのユーザー名・パスワードを使ってログオンしてください。 |

## Mac OS の場合

### [landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品がネットワークへ正しく接続されていない。 |
| 対処 | 本製品の電源が入っているか（[STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。<br>( 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。) |

| | |
|---|---|
| 原因 | ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。 |
| 対処 | ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」）や本製品の IP アドレス（初期値は「192.168.0.200」）を使用できるように設定してください。<br>詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | LAN DISK の名前で検索できない。 |
| 対処 1 | ［サーバへ接続］画面で、本製品の IP アドレスを使用して接続してください。<br>入力する IP アドレスは、本製品に設定されている IP アドレスを入力します。<br>※本製品の IP アドレスは、「Magical Finder」で確認することができます。表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。<br>→ IP アドレスを指定して接続する場合：　　afp://192.168.0.200/ |
| 対処 2 | Web ブラウザー「Safari」を起動し、ブックマークの［Bonjour］（または、[Rendezvous]）に LANDISK-xxxxxx ※が表示されていることを確認します。<br>※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁<br>※本製品の［LANDISK の名前］を変更している場合は、変更後の名前 |

# 設定画面に関するトラブル

## (Windows) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

| | |
|---|---|
| 対処 1 | デスクトップ上にある、[LANDISK-xxxxxxWEB 設定画面 ] ショートカットから開いてみてください。 |

| | |
|---|---|
| 対処 1 | [Magical Finder] を起動し、本製品を検索してみてください。<br>詳しくは、【設定メニューを開く】(2-28 ページ) をご覧ください。 |

| | |
|---|---|
| 対処 2 | セキュリティー関連のソフトウェア(ファイアウォールソフト)の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。<br>また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、ファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。<br>(詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください)。<br><参考:WindowsXP Service Pack 2 以降の Windows ファイアウォール機能の除外設定><br>①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。<br>1) 添付の CD-ROM をパソコンにセットすると、自動的にメニューが表示されます。<br>2)「サポートソフトインストール」→「Magical Finder」をクリックし、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。<br>② [スタート] → [コントロールパネル] → [セキュリティセンター] を開きます。<br>③一番下の「Windows ファイアウォール」をクリックします。<br>④ [例外] タブをクリックし、[プログラムの追加] ボタンをクリックします。<br>⑤一覧から「MagicalFinder」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。<br>⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に Magical Finder が追加されることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。<br>以上で Windows XP Service Pack 2 以降のファイアウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。<br>[スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [I-O DATA]-[Magical Finder] をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。<br>設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。 |

## (Mac OS) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続が正しく行われていない。 |
| 対処 | 本製品の電源が入っているか([STATUS] ランプが青色に点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。 |
| 対処 | セキュリティー関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。<br>ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。<br>なお、ファイアウォール機能に関する設定については、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | (本製品に固定の IP アドレスを設定した場合)<br>本製品と設定用パソコンの IP アドレスのネットワークアドレス部が合っていない。 |
| 対処 | お使いのパソコンの IP アドレスが例えば「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品の IP アドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレスが合っていないことが考えられます。<br>本製品の IP アドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定し直してください。<br>【はじめて設定】(3-31 ページ) |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が DHCP クライアントに設定されているため、IP アドレスがわからない。 |
| 対処 | 本製品の IP アドレスは、Magical Finder で確認することができます。表示されている [IP アドレス] が本製品の IP アドレスです。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 設定画面を開こうとしているパソコンの IP アドレス設定が間違っている。 |
| 対処 | 設定画面を開こうとしている以外のパソコンで、設定画面が開けないかお試しください。<br>開ける場合は、開けなかったパソコン側の IP アドレスの設定が本製品にアクセスできる設定になっていない可能性があります。本製品を設定時にパソコンの IP アドレスやサブネットマスクを一時的に変更していた場合などは、本製品設定前の IP アドレスやサブネットマスクに戻してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。 |
| 対処 | [RESET] ボタンで、本製品の IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。<br>【●方法 1:IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（16-109 ページ）<br>出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。<br>【はじめて設定】（3-31 ページ） |

| | |
|---|---|
| 原因 | Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。 |
| 対処 | Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。<br>次のページをご覧になり、Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。<br>本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。<br>【Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】（21-142 ページ） |

### 設定画面で一部表示されない項目がある

| | |
|---|---|
| 原因 | セキュリティー関連のソフトウェアの影響により表示されない。 |
| 対処 | セキュリティー関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。<br>ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。<br>なお、ファイアウォール機能に関する設定については、ソフトウェアメーカーにお問合せください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | Web ブラウザーのセキュリティレベルが高く設定されている。 |
| 対処 | 本製品の設定時のみセキュリティレベルを「中」に設定してください。<br>設定後は、元の「高」設定に戻してください。<br>■ Internet Explorer 6（Windows）をご利用の場合<br>①デスクトップにある「Internet Explorer」のアイコンを右クリックし、メニューの中の [ プロパティ ] をクリックし、[ インターネットオプション ] もしくは [ インターネットのプロパティ ] を開いてください。<br>② [ セキュリティ ] タブをクリックし、[ このゾーンのセキュリティレベル ] を「中」に合わせます。<br>③「OK」ボタンをクリックします。 |

### 空き容量が実際より少なく見える

| | |
|---|---|
| 原因 | ［ごみ箱］フォルダーのファイルが多数ある。 |
| 対処 | 各共有の［ごみ箱］フォルダーを空にしてください。 |

### 設定画面で文字が入力できない

| | |
|---|---|
| 原因 | 入力個所をクリックしていない。 |
| 対処 | 一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 入力できない文字を入力しようとしている。 |
| 対処 | 入力できる文字かを確認してから入力してください。<br>本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。<br>【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。 |

### 設定画面上から入力できる文字制限について

| | |
|---|---|
| 対処 | 【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。 |

## パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない

| | |
|---|---|
| 原因 | パスワードが間違っている。 |
| 対処 | 出荷時設定では、「パスワード：(なし)」に設定されています。<br>出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。<br>設定画面の［管理者パスワードの変更］でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。<br>再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。<br>パスワードを忘れてしまった場合は、【●方法 1 :IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(16-109 ページ) をご覧になり、出荷時状態に戻してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 空白 ( スペース ) のみのパスワードになっている。 |
| 対処 | パスワード無しに設定したつもりで、空白 ( スペース ) で設定されていることがありますので、空白 ( スペース ) を入力してみてください。ログオンできない場合は、上の対処をご覧ください。 |

## 設定画面にログオンするためのパスワードがわからない

| | |
|---|---|
| 対処 | 出荷時設定では、「パスワード：(なし)」に設定されています。<br>出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。<br>設定画面の［管理者パスワードの変更］でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。<br>再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。<br>パスワードを忘れてしまった場合は、【●方法 1 :IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(16-109 ページ) をご覧になり、出荷時状態に戻してください。 |

## 以下のメッセージが表示された
## 「現在処理中です。」

| | |
|---|---|
| 原因 | 設定処理実行中に他の設定をしようとした。<br>設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。 |
| 対処 | 他の設定処理が実行中でないかご確認ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | ファームウェアーが正常に動作していない。 |
| 対処 | ①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。<br>②本製品の初期化を行ってみてください。詳しくは、【出荷時設定に戻す】(16-108 ページ) をご覧ください。 |

## 設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる

| | |
|---|---|
| 対処 | ハードディスクに問題はありません。本製品が使用するファームウェアーの制限です。 |

## 設定画面の動作が遅い

| | |
|---|---|
| 原因 | ファイル転送中など、本製品の処理動作中である。<br>以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合あります。<br>・ファイル共有サービス転送中 / 再生中　・DLNA データベース更新中　・iTunes データベース更新中<br>・スピンアップ中 |
| 対処 | 処理が終了するまでお待ちください。 |

# 本製品の IP アドレスについて

**本製品に設定した IP アドレスを忘れた**
**本製品に設定されている IP アドレスを調べたい**

**ご注意**

DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順を行うことをおすすめします。
DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。
下記手順でいったん確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

| | |
|---|---|
| 対処 1 | 添付ユーティリティー Magical Finder を起動してください。<br>表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。 |

| | |
|---|---|
| 対処2 | (DHCP サーバーのあるネットワークの場合)<br>DHCP サーバー内の情報から確認します。<br>ご使用のブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーが、本製品に割り当てた IP アドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。 |

# ファイルの保存について

## 本製品に保存したファイルに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のような属性設定ができない

| | |
|---|---|
| 対処 | 製品の仕様上、ファイルごとのセキュリティー設定はできません。<br>ファイルやフォルダーに属性やセキュリティー設定は行わないでください。 |

## ファイル名やフォルダー名の制限について

| | |
|---|---|
| 対処 | 本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、文字制限があります。以下をご覧ください。<br>【文字制限一覧】（19-120 ページ）をご覧ください。 |

## ファイルを削除するとごみ箱にいったん入りますか？

| | |
|---|---|
| 対処 | 本製品の「ごみ箱機能」を有効（初期値は無効）に設定した場合は、該当フォルダーの中に「ごみ箱」フォルダーにいったん削除したファイルが入ります。<br>ごみ箱機能を無効にして削除した場合は、そのまま削除されます。 |

## 共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか？

| | |
|---|---|
| 対処 | 特に制限はありません。 |

## USB 接続モードで作成したフォルダーは LAN 接続モード時に使用できますか？

| | |
|---|---|
| 対処 | USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードで作成した「共有フォルダ」をご使用ください。<br>USB 接続モードで「共有フォルダ」外に作成したフォルダーは、LAN 接続モードでは使用できません。 |

# ランプやブザーについて

## [STATUS] ランプが赤く点滅している

| | |
|---|---|
| 原因 | 正しく接続されていない。 |
| 対処 | いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。<br>※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、[STATUS] ランプが赤く点滅します。 |
| 対処 | 接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。<br>※ DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200　に設定されます。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。 |
| 対処 | 本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。<br>【はじめて設定】(3-31 ページ) |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST] ポートに接続された。 |
| 対処 | 本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST] ポートに接続された場合、接続に失敗したことを [STATUS] ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取外してください。しばらくして青点灯に変わります。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | デジカメコピーが異常終了した。 |
| 対処 1 | デジカメコピーの設定を再度確認してコピーし直してください。 |
| 対処 2 | マスストレージモードと PTP モードを切り替えられる機種はマスストレージモードでご使用ください。PTP 転送時は、1 ファイルの大きさが 1.5GB 以下のファイルのみ対応となります。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | デジカメバックアップが異常終了した。 |
| 対処 1 | 指定してある内蔵 HDD 内にデジカメコピーのフォルダーがあることを確認してください。また、USB[HOST] ポートに接続した HDD にデジカメバックアップのフォルダーがあることを確認してください。無い場合はデジカメコピー及びデジカメバックアップの設定を再度やり直してください。 |
| 対処 2 | ファイルサイズが 4GB 以上のファイルが含まれていないか確認ください。ファイルシステムの制限により、バックアップディスクとなる FAT 形式の外付ハードディスクへは 4GB 以上のファイルは転送できません。 |

## パソコンと本製品を直接接続すると、[STATUS] ランプが赤点灯する

| | |
|---|---|
| 対処 | 以下をご覧ください。<br>【パソコンと本製品を直接接続すると、[STATUS] ランプが赤点滅する】(21-142 ページ) |

## ランプとブザーの動作について知りたい

| | |
|---|---|
| 対処 | 以下をご覧ください。<br>【各部の名称・機能】(19-114 ページ)<br>【ランプ・ブザー別の対応】(18-112 ページ) |

# DLNA サーバー機能使用時のトラブル

## ネットワークメディアプレーヤーで本製品が表示されない

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続が正しく行われていない。 |
| 対処 | 本製品の電源が入っているか（[STATUS］ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。<br>( 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)<br>また、ネットワークメディアプレーヤー側の電源が入っているか、接続ケーブルが LAN に接続されているか（LAN ポートのランプが点灯または点滅しているか）確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | ネットワークメディアプレーヤーまたは本製品の IP アドレスの設定が間違っている。 |
| 対処 | ネットワークメディアプレーヤーと本製品の IP アドレスを確認し、同じネットワークアドレス（セグメント）で別々の IP アドレスとなっているかを確認してください。<br>●ネットワークメディアプレーヤーの IP アドレス ･･･ ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書を参照ください。<br>●本製品の IP アドレス ･･･ 【本製品に設定されている IP アドレスを調べたい】（21-151 ページ）参照 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品の「DLNA Server」設定が有効になっていない。 |
| 対処 | 設定画面の［DLNA 設定］ボタンをクリックし、公開フォルダーに［DLNA Server］が表示されていることをご確認ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が再起動中である。 |
| 対処 | 本製品が起動するまで（[STATUS］ランプが青色に点灯するまで）お待ちください。 |

## ネットワークメディアプレーヤーに表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

| | |
|---|---|
| 原因 | ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）が対応していないファイルフォーマットである。 |
| 対処 | お使いのネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）が対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）の取扱説明書などで確認してください。<br>※本製品が対応しているファイルフォーマットであっても、ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）側が対応していない場合は再生できません。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が対応していないファイルフォーマットである。 |
| 対処 | 本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。<br>※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。 |

| 種類 | ファイル拡張子 |
|---|---|
| 動画 | 3gp avi divx mp4 m4v mov mpg m2p mpe mpeg vob tts mts m2ts ts asf dvr-ms wmv |
| 写真 | bmp gif jpg jpeg png tiff tif |
| 音楽 | ogg lpcm pcm flac m4a m4b mp3 m3u wav wma |

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

| | |
|---|---|
| 原因 | DLNA Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている。 |
| 対処 | DLNA Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている場合には、初回接続時や共有内ファイル操作時にネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で表示されるまでに待たされることがあります。<br>この場合、DLNA 用データベースの更新が行われていますので、しばらくお待ちください。<br>※1万ファイル以内でご利用ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品で DLNA の設定変更を行った場合、ネットワークメディアプレイヤー側で情報更新に時間が掛かる場合があります。 |
| 対処 | しばらく時間を置いてから、本製品が認識できるかどうかをご確認ください。 |

## ネットワークメディアプレーヤーで再生できる本製品のファイルについて

| | |
|---|---|
| 対処 | ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で再生できるファイルのファイルサイズによる制限はありませんが、本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。<br>※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。 |

| 種類 | ファイル拡張子 |
|---|---|
| 動画 | 3gp　avi　divx　mp4　m4v　mov　mpg　m2p　mpe　mpeg　vob　tts　mts　m2ts　ts　asf　dvr-ms　wmv |
| 写真 | bmp　gif　jpg　jpeg　png　tiff　tif |
| 音楽 | ogg　lpcm　pcm　flac　m4a　m4b　mp3　m3u　wav　wma |

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

ネットワークメディアプレーヤー（DLNA クライアント）で本製品内のファイルを再生する場合、本製品およびネットワークメディアプレーヤーの両方が対応しているファイルフォーマットである必要があります。
お使いのネットワークメディアプレーヤーが対応しているファイルかを、ネットワークメディアプレーヤーの取扱説明書などで確認してください。

## AveL Link Player から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない

| | |
|---|---|
| 原因 | DLNA に対応していない AveL Link Player である。 |
| 対処 | DLNA に対応していない AveL Link Player からは、本製品のファイルやフォルダーを見ることはできません。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品側で「DLNA Server 機能」の設定が有効になっていないことが考えられます。 |
| 対処 | 公開したいフォルダーが DLNA 共有有効になっていることを確認します。<br><br>①設定画面から［DLNA 設定］ボタンをクリックし、表示される公開フォルダー一覧に公開したいフォルダーのフォルダー名が表示されていることを確認します。<br>②表示されていなかった場合、[ 公開フォルダーを追加する ] をクリックし、表示される [ 新しい公開フォルダーの作成 ] 画面で公開したいフォルダーを選択します。<br><br>以上の設定を行いましたら、AveL Link Player のログイン先選択画面に本製品のログインアイコンが自動的に表示されます。<br>表示されましたら、そのログイン名を選択し、本製品上のファイルの参照をお試しください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品で DLNA の設定変更を行った場合、ネットワークメディアプレイヤー側で情報更新に時間が掛かる場合があります。 |
| 対処 | しばらく時間を置いてから、本製品が認識できるかどうかをご確認ください。 |

# iTunes サーバー機能使用時のトラブル

## iTunes に本製品が表示されない

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続が正しく行われていない。 |
| 対処 | 本製品の電源が入っているか（[STATUS］ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。<br>( 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。) |

| | |
|---|---|
| 原因 | iTunes を実行するパソコンと本製品が通信できない設定になっている。 |
| 対処 | iTunes を実行するパソコンより、本製品の設定画面を開けることを確認してください。<br>【設定メニューを開く】（2-28 ページ） |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品の「iTunes Server」設定が有効になっていない。 |
| 対処 | 設定画面の［iTunes 設定］ボタンをクリックし、公開フォルダーに［iTunes Server］が表示されていることをご確認ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品が再起動中である。 |
| 対処 | 本製品が起動するまで（[STATUS］ランプが青色に点灯するまで）お待ちください。 |

## iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

<table>
<tr><td>原因</td><td>本製品が対応していないファイルフォーマットである。</td></tr>
<tr><td>対処</td><td>本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。<br>※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。
<table>
<tr><th>種類</th><th>ファイル拡張子</th></tr>
<tr><td>音楽</td><td>mp3　　m4a　　m4p</td></tr>
</table>
※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 原因 | iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている。 |
| 対処 | iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている場合には、表示されるまでに待たされることがあります。<br>この場合、iTunes 用データベースの更新が行われている場合がありますので、しばらくお待ちください。<br>※1万ファイル以内でご利用ください。 |

## iTunes から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない

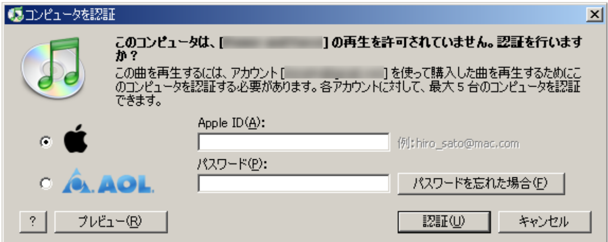
| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品側で「iTunes Server 機能」の設定が有効になっていないことが考えられます。 |
| 対処 | 以下の手順を行います。<br>①設定画面から［iTunes 設定］ボタンをクリックし、表示される公開フォルダー一覧に公開したいフォルダーのフォルダー名が表示されていることを確認します。<br>②表示されていなかった場合、[ 公開フォルダーを追加する ] をクリックし、表示される [ 新しい公開フォルダーの作成 ] 画面で公開したいフォルダーを選択します。<br>この設定で、iTunes 画面に本製品のログインアイコンが自動的に表示されます。<br>表示されたら、アイコンをクリックし、本製品上のファイルの再生をお試しください。 |

## iTunes サーバー機能で公開したファイルが iTunes に正しく表示されない、あるいは再生できないファイルがある

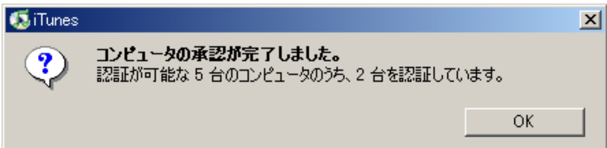
| | |
|---|---|
| 原因 | iTunesServer 機能で公開する共有フォルダーに、音楽ファイルを追加、削除した後、iTunes Server のデータベースの更新を行ってない。 |
| 対処 | iTunesServer 機能で公開する共有フォルダーに、音楽ファイルを追加、削除した後、本製品の設定画面上の [iTunes 更新 ] ボタンをクリックしてデータベースの更新を行う必要があります。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | MP3 の ID3 タグ情報の文字は UTF-16 のエンコーディングに対応しています。<br>UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。 |
| 対処 | 曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けするファイルをいったん本製品の共有フォルダーから、iTunes を実行するパソコンに移動し、iTunes にて「ID3 タグを変換」を行ってください。 |

<table>
<tr><td>原因</td><td>iTunes Store で購入したファイルを購入したパソコンの iTunes 以外の、iTunes にて再生しようとしている。</td></tr>
<tr><td>対処</td><td>iTunes Store で購入した著作権保護されたファイルを共有する場合、iTunes にて再生しようとすると「コンピュータを認証」画面が表示される場合があります。




これは iTunes の著作権管理機能により、著作権保護されたファイルを再生する場合の手続きになります。「コンピュータを認証」画面にて認証を行うことで、最大 5 台まで著作権保護されたファイルを再生することができます。



</td></tr>
</table>

# リモートアクセス機能使用時のトラブル

## リモートアクセスが接続できなくなった

| | |
|---|---|
| 原因 | インターネット接続が不通になった場合などに iobb.net が無効に変更されます。<br>（インターネットサービスプロバイダがメンテナンスなどでインターネット接続が一時間以上不通になった場合など） |
| 対処 | インターネットアクセスを確認し、[iobb.net 設定 ] を再度有効に設定してください。 |

## リモートアクセスクライアント使用中に「通信エラーが発生しました。」と表示される

| | |
|---|---|
| 原因 | インターネット回線の状態が一時的に悪化し、操作中の処理が失敗した。 |
| 対処 | いったんログアウトし、しばらく待ってからログインしてから操作を行ってください。<br>それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | 自宅のルーターのグローバル IP アドレスが更新された。 |
| 対処 | いったんログアウトし、10 分以上待ってから再度ログインし操作を行ってください。<br>それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。 |

## コンテンツの再生ができない

| | |
|---|---|
| 原因 | インターネット回線の状態によってはスループット不足によりコンテンツの再生が正常に行えない場合があります。 |
| 対処 | 本製品および、ホームメディアリンククライアントを動作させるインターネット環境は光回線（10Mbps 以上の通信速度を維持できること）を推奨します。 |

# 内蔵および外付ハードディスクについて

## 外付ハードディスクを接続するとブザーが「ピーピーピー」と鳴り、[STATUS] ランプが赤点滅したままとなる

| | |
|---|---|
| 原因 | FAT/NTFS 以外のフォーマット形式の外付ハードディスクを接続した。<br>FAT/NTFS 以外のフォーマット形式としては以下のような場合があります。<br>・Mac OS で使用していたハードディスク<br>・未フォーマット状態のハードディスク<br>・他の LAN DISK 製品で専用フォーマットにした外付ハードディスク |
| 対処 | いったんケーブルを抜いて FAT/NTFS 形式にパソコンなどでフォーマットしてから再度接続する必要があります。 |

## 外付ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

| | |
|---|---|
| 対処 | FAT32 や NTFS 形式のハードディスクはそのまま Windows パソコンではご利用になれます。<br>再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの外付ハードディスクの取扱説明書を参照してください。<br>※フォーマットするとデータはすべて消去されます。<br>※本製品をパソコンに直接接続して、フォーマットすることはできません。 |

## ハードディスクの不良で内蔵 HDD 交換が必要な場合は？

| | |
|---|---|
| 対処 | 以下の場合が考えられます。<br>内蔵ハードディスクの状態については、本製品の設定画面左側 [ ディスク状況 ] でご確認ください。<br>①「S.M.A.R.T 自己診断機能」で異常と判断されたハードディスク<br>　システムログには、[ディスクに故障があります] と表示されています。<br>②アクティブリペアで修復不能の場合と判断されたハードディスク<br>③エラーが多数発生しているハードディスク<br>　システムログには、[エラーが多発しています] と表示されています。 |

## 本製品に接続可能なハードディスクについて

| | |
|---|---|
| 対処 | 【接続できる USB 機器】(19-115 ページ)をご覧ください。 |

## デフラグ機能はありますか？

| | |
|---|---|
| 対処 | 本製品にデフラグ機能はありません。 |

## 省電力機能が働かない

| | |
|---|---|
| 原因 | 本製品のシステムがアクセスしている。 |
| 対処 | 本製品のシステムが必要なファイルにアクセスする場合があります。 |

# タイムサーバー機能使用時のトラブル

## タイムサーバーとの同期が行われない

| | |
|---|---|
| 原因 | ［ネットワーク設定］で正しく設定されていない。 |
| 対処 | 「ネットワーク設定」で「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を DHCP サーバーから自動で取得していない場合は、以下を確認してください。<br>設定画面の［ネットワーク設定］で、「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を正しく設定してください。<br>入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。<br>以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「ネットワーク設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期とメール通知テストで送信ができるかどうかご確認ください。<br><br>【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】<br>● Windows 7、Vista の場合<br>① [ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [ アクセサリ ] → [ コマンドプロンプト ] をクリックします。<br>② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。<br>③ [ デフォルトゲートウェイ ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。<br>● Windows XP の場合<br>① ［スタート］ → ［(すべての) プログラム］ → ［アクセサリ］ → ［コマンドプロンプト］を開きます。<br>② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。<br>③ [Default Gateway] と [DNS Servers] の IP アドレスを確認します。<br>● Mac OS X の場合<br>① ［アップルメニュー］ → ［システム環境設定］で［ネットワーク］を開きます。<br>② ［Ethernet］を選択し、表示された［ルーター］［DNS サーバ］の IP アドレスを確認します。 |

# メール送信でのトラブル

## メール送信テストでエラーとなる

| | |
|---|---|
| 原因 | ［TCP/IP 設定］で正しく設定されていない。 |
| 対処 | ［ネットワーク］タブ→［TCP/IP 設定］で、「ゲートウェイ」と「DNS サーバ」を設定してください。<br>入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。<br>以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「TCP/IP 設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期とログメールの送信ができるかどうかご確認ください。<br><br>【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】<br>● Windows 7、Vista の場合<br>① [ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [ アクセサリ ] → [ コマンドプロンプト ] をクリックします。<br>② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。<br>③ [ デフォルトゲートウェイ ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。<br>● Windows XP の場合<br>①［スタート］→［(すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。<br>② ipconfig /all　と入力して Enter キーを押します。<br>③ [Default Gateway] と [DNS Servers] の IP アドレスを確認します。<br>● Mac OS X の場合<br>①［アップルメニュー］→［システム環境設定］で［ネットワーク］を開きます。<br>②［Ethernet］を選択し、表示された［ルーター］［DNS サーバ］の IP アドレスを確認します。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | [ メール基本設定 ] で、[ メール通知 ] が [ 通知しない ] になっている。 |
| 対処 | メール通知を [ 通知する ] に設定し、[SMTP サーバー ] などを設定してください。 |

# パソコンのネットワーク設定について

## パソコンの IP アドレスがわからない

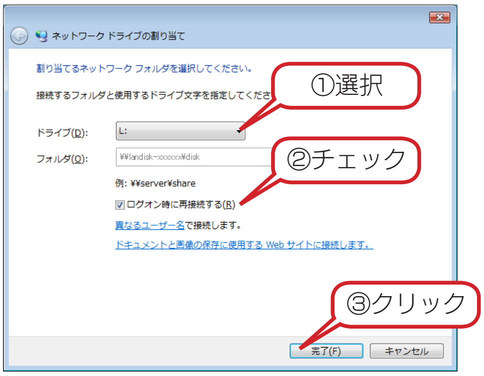
| | |
|---|---|
| 対処 | 以下をご覧ください。<br>【パソコンの IP アドレスがわからない】(21-162 ページ) |

## Windows パソコンの［ワークグループ名］がわからない

| | |
|---|---|
| 対処 | ● Windows 7 の場合<br>①［スタート］をクリック後、［コンピューター］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。<br>②「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。<br>● Windows Vista の場合<br>①［スタート］をクリック後、［コンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。<br>②「コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。<br>● Windows XP の場合<br>①［スタート］をクリック後、［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。<br>②［システムのプロパティ］画面で［コンピュータ名］タブをクリックすれば確認できます。 |

## (Windows) ネットワークドライブの割り当て方法がわからない

| | |
|---|---|
| 対処 | ①本製品の共有フォルダーの一覧を開きます。<br>②［disk］フォルダーを右クリックし、表示されたメニューの［ネットワークドライブの割り当て］をクリックします。<br>③ネットワークドライブを割り当てます。<br>1．[ ドライブ ] で本製品に割り当てる文字を選びます。<br>2．[ ログオン時に再接続する ] にチェックを付けます。<br>3．[ 完了 ] ( または [OK]) ボタンをクリックします。<br>※ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。<br>④ [ マイコンピュータ ] を開いて、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。ネットワークドライブは、パソコンのハードディスクと同様にアクセスできます。 |




## (Windows) [ ローカルエリア接続 ] アイコンに×マークが付いている

| | |
|---|---|
| 原因 | LAN ケーブルが正しく接続されていない。 |
| 対処 | パソコンに LAN ケーブルが接続されているか、また、パソコン接続先のネットワーク機器（ルーターやハブなど）に LAN ケーブルが接続されているかご確認ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因 | LAN ケーブルに問題がある。 |
| 対処 | LAN ケーブルを交換してお試しください。 |

## パソコンに固定の IP アドレスを設定するには

| | |
|---|---|
| 対処 | 以下をご覧ください。 |

### パソコンに固定の IP アドレスを設定する方法

以下は、パソコンに固定の IP アドレス（例は「192.168.0.3」）を設定する場合の例です。

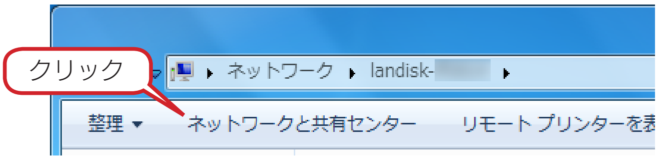
一時的に変更する場合などは、必ず以前の [IP アドレス ]［サブネットマスク］［デフォルトゲートウェイ］などのアドレスはメモしてください。

ネットワーク内に DHCP サーバーが無い場合（本製品が「192.168.0.200」の IP アドレスで起動した場合）などに、パソコンから設定画面を開く際には、パソコン側は同じネットワークアドレスで別の IP アドレスを設定する必要があります。

## Windows 7 の場合

**1** [ スタート ] → [ コンピューター ] → [ ネットワーク ] をクリックします。

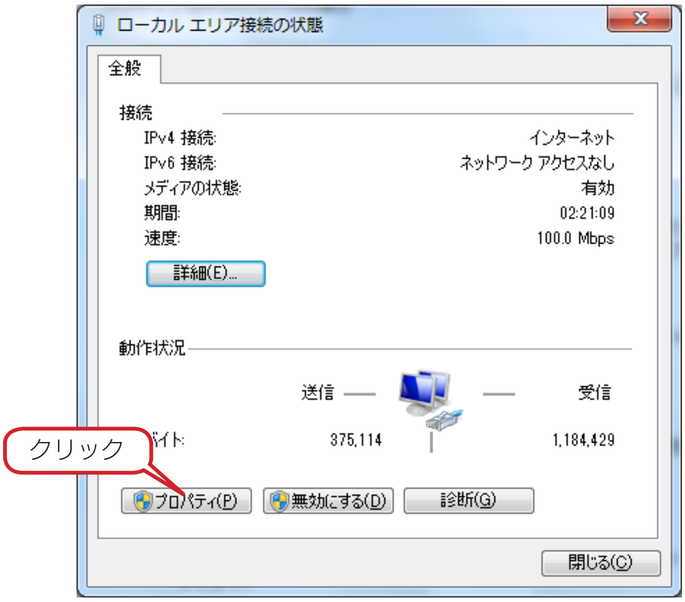
**2** [ ネットワークと共有センター ] をクリックします。



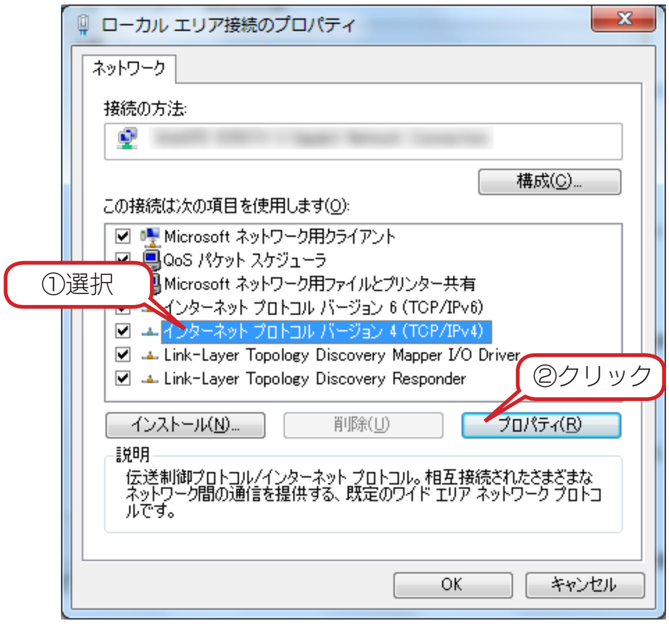

**3** [ ローカルエリア接続 ] をクリックします。



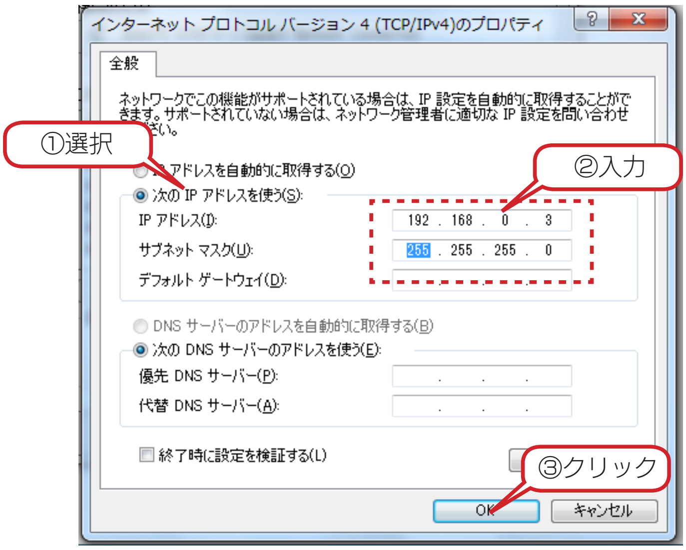

**4** [ プロパティ ] をクリックします。




**5** [ インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）] を選択し、[ プロパティ ] をクリックします。



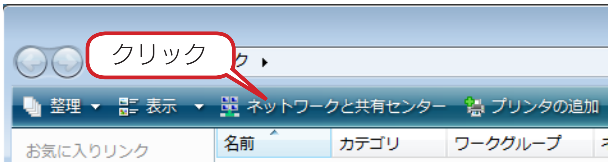

**6** [ 次の IP アドレスを使う ] をチェック後、[IP アドレス ][ サブネットマスク ] を設定後、［OK］ボタンをクリックします。



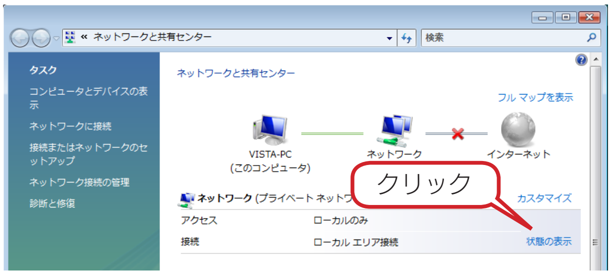

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

## Windows Vista の場合

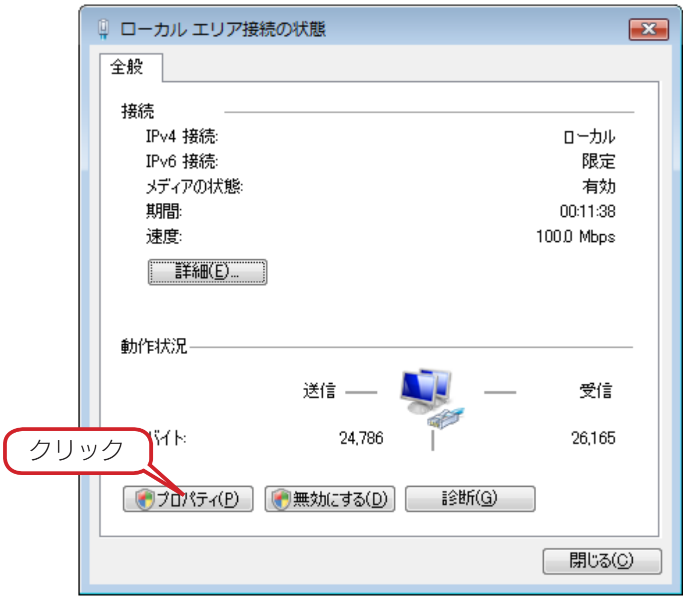
| | |
|---|---|
| 1 | ［スタート］→［ネットワーク］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。 |



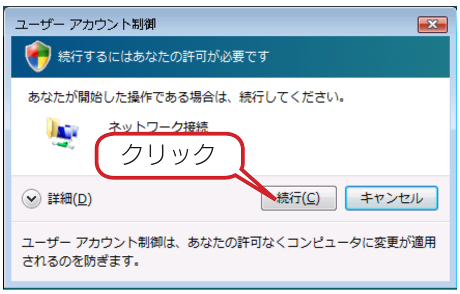

| | |
|---|---|
| 2 | ［状態の表示］をクリックします。 |



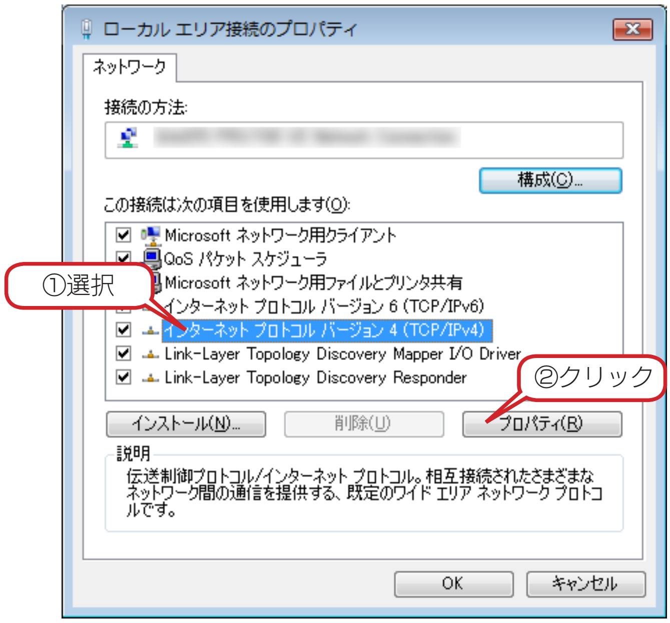

| | |
|---|---|
| 3 | ［プロパティ］をクリックします。 |



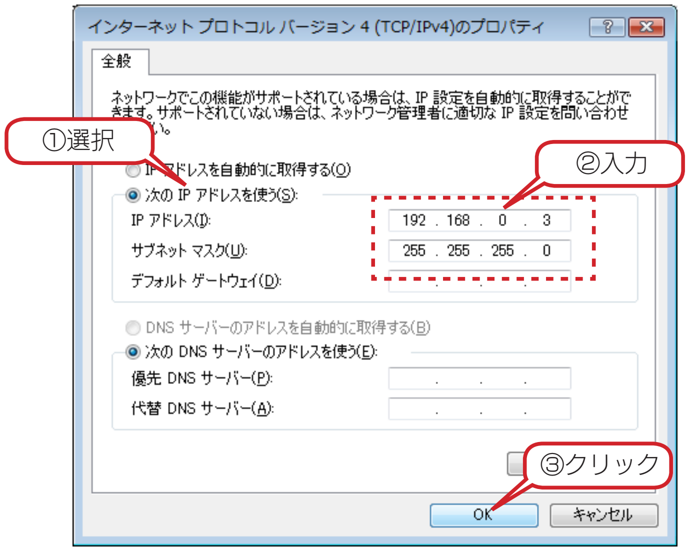

| | |
|---|---|
| 4 | 以下の確認画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。 |




| | |
|---|---|
| 5 | ［インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。 |



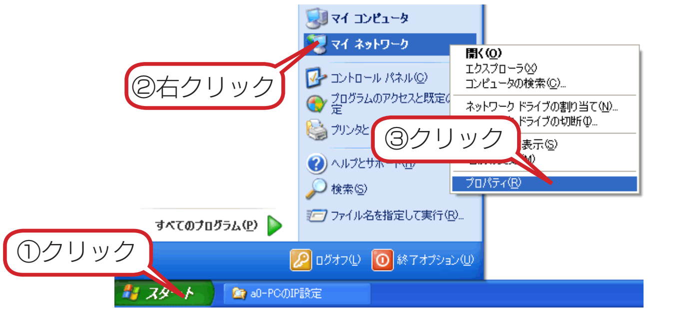

| | |
|---|---|
| 6 | ［次の IP アドレスを使う］を選択後、［IP アドレス］［サブネットマスク］を設定後、［OK］ボタンをクリックします。 |



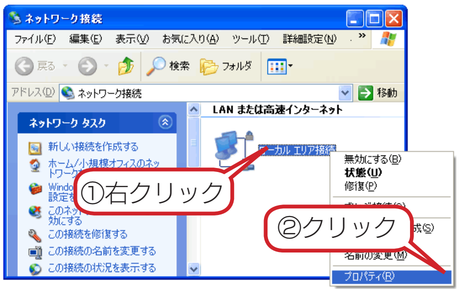

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

## Windows XP の場合

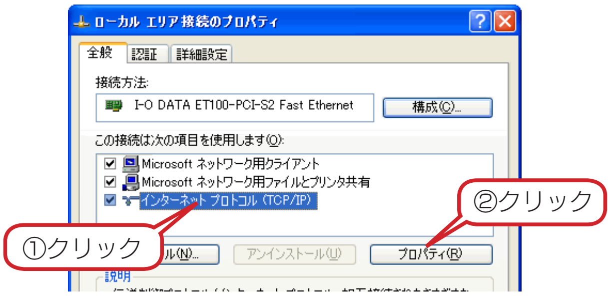
| 1 | ［スタート］→［マイネットワーク］を右クリック後、［プロパティ］をクリックします。 |
|---|---|



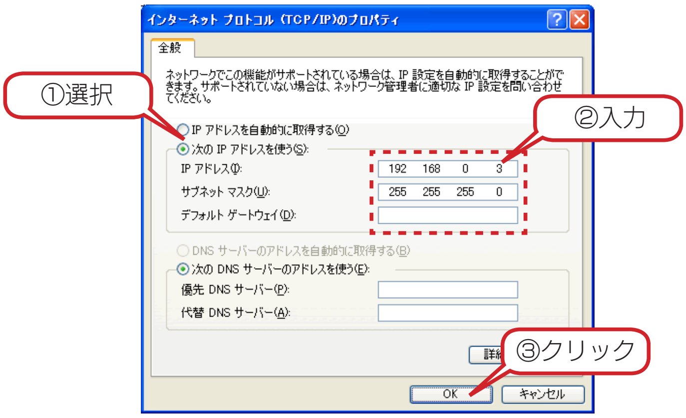

| 2 | ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリック後、［プロパティ］をクリックします。 |
|---|---|




| 3 | ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択後、［プロパティ］ボタンをクリックします。 |
|---|---|




| 4 | ［次の IP アドレスを使う］を選択後、［IP アドレス］［サブネットマスク］を設定後、［OK］ボタンをクリックします。 |
|---|---|




以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

## Mac OS X の場合

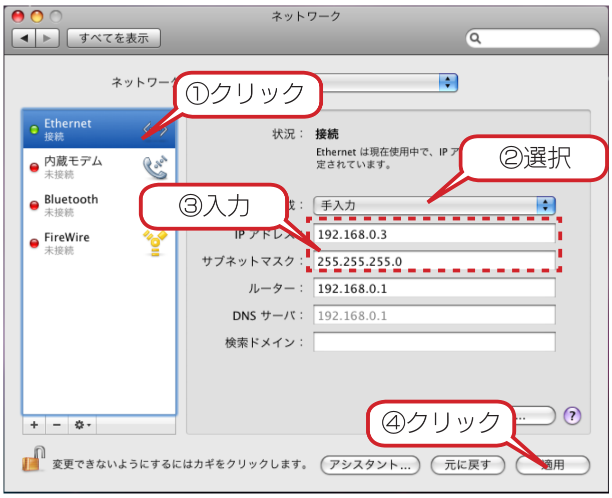
| 1 | ［アップルメニュー］→［システム環境設定］をクリックし、［ネットワーク］を選択します。 |
|---|---|




| 2 | ［ネットワーク］を開きます。 |
|---|---|




| 3 | ①左の欄で［Ethernet］を選択します。<br>②［構成］を［手入力］に変更します<br>③以下を設定します。<br>IP アドレス：192.168.0.3<br>サブネットマスク：255.255.255.0<br>④［適用］ボタンをクリックします。 |
|---|---|




| 4 | 画面を閉じて、パソコンを再起動します。 |
|---|---|

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

# 本製品のお問い合わせ

## 必ず以下の内容をご確認ください

本書の「困ったときには」を参照

弊社サポートページの Q&A を参照
➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバソフト等をダウンロード
➡ http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

**電話**：東京　**03-3254-1144**　金沢　**076-260-3644**
**FAX**：東京　**03-3254-9055**　金沢　**076-260-3360**
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
**インターネット：http://www.iodata.jp/support/**

＜ご用意いただく情報＞製品名 / パソコンの型番 /OS（Windows、Mac OS）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

# 修理について

## 修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。

（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）

※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。

ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」の「保証適応外」の内容に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。

修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

## 修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

①メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号 (S/N)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

②これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所 / 氏名 /( あれば )FAX 番号］、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境（機器構成、OS など）, 故障状況（どうなったか）

③修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

④修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒 920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　　アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。



HDL2-S シリーズ画面で見るマニュアル　2010.3.9
発行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒 920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地